

# SUSE Linux Enterprise Desktop

10 SP2

[www.novell.com](http://www.novell.com)

2008 4 11

GNOME ユーザガイド



# GNOME ユーザガイド

All content is copyright © Novell, Inc.

## 保証と著作権

このマニュアルは、Novellの知的所有権で保護されています。このマニュアルを複製、コピー、または配布するには、本使用許諾契約の各条項に明示的に同意する必要があります。

このマニュアルは、以下の条件を満たす限り、電子的または印刷物などの形式で、自由に複製、コピー、配布することができます。

複製、コピー、配布されるコピーには、この著作権表示と作成者、貢献者名が明示的かつ弁別的に表示する必要があります。このマニュアルは、特に印刷形式の場合、非商用の目的でのみ複製、配布できます。本マニュアルの全部または一部を他の目的で使用する場合は、事前にNovell, Incから明示的な許可を得る必要があります。

Novellの商標リストについては、<http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html>のNovell Trademark and Service Mark Listを参照してください。  
\*Linuxは、Linus Torvaldsの登録商標です。他のすべての第三者の商標は、各所有者が所有権を有しています。商標記号（®、™など）は、Novellの商標を表しています。アスタリスク(\*)は、サードパーティの商標を表します。

本書のすべての情報は、細心の注意を払って編集されています。しかし、このことは絶対に正確であることを保証するものではありません。Novell, Inc.、Suse Linux Products GmbH、著者、翻訳者のいずれも誤りまたはその結果に対して一切責任を負いかねます。

# 目次

このガイドについて	ix
パート I GNOMEデスクトップ	1
1 GNOMEデスクトップの開始	3
1.1 ログインとデスクトップの選択	3
1.2 ログアウト	5
1.3 デスクトップの基礎知識	7
1.4 メインメニューの使用	12
1.5 Nautilusを使ったフォルダ とファイルの管理	17
1.6 ネットワークリソースへのアクセス	30
1.7 フロッピーディスク、CD、DVDへのアクセス	35
1.8 コンピュータまたはファイルシステム内のデータの検索	35
1.9 アプリケーション間のテキストの移動	42
1.10 インターネットの探索	42
1.11 電子メールとスケジューリング	43
1.12 OpenOffice.orgでのドキュメントのオープンまたは作成	45
1.13 スクリーンショットを撮る	45
1.14 PDFファイルの表示	47
1.15 サウンドの制御	48
1.16 ソフトウェアパッケージとアップデートの管理	50
1.17 その他の便利なプログラム	57
2 設定のカスタマイズ	59
2.1 コントロールセンター	60
2.2 ハードウェア設定の設定	62
2.3 外観	66
2.4 個人用	90

2.5	システム	98
<b>パート II オフィスとコラボレーション</b>		<b>111</b>
<b>3</b>	<b>OpenOffice.orgオフィス スイート</b>	<b>113</b>
3.1	OpenOffice.orgについて	113
3.2	Writerによるドキュメント作成	127
3.3	Calcを使用してスプレッドシートを使用する	137
3.4	Impressでプレゼンテーションを使用する	140
3.5	Base - データベースの使用	143
3.6	Draw - グラフィックの作成	146
3.7	Mathを使用して式を作成する	147
3.8	OpenOffice.orgに関するヘルプと情報の検索	148
<b>4</b>	<b>Evolution:電子メールと カレンダーリング</b>	<b>149</b>
4.1	Evolutionの初めての起動	150
4.2	Evolutionの使用:概要	162
<b>5</b>	<b>GroupWise Linuxクライアント:電子メールとカレンダーリング</b>	<b>169</b>
5.1	GroupWiseのメインウィンドウについて	169
5.2	さまざまなGroupWiseモードを使用する	176
5.3	メールボックスを理解する	178
5.4	ツールバーの使用	181
5.5	ショートカットキーを使用する	182
5.6	詳細情報	186
<b>6</b>	<b>Gaimを使用したインスタントメッセージング</b>	<b>189</b>
6.1	サポートされるプロトコル	189
6.2	アカウントのセットアップ	190
6.3	Buddy Listの管理	191
6.4	チャット	192
<b>7</b>	<b>EkigaでのVoice over IPの使用</b>	<b>193</b>
7.1	Ekigaの設定	194
7.2	Ekigaのユーザインタフェース	195
7.3	電話をかける	197
7.4	電話に出る	198
7.5	アドレス帳を使用する	199
7.6	詳細情報	200



<b>8</b>	<b>ネットワークリソースへの アクセス</b>	<b>201</b>
8.1	ファイル共有とネットワーク参照に関する一般的な注意 . . . . .	202
8.2	ネットワーク共有へのアクセス . . . . .	202
8.3	フォルダの共有 . . . . .	203
8.4	Windowsファイルの管理 . . . . .	205
8.5	Windowsネットワークプリンタの設定とアクセス . . . . .	206
<b>9</b>	<b>Beagleを使った検索</b>	<b>209</b>
9.1	Beagleの使用 . . . . .	209
9.2	検索のヒント . . . . .	211
9.3	Property Search(プロパティ 検索)の実行 . . . . .	211
9.4	検索の環境設定 . . . . .	213
9.5	他のディレクトリのインデックス作成 . . . . .	215
9.6	ファイルとディレクトリに インデックスをつけない . . . . .	216
9.7	詳細情報 . . . . .	217
<b>10</b>	<b>プリンタの管理</b>	<b>219</b>
10.1	プリンタのインストール . . . . .	219
10.2	プリンタ設定の変更 . . . . .	221
10.3	印刷ジョブのキャンセル . . . . .	222
10.4	プリンタの削除 . . . . .	222
<b>パート III</b>	<b>インターネット</b>	<b>223</b>
<b>11</b>	<b>ネットワーク接続の管理</b>	<b>225</b>
11.1	NetworkManagerの有効化と 無効化 . . . . .	225
11.2	NetworkManagerとSCPM . . . . .	226
11.3	GNOME NetworkManagerアプレットの使用 . . . . .	227
11.4	NetworkManagerとセキュリティ . . . . .	230
<b>12</b>	<b>Firefoxを使用したブラウジング</b>	<b>235</b>
12.1	Webサイトのナビゲート . . . . .	235
12.2	情報の検索 . . . . .	237
12.3	ブックマークの管理 . . . . .	238
12.4	ダウンロードマネージャの使用 . . . . .	241
12.5	パスワード管理 . . . . .	242
12.6	Firefoxのカスタマイズ . . . . .	243
12.7	Firefoxからの印刷 . . . . .	246
12.8	MHTMLアーカイブを開く . . . . .	247
12.9	詳細情報 . . . . .	247

<b>13</b>	<b>Lifereaを使ったニュースフィードの購読</b>	<b>249</b>
13.1	Lifereaの起動	249
13.2	ニュースフィードの購読	250
13.3	新規購読の作成	252
13.4	購読情報の更新	253
13.5	詳細情報	254
<b>パート IV</b>	<b>マルチメディア</b>	<b>255</b>
<b>14</b>	<b>GIMPによるグラフィックスの操作</b>	<b>257</b>
14.1	グラフィックファCルの形式	257
14.2	GIMPの起動	258
14.3	はじめに	260
14.4	画像の保存	263
14.5	画像の編集	265
14.6	画像の印刷	273
14.7	詳細情報	275
<b>15</b>	<b>デジタル画像コレクションの 管理</b>	<b>277</b>
15.1	写真のインポート	279
15.2	カメラからの写真ダウンロード	281
15.3	写真情報の取得	282
15.4	タグの管理	283
15.5	写真の検索	284
15.6	画像コレクションのエクスポート	286
15.7	基本的な写真の編集	290
15.8	写真の共有	293
<b>16</b>	<b>Helix Bansheeでの音楽の 再生と管理</b>	<b>297</b>
16.1	音楽の再生	298
16.2	音楽ライブラリの管理	305
16.3	デジタルオーディオプレーヤーでHelix Bansheeを使用する	308
16.4	オーディオおよびMP3 CDの作成	311
16.5	音楽の共有	312
16.6	Helix Bansheeの初期設定の設定	313

<b>17 CDとDVDの書き込み</b>	<b>315</b>
<b>A 必要な情報を検索する</b>	<b>317</b>
A.1 付属のドキュメント . . . . .	317
A.2 他のリソースや詳細情報 . . . . .	318
<b>B WindowsからLinuxへの移行</b>	<b>321</b>
B.1 メインメニューからのアプリケーションの起動 . . . . .	322
B.2 ファイルの管理 . . . . .	323
B.3 コマンドラインの使用 . . . . .	323
B.4 デスクトップのカスタマイズ . . . . .	324
B.5 アプリケーション間の切り替え . . . . .	325
B.6 ネットワークリソースへのアクセス . . . . .	326
<b>C Linuxソフトウェアの概要</b>	<b>327</b>
C.1 電話(オフィス) . . . . .	327
C.2 Network . . . . .	332
C.3 マルチメディア . . . . .	336
C.4 グラフィックス . . . . .	341
C.5 システム管理とファイル管理 . . . . .	345
C.6 ソフトウェア開発 . . . . .	349
<b>D 指紋リーダーの使用</b>	<b>353</b>
D.1 サポートされるアプリケーションとアクション . . . . .	354
D.2 YaSTによる指紋の管理 . . . . .	354
D.3 tf-toolによる指紋の管理 . . . . .	357
D.4 詳細情報 . . . . .	358
<b>E タブレットPCのサポート</b>	<b>359</b>
E.1 タブレットPCパッケージのインストール . . . . .	360
E.2 Wacomデバイスの設定 . . . . .	361
E.3 タブレットPCの一般的な機能の使用 . . . . .	365
E.4 トラブルシューティング . . . . .	369
E.5 詳細情報 . . . . .	370



# このガイドについて

このマニュアルは、SUSE® Linux Enterprise Desktopに実装されているGNOMEのグラフィカルなデスクトップ環境の概要と、環境設定の方法について説明しています。また、OpenOffice.org、Webブラウザ、ファイルマネージャ、スキャンツール、画像編集ツールなどのオフィスプログラムを含め、いくつかのプログラムとサービスについても説明します。Macintosh\*、Windows\*、またはその他のLinuxデスクトップなどのグラフィカルデスクトップ環境の使用経験を持つユーザを対象としています。

マニュアルは、以下の各部に分かれています。

## GNOMEデスクトップ

GNOMEデスクトップの概要と基本的な作業手順、および主なGNOMEアプリケーションやユーティリティの使用方法を説明しています。GNOMEが提供する多彩な機能について学習し、ご自身の目的に応じてデスクトップをご活用ください。

## オフィスとコラボレーション

SUSE Linux Enterpriseに用意されている、OpenOffice.orgスイート、電子メールやスケジュールプログラム、およびオンライン通話アプリケーションなどの、さまざまなオフィス用、コラボレーション用ソフトウェアについて紹介します。また、ネットワークでのファイル共有、データの効率的な検索と暗号化、およびプリンタの管理方法などの、データの管理と通信に関する情報も取り上げています。

## インターネット

NetworkManagerを使ったインターネットへの接続方法について学習します。Firefox Webブラウザ、または新しいニュースフィードリーダーなど、SUSE Linux Enterpriseが提供するインターネットアプリケーションの使用方法を説明しています。

## マルチメディア

画像処理アプリケーション、デジタルカメラ、サウンドアプリケーション、およびCD/DVDライターについて説明しています。

# 1 フィードバック

本マニュアルおよびこの製品に含まれているその他のマニュアルについて、皆様のご意見やご要望をお寄せください。オンラインドキュメントの各ページの下部にあるユーザコメント機能を使用して、コメントを入力してください。

## 2 追加のマニュアル

この製品には、ほかのマニュアルも用意されています。SUSE Linux Enterpriseのエンドユーザ向けのマニュアルとして、次の各マニュアルもご覧ください。

### クイックスタートのインストール

SUSE Linux Enterpriseをインストールするためのシステム要件やインストール手順について説明しています。

### KDEユーザガイド

このマニュアルでは、SUSE Linux EnterpriseのKDEデスクトップ、および関連するさまざまなアプリケーションについて紹介します。また、これらのアプリケーションの使用方法や作業手順についても説明します。このマニュアルは、おもにKDEデスクトップで動作するアプリケーションを使用するエンドユーザを対象にしています。

SUSE Linux Enterpriseの全マニュアルの概要については、<http://www.novell.com/documentation/sled10/>を参照してください。ここでは、マニュアルをダウンロードしたり、デスクトップのヘルプセンターでオンラインで情報にアクセスすることもできます。

## 3 マニュアルの表記規則

本書では、次の書体を使用しています：

- `/etc/passwd`: ファイル名およびディレクトリ名
- `placeholder:placeholder` は、実際の値で置き換えられます
- `PATH`: 環境変数 `PATH`

- `ls`、`--help`: コマンド、オプション、およびパラメータ
- `user`: ユーザまたはグループ
- `Alt`、`Alt + F1`: キー: 押すためのキーまたはキーの組み合わせ、キーはキーボードと同様に、大文字で表示されます
- `[ファイル]`、`[ファイル] > [名前を付けて保存]`: メニュー項目、ボタン
- *Dancing Penguins* (「*Penguins*」の章、↑他のマニュアル): 他のマニュアル中の章への参照です。





# パート I. GNOMEデスクトップ



# GNOMEデスクトップの開始

この章では、SUSE® Linux Enterprise Desktopに実装されているGNOMEデスクトップの規則、レイアウト、および一般的な作業の概要を説明していきます。

## 1.1 ログインとデスクトップの選択

システムが起動すると、ユーザ名とパスワードの入力が求められます。インストール時に作成したユーザ名とパスワードです。自分でシステムをインストールしていない場合は、システム管理者にユーザ名とパスワードを確認してください。

ログイン画面には、次の項目が表示されます。

ログインプロンプト

ユーザ名とパスワードを入力してログインします。

言語メニュー

セッションで使用する言語を選択します。

セッションメニュー

セッション中に実行するデスクトップを選択します。他のデスクトップをインストールしている場合、そのデスクトップがリストに表示されます。

再起動

コンピュータを再起動します。

シャットダウン

コンピュータをシャットダウンします。

## 1.1.1 セッションとは

「セッション」とは、ログインしてログアウトするまでの時間のことです。ログイン画面には複数のログインオプションがあります。たとえば、インターフェースに表示する言語を選択することができます。

ユーザー名とパスワードが認証されると、セッションマネージャが起動します。セッションマネージャによって、セッションごとに特定の設定を保存できます。また、最も最近のセッションのステータスを保存して、次にログインしたときにそのセッションに戻ることもできます。

セッションマネージャによって、次の設定を保存して復元できます。

- フォント、カラー、およびマウス設定などの、外観と動作の設定。
- ファイルマネージャやOpenOffice.orgプログラムなどの、実行していたアプリケーション。

---

### ティップ

セッションマネージャが管理しないアプリケーションは、保存と復元はできません。たとえば、ターミナルウィンドウのコマンドラインからviエディタを起動する場合は、セッションマネージャは編集集中のセッションを復元できません。

---

セッション設定の設定に関する詳細は、[2.5.8項「セッションの管理」](#) (106ページ)を参照してください。

## 1.1.2 デスクトップの切り替え

GNOMEとKDEのデスクトップをインストールしている場合は、次の手順を使用して、デスクトップを切り替えます。

- 1 [コンピュータ] > [ログアウト] > [ログアウト] の順にクリックします。.

KDEで、メインメニューボタンをクリックした後、`[ログアウト]` > `[現在のセッションの終了]` をクリックします。

- 2 ログイン画面で、`[セッション]` をクリックします。
- 3 `[GNOME]` または `[KDE]` のどちらか希望するデスクトップを選択し、`[OK]` をクリックします。
- 4 ユーザ名を入力して、Enterキーを押します。
- 5 パスワードを入力して、Enterキーを押します。

### 1.1.3 画面のロック

画面をロックするには、次のいずれかを実行します。

- `[コンピュータ]` > `[画面のロック]` の順にクリックします。
- `[ロック]` ボタンがパネルにある場合、そのボタンをクリックします。

`[ロック]` ボタンをパネルに追加するには、パネルを右クリックして、`[パネルに追加]` > `[画面のロック]` の順にクリックします。

画面をロックすると、スクリーンセーバーが起動します。正しく画面をロックするには、スクリーンセーバーを有効にしておく必要があります。画面をロック解除するには、マウスを移動させて、ロックされた画面ダイアログを表示します。ユーザ名とパスワードを入力してから、Enterキーを押します。

スクリーンセーバーの設定について詳細は、[2.3.5項「スクリーンセーバの設定」](#) (85 ページ)を参照してください。

## 1.2 ログアウト

コンピュータの使用が完了したら、ログアウトして、システムを移動したままにしておくか、コンピュータを再起動またはシャットダウンすることができます。

## 1.2.1 ログアウトまたはユーザの切り替え

1 [コンピュータ] > [ログアウト] の順にクリックします。

2 次のいずれかのオプションを選択します。

ログアウト

現在のセッションからログアウトし、ログイン画面に戻ります。

ユーザの切り換え

セッションをサスペンド状態にして、別のユーザとしてログインしてコンピュータを使用します。

## 1.2.2 コンピュータの再起動またはシャットダウン

1 [コンピュータ] > [シャットダウン] の順にクリックします。

2 次のいずれかのオプションを選択します。

シャットダウン

現在のセッションからログアウトし、コンピュータの電源を切ります。

再開

現在のセッションからログアウトし、コンピュータを再起動します。

スリープ

コンピュータを省電力状態に移行します。セッションの状態は保持されます。これには、実行中のすべてのアプリケーションや、開いているすべてのドキュメントが含まれます。

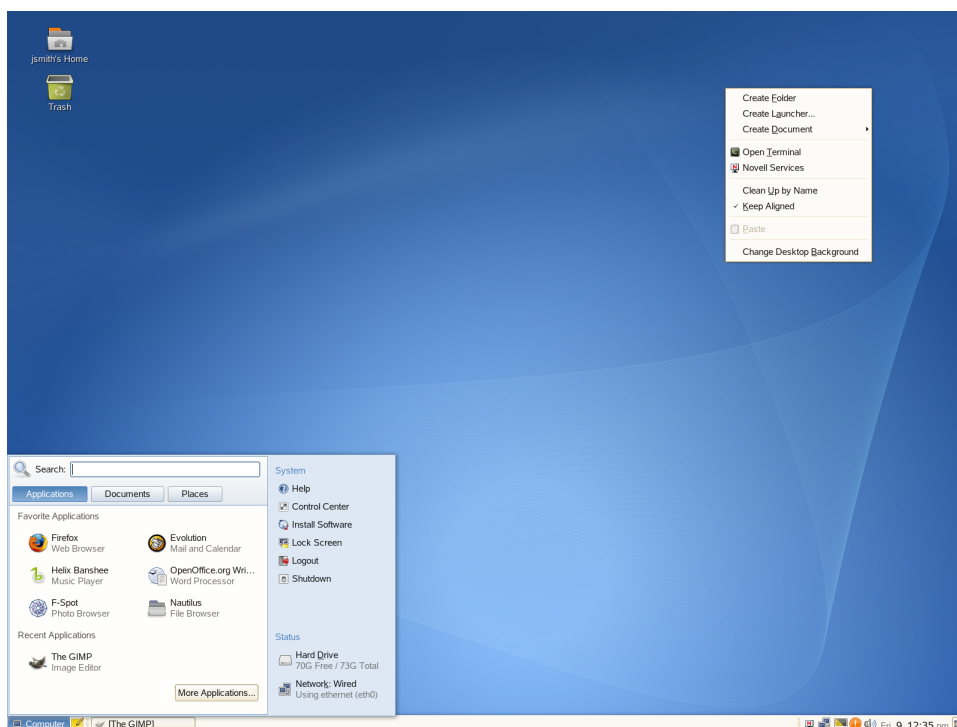
休止

セッションをサスペンド状態にします。コンピュータを再起動するまでは、電力は消費されません。セッションの状態は保持されます。これには、実行中のすべてのアプリケーションや、開いているすべてのドキュメントが含まれます。

## 1.3 デスクトップの基礎知識

他の一般的なデスクトップ製品と同様に、GNOMEデスクトップの主要なコンポーネントはファイル、フォルダ、プログラムへリンクするアイコン、そして画面の下にあるパネルです(**Windows**のタスクバーに似ています)。アイコンをダブルクリックすると、関連するプログラムが起動します。アイコンを右クリックすると、詳細なメニューとオプションが表示されます。また、デスクトップで何もない場所を右クリックして、デスクトップ自体を設定または管理するための詳細メニューを表示することもできます。

図 1.1 GNOME デスクトップ



デフォルトで、デスクトップ機能には、ルートフォルダと削除されたアイテム用のごみ箱があります。CDドライブなど、コンピュータのデバイスを示す他のアイコンがデスクトップに表示されている場合もあります。ルートフォルダをダブルクリックすると、**Nautilus**ファイルマネージャが起動し、ルートディレクトリの内容を表示します。Nautilusの使い方の詳細については、**1.5**

項「[Nautilusを使ったフォルダとファイルの管理](#)」(17 ページ)を参照してください。

アイコンを右クリックすると、コピー、切り取り、名前の変更などのファイル操作が可能なメニューが表示されます。メニューから **プロパティ** を選択すると、設定ダイアログボックスが表示されます。アイコンの名前とアイコンそのものは、 **Select Custom Icon** で変更することができます。 **エンブレム** タブでは、グラフィックで内容を表す記号をアイコンに追加することができます。 **アクセス権** タブでは、選択したファイルへアクセスできるように設定することができます。 **メモ** タブでは、コメントを管理できます。ごみ箱のメニューには別に **Empty Trash** オプションがあり、これでごみ箱の内容を削除できます。

リンクは特殊なファイルの種類で、別のファイルまたはフォルダをポイントします。リンクに対して何らかのアクションを実行する場合、そのアクションはリンクがポイントするファイルまたはフォルダで実行されます。リンクを削除すると、リンクファイルだけ削除され、リンクがポイントするファイルは削除されません。

デスクトップ上にフォルダまたはファイルへのリンクを作成するには、ファイルマネージャ内の該当するオブジェクトを右クリックしてオブジェクトにアクセスし、 **Make Link** をクリックします。 **ファイルマネージャ** ウィンドウからリンクをドラッグして、デスクトップにドロップします。

## 1.3.1 デフォルトのデスクトップアイコン

デスクトップからアイコンを削除するには、アイコンをごみ箱にドラッグするだけで削除できます。ただし、このオプションは注意が必要です。フォルダやファイルのアイコンをごみ箱に移動すると、実際のデータが削除されます。ファイルまたはディレクトリへのリンクだけを表示するアイコンの場合は、リンクだけ削除されます。

---

### 注意

ホームアイコンをごみ箱へ移動することはできません。

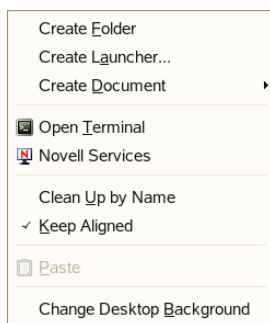
---



## 1.3.2 デスクトップメニュー

デスクトップで何も表示されていない場所を右クリックすると、さまざまなオプションのあるメニューが表示されます。新しいフォルダを作成するには *[Create Folder]* をクリックします。 *[Create Launcher]* では、アプリケーションのランチャアイコンを作成できます。アプリケーション名と起動用のコマンドを提供し、使用するアイコンを選択します。デスクトップの背景の変更や、デスクトップアイコンの整列もできます。

図 1.2 GNOME デスクトップメニュー



## 1.3.3 ボトムエッジパネル

デスクトップには、画面の下端を横切るパネルが含まれています。ボトムエッジパネルにはコンピュータメニュー(Windowsのスタートメニューと似ています)と、実行中のすべてのアプリケーションのアイコンが含まれます。このパネルには、アプリケーションやアプレットを追加して、アクセスしやすくなります。タスクバーでプログラム名をクリックすると、それに対応するプログラムがフォアグラウンドになります。プログラムが既にフォアグラウンドになっている状態で、ウィンドウのタイトルをクリックすると、そのプログラムは最小化されます。最小化されたアプリケーションをクリックすると、個々のウィンドウがもう一度開きます。

図 1.3 GNOME のボトムエッジパネル



*[Show Desktop]* アイコンがボトムエッジパネルの右にあります。このアイコンですべてのプログラムウィンドウを最小化し、デスクトップを表示します。

または、すべてのウィンドウが既に最小化されている場合は、もう一度元のサイズに開きます。

パネルの何もない領域を右クリックすると、次のテーブルにリストされたオプションが使用できます。

**表 1.1** パネルメニューオプション

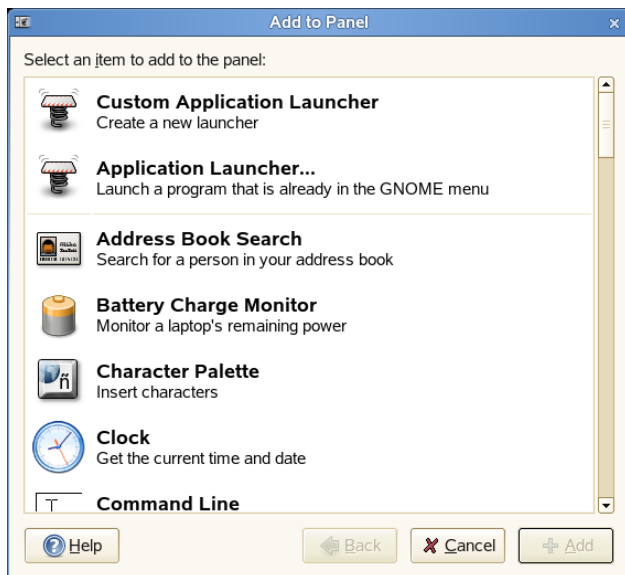
オプション	説明
パネルへ追加	パネルに追加できるアプリケーションとアプレットのメニューリストが開きます。
プロパティ	このパネルのプロパティを変更します。
<i>Delete This Panel</i>	デスクトップからパネルを削除します。削除すると、パネル設定がすべて失われます。
[パネルの移動を許可/パネルポジションをロック]	パネルを画面の別の側にドラッグしたり、現在の位置にロックすることができます。
新しいパネル	新しいパネルを作成し、デスクトップに追加します。
ヘルプ	Help Centerを開きます。
パネルについて	パネルアプリケーションに関する情報を開きます。

## 1.3.4 アプレットとアプリケーションを パネルに追加

ボトムエッジパネルにアプリケーションとアプレットを追加すると、すぐにアクセスできるようになります。アプレットとは小さなプログラムのことで、アプリケーションは通常、より強力なスタンドアロンプログラムです。アプレットを追加すると、便利なユーティリティが簡単にアクセスできる場所に配置されます。

GNOMEデスクトップには多くのアプレットが付属しています。ボトムエッジパネルを右クリックして [パネルに追加] を選択すると、詳しいリストが表示されます。

#### 図 1.4 [パネルへ追加] ダイアログボックス



便利なアプレットの例は次の通りです。

表 1.2 役に立つアプレット

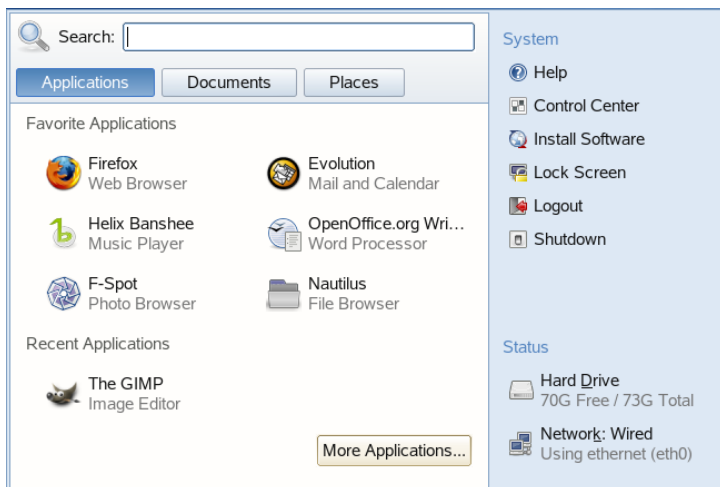
アプレット	説明
辞書検索	オンライン辞書で単語を検索します。
強制終了	アプリケーションを終了します。これは、応答しないアプリケーションを終了したいときに特に便利です。
ファイルの検索	コンピュータ上のファイル、フォルダ、文書を検索します。

アプレット	説明
覚え書き	デスクトップ上で覚え書きを作成、表示、管理できます。
従来のメインメニュー	GNOMEの旧バージョンのように、メニューからプログラムにアクセスします。これは、GNOMEの旧バージョンに慣れているユーザーに特に便利です。
音量調節	音量を調節します。
天気予報	特定の都市の現在の気象情報を表示します。
ワークスペーススイッチ	仮想デスクトップから、「ワークスペース」と呼ばれる別の作業領域にアクセスします。たとえば、さまざまなワークスペースでアプリケーションを開き、他のアプリケーションの干渉を受けずにそれぞれのデスクトップでそのアプリケーションを使用することができます。

## 1.4 メインメニューの使用

メインメニューを表示するには、下部パネルの左端にある [コンピュータ] をクリックします。メインメニューには、通常使用するアプリケーション、および最近使ったアプリケーションが表示されます。[ドキュメント] をクリックして最近使ったドキュメントを表示したり、[場所] をクリックしてお気に入りの場所(ホームディレクトリやデスクトップなど)を表示することもできます。[他のアプリケーション] をクリックすると、他のアプリケーションがカテゴリ別に表示されます。右側にあるオプションを使って、ヘルプの表示、他のソフトウェアのインストール、GNOMEコントロールセンタの表示、画面のロック、デスクトップからのログアウト、ハードディスクやネットワーク接続のステータスの確認などの作業を行えます。

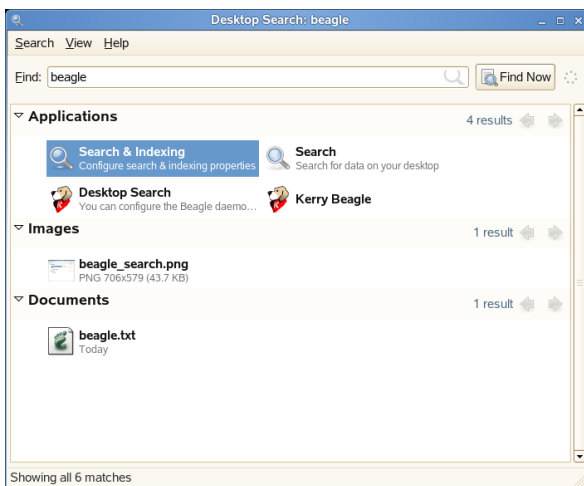
## 図 1.5 メインメニュー



メインメニューには、さまざまな要素が含まれています。各要素については、以降のセクションで説明していきます。

### 1.4.1 検索バー

検索バーを使って、システム上のアプリケーションやファイルを検索することができます。[検索] フィールドに検索する単語を入れて、**Enter**キーを押してください。結果は[デスクトップ検索] ダイアログボックスに表示されます。



結果のリストはファイルを開くのに使用したり、メールで転送したり、ファイルマネージャで表示できます。結果リストの項目を右クリックして、オプションを選択します。項目に対して使用可能なオプションは、ファイルの種類によって異なります。リストのファイルをクリックするとファイルのプレビュー、タイトル、パス、最終修正またはアクセス日などの情報が表示されます。

ファイル検索をアドレス帳やWebページに限定したり、特定のタイプのファイルだけを表示させるには、**[検索]**メニューを使用します。**[Sort]**メニューでは名前、関連性、またはファイルの最終修正日にしたがって、結果リストの項目がソートできます。

GNOMEデスクトップの検索機能の使用の詳細は、[第9章 Beagleを使った検索](#) (209 ページ)を参照してください。

## 1.4.2 メインメニューのタブ

**[アプリケーション]**、**[ドキュメント]**、または**[場所]**タブをクリックして、メインメニューに表示するアイコンを変更することができます。

## お気に入りのアプリケーション

デフォルトでは、[お気に入りのアプリケーション] には、一般的に使われるアプリケーションのアイコンが表示されます。頻繁に使用するアプリケーションを表示する場合に使用します。

お気に入りのアプリケーションに項目を追加する

- 1 [コンピュータ] > [他のアプリケーション] の順にクリックします。
- 2 追加するアプリケーションを右クリックします。
- 3 [お気に入りの追加] を選択します。

選択したアプリケーションが [お気に入りのアプリケーション] に追加されます。

お気に入りのアプリケーションから項目を削除する

- 1 [コンピュータ] をクリックします。
- 2 メインメニューにお気に入りのアプリケーションが表示されていることを確認します。

メインメニューに [お気に入りのアプリケーション] が表示されていない場合は、[アプリケーション] をクリックします。

- 3 削除する項目を右クリックします。
- 4 [お気に入りから削除] を選択します。

お気に入りのアプリケーションから、選択したアプリケーションが削除されます。

## 最近使用したアプリケーション

最近使用したアプリケーションには、最後に起動した2つのアプリケーションが表示されます。このビューは、最近使ったアプリケーションを素早く探す場合に役立ちます。

## 最近使ったファイル

最近開いたドキュメントを表示する場合は、**[ドキュメント]** タブをクリックします。このビューは、最近作業を行ったドキュメントを素早く探す場合に役立ちます。ファイルブラウザを表示するには、**[他のドキュメント]** をクリックします。

## 最近使用した場所

最近開いた場所を表示する場合は、**[場所]** タブをクリックします。このビューは、最近作業を行った場所を素早く探す場合に役立ちます。ファイルブラウザを表示するには、**[他の場所]** をクリックします。

### 1.4.3 システム

システムには、さまざまなシステムアプリケーションへのショートカットが用意されています。

**表 1.3** システムショートカット

アプリケーション	説明
ヘルプ	<i>Help Center</i> を開きます。ここから、システムのオンラインヘルプを参照することができます。
の最大数	システムのカスタマイズと環境設定を行えます。詳細については、 <b>第2章 設定のカスタマイズ</b> (59 ページ)を参照してください。
[Install Software	新しいソフトウェアのインストールを支援するソフトウェアインストーラを開きます。
画面のロック	離席している間、システムを他人に利用されないように、画面をロックします。システムをアンロックするには、パスワードを入力してください。
Log Out	<b>[ログアウト]</b> ダイアログを開きます。ここから、ログアウトしたり、ユーザを切り替えることができます。



シャットダウン      [シャットダウン] ダイアログを表示します。ここから、システムをシャットダウンしたり再起動したり、コンピュータをサスペンド状態にすることができます。

---

## 1.4.4 ステータス

状態には、ハードディスクの利用可能容量や使用しているネットワーク接続の種類など、ハードドライブとネットワーク接続に関する情報が表示されます。

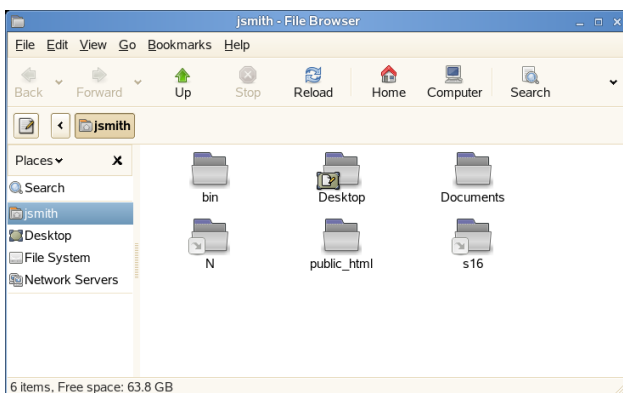
## 1.5 Nautilusを使ったフォルダ とファイルの管理

フォルダおよびドキュメントの作成および表示、スクリプトの起動、およびデータCDの作成には、Nautilusファイルマネージャを使用します。さらに、ファイルマネージャはWebとファイルの表示をサポートします。

ファイルマネージャは、次の方法で開くことができます。

- [コンピュータ] > [Nautilusファイルブラウザ] の順にクリックします。
- デスクトップのホームディレクトリアイコンをダブルクリックします。
- [コンピュータ] > [他のアプリケーション] > [参照] > [ホームフォルダ]、または [Nautilusファイルブラウザ] の順にクリックします。

## 1.6 ファイルマネージャ



Nautilusウィンドウの要素には、次の内容が含まれています。

### メニュー

ほとんどのタスクを実行できます。

### ツールバー

素早くファイル、フォルダを探して、アクセスすることができます。

### 場所ツールバー

ファイル、フォルダ、およびURIサイトを検索できます。

### サイドペイン

選択されたファイルまたはフォルダへの移動や選択したファイルまたはフォルダに関する情報を表示できます。ペインへの表示項目をカスタマイズするには、ドロップダウンリストを使用します。リストには、ファイルに関する情報の表示方法、ファイルに関する操作の実行方法、ファイルへのエンブレムの追加方法、最近訪問したサイトの履歴の表示方法、ツリーでのファイルの表示方法が含まれています。

### 参照ペイン

フォルダとファイルを表示します。参照ペインの内容の大きさを増減したり、項目をリストまたはアイコンで表示するには、**[参照]**メニューのオプションを使用します。

ステータスバー

フォルダ内の項目数と使用可能な空き領域を表示します。 ファイルを選択すると、ステータスバーにファイル名とサイズを表示します。

## 1.5.1 ファイルマネージャナビゲーション ショートカット

ファイルマネージャ内を移動するために、次のようなショートカットが用意されています。

表 1.4 ファイルマネージャナビゲーションショートカット

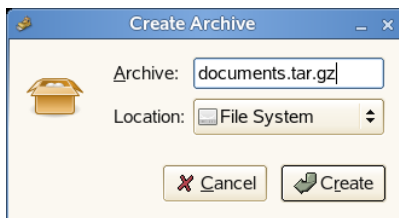
ショートカットキー	説明
← or Alt + ↑	親フォルダを開きます。
↑または↓	項目を選択します。
Alt + ↓, or Enter	項目を開きます。
Shift + Alt + ↓	項目を開いて、現在のフォルダを閉じます。
Shift + Alt + ↑	親フォルダを開いて、現在のフォルダを閉じます。
Shift + Ctrl + W	すべての親フォルダを閉じます。
Ctrl + L	パスまたはURLを指定して場所を開きます。
Alt + Home	ホームディレクトリを開きます。

詳細は、ファイルマネージャで [ヘルプ] > [目次] の順に選択してください。

## 1.5.2 フォルダのアーカイブ

しばらく使用していないがコンピュータに保存したいファイルがある場合は、ファイルをテープアーカイブ(TAR)形式に圧縮できます。

- 1 Nautilus参照ペインでアーカイブするフォルダを右クリックし、*[Create Archive]* をクリックします。



- 2 デフォルトのアーカイブファイル名を使用するか、または新しい名前を入力してください。もっとも一般的なアーカイブ形式のtar.gzを使用してください。
- 3 アーカイブファイルの場所を指定して、*[作成]* をクリックします。

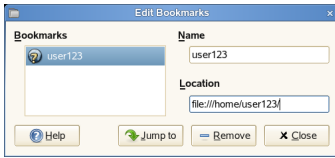
アーカイブファイルを展開するには、ファイルを右クリックして、*[Extract Here]* を選択します。

## 1.5.3 CDまたはDVDの作成

システムにCDまたはDVDの読み込み/書き込みドライブがある場合は、Nautilusファイルマネージャを使用して、CDやDVDを作成できます。

- 1 *[コンピュータ]* > *[他のアプリケーション]* > *[Audio & Video]* > *[GNOME CD/DVD Creator]* の順にクリックするか、または空のディスクを入れて、*[Make Data CD/DVD]* または *[Make Audio CD/DVD]* をクリックします。
- 2 CDまたはDVDに保存するファイルをNautilusの *[CD/DVD Creator]* ウィンドウに配置します。





ブックマークの順番を変更するには、ブックマークをクリックして、目的の場所にドラッグします。

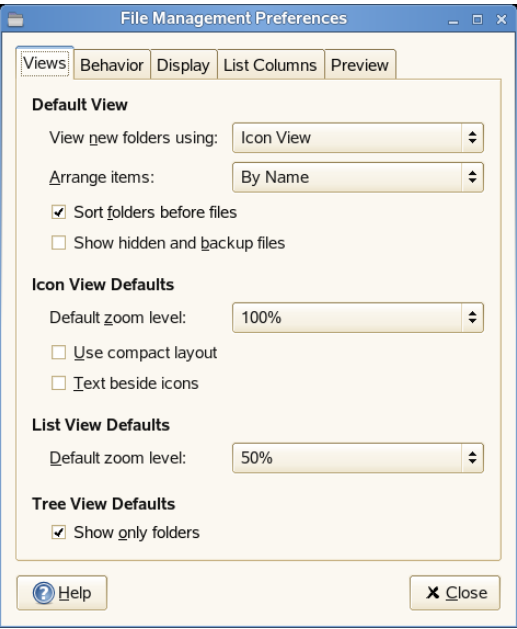
## 1.5.5 ファイルマネージャの設定

ファイルマネージャの設定を変更するには、**[編集]** > **[設定]** の順にクリックします。環境設定情報は、5種類のタブに分類されています。

### ビュー

ファイルマネージャの外観を設定するには、**[編集]** > **[設定]** > **[Views]** の順にクリックします。

 **1.7** ファイルマネージャの [Views] ダイアログボックス



次のオプションを選択します。

**表 1.5** ファイルマネージャの [Views] オプション

セクション	オプション	説明
Default View(デフォルトビュー)	View new folders using	新しいフォルダをアイコンで表示するか、またはリスト表示するかを指定します。
	Arrange items	項目を表示する順序を指定します。項目は、名前、サイズ、種類、更新日、またはエンブレム別に表示することができます。
	Sort folder before files	このフォルダをリストの一番上に配置する場合、このチェックボックスを選択します(デフォルトで選択)。

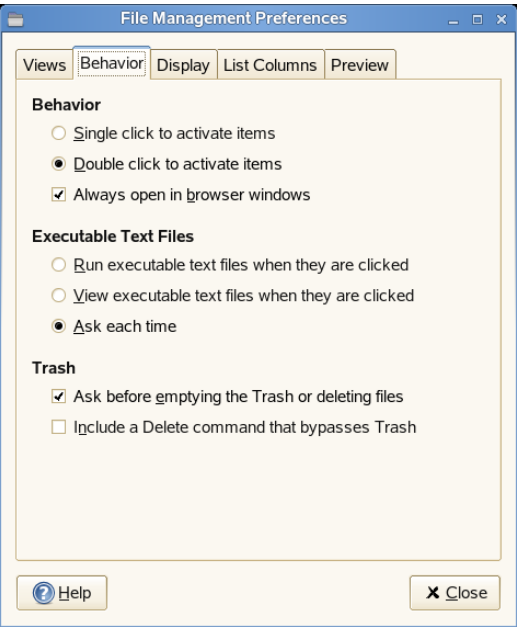
セクション	オプション	説明
	Show hidden and backup files	ディレクトリに、隠しファイルとバックアップファイルを表示します。このチェックボックスの選択を解除すると(デフォルト)、隠しファイルとバックアップファイルは表示されません。
<i>Icon View Defaults</i> (アイコンビューのデフォルト)	Default zoom level	ファイルマネージャに表示する項目のサイズを設定します。
	Use compact layout	複数の項目を接近させて表示します。
	Text beside icons	アイコンの下ではなく隣にキャプションを表示します。
<i>List View Defaults</i> (リストビューのデフォルト)	Default zoom level	リストビューに表示する項目のサイズを指定します。
<i>Tree View Defaults</i> (ツリービューのデフォルト)	Show only folders	選択した場合、左側のペインのツリーにフォルダを表示します。

## 動作

ファイルマネージャの動作を設定する場合は、`[編集] > [設定] > [動作]`の順にクリックします。



 **1.8** ファイルマネージャの [動作] ダイアログボックス



次のオプションを選択します。

**表 1.6** ファイルマネージャの [動作] オプション

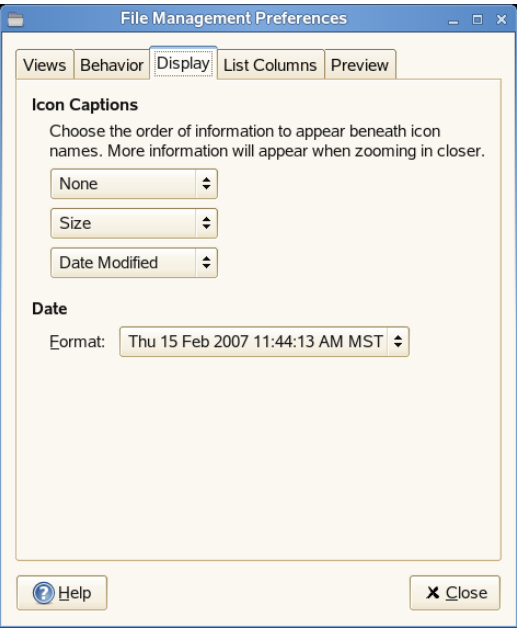
オプション	説明
<i>Single-click to activate items</i>	項目をクリックすると、そのデフォルトアクションを実行します。このオプションを選択して項目をポイントすると、その項目の名前が下線で強調表示されます。
<i>Double-click to activate items</i>	項目をダブルクリックすると、そのデフォルトアクションを実行します。
常にブラウザウィンドウで開く	ファイルマネージャを常にブラウザモードで開きます。

オプション	説明
実行ファイルをクリック時に実行する	実行ファイルをクリックすると、ファイルが実行されます。実行ファイルとは、実行可能なテキストファイルです(シェルスクリプト)。
実行ファイルをクリック時に表示する	実行ファイルをクリックすると、ファイルの内容が表示されます。
<i>Ask each time</i>	実行ファイルをクリックすると、ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスが、ファイルを実行するか表示するか質問します。
<i>Ask before emptying the Trash or deleting files</i>	ごみ箱を空にする前、またはファイルを削除する前に確認メッセージを表示します。
Include a <i>Delete</i> command that bypasses Trash	[削除] メニュー項目を [編集] メニューおよび、ファイル、フォルダ、デスクトップオブジェクトをクリックすると表示されるポップアップメニューに追加します。項目を選択したら、[削除] をクリックすると、この項目はすぐにファイルシステムから削除されます。

## 表示

ファイルマネージャへのアイコンのキャプションと日付の表示方法を設定するには、[編集] > [設定] > [表示] の順にクリックします。

 **1.9** ファイルマネージャの [表示] ダイアログボックス



次のオプションを選択します。

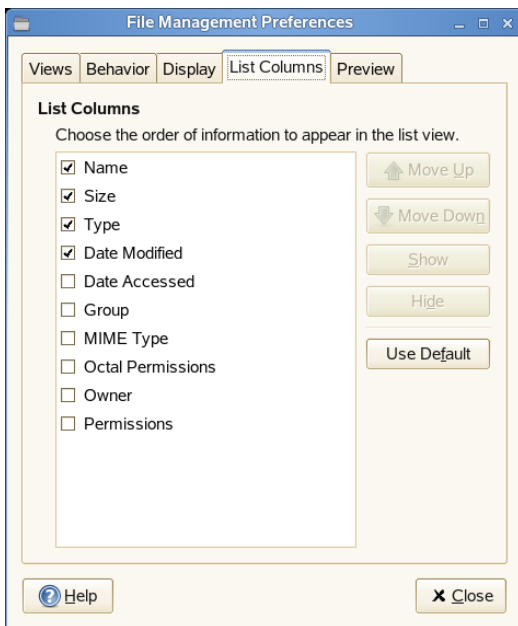
**表 1.7** ファイルマネージャの [表示] オプション

オプション	説明
<i>Icon Captions</i>	アイコン名の下に表示する情報の順序を設定します。3種類の情報タイプを、表示する順番に合わせて設定できます。
(より前(日付))	日付形式を設定します。

## List Columns(列の表示)

ファイルマネージャに表示する列、および表示順序を設定するには、 [編集] > [設定] > [List Columns(列の表示)] の順にクリックします。

**図 1.10** ファイルマネージャの [List Columns(列の表示)] ダイアログボックス

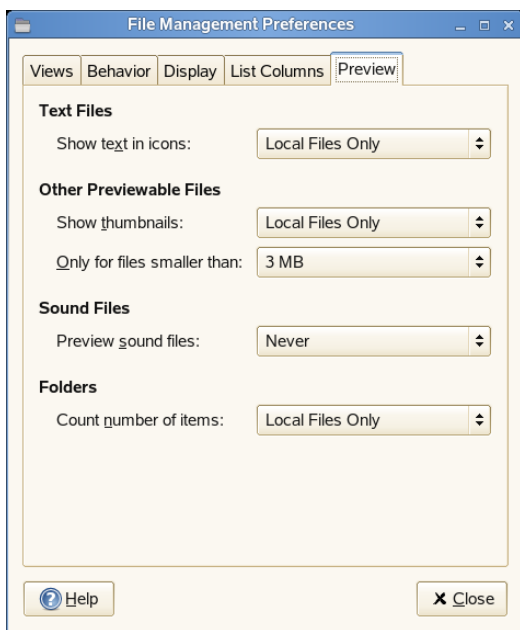


表示する列を選択します。表示順序を変更するには、[上へ] または [下へ] をクリックします。

## Preview(プレビュー)

ファイルマネージャへのファイルプレビューの表示方法、およびフォルダ内の項目数を表示するかどうかを設定するには、[編集] > [設定] > [Preview(プレビュー)] の順にクリックします。

## 図 1.11 ファイルマネージャの [Preview(プレビュー)] ダイアログボックス



次のオプションを選択します。

表 1.8 ファイルマネージャの [Preview(プレビュー)] オプション

オプション	説明
<i>Show text in icons</i>	ファイルを表すアイコンで、テキストファイルの内容をいつプレビューするかを指定します。
<i>Show thumbnails</i>	ファイルを表すアイコンで、イメージのサムネイルをいつ表示するかを指定します。
<i>Only for files smaller than</i>	サムネイルで表すファイルの最大ファイルサイズを指定します。
<i>Preview sound files</i>	サウンドファイルをいつプレビューするかを指定します。

オブション	説明
<i>Count number of items</i>	フォルダ内のファイル数をいつ表示するかを指定します。アイコンビューでは、拡大しないと数を確認できない場合もあります。

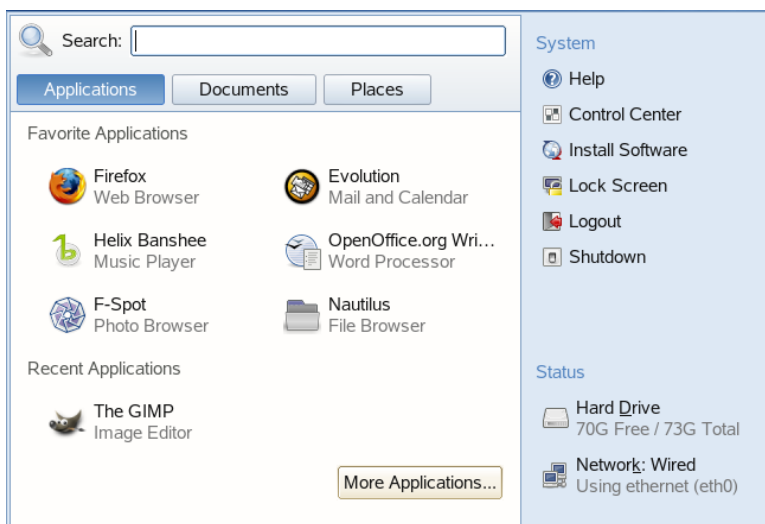
## 1.6 ネットワークリソースへのアクセス

このセクションでは、次のタスクを使用してネットワークリソースにアクセスする方法を説明します。

### 1.6.1 ネットワークに接続

有線接続または無線接続でネットワークに接続できます。ネットワーク接続状況を確認するには、**[コンピュータ]** をクリックします。メインメニューの **[状態]** エリアで、**[ネットワーク接続]** アイコンがネットワーク接続状態を表示します。たとえば、次の図では、コンピュータはイーサネット接続を使用して有線ネットワークに接続されています。

## 図 1.12 メインメニューのネットワーク接続アイコン



このアイコンをクリックすると、IPアドレス、ゲートウェイアドレスなどの、ネットワーク関連情報が取得できます。ネットワークのセットアップ方法を設定したり、ネットワークカードの設定を変更する場合は、**[接続情報]** ダイアログボックスの **[Configure Networking]** (ネットワークの設定) をクリックします。

詳細については、**第11章 ネットワーク接続の管理** (225 ページ) を参照してください。

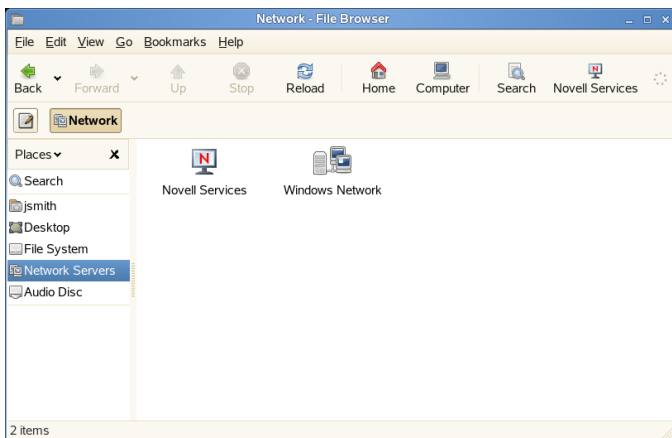
## 1.6.2 ネットワーク共有へのアクセス

ワークステーションやサーバなどの他のネットワークデバイスは、それぞれのリソースの一部またはすべてを共有するようセットアップできます。通常、ファイルとフォルダにはリモートユーザがアクセスできることを示す記号が付いています。これらは、「ネットワークシェア(共有)」と呼ばれます。システムがネットワークシェアにアクセスするように設定されている場合は、Nautilusファイルマネージャを使用してこれらのシェアにアクセスできます。

ネットワークシェアにアクセスするには、デスクトップ上のホームディレクトリアイコンをダブルクリックして、左側のペインの **[ネットワークサーバ]** をクリックします。ウィンドウにアクセスできるネットワークシェアが表示

されます。アクセスしたいネットワークリソースをダブルクリックします。ユーザー名とパスワードを入力してリソースへの承認が求められる場合があります。

### 1.13 ネットワークファイルブラウザ



Novellシェアにアクセスするには、*[Novell Services]* アイコンをダブルクリックします。使用可能なNovellシェアのリストが表示されます。

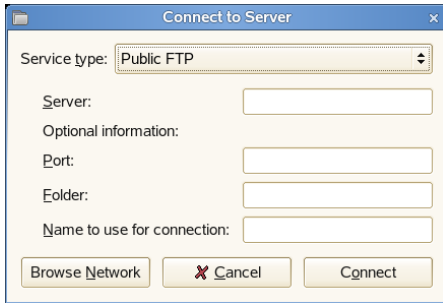
NFSシェアにアクセスするには、*[UNIX Network]* アイコンをダブルクリックします。使用可能なUNIXシェアのリストが表示されます。

Windowsシェアにアクセスするには、*[Windows Network]* アイコンをダブルクリックします。使用可能なWindowsシェアのリストが表示されます。

## ネットワークの場所の追加

- 1 *[コンピュータ]* > *[Nautilusファイルブラウザ]* > *[ファイル]* > *[Connect to Server]* の順にクリックします。





2 サービスタイプを選択し、次にそのサービスタイプに必要な情報を指定します。

3 この接続の名前を指定して、[接続] をクリックします。

ネットワークの場所のアイコンがデスクトップに追加されます。

## 1.6.3 コンピュータからのディレクトリの共有

自分のコンピュータにあるディレクトリをネットワーク上のほかのユーザも使用可能にすることができます。

### 共有を有効

YaSTを使用して、コンピュータで共有を有効にします。共有を有効にするには、ルート権限を持ち、ワークグループまたはドメインのメンバになる必要があります。

- 1 [コンピュータ] > [他のアプリケーション] > [システム] > [YaST] の順にクリックします。
- 2 YaSTでは、[ネットワークサービス] > [Windows ドメインメンバーシップ] の順にクリックします。
- 3 Windows ドメインメンバーシップモジュールで、[ユーザにディレクトリの共有を許可する] をクリックします。

- 4 [完了] をクリックします。

## ディレクトリの共有

ディレクトリの共有をコンピュータで有効にすると、次の手順を使用してディレクトリの共有を設定します。

- 1 ファイルマネージャを開き、共有したいディレクトリを指定します。
- 2 共有したいディレクトリを右クリックして、*[Sharing Options]* をクリックします。



- 3 *[Share this folder]* チェックボックスを選択して、この共有に使用したい名前を入力します。
- 4 他のユーザが共有したディレクトリにファイルをコピーできるようにする場合は、*[Allow other people to write in this folder]* チェックボックスを選択します。
- 5 (オプション)コメントを入力したい場合は、入力します。
- 6 *[共有の作成]* をクリックします。

## 1.7 フロッピーディスク、CD、DVDへのアクセス

フロッピーディスク、CD、DVDにアクセスするには、該当するメディアを適切なドライブに挿入します。多くの場合、リムーバブルメディアをコンピュータに挿入するか接続すると、ファイルマネージャウィンドウが自動的に表示されます。ファイルマネージャが開かない場合は、そのドライブのアイコンをダブルクリックして、内容を表示してください。

---

### 警告

ディスクの使用後は、ドライブからディスクを安易に取り出さないでください。フロッピーディスク、CD、およびDVDは必ず先にシステムからマウント解除しなければなりません。メディアにアクセス中のすべてのファイルマネージャセッションを終了し、メディアのアイコンを右クリックして、メニューから「取り出し」をクリックします。トレイが自動的に開いてから、フロッピーディスクまたはCDを取り出してください。

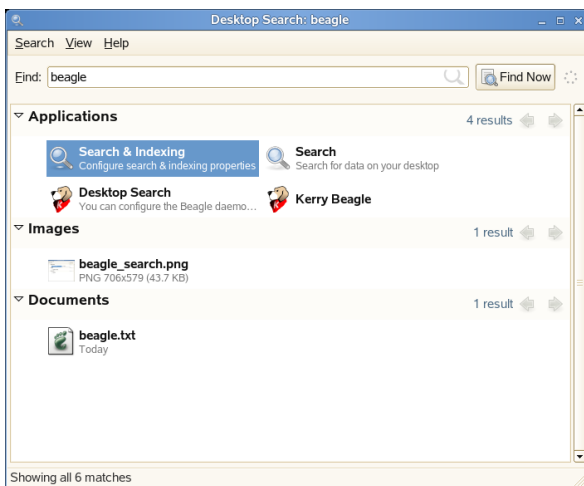
---

フロッピーディスクは、[コンピュータ] > [他のアプリケーション] > [システム] > [Floppy Formatter] の順にクリックしてフォーマットすることもできます。[Floppy Formatter] ダイアログで、フロッピーディスクの密度とファイルシステムの設定を選択します。Linuxで使用する場合は、Linuxネイティブ(ext2)を、Windowsシステムで使用する場合は、DOS(FAT)を指定します。

## 1.8 コンピュータまたはファイルシステム内のデータの検索

GNOMEには、コンピュータやファイルシステム内のデータを検索するためのさまざまな手段が用意されています。Beagle(デスクトップ検索とも呼ばれます)を使用して、個人情報の保管場所(通常はホームフォルダ)から、ドキュメント、電子メール、Web履歴、IM/ITC対話、ソースコード、画像、音楽ファイル、アプリケーションなど、さまざまな情報を簡単に検索できます。

コンピュータ上でファイルを検索するには、[コンピュータ] をクリックし、[検索] フィールドに用語を入力して、**Enter**キーを押します。結果は[デスクトップ検索] ダイアログボックスに表示されます。



結果のリストはファイルを開くのに使用したり、メールで転送したり、ファイルマネージャで表示できます。結果リストの項目を右クリックして、オプションを選択します。項目に対して使用可能なオプションは、ファイルの種類によって異なります。リストのファイルをクリックするとファイルのプレビュー、タイトル、パス、最終修正またはアクセス日などの情報が表示されます。

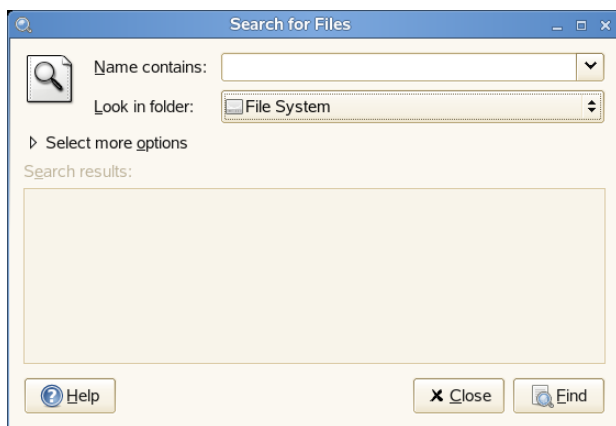
詳細については、[第9章 Beagleを使った検索](#)(209 ページ)を参照してください。

ファイル検索では、ファイルの内容、日付、所有者、またはファイルサイズなど、さまざまな検索条件を使用してコンピュータやファイルシステム内のファイルを検索できます。 ファイルを検索するには、[コンピュータ] > [その他のアプリケーション] > [システム] > [Search for Files] の順にクリックします。

## 1.8.1 ファイルの検索

[システム] メニューの *[Search for File]* を使用すれば、さまざまな検索基準を指定して、コンピュータまたはネットワークシェア上のファイルを検索できます。

図 1.14 *[Search for Files]* ダイアログ



*[Search for Files]* は、UNIXコマンドの *find*、*grep*、および *locate* を使用します。検索では常に、大文字と小文字が区別されます。

また、ターミナルウィンドウに次のコマンドを入力して、*[Search for Files]* ダイアログを表示することもできます。

```
gnome-search-tool
```

### 基本検索の実行

- 1 *[コンピュータ]* > *[その他のアプリケーション]* > *[システム]* > *[Search for Files]* の順にクリックします。
- 2 *[Name contains]* に検索文字列を入力します。

次の表のように、検索文字列にファイル名やファイル名の一部を指定したり、ワイルドカードを使用することができます。

検索文字列	例	結果
ファイル名またはファイル名の一部	myfile .txt	ファイル名に「 <b>myfile.txt</b> 」を含むすべてのファイルを検索します。
ワイルドカードを使ってファイル名の一部を指定 (* [ ])	*.[ch]	ファイル拡張子が.cまたは.hのすべてのファイルを検索します。

**3** *[Look in folder]* フィールドには、ファイルの検索を開始するディレクトリのパスを入力します。

**4** *[検索]* をクリックします。

指定したディレクトリ(およびそのサブディレクトリ)中のファイルが検索され、*[検索結果]* リストに検索結果が表示されます。検索基準に一致するファイルが見つからなかった場合は、メッセージ「No files found」が検索結果リストに表示されます。

## 検索オプションの追加

ファイルを内容、日付、所有者、またはファイルサイズで検索する場合は、*[Show more options]* を使用します。

**1** *[コンピュータ]* > *[その他のアプリケーション]* > *[システム]* > *[Search for Files]* の順にクリックします。

**2** *[Name contains]* に検索文字列を入力します。

**3** *[Look in folder]* フィールドには、ファイルの検索を開始するディレクトリのパスを入力します。

**4** *[Select more options]* をクリックして、次に *[Available options]* をクリックします。

**5** 利用する検索オプションを選択して、*[Add]* をクリックします。

次のオプションを指定できます。

オプション	説明
<i>Contains the text</i>	ファイル名でファイルを検索します。完全なファイル名、またはファイル名の一部をワイルドカードを使って指定します。一連の文字列を表すには、アスタリスク(*)を使用します。任意の1文字を表すには、クエスチョンマーク(?)を使用します。検索では大文字と小文字が区別されます。
<i>Date modified less than</i>	指定された期間(日数)内に変更されたファイルを検索します。
<i>Date modified more than</i>	指定された期間(日数)より前に変更されたファイルを検索します。
<i>Size at least</i>	指定されたサイズ(KB)以上のファイルを検索します。
<i>Size at most</i>	指定されたサイズ(KB)以下のファイルを検索します。
<i>File is empty</i>	空のファイルを検索します。
<i>Owned by user</i>	指定されたユーザが所有しているファイルを検索します。テキストボックスにユーザ名を入力してください。
<i>Owned by group</i>	指定されたグループが所有しているファイルを検索します。テキストボックスにグループ名を入力してください。
<i>Owner is unrecognized</i>	システムが知らないユーザまたはグループが所有しているファイルを検索します。
<i>Name does not contain</i>	入力した文字列を含まないファイル名を検索します。完全なファイル名、またはファイル名の一部をワイルドカードを使って指定します。一連の

オプション	説明
	文字列を表すには、アスタリスク(*)を使用します。任意の1文字を表すには、クエスチョンマーク(?)を使用します。検索では大文字と小文字が区別されます。
<i>Name matches regular expression</i>	ディレクトリパスまたはファイル名に、指定された正規表現を持つファイルを検索します。テキストボックスに正規表現を入力してください。  正規表現は、検索パターンを指定するために使用される特殊文字列です。詳細については、 <a href="http://www.regular-expressions.info">http://www.regular-expressions.info</a> を参照してください。
<i>Show hidden and backup files</i>	隠しファイルとバックアップファイルも検索対象にします。
<i>Follow symbolic links</i>	ファイルの検索時に、シンボリックリンクも検索します。
<i>Include other filesystems</i>	開始ディレクトリと同じファイルシステム内にな いディレクトリも検索します。

**6** 検索オプションに対応した検索情報を指定してください。

**7** 適用する各検索オプションに対して、**ステップ 5** (38 ページ) と **ステップ 6** (40 ページ) を繰り返します。

現在の検索から検索オプションを削除するには、オプションの隣にある **[Remove]** をクリックします。

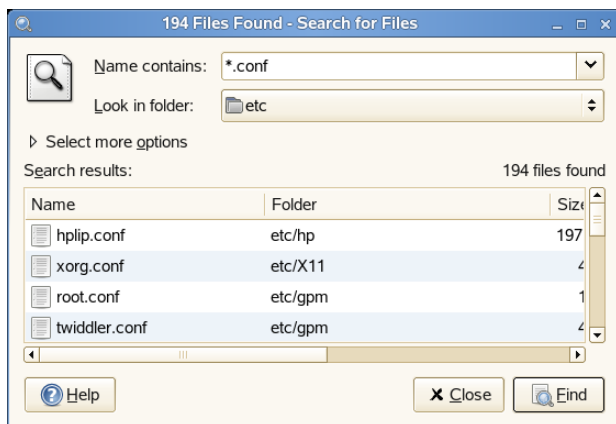
**8** **[検索]** をクリックします。



## 検索結果リストの使用

検索結果リストを使って、見つかったファイルを開いたり、削除したり、検索結果をファイルに保存することができます。

図 1.15 検索結果リスト



検索結果リストに表示されたファイルを開くには、ファイルを右クリックして [開く] をクリックするか、またはファイルをダブルクリックします。検索結果リストに表示されているファイルのあるフォルダを開くには、ファイルを右クリックして [Open Folder] をクリックします。

検索結果リストに表示されているファイルを削除するには、ファイルを右クリックして [ゴミ箱へ移動する] をクリックします。

ファイルの検索で得られた最新の結果を保存するには、検索結果中の任意の場所を右クリックして [Save Results As] をクリックします。検索結果を保存するファイル名を入力して、[保存] をクリックしてください。

## クイック検索を無効にする

[Search for Files] のデフォルトでは、locateコマンドを使って一部の検索の高速化を試みます。locateコマンドは、ファイルの安全なインデックス化によりファイル検索を高速化します。locateコマンドはファイルインデックスを利用しているため、検索結果が最新の情報ではない可能性もあります。

このクイック検索を無効にするには、ターミナルウィンドウで次のコマンドを実行してください。

```
# gconftool-2 --type=bool --set  
/apps/gnome-search-tool/disable_quick_search 1
```

## 1.9 アプリケーション間のテキストの移動

アプリケーション間でテキストをコピーするには、テキストを選択して、コピーしたい場所までマウスカーソルを移動します。マウスの中央のボタンをクリックするか、ホイールスクロールをクリックしてテキストをコピーします。

プログラム間で情報をコピーする場合、ソースプログラムを開いたままにしてテキストを貼り付け、その後プログラムを閉じます。プログラムが終了すると、そのアプリケーションからコピーしたクリップボードにある内容が失われます。

## 1.10 インターネットの探索

GNOMEデスクトップには、Mozilla\*ベースのFirefoxブラウザが含まれています。[コンピュータ] > [Firefox] の順にクリックすると、このブラウザを起動できます。

別のWebブラウザと同じように、上にある場所ツールバーにアドレスを入力するか、ページにあるリンクをクリックして、別のページに移動できます。

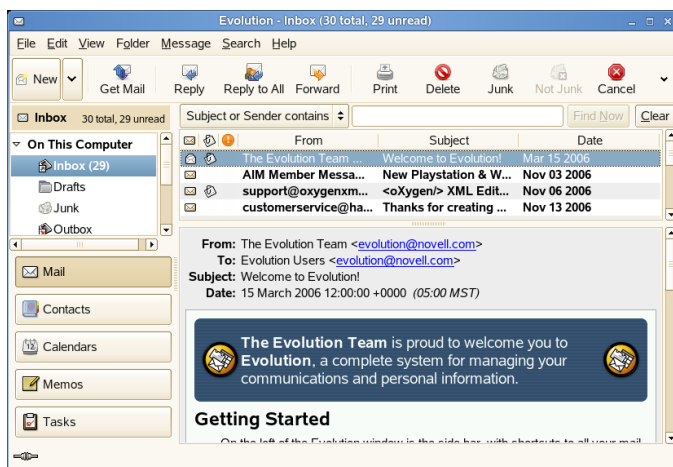
詳細については、[第12章 \*Firefox\*を使用したブラウジング](#) (235 ページ) を参照してください。

## 1.11 電子メールとスケジューリング

メールやイベントを参照、管理するために、SUSE Linux Enterprise Desktopには個人情報の保管、編成、取り出しを簡単に行えるグループウェアプログラムのNovell Evolution™、および安全なメッセージング、カレンダーリング、スケジューリング、およびインスタントメッセージングを提供するクロスプラットフォームの企業電子メールシステムであるGroupWise® Clientが用意されています。

### 1.11.1 Evolution

Evolutionは電子メール、カレンダー、アドレス帳、およびタスクリストを、単一の使いやすいアプリケーションにシームレスに組み込むことができます。通信とデータ交換のさまざまな標準に幅広く対応しているため、EvolutionはMicrosoft\* Exchangeを含めた、既存の社内ネットワークやアプリケーションと連携することができます。



Evolutionを開始するには、[コンピュータ] >> [その他のアプリケーション] > [Evolution Mail and Calendar] の順にクリックします。

初めてEvolutionを起動すると、メールアカウントをセットアップして、古いメールアカウントからのインポートをサポートする質問に回答するように求められます。次に、新着メールの件数を表示し、今後の予定とタスク、および

ニュースフィードから現在の天候とニュースを一覧表示します。カレンダー、アドレス帳、メールツールは左のショートカットバーから使用できます。

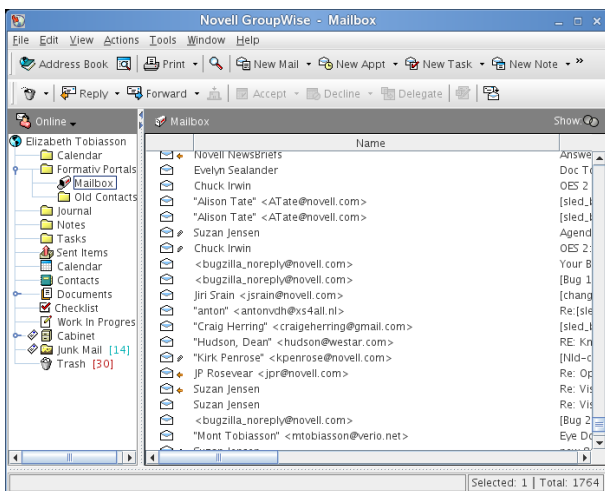
作業中の**Evolution**内の新規項目を開くには、**Ctrl + N**を押します。メールの場合、このキーを押すと新しいメッセージが作成されます。アドレス帳の場合は、**Ctrl + N**を押すと新しい連絡先カードが作成されます。カレンダーの場合は、**Ctrl + N**で新しいアポイントが作成されます。

詳細については、**第4章 Evolution: 電子メールと カレンダーリング**(149 ページ)を参照してください。

## 1.11.2 GroupWise

GroupWiseは、ユニバーサルメールボックスにいつでもどこでも接続できる、堅牢で信頼性のあるメッセージングおよびコラボレーションシステムです。SUSE Linux Enterprise Desktopには、GroupWise 7.0.2 Cross-Platform Client for Linuxも含まれています。

デフォルトでは、GroupWiseはインストールされていません。YaSTのソフトウェア管理機能を使って、`novell-groupwise-gwclient`パッケージをインストールしてください。次に、**[コンピュータ] > [その他のアプリケーション] > [通信] > [GroupWise]**の順にクリックすると、GroupWiseクライアントが表示されます。



GroupWiseにおける主な作業領域は、メインウィンドウです。GroupWiseのメインウィンドウからは、メッセージを読む、アポイントの入力、カレンダーの表示、連絡先の管理、GroupWise起動モード変更、フォルダやドキュメントを開くことなどが可能です。

GroupWiseの使い方の詳細については、GroupWise Clientの [ヘルプ] > [ユーザガイド] の順にクリックしてください。

## 1.12 OpenOffice.orgでのドキュメントのオープンまたは作成

ドキュメントの作成と編集のために、GNOMEデスクトップと一緒にOpenOffice.orgがインストールされています。OpenOffice.orgはすべてが揃ったオフィスツールで、Microsoft Officeファイルを読み込んだり、Microsoft Office形式でファイルを保存することができます。OpenOffice.orgには、ワードプロセッサ、表計算、データベース、描画ツール、プレゼンテーションプログラムが搭載されています。このツールを使用するには、[コンピュータ] > [OpenOffice.org Writer] の順にクリックするか、[コンピュータ] > [その他のアプリケーション] > [オフィス] の順にクリックしてOpenOffice.orgモジュールを選択し、目的のモジュールを選択して開きます。

OpenOffice.orgには、多くのサンプル文書とテンプレートが含まれています。[ファイル] > [新規] > [テンプレートと文書] の順にクリックして、テンプレートにアクセスできます。また、レターや他の定型文書の作成の手順を説明するウィザードを使用することができます。

OpenOffice.orgの詳しい説明については、「[第3章 OpenOffice.org オフィススイート](#) (113 ページ)」を参照するか、任意のOpenOffice.orgプログラムのヘルプを参照してください。

## 1.13 スクリーンショットを撮る

次のいずれかの方法で、画面や各アプリケーションウィンドウのスナップショットを取得することができます。

任意のパネルから

任意のパネルに、`[Take Screenshot]` ボタンを追加することができます。この方法については、[1.3.4項「アプレットとアプリケーションをパネルに追加」](#) (10 ページ)を参照してください。`[Take Screenshot]` ボタンを追加したら、それをクリックして、デスクトップ全体のスナップショットを撮ることができます。

ショートカットキーの使用

`[Print Screen]` ボタンを押すと、デスクトップ全体のスナップショットを取得できます。`Alt + [Print Screen]` を押すと、現在アクティブになっているウィンドウまたはダイアログのスナップショットが取得されます。

アプリケーションブラウザから

`[コンピュータ]` > `[その他のアプリケーション]` > `[システム]` > `[Take Screenshot]` の順にクリックします。

ターミナルから

`gnome-panel-screenshot` コマンドを実行してスナップショットを取得することができます。このコマンドは、画面全体のスナップショットを取得して、`[Save Screenshot]` ダイアログボックスに表示します。このダイアログボックスから、スナップショットを保存することができます。

`gnome-panel-screenshot` コマンドでは、次のオプションを指定することができます。

`--ウィンドウ:`

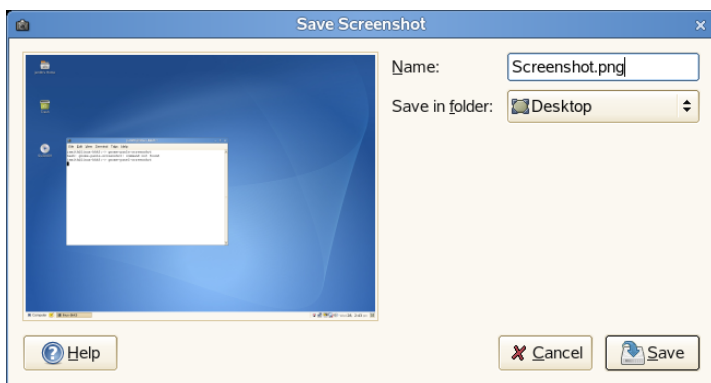
現在アクティブなウィンドウのスナップショットを取得します。

`--delay=秒数:`

指定した秒数の経過後にスクリーンショットを取得し、`[Save Screenshot]` ダイアログボックスに表示します。

スクリーンショットを取得すると、`[Save Screenshot]` ダイアログボックスが表示されます。スクリーンショットをイメージファイルとして保存するには、スクリーンショットのファイル名を入力して、ドロップダウンリストから保存先を選択します。

## ☒ 1.16 [Save Screenshot] ダイアログボックス

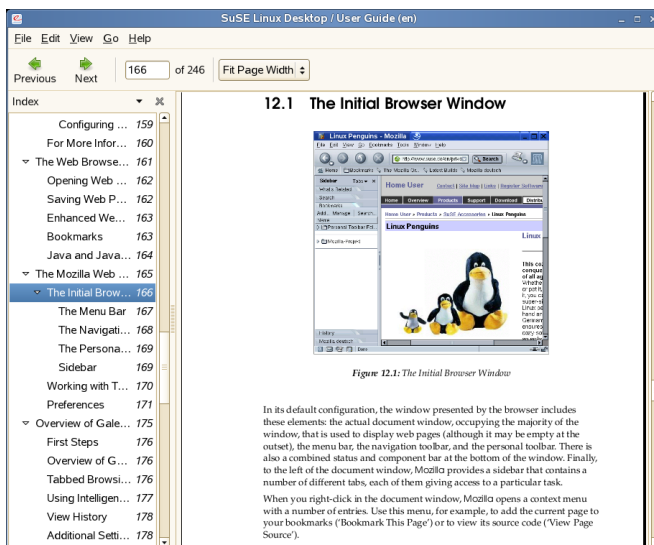


また、GIMPを使用して、スクリーンショットを撮ることもできます。GIMPで、[File] > [Acquire] > [Screen Shot] の順にクリックして、[a Single Window] または [the Whole Screen] を選択します。次に、[Grab] をクリックしてください。

## 1.14 PDFファイルの表示

プラットフォーム間で共有したり、印刷する必要があるドキュメントは、PDF(Portable Document Format)ファイルとして保存できます。SUSE Linux Enterprise Desktopには、EvinceやAdobe\* Acrobat\* Readerなどの、さまざまなPDFビューアが同梱されています。

- 1 [コンピュータ] > [More Applications] > [オフィス]の順にクリックします。
- 2 [Acrobat Reader] または [Evince] を選択します。
- 3 PDFファイルを表示するには、[ファイル] > [開く] をクリックして、目的のPDFファイルを探し、[開く] をクリックします。



- 4 このウィンドウの上部にあるナビゲーションアイコンを使って、ドキュメント内を移動します。PDFドキュメントにブックマークが提供されている場合は、ビューアの左側のパネルでアクセスできます。

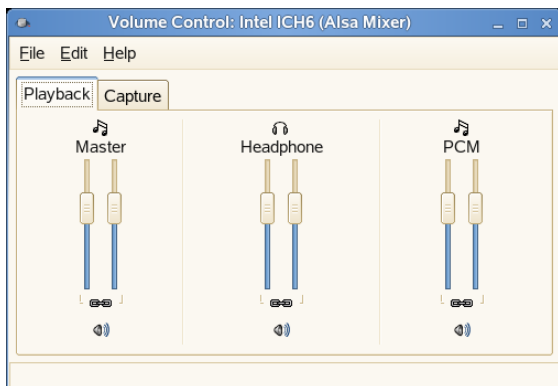
## 1.15 サウンドの制御

YaSTは自動的に、お使いのコンピュータのサウンドカードを識別、環境設定します。YaSTハードウェアモジュールを使って、サウンドカードを手動設定することもできます。サウンドカードを設定した後は、GNOMEボリュームコントロールミキサーを使ってサウンドのボリュームやバランスを調整できます。

デスクトップのパネルにミキサーアイコン(スピーカーの形)が表示されていない場合は、**Alt+F2**キーを押してから`gnome-volume-control`と入力するか、または **[コンピュータ] > 他のアプリケーション] > [Audio & Video] > [Volume Control]** の順にクリックします。



## 図 1.17 [GNOME Volume Control] ダイアログボックス



[GNOME Volume Control] ダイアログボックスには、次の項目があります。

### メニューバー

メニューバーには、GNOME Volume Controlで作業を行うために必要な、すべてのコマンドが用意されています。

### ディスプレイエリア

さまざまなミキサー用のチャンネルフェーダーおよび関連オプションが用意されています。これらのオプションを使って、ミキサーのボリュームを調整できます。

---

### 注意

GNOME Volume Controlは、ご利用のサウンドカードがサポートしている機能に基づいて、ディスプレイエリアを動的に構成します。そのため、GNOME Volume Controlに表示されるミキサーが、図 1.17. 「[GNOME Volume Control] ダイアログボックス」 (49 ページ)と異なる場合もあります。

---

ボリュームを大きくするには、フェーダーのスライドを上に移動します。ボリュームを小さくするには、フェーダーのスライドを下に移動します。左右のミキサーチャンネルを両方ともロックするには、ミキサーの [ロック] オプションを選択します。ミキサーチャンネルをロックすると、両方のフェーダーが同期化されます。ミキサーの音をミュートするには、ミキサーの [ミュート] オプションを選択します。ミュートしたチャンネルのフェーダーを調整すると、そのミキサーの [ミュート] オプションが解除されます。

録音オプションのある任意のミキサーを、録音ソースにすることができます。録音ソースを指定するには、該当するミキサーの録音オプションを選択します。

## 1.16 ソフトウェアパッケージとアップデートの管理

ZENworks®ツールは、ZENworks管理デーモン(zmd)のフロントエンドとしての役割を果たし、ソフトウェアのインストールと削除、セキュリティアップデートの適用、およびサービスとカタログの管理などを簡単に行うことができます。

### 1.16.1 パーミッションの取得

Linuxシステムのパッケージを管理するには、root権限が必要です。Software Updaterとrug(パッケージのインストール/アップデート用の新しいコマンドラインツール)には、ソフトウェアアップデートをインストールするための独自のユーザ管理システムが用意されています。ZENツールで特別な権限を必要とする操作を実行しようとする、最初はrootパスワードの入力が要求されます。パスワードが確認されると、Software Updaterはそのユーザのアカウントにアップデートパーミッションを与えて、ユーザ管理システムに登録します。これらの設定を確認、変更するには、ユーザ管理コマンドrugを使用します。

詳細は、『*SUSE Linux Enterprise Desktop Deployment Guide*』の「rug User Management [[http://www.novell.com/documentation/sled10/sled\\_deployment/data/sec\\_yast\\_ncurses\\_you2.html](http://www.novell.com/documentation/sled10/sled_deployment/data/sec_yast_ncurses_you2.html)]」を参照してください。

### 1.16.2 ソフトウェアアップデートの入手とインストール

Software Updaterは、パネルの通知領域に、地球儀の形をしたアイコンで表示されます。アイコンは、ネットワーク接続状態やアップデートの有無によっ

て色や外観が変わります。Software Updaterは、1日1回システムに適用できるアップデートがあるかどうかを自動的にチェックします(手動チェックする場合は、アプリケーションアイコンを右クリックして **[更新]** をクリックしてください)。利用できるアップデートがあった場合は、パネル内のSoftware Updaterアプレットが地球儀の形から、オレンジ色の背景の感嘆符に変わります。

パネルのアイコンを左クリックすると、アップデートウィンドウが表示されます。パッチと新しいバージョンのパッケージが表示されます(ある場合)。各項目には簡単な説明と、カテゴリアイコン(ある場合)が表示されます。セキュリティパッチには、黄色の盾の形をしたマークが付けられます。オプションのパッチには、明るい青色の円が付けられています。推奨するパッチには、アイコンがありません。一番最初にセキュリティパッチ、次に推奨するパッチ、オプションパッチ、そして新しいバージョンのパッケージの順に表示されます。表示するパッケージをフィルタリングするには、 **[すべて]**、 **[パッチ]**、および **[パッチ]** を使用します。

---

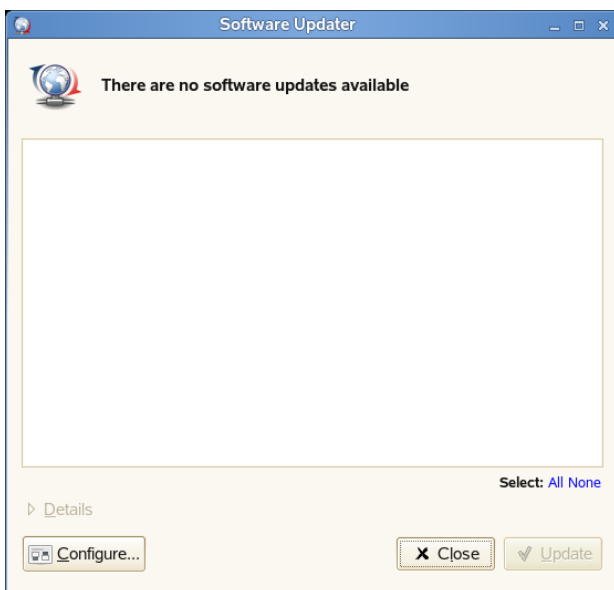
## 注意

Novellから公式にリリースされたアップデートは、パッチとして表示されます。他のソースから提供された新しいバージョンのパッケージは、パッケージとして表示されます。

---

特定の項目に関する詳細を表示するには、項目を選択してからリストウィンドウの下にある **[詳細]** リンクをクリックします。インストールする項目を選択するには、該当する項目のチェックボックスを選択します。すべてのパッチを選択、または選択解除する場合は、 **[すべて]** または **[なし]** リンクを使用します。 **[アップデート]** をクリックすると、選択したプログラムがインストールされます。

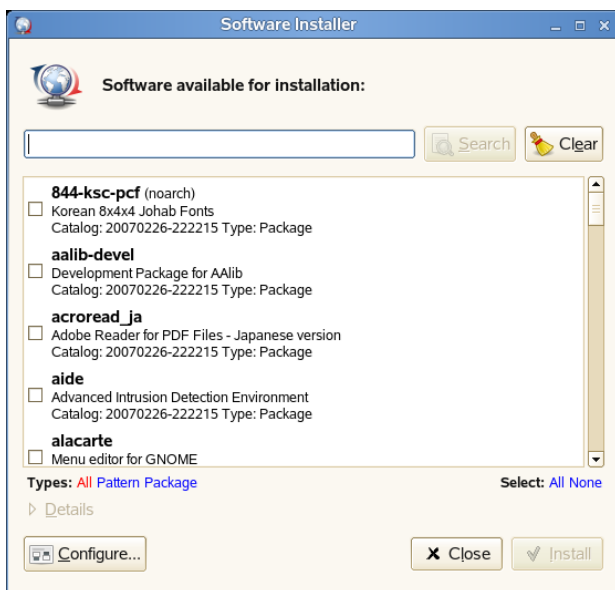
## ☒ 1.18 Software Updater



### 1.16.3 ソフトウェアのインストール

ソフトウェアパッケージをインストールするには、[コンピュータ] > [ソフトウェアのインストール] の順にクリックするか、またはターミナルから `zen-installer` と入力します。このインタフェースは **Software Updater** とほとんど同じですが、パッケージを検索したり、リストをフィルタリングするための検索パネルが違います。

## ☒ 1.19 ソフトウェアインストーラ

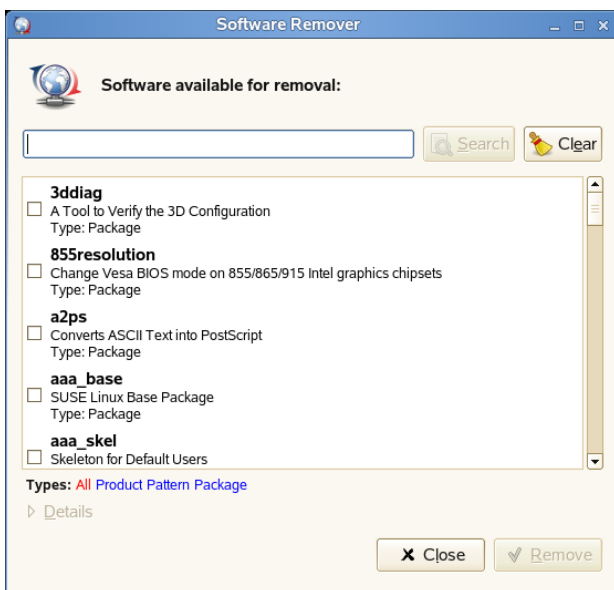


インストールするパッケージを選択したら、[インストール] をクリックすると、パッケージのインストールが開始されます。他のパッケージとの依存関係は、自動的に解決されます。

## 1.16.4 ソフトウェアの削除

ソフトウェアパッケージを削除するには、[コンピュータ] > [その他のアプリケーション] > システム > [Remove Software] の順にクリックするか、またはターミナルから `zen-remover` と入力します。

## ☒ 1.20 Software Remover



パッケージの表示内容を絞り込むには、[\[製品\]](#)、[\[パターン\]](#)、[\[パッケージ\]](#)、および [\[パッチ\]](#) リンクを使用します。削除するパッケージを選択したら、[\[削除\]](#) をクリックすると、パッケージのアンインストールが開始されます。選択したパッケージに他のパッケージが依存している場合は、それらのパッケージもアンインストールされます。これらのパッケージを削除することを確認する必要があります。確認のダイアログで [\[キャンセル\]](#) をクリックすると、アンインストールされるパッケージはありません。

## 1.16.5 Software Updaterの設定

ZENworksツールを設定するには、[\[Software Updater\]](#) ウィンドウで [\[設定\]](#) をクリックします。ダイアログに3つのタブが表示されます。

- サービス
- カタログ
- 初期設定

## サービス

サービスは、ソフトウェアパッケージとその情報を提供する基本的なソースです。各サービスは、1つまたは複数のカタログを提供することができます。

[サービス] タブには、利用できるすべてのサービスと、そのタイプ、ステータス情報が表示されます(後の2つの情報が見えない場合は、ウィンドウサイズを調整してください)。サービスを追加、削除するには、[サービスの削除] または [サービスの追加] を使用します。次のサービスタイプを利用できます。

### YUM

パッケージデータにRPM-MD形式を使用するHTTP、HTTPS、またはFTPサーバ。

### ZYPP

ZYPPサービスは、YaSTで [ソフトウェア] > [インストールソース] の順に選択して追加された、YaSTインストールソースです。インストールソースを追加するには、Software UpdaterまたはYaSTを使用します。最初にインストールしたソース(通常はDVDまたはCDROMから)は事前設定されています。このソースを削除、または変更した場合は、それを他の有効なインストールソース(ZYPPサービス)と置換してください。そうしないと、新しいソフトウェアをインストールできません。

---

### 注意

「YaSTインストールソース」、 「YaSTパッケージリポジトリ」、および「ZYPPサービス」は同じで、ここからソフトウェアをインストールできます。

---

### マウント

マウントにより、コンピュータにマウントされているディレクトリを埋め込むことができます。この機能は、たとえば、定期的にNovell YUMサーバのミラーリングを行い、その内容をローカルネットワークにエクスポートするようなネットワーク環境で役立ちます。ディレクトリを追加するには、[サービスURI] にディレクトリへのフルパスを入力してください。

### NU

NUは、Novellアップデート(Novell Update)の省略形です。Novellは、SUSE Linux Enterpriseのアップデートを、NUサービスとして提供しています。

インストール時にアップデートの設定を行った場合、リストに公式のNovell NUサーバが表示されます。

インストール時にアップデートの設定を省略した場合は、ターミナルから `suse_register` コマンドを実行するか、またはYaSTで `root` として > [ソフトウェア] [製品の登録] の順にクリックします。Software Updaterには、Novell Updateサーバが自動的に追加されます。

## RCEとZENworks

Opencarpet、Red Carpet Enterprise、またはZENworksサービスは、内部ネットワーク内でこれらのサービスが設定されている場合にのみ利用できます。たとえば、所属組織が単一のサーバからアップデートを配布するサードパーティ製のソフトウェアを利用している場合、これらのサービスは利用できません。

SUSE Linux Enterprise Desktopをインストールすると、2種類のサービスが事前設定されます。ZYPPサービスとしてのインストールソース(DVD、CD-ROM、またはネットワークリソース)、およびサービスとしてのSUSE Linux Enterprise アップデートサーバ(製品登録時に追加される)です。通常、これらの設定を変更する必要はありません。これらのサービスが表示されない場合は、ターミナルから `root` として `suse_register` コマンドを実行してください。サービスが自動的に追加されます。

## カタログ

サービスは、異なるバージョンのさまざまなソフトウェアに対するパッケージを提供できます(一般的にはRCEまたはZENworksサービスが提供します)。これらのパッケージは、カタログと呼ばれるカテゴリ別に分類されています。カタログに登録または登録解除するには、該当するカタログの隣にあるチェックボックスを選択または選択解除してください。

現時点では、SUSE Linux サービス(YUMとZYPP)は、別のカタログは提供していません。各サービスとも1つのカタログしかありません。インストール時、または `suse_register` でSoftware Updaterを設定した場合は、自動的にYUMおよびZYPPカタログに登録されます。手作業でサービスを追加した場合は、カタログを自分で登録する必要があります。



---

## 警告

カタログからパッケージをインストールするには、このカタログに登録していなければなりません。カタログの登録を解除した場合、そのカタログ内のパッケージはリストに表示されますが、それをインストールすることはできません。

---

## 初期設定

〔初期設定〕タブで、スタートアップ時にSoftware Updaterを起動するかどうかを指定します。rootユーザは、Software Updater設定を変更することもできます。権限のないユーザは、設定を表示することしかできません。設定に関する説明は、rugのマニュアルページを参照してください。

## 1.17 その他の便利なプログラム

すでに説明したプログラムの他に、パネルに追加できるアプレットのように、システムには追加プログラムがあります。これらは、アプリケーションブラウザのカテゴリ内に収納されています。これらのプログラムにアクセスするには、〔コンピュータ〕 > 〔他のアプリケーション〕の順にクリックして、アプリケーションブラウザを開き、カテゴリを参照してどのアプリケーションが使用可能か確認します。カテゴリには次の項目が含まれます。

表 1.9 アプリケーション

カテゴリ	プログラムの種類
アプリケーション	ファイルの参照を行うためのアプリケーション
オーディオ&ビデオ	音楽プレーヤー、CDデータベース、ビデオエディタ、CDとDVDバーナー、音量調節、その他のオーディオとビデオアプリケーション
参照	インターネットとコンピュータのファイルシステムを検索するためのアプリケーション

カテゴリ	プログラムの種類
通信	電子メール、インスタントメッセージング、ビデオカンファランス、その他の通信用ツール
ゲーム	カードゲーム、arcade favorite、パズル
イメージ	イメージビューアとエディタ、描画プログラム、フォトブラウザ、スキャンプログラム
電話(オフィス)	ワードプロセッサ、テキストエディタ、表計算、プレゼンテーションソフトウェア、データベースソフトウェア、プロジェクト管理ユーティリティ、PDFリーダー、個人情報マネージャ、カレンダー
システム	システムの設定、管理を行うアプリケーション
ツール	システムのカスタム化、検索設定、計算機、その他のツール
その他	システムに追加した新しいアプリケーション、およびSUSEヘルプセンター

本ガイドの次の章で、最もよく使用されるアプリケーションの一部について説明します。

## 設定のカスタマイズ

自分の個人的な好みや必要に応じて、GNOMEデスクトップの見かけや動作を変更できます。次のような設定が変更できます。

- キーボードとマウスの設定(「[2.2.1項「キーボードの初期設定の変更」](#) (62 ページ)」および「[2.2.2項「マウスの設定」](#) (64 ページ)」に記載)
- デスクトップの背景(「[2.3.1項「デスクトップの背景の変更」](#) (67 ページ)」に記載)
- スクリーンセーバー(「[2.3.5項「スクリーンセーバの設定」](#) (85 ページ)」に記載)
- パスワード(「[2.4.3項「パスワードを変更する」](#) (94 ページ)」に記載)
- サウンド(「[2.5.9項「サウンド環境設定の実行」](#) (107 ページ)」に記載)

これらの設定やその他の設定はコントロールセンターで変更できます。

## 2.1 コントロールセンター

コントロールセンターにアクセスするには [コンピュータ] > [コントロールセンター] をクリックします。コントロールセンターは次の4つのカテゴリに分かれています。

### ハードウェア

グラフィックカード、モニタ、プリンタ、キーボードレイアウトなど、ハードウェアコンポーネントを設定し、ネットワークデバイスを設定し、ネットワーク接続を設定できます。詳細については、[2.2項「ハードウェア設定の設定」](#) (62 ページ)を参照してください。

### 外観

デスクトップの背景、スクリーンセーバー、およびデスクトップに表示するフォントに関する設定があります。テーマ、ウィンドウの動作、およびメニュー、スクロールバーなどのデスクトップ要素のスタイルを変更することができます。ここでは、3Dデスクトップ効果(Xgl)も設定できます。詳細については、[2.3項「外観」](#) (66 ページ)を参照してください。

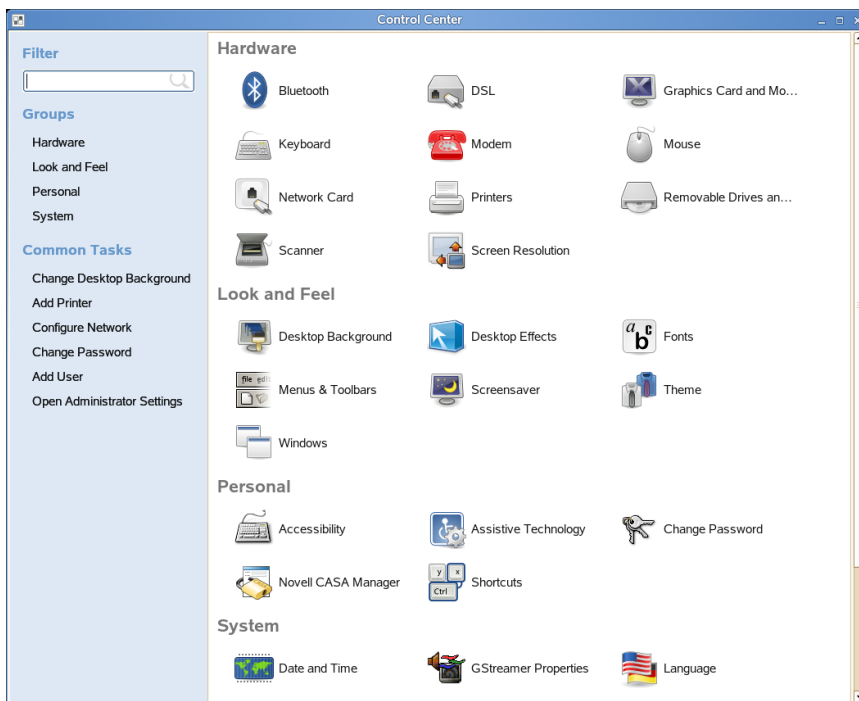
### 個人用

ここでは、ログインパスワードを変更したり、キーボードショートカットまたはキーボードアクセス補助設定を設定したりします。詳細については、[2.4項「個人用」](#) (90 ページ)を参照してください。

### システム

日付と時刻、言語、サウンド、電源管理などのシステム設定を設定できます。GNOMEでログインまたはシャットダウンのセッションを処理する方法を定義し、Beagle検索設定を変更します。詳細については、[2.5項「システム」](#) (98 ページ)を参照してください。

## 図 2.1 GNOMEコントロールセンター



システム全体の設定を変更するため、コントロールセンターではルートパスワードを入力してYaSTを起動するように要求されます。これは、ハードウェア、グラフィカルユーザインタフェース、インターネットアクセス、セキュリティ設定、ユーザ管理、ソフトウェアのインストール、システムアップデートおよび情報などの管理者設定が当てはまります。YaSTの指示に従ってこれらの設定を設定します。詳細は、統合YaSTヘルプテキストを参照するか、または『SUSE Linux Enterprise Desktop *Deployment Guide*』の「*System Configuration with YaST*」を参照してください。

---

### 注意: YaST GtkとQtフロントエンド

システムにインストールされているデスクトップに応じて、YaSTには2つのフロントエンドが用意されています。デフォルトで、YaST gtkフロントエンドがGNOMEデスクトップで実行され、YaST qtフロントエンドがもう1つのデスクトップで実行されます。これは/sbin/yast2のWANT\_UIパラメータで定義されます。

gtkフロントエンドの機能はマニュアルで説明されているqtフロントエンドと非常によく似ています。例外はgtkソフトウェア管理モジュールで、これはqtポートと大きく異なります。

---

この章では、GNOMEコントロールセンターで直接(YaSTを使わずに)変更できる、個々の設定について説明します。

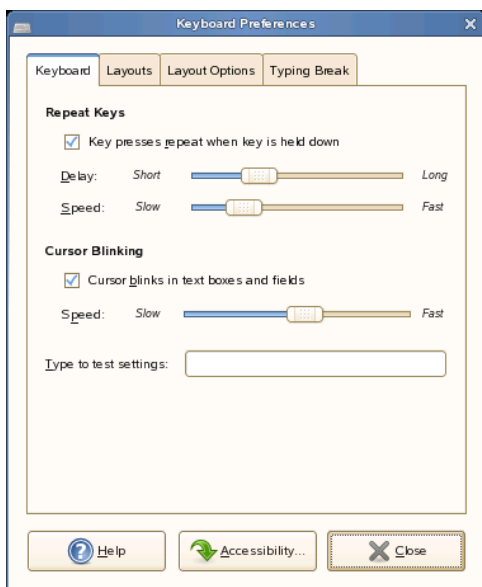
## 2.2 ハードウェア設定の設定

以下のセクションでは、キーボードやマウスの初期設定などのGNOMEデスクトップのハードウェア部分を設定し、リムーバブルドライブおよびメディア、画面解像度を処理する例を紹介します。

### 2.2.1 キーボードの初期設定の変更

自動繰り返しの初期設定または入力中断セッションなどのキーボード設定の一部を変更するには、[コンピュータ] > [コントロールセンター] > [ハードウェア] > [キーボード] をクリックします。

## ☒ 2.2 [Keyboard Preferences] ダイアログ



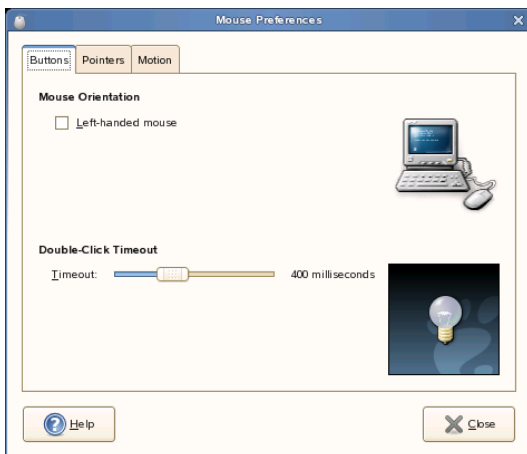
- 1 [Keyboard] タブで、個別の遅延を伴うキーボードの繰り返し入力の有効化と速度オプション、カーソルの点滅の有効化と無効化、速度の定義など、一般的なキーボード設定の一部を設定できます。それぞれのオプションの詳細については、[Help] をクリックしてください。
- 2 キーボードモデルを選択するには、[Layouts] タブをクリックしてから、[参照] ボタンをクリックしてリストからモデルを選択します。
- 3 新しい言語レイアウトを追加するには、[Add] をクリックしてリストに追加する言語レイアウトを選択します。さまざまなロケールに合わせて異なったレイアウトを選択できます。デフォルトとしてレイアウトを1つ選択します。
- 4 [入力休憩] タブで、入力中断の初期設定を設定できます。それぞれのオプションの詳細については、[Help] をクリックしてください。
- 5 すべてのオプションが希望どおりに設定されたら、[閉じる] をクリックします。

[アクセス補助] ボタンをクリックすると、[Keyboard Accessibility Preference] ツールが開きます。このツールについての詳細は、「[2.4.1項「キーボードのアクセス補助設定の実行」](#) (90 ページ)」を参照してください。

## 2.2.2 マウスの設定

マウスオプションを変更するには、[コンピュータ] > [コントロールパネル] > [ハードウェア] > [マウス] をクリックして、[マウスの初期設定] を開きます。

図 2.3 [マウスの初期設定] ダイアログ



- 1 [ボタン] タブを使用して、マウスボタンを左利き用に設定するかどうかを指定します。ダブルクリックのクリックとクリックの間の遅延も指定できます。
- 2 別のカーソルテーマを選択するには、[カーソル] タブに切り替えます。ここで、Ctrlを押して放したときのマウスポインタのアニメーションを有効にできます。この機能は、マウスポインタの位置を探すのに便利です。
- 3 [動作] タブで、マウスポインタの [アクセラレーション] と [感度] を定義します。アクションがドラッグアンドドロップであるとみなされる条件として、ポインタを使った項目の移動距離を変更できます。

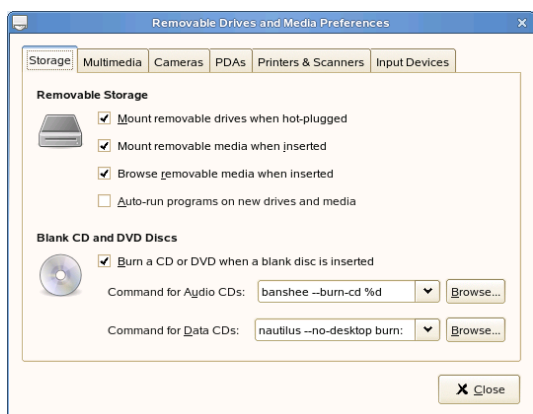


- 4 すべてのオプションが希望どおりに設定されたら、[閉じる] をクリックします。

## 2.2.3 リムーバブルドライブとメディアの設定

ストレージデバイス、カメラ、スキャナなどを含めた幅広いリムーバブルディスクおよびメディアを利用できます。これらのデバイスの環境設定は、インストール時に自動的に設定されます。ドライブまたはその他のリムーバブルディスクの設定を変更するには、[コンピュータ] > [コントロールセンター] > [ハードウェア] > [Removable Drives and Media] をクリックします。

図 2.4 リムーバブルドライブとメディアの初期設定



次のような設定が変更できます。

- ブランクCDをCDドライブに挿入したときの動作
- オーディオCDをドライブに挿入したときの動作
- デジタルカメラをコンピュータに接続したときに、画像を自動的にインポートするか
- コンピュータに接続したときにリムーバブルストレージデバイスをマウントするか

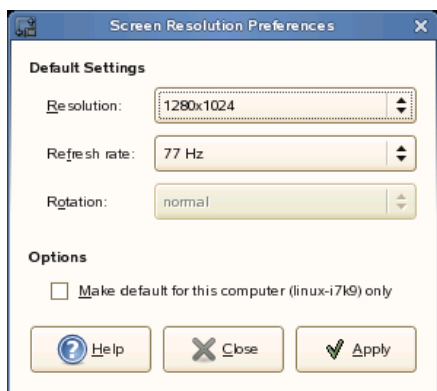
- コンピュータに接続したときに、PDAを自動的に同期させるか

通常、デバイスを接続したときの動作を変更したり、設定されていないデバイスを接続するとき以外、既に設定されている内容を変更する必要はありません。デバイスを初めて接続するときや、デバイスが予期しない動作をしたり、期待通りに動作しない場合は、*[Removable Drives and Media]* の設定を確認してください。

## 2.2.4 画面解像度設定の実行

画面の解像度とリフレッシュレートを指定するには、*[コンピュータ] > [コントロールセンター] > [ハードウェア] > [画面解像度]* をクリックして、オプションを変更します。

図 2.5 画面解像度環境設定ダイアログ



## 2.3 外観

以下のセクションでは、デスクトップ背景とスクリーンセーバー、3Dデスクトップ効果、テーマ、ウィンドウの動作、メニューなど、GNOMEデスクトップの外観の一部を設定する例を紹介します。

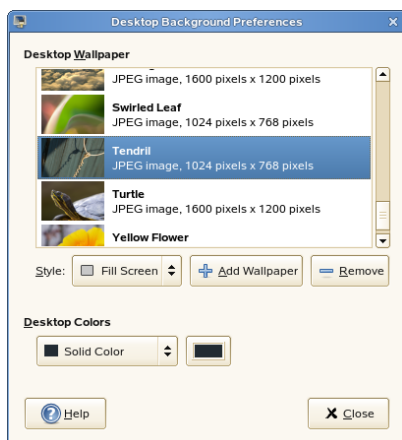
## 2.3.1 デスクトップの背景の変更

デスクトップの背景とは、デスクトップに適用された画像またはカラーです。デスクトップの背景は、次の方法でカスタマイズできます。

- デスクトップの背景の画像を選択します。画像は、デスクトップの背景の色の上に重なります。デスクトップの背景の色は、透明な画像を選択した場合や、画像がデスクトップ全体を覆っていない場合に表示されます。
- デスクトップの背景の色を選択します。単色を選択するか、2色を選択してグラデーション効果を出すこともできます。グラデーション効果は、1つの色がもう1つの色と徐々に混ざり合う視覚効果です。

デスクトップの環境設定を変更するには、次の手順に従います。

- 1 [コンピュータ] > [コントロールセンター] > [ルックアンドフィール] > [デスクトップの背景] をクリックします。



- 2 背景の画像を変更するには、リストからデスクトップの壁紙を1つ選択し、デスクトップに画像を配置するスタイルを選択します。
- 3 カスタム画像を使用するには、[壁紙の追加] をクリックしてファイルシステムからイメージファイルを選択します。

4 背景に画像を表示しない場合は、[デスクトップカラー] ドロップダウンリストとカラーセレクトアボタンのオプションを使用して、カラースキーマを指定します。

5 選択を確認して [閉じる] をクリックします。

デスクトップは、すぐに新しい設定での表示に変わります。

## 2.3.2 デスクトップ効果の設定

Xglは、デスクトップを回転する 3Dキューブに変換するX serverアーキテクチャです。ウィンドウは重ならないように並べられ、サムネイルを見ながらタスクを切り替えることができます。ウィンドウを半透明または透明にしたり、デスクトップ画面を拡大、縮小したり、シャドウ、フェーディング、およびトランスフォーメーションなどのウィンドウ効果を使用することができます。また、ウィンドウの移動時に他のウィンドウや画面の端に合わせるように設定することもできます。

図 2.6 3-Dデスクトップ



## デスクトップ効果を有効にする

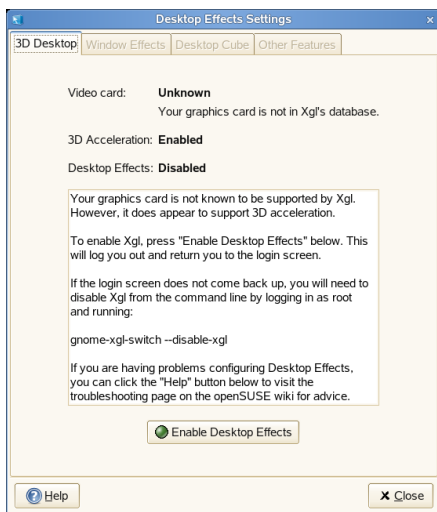
Xglを有効にするには、3-Dをサポートしているグラフィックカードが必要です。また、そのカードを利用するためのLinux用ドライバも必要です。このドライバは、LinuxカーネルからのOpenGL(または3-D)リクエストを処理できなければなりません。サポートするアダプター一覧については、SUSE Linux Enterprise Desktopに付属の/etc/X11/xgl-hardware-listファイルを参照してください。このファイルには、Xglでの動作が確認されたグラフィックカード、動作しないグラフィックカード、およびXglで動作する可能性はあるけれども、動作速度が遅かったり、欠点や問題が多いなどの理由でサポートされないカードに関する情報が記載されています。

画面解像度は、1024x768～1920x2000の範囲内でなければなりません。また、色数は24ビットに設定する必要があります。3-Dアクセラレーションも有効にする必要があります。必要に応じて、SaX2を使って、グラフィックカードとモニタのプロパティを変更します。

デスクトップ効果を有効にする

- 1 [コンピュータ] > [コントロールセンタ] の順にクリックします。
- 2 [ルックアンドフィール] グループの [デスクトップ効果] をクリックします。

デスクトップ効果ツールがシステムを分析し、Xglを実行できるかどうかを判断します。何か問題があった場合は、対処方法が表示されます。たとえば、画面解像度や色数を変更したり、3-Dアクセラレーションを有効にするように指示されます。画面に表示される指示に従って、Xglを設定してください。



- 3 Xglの設定が完了したら、*[Enable Desktop Effects]* (デスクトップ効果を有効にする)をクリックします。
- 4 rootパスワードを入力し、*[続行]* をクリックします。
- 5 *[ログアウト]* をクリックしてセッションからログアウトしたら、ユーザ名とパスワードを入力して再ログインします。

デフォルトのデスクトップ効果が有効になります。たとえば、ウィンドウを最初に表示したり、移動した時にウィンドウが「揺れたり」、閉じる時にフェードしたり、ウィンドウを右側の遠方までドラッグすると、デスクトップキューブが回転します。これらの効果の変更方法は、**デスクトップ効果の変更項** (71 ページ)を参照してください。

次のコマンドをrootとして実行して、Xglを有効にすることもできます。

```
gnome-xgl-switch --enable-xgl
```

Xglを無効にするには、*[デスクトップ効果の設定]* ダイアログボックスの *[デスクトップ効果を無効]* をクリックするか、次のコマンドをrootとして実行します。

```
gnome-xgl-switch --disable-xgl
```

## デスクトップ効果の変更

特定のデスクトップ効果を有効/無効にしたり、これらの効果を制御するキーストロークやマウス操作を変更するには、デスクトップ効果の設定ツールを使用します。

- 1 [コンピュータ] > [コントロールセンタ] の順にクリックします。
- 2 [ルックアンドフィール] グループの [デスクトップ効果] をクリックします。
- 3 次のオプションから選択します。
  - ウィンドウ効果項 (72 ページ)
  - デスクトップキューブ項 (73 ページ)
  - その他の機能項 (75 ページ)
- 4 変更が完了したら、[閉じる] をクリックします。

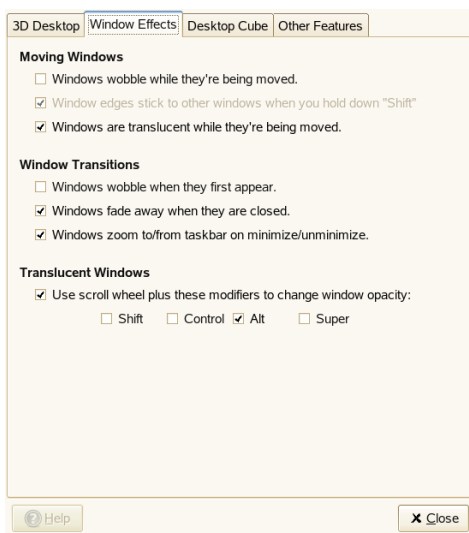
gconf-editorを使ってXgl設定を変更することもできます。

- 1 [コンピュータ] > [他のアプリケーション] > [システム] > [GNOME設定エディタ] の順にクリックするか、Alt + F2キーを押してgconf-editorと入力します。
- 2 apps/compiz/generalおよびapps/compiz/pluginsレジストリフォルダに移動して、適切な変更を行います。
- 3 [ファイル] > [終了] の順にクリックして、設定エディタを終了します。

## ウィンドウ効果

このタブページのオプションを使って、ウィンドウ移動時の処理、ウィンドウ遷移の表示方法、およびウィンドウの透明度の変更などの作業を行えます。

### 2.7 ウィンドウ効果タブページ



### ウィンドウの移動

デフォルトでは、ウィンドウの移動時にはウィンドウが透明になります。**Shift**キーを押しながらウィンドウを移動した場合に、ウィンドウの端を他のウィンドウや作業領域の端に合わせるには、**[ウィンドウの移動中にウィンドウを揺らします]** および **[<Shift>キーを押し下げるときにウィンドウの端が他のウィンドウに固定されます]** オプションの両方を選択する必要があります。

ウィンドウのサイズ変更時にウィンドウをゆがめて(揺らして)、ウィンドウを可変性の高いものとして表示するように設定することもできます。

### ウィンドウの遷移

これらのオプションを利用して、ウィンドウやメニューの開閉時にフェードイン/フェードアウト効果を追加することができます。また、ウィンドウを最小化する時に、なめらかにタスクバーに縮小したり、サイズを元に

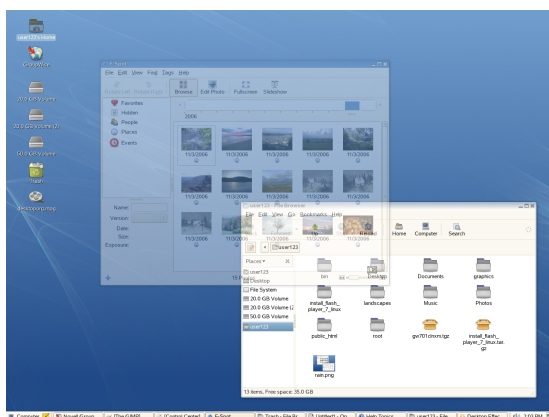


戻した時にも、なめらかに元のサイズに戻すように設定することもできます。

## 半透明のウィンドウ

ホイールをスクロールして、ウィンドウの透過性を変更することができます。[ウィンドウの不透明度を変更するには、スクロールホイールと次の修飾子を使用します]を選択した後、使用するボタンまたはボタンの組み合わせを選択します。ウィンドウを選択し、選択したボタンまたはボタンの組み合わせを押したまま、マウスホイールを上下に移動して、ウィンドウの不透明度を変更します。

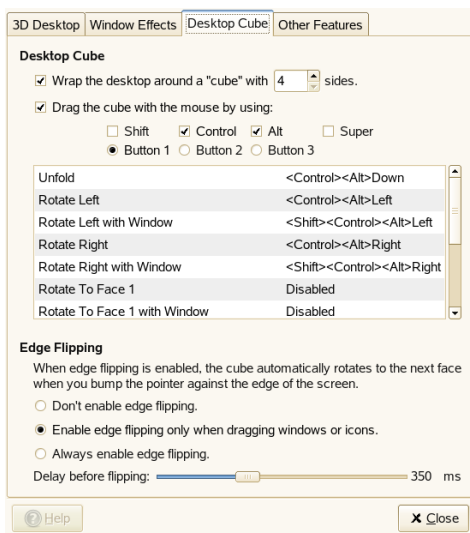
図 2.8 半透明のウィンドウ



## デスクトップキューブ

デスクトップキューブの面数、キューブのドラッグに使用するキーストロークとマウスボタンの組み合わせ、およびエッジフリップ数を設定するには、このタブページのオプションを使用します。

## 2.9 デスクトップキューブタブページ



### デスクトップキューブ

デフォルトでは、仮想キューブに4つのデスクトップがあり、キューブを回転させて各デスクトップにアクセスすることができます。このオプションを利用すれば、開いているアプリケーションやウィンドウを配置する、余分なスペースを確保することができます。たとえば、あるデスクトップにエディタを配置し、別のデスクトップにシェルを、そしてさらに別のデスクトップに電子メールアプリケーションとWeb ブラウザを配置することができます。**Ctrl + Alt + ←**キーと**Ctrl + Alt + →**キーを使って、キューブを回転させれば、他のデスクトップで動作しているプログラムにアクセスすることができます。この機能を利用すれば、1つのデスクトップにさまざまなウィンドウを積み重ねて配置する煩雑さを回避することができます。

ウィンドウを画面の端にドラッグすると、キューブが回転して、新しいデスクトップにウィンドウが移動します。3Dキューブを手作業で移動するには、**Ctrl + Alt**を押して、デスクトップを左クリックして、マウスポインタをドラッグしてください。**Ctrl + Alt + Shift + ←**または**→**で、現在選択したウィンドウを使用しながらキューブを回転できます。

[次を使用してマウスでキューブをドラッグする] のオプションを使って、キューブを回転する時に使用するデフォルトのキーストロークを変更することができます。

キューブ背後への画像の追加方法は、**キューブ背後へのスカイドームイメージの表示 項** (81 ページ) を参照してください。

## エッジフリップ

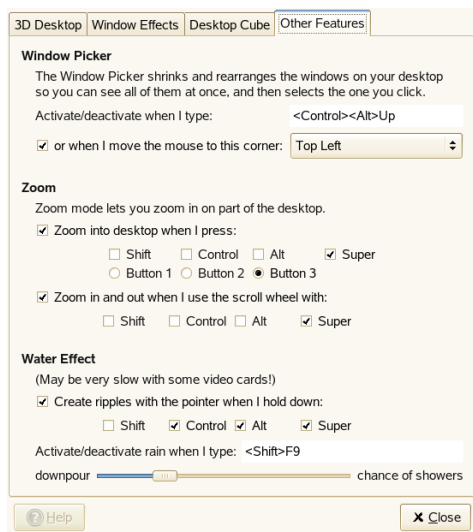
エッジフリップを有効にした場合、マウスポインタを画面の端まで移動すると、デスクトップキューブが次の面まで回転します。ポインタを端に移動した時に常にキューブを回転することも、ウィンドウやアイコンをデスクトップの端に移動した時にのみキューブを回転することもできます。

タブウィンドウの下部にあるスライダを利用して、ウィンドウやマウスポインタをデスクトップの端に移動してからキューブを回転させるまでの時間(マイクロ秒)を変更することができます。

## その他の機能

このタブページのオプションを使って、ウィンドウの配列、拡大/縮小、および水効果を設定することができます。

### 図 2.10 タブページの他の機能



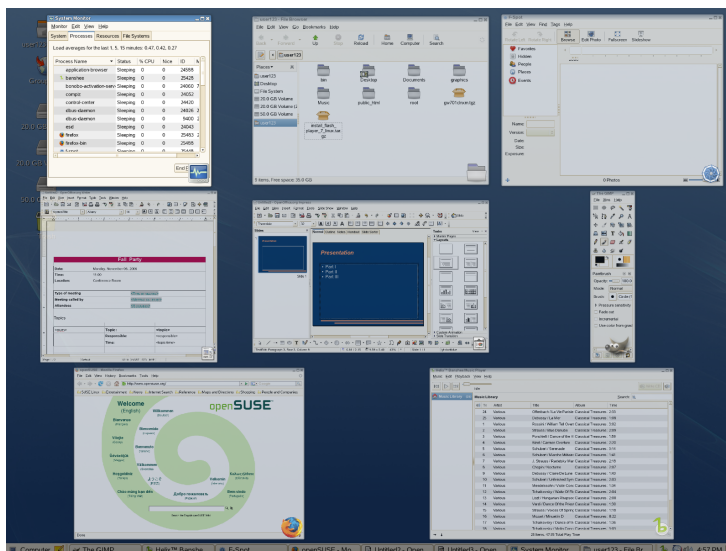
ウィンドウピッカー

デスクトップのウィンドウを並べて表示して、開いているウィンドウを確認したり、その中から目的のウィンドウを選択することができます。また、デスクトップ上で開いているすべてのアプリケーションのスナップショットを確認することができます。**Ctrl + Alt + ↑**キーを押すと、すべてのウィンドウが縮小されて、重ならないで画面に表示されるように再配置されます。マウスを使ってあるウィンドウを選択すると、そのウィンドウが元の位置とサイズで一番前面に表示されます。

ウィンドウを並べて表示するためのキーストロークを変更するには、**[新規アクセラレータ]**が表示されるまで**[次を入力したときに有効/無効にする]**の右側にあるボックスをクリックします。次に、使用するキーストロークを押してください。ボックスに、押したキーストロークが表示されます。

マウスポインタを画面の左上(デフォルト)、右上、左下、または右下に移動して、ウィンドウを並べて表示するように設定することもできます。

図 2.11 アプリケーションを並べて表示



## ズーム

画面上の領域をズームインしたり、ズームアウトすることができます。こうすることにより、目が悪い方もデスクトップを快適に操作でき、また画面の一部だけを大きいサイズで表示する場合にも役立ちます。

デフォルトでは、**Super**キー(**Windows**キー)とボタン3を一緒に押すと、デスクトップの一部にズームインされます(2ボタンのマウスをお使いの場合は、**Super**キーを押して、左ボタンと右ボタンを同時に押してください)。これらのボタンを押しながらマウスを移動すると、画面の他の場所を表示できます。**Super**キーを押しながらマウスのスクロールホイールを使って、デスクトップを手動でズームイン/アウトすることもできます。

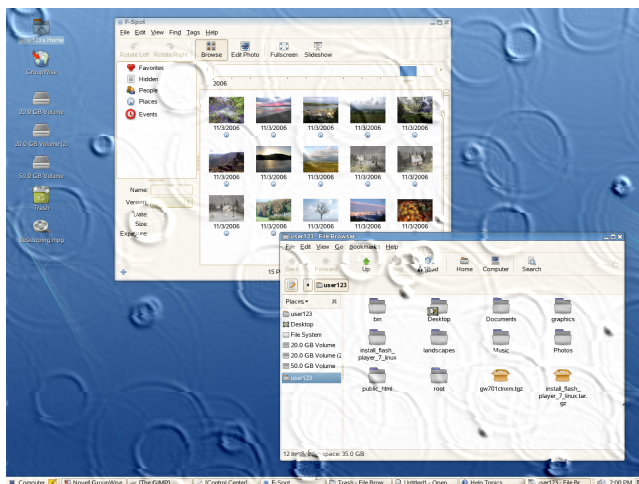
これらのオプションを無効にしたり、ズーム操作を行うキーストロークを変更することができます。

## 水効果

指定したキー、またはキーの組み合わせを押してマウスを移動した時に(デフォルトでは**Ctrl + Alt + Super**キー)、画面に波のような効果を表示することができます。また、**Shift + F9**キーを押して、雨効果を有効/無効にすることもできます。雨効果のキーストロークを変更するには、**[新規アクセラレータ]**が表示されるまで**[次を入力したときに有効/無効にする]**の右側にあるボックスをクリックします。次に、使用するキーストロークを押してください。ボックスに、押したキーストロークが表示されます。

タブウィンドウの下部にあるスライダーを使って、雨効果の強さを変更できます。

図 2.12 水効果



## Xglショートカット

デスクトップ効果を実行するために使用するデフォルトのキーストロークとマウスの移動を、次の表に示します。これらのショートカットの変更方法は、[デスクトップ効果の変更項 \(71 ページ\)](#)を参照してください。

表 2.1 デスクトップ効果のショートカット

影響	ショートカットキー
雨効果の有効/無効化	Shift + F9
マウスポインタで波紋を作成	Ctrl + Alt + Superキー(Windowsキー)を押してマウスポインタを移動
すべてのデスクトップキューブの パノラマビュー	Ctrl + Alt + ↓(左または右矢印を使用してスクロール)
デスクトップキューブを回転	Ctrl + Alt + ←または→またはウィンドウを画面の端にドラッグ

影響	ショートカットキー
デスクトップキューブの手動回転	デスクトップでCtrl+Alt+左クリックし、マウスポインタをドラッグ
現在のアクティブウィンドウを保持しながら、デスクトップキューブを回転	Ctrl + Alt + Shift + ← or →
ウィンドウの切り替え(サムネイルビュー)	Alt + <Tab>
ウィンドウを並べて表示	Ctrl + Alt + ↑、またはマウスポインタを画面の左上角に移動
ウィンドウを揺らす	ウィンドウを左クリックしてドラッグ
1回ズーム	Superキー(Windowsキー)+ボタン3
手動ズームイン	Superキー(Windowsキー)+スクロールホイールを上に移動
手動ズームアウト	Superキー(Windowsキー)+スクロールホイールを下に移動

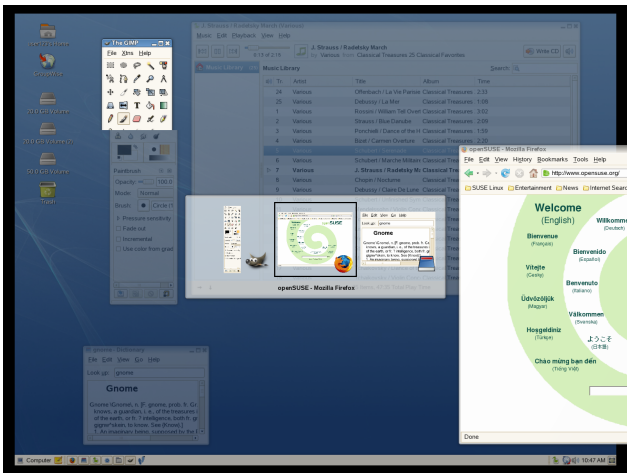
## 他のデスクトップ効果

Xglを使って利用できる、他の作業について説明していきます。

### タスクの切り替え

Alt + <Tab>キーを押すと、デスクトップ上に開かれているすべてのウィンドウがサムネイル表示されます。Altキーを押しながら、Tabキーを押すと、ウィンドウが順番に切り替わっていきます。フォーカスは、現在選択されているウィンドウに移動します。キーを離すと、そのウィンドウにアクセスできます。

図 2.13 サムネイルビュー

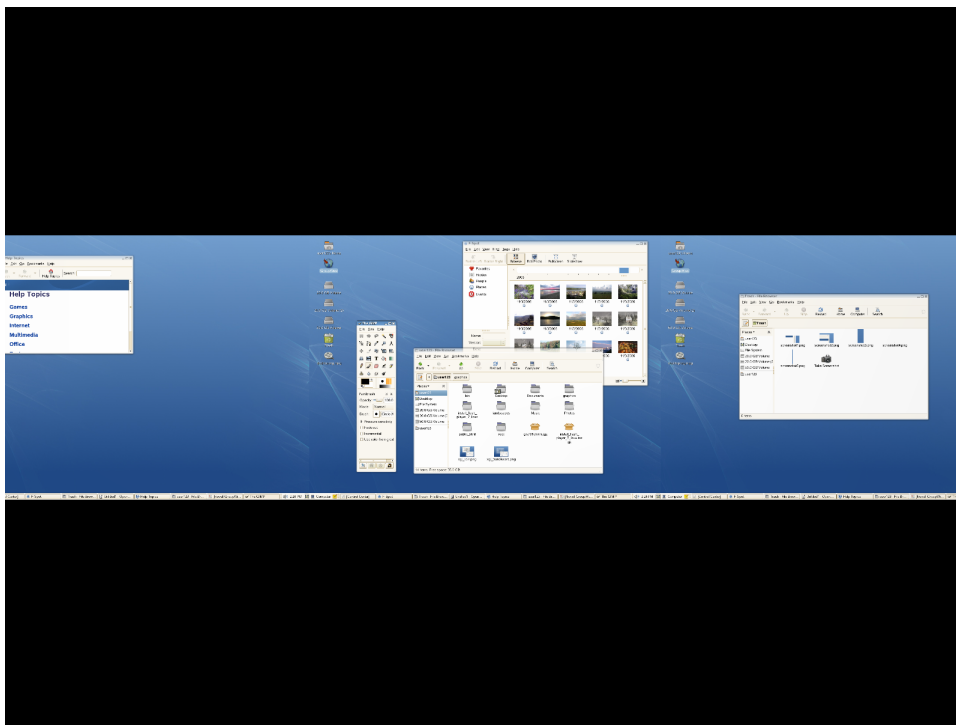


## キューブを開く

Ctrl + Alt + ↓キーを押すとデスクトップキューブが開かれて、デスクトップのパノラマビューが表示されます。デスクトップキューブは画面上に、フィルムのように展開されます。←と→キーを使って、別の画面を選択することができます。この機能は画面切り替え機能(Alt + <Tab>)と似ていますが、アクティブなウィンドウのみを表示する代わりに、デスクトップ全体のサムネイルが表示されます。



**図 2.14** すべてのデスクトップキューブのパノラマビュー



## キューブ背後へのスカイドームイメージの表示

デスクトップキューブを回転したり、開いた時に背景に表示する壁紙(スカイドームイメージ)を追加することができます。

- 1 [コンピュータ] > [他のアプリケーション] > [システム] > [GNOME設定エディタ] の順にクリックするか、Alt + F2キーを押して gconf-editor と入力します。
- 2 apps/compiz/plugins/cube/screen0/options レジストリフォルダに移動します。
- 3 設定エディタの右側にあるリストをスクロールして、[スカイドーム] を選択します。

- 4 `[skydome_image]` をダブルクリックして、キューブの背景に表示するスカイドームイメージのパスを指定します。

スカイドームイメージは、.png形式でなければなりません。推奨するスカイドームイメージのサイズは、1024 x 1024、1024 x 2048、1024 x 4096、2048 x 1024、2048 x 2048、2048 x 4096、4096 x 1024、4096 x 2048、および4096 x 4096です。

- 5 (オプション)マウスを使ってキューブを回転する際に、キューブの周囲を移動しているような効果を出すには、`[skydome_animated]` を選択します。

- 6 `[OK]` をクリックします。

- 7 `[ファイル]` > `[終了]` の順にクリックして、設定エディタを終了します。

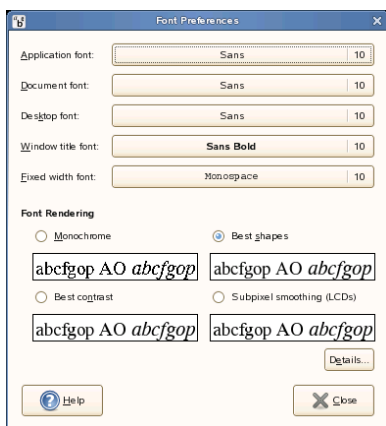
図 2.15 スカイドームイメージ



## 2.3.3 フォントの設定

アプリケーション、ウィンドウ、ターミナル、デスクトップで使用するフォントを選択するには、`[コンピュータ]` > `[コントロールセンター]` > `[ルックアンドフィール]` > `[フォント]` をクリックします。

## 図 2.16 フォントの環境設定ダイアログ



ダイアログの上部には、アプリケーション、ドキュメント、デスクトップ、ウィンドウタイトルのフォント、およびターミナル用固定幅フォントが表示されます。ボタンの1つをクリックして選択ダイアログを開くと、フォントファミリー、スタイル、およびサイズを設定できます。それぞれのオプションの詳細については、[\[Help\]](#) をクリックしてください。

## 2.3.4 メニューとツールバーの設定

メニューとツールバーの外観と動作を設定することができます。[\[コンピュータ\]](#) > [\[コントロールセンター\]](#) > [\[ルックアンドフィール\]](#) > [\[メニューとツールバー\]](#) をクリックします。

メニューにアイコンを表示する場合は、[\[メニューにアイコンを表示\]](#) を選択します。メニュー項目によっては、アイコンがないものもあります。

メニュー項目に対して新しいキーボードショートカットを定義する場合は、[\[編集可能メニューアクセラレータ\]](#) を選択します。このオプションを有効にすると、変更するメニュー項目の上にマウスポインタを移動してから、新しいキーの組み合わせを押すことにより、アプリケーションのショートカットキーを変更することができます。ショートカットキーの組み合わせを削除するには、目的のメニュー項目上にマウスポインタを移動してから、[←](#)キーまたはDelキーを押します。

---

## 重要項目: 新しいキーボードの組み合わせはデフォルトを変更できます

新しいキーボードの組み合わせを割り当てる場合、それが前に別の項目に割り当てられている場合でも警告は表示されません。この場合、前に割り当てられている項目のショートカットキーは削除され、新しい方に置換されます。元のデフォルトのキーボードショートカットに自動的に復元する手段はありません。キーボードショートカットを、手作業で割り当てなおす必要があります。

この機能では、コピー用のCtrl + Cキーなど、標準的にすべてのアプリケーションに割り当てられているショートカットでも維持されません。そのため、GNOMEアプリケーションに不整合が生じる可能性があります。

---

ツールバーを画面上の他の場所に移動する場合は、**[着脱式ツールバー]** をクリックします。このオプションを有効にすると、アプリケーションのツールバーの左側にハンドルが表示されます。ツールバーを移動するには、ハンドルをクリックしたまま、ツールバーを目的の位置にドラッグします。

GNOME準拠アプリケーションへの、ツールバーボタンラベルの表示方法を指定するには、以下のいずれかのオプションを選択します。

### アイコン下にテキスト

各ボタンのアイコンの下にアイコンラベルを表示します。

### *Text beside icons*

アイコンをツールバーに表示し、重要なアイコンの横にテキストを表示します。

### アイコンのみ

アイコンのみを表示します。テキストラベルは表示しません。

### テキストのみ

各ボタンにテキストラベルを表示します。アイコンは表示しません。

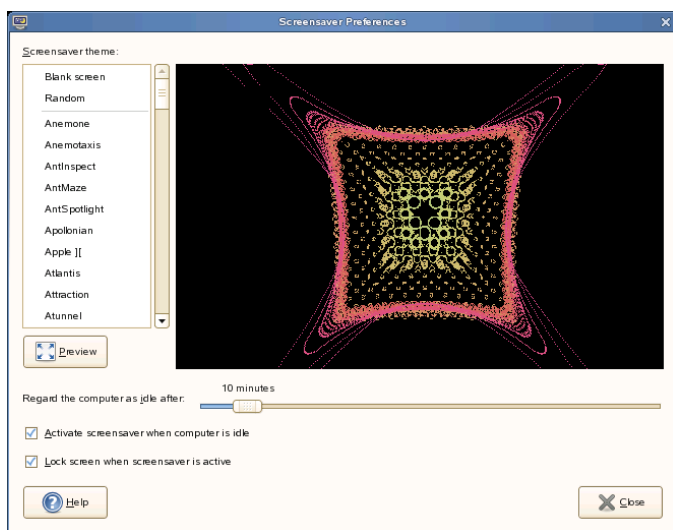
選択したオプションのプレビューは、**[メニューとツールバーの設定]** ダイアログに表示されます。

## 2.3.5 スクリーンセーバの設定

スクリーンセーバは、コンピュータが一定時間使用されていないときに、画面をブランクにするか、グラフィックを表示するプログラムです。本来、スクリーンセーバは、画像の焼き付きからモニタを保護するために使用されていましたが、今では、主にエンターテインメントやセキュリティのために使用されています。

スクリーンセーバを設定するには、[コンピュータ] > [コントロールセンター] > [ルックアンドフィール] > [スクリーンセーバ] をクリックします。

図 2.17 スクリーンセーバ環境設定ダイアログ



[Random] (カスタム定義されたリストから、スクリーンセーバをランダムに選択)、[Blank Screen] から選択できます。

リストからスクリーンセーバを選択します。現在選択されているスクリーンセーバが、小さなプレビューウィンドウに表示されます。画面がアイドル状態になってから、スクリーンセーバが起動するまでの時間と、スクリーンセーバが起動したら、画面をロックするかどうかを指定します。

## 2.3.6 テーマの選択

テーマとは、デスクトップの各部の外観を指定する、体系的な設定のグループです。テーマを選択してデスクトップの外観を変更できます。プリインストールされたテーマのリストから選択するには、テーマの環境設定ツールを使用します。利用可能なテーマには、アクセス補助の必要なユーザ向けのテーマも含まれています。

テーマを設定するには、[コンピュータ] > [コントロールセンター] > [ルックアンドフィール] > [テーマ] をクリックします。

テーマには、次のようにデスクトップのさまざまな部分に影響する設定が含まれています。

### コントロール

テーマ用のコントロール設定は、ウィンドウ、パネル、およびアプレットの外観を決定します。ウィンドウ、パネル、およびアプレットに表示されるGNOME標準インタフェース項目の外観(メニュー、アイコン、ボタンなど)も決定します。使用できるコントロール設定のオプションの一部は、特別なアクセス補助の要件を満たすように設計されています。コントロール設定用のオプションは、テーマの詳細ツールのコントロールタブページで選択できます。

### ウィンドウフレーム

テーマのウィンドウフレーム設定は、ウィンドウのみのフレームの外観を決定します。ウィンドウフレーム設定オプションは、テーマの詳細ツールのウィンドウの境界タブページで選択できます。

### アイコン

テーマのアイコン設定は、パネルおよびデスクトップ背景のアイコンの外観を決定します。アイコン設定オプションは、テーマの詳細ツールのアイコンタブページで選択できます。

デスクトップとアプリケーションのカラー設定は、テーマを使用して制御されます。プリインストールされたさまざまなテーマから選ぶことができます。リストからスタイルを選択すると、自動的に適用されます。[詳細] で開く別のダイアログで、ウィンドウの内容、ウィンドウの境界、およびアイコンなど、デスクトップ要素のスタイルをカスタマイズできます。変更を行い、[閉じる] をクリックしてダイアログを終了させると、テーマがカスタムテーマに切り替わります。[Save Theme] をクリックして、カスタム名で変更し

たテーマを保存します。インターネットやその他のソースでは、`.tar.gz` ファイルとして、GNOME用の追加テーマが数多く提供されています。これらは [テーマのインストール] でインストールします。

## 手順 2.1 カスタムテーマの作成

テーマの環境設定ツールに一覧表示されるテーマでは、コントロールオプション、ウィンドウフレームオプション、およびアイコンオプションのさまざまな組み合わせが提供されています。さまざまなオプションの組み合わせでカスタムテーマを作成できます。

- 1 [コンピュータ] > [コントロールセンター] > [ルックアンドフィール] > [テーマ] をクリックします。
- 2 リストからテーマを選択し、[Theme Details] をクリックします。
- 3 コントロールタブページのリストから、カスタムテーマで使用するコントロールオプションを選択します。
- 4 [Window Border] タブをクリックして、カスタムテーマに使用するウィンドウフレームオプションを選択します。
- 5 [アイコン] タブをクリックして、カスタムテーマに使用するアイコンオプションを選択します。
- 6 [閉じる] > [Save Theme] の順にクリックします。

[Save Theme to Disk] ダイアログが表示されます。

- 7 ダイアログに名前とカスタムネームの短い説明を入力して、[保存] をクリックします。

カスタムテーマが、利用可能なテーマのリストに表示されます。

## 手順 2.2 新しいテーマのインストール

利用可能なテーマのリストにテーマを追加できます。新しいテーマは、圧縮されたアーカイブファイル(`.tar.gz`ファイル)でなければなりません。

- 1 [コンピュータ] > [コントロールセンター] > [ルックアンドフィール] > [テーマ] をクリックします。

- 2 **[Install Theme]** をクリックします。
- 3 テーマのアーカイブファイルの場所を **[場所]** フィールドで指定して、**[OK]** をクリックします。  
  
[参照] をクリックしてファイルを参照することもできます。
- 4 **[インストール]** をクリックして、新しいテーマをインストールします。

### 手順 2.3 新しいテーマオプションのインストール

新しいコントロールオプション、ウィンドウフレームオプション、またはアイコンオプションをインストールできます。 インターネットにはさまざまなコントロールオプションがあります。

- 1 **[コンピュータ] > [コントロールセンター] > [ルックアンドフィール] > [テーマ]** をクリックします。
- 2 **[Theme Details]** をクリックし、インストールするテーマのタイプのタブをクリックします。  
  
たとえば、アイコンオプションをインストールするには、**[アイコン]** タブをクリックします。
- 3 **[Install Theme]** をクリックします。
- 4 テーマのアーカイブファイルの場所を **[場所]** フィールドで指定して、**[OK]** をクリックします。
- 5 **[インストール]** をクリックして、新しいテーマオプションをインストールします。

### 手順 2.4 テーマオプションの削除

コントロールオプション、ウィンドウフレームオプション、またはアイコンオプションを削除できます。

- 1 **[コンピュータ] > [コントロールセンター] > [ルックアンドフィール] > [テーマ]** をクリックします。



2 [Theme Details] をクリックし、削除するオプションのタイプのタブをクリックします。

3 [Go To Theme Folder] をクリックします。

デフォルトのオプションフォルダの上に、ファイルマネージャウィンドウが開きます。

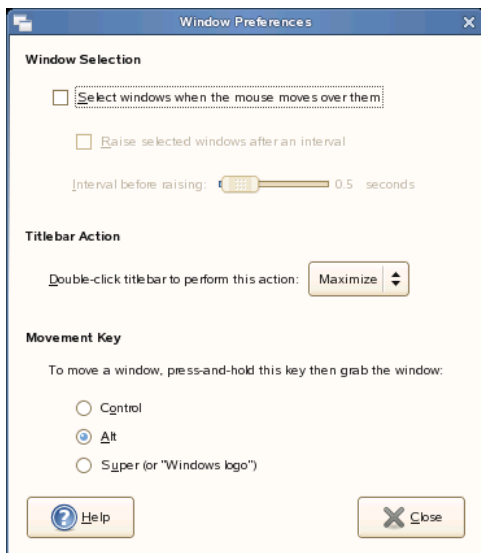
4 ファイルマネージャウィンドウを使用して、オプションを削除します。

## 2.3.7 ウィンドウの動作のカスタマイズ

ウィンドウの環境設定ツールを使用して、デスクトップのウィンドウの動作をカスタマイズします。マウスポインタを置いたときや、タイトルバーをダブルクリックしたときのウィンドウの反応を指定したり、アプリケーションウィンドウを移動させるときに保持するキーを定義できます。

ウィンドウの動作をカスタマイズするには、[コンピュータ] > [コントロールセンター] > [ルックアンドフィール] > [ウィンドウ] をクリックします。

### 図 2.18 ウィンドウの環境設定ダイアログ



複数のアプリケーションウィンドウがデスクトップにある場合、デフォルトで最後にクリックしたウィンドウがアクティブになっています。 *[Select Windows When the Mouse Moves over Them]* を有効にして、この動作を変更します。 *[Raise Selected Window after an Interval]* を有効にして、スライダで待ち時間を調整します。この設定で、選択したウィンドウはすぐ上になります。

アプリケーションウィンドウは、タイトルバーをダブルクリックすると巻き上がり、タイトルバーだけが表示されます。この設定でデスクトップのスペースが節約できます。これはデフォルトの動作です。タイトルバーをダブルクリックしたときに、ウィンドウを最大化する設定も可能です。

ラジオボタンを使用して、ウィンドウの移動に使用するモディファイアキーを選択します(Ctrl、Alt、Hyper、またはWindowsキー)。

## 2.4 個人用

以下のセクションでは、キーボードのアクセス補助、キーボードのショートカット、補助テクノロジーのサポートなど、GNOMEデスクトップの個人用設定を設定する例を紹介し、パスワードの変更と仮想キーリングの管理方法を説明します。

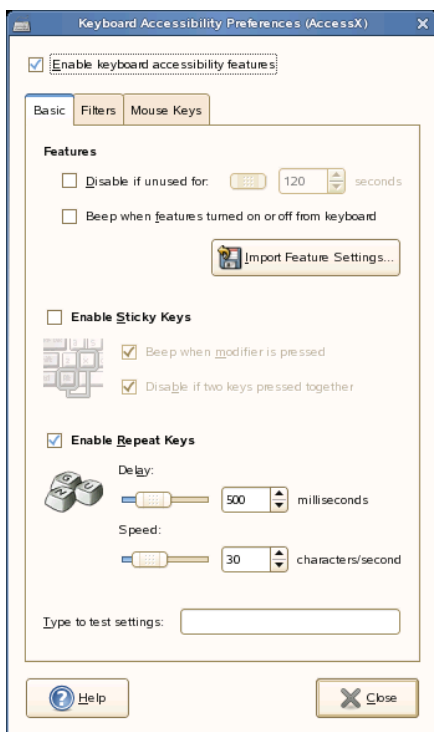
### 2.4.1 キーボードのアクセス補助設定の実行

GNOMEは動きに障害のあるユーザのGNOMEデスクトップを支援するキーボード設定を提供しています。次のような設定が利用できます。

- キーを押してから、有効な入力と認識されるまでの時間
- マウスの代用としてキーボードを使用する設定
- Alt、Ctrl、およびShiftを使用するキーの組み合わせへの「順次入力機能」の使用

キーボードのアクセス補助設定を行うには、 *[コンピュータ]* > *[コントロールセンター]* > *[パーソナル]* > *[アクセス補助]* をクリックします。

図 2.19 キーボードアクセス補助環境設定ダイアログ



設定を変更する前に、ウィンドウ上部で「キーボードアクセス機能を有効にする」を有効にする必要があります。

3つのタブがあり、キーにさまざまな設定を定義できます。

### 順次入力機能

キーボードのショートカットにはAlt、Ctrl、Shiftなどの別のキー(モディファイアキー)を押しながら入力しなければならないものがあります。順次入力機能を使用すると、これらのキーを押したとき、システムはキーが押したままにされていると判断します。順次入力機能を有効にするには、該当するチェックボックスを選択します。モディファイアキーが押されたときに音声フィードバックを行うには、「*Beep when the modifier is pressed*」を有効にします。「*Disable If Two Keys Pressed Together*」を選択すると、2つのキーが同時に押された場合は、「順次入力」機能が無効になります。

その場合、システムはキーボードのショートカットが完全に入力されたと仮定します。

### キーの繰り返し

スライダで [待ち時間] および [速度] の設定を行うには、[*Enable Repeat Keys*] を有効にします。これにより、どのくらいの時間でキーボードの自動繰り返し機能を有効にするか、その場合に文字をどのくらいの速さで入力するかを決定します。

ダイアログの一番下にあるフィールドで設定の効果をテストします。通常のタイピングの習慣を反映するパラメータを選択します。

### 低速キー

入力ミスを防ぐため、[フィルタ] タブに移動し、[*Enable Slow Keys*] を有効にします。キーが押されてからシステムに有効な入力と認識されるまでの最短時間を設定します。キーが押された場合、キー入力が認識された場合、キー入力が拒否された場合に、音声フィードバックを行うかも決定します。

### バウンスキー

[フィルタ] タブの [*Enable Bounce Keys*] を有効にして、同じキーを2回連続して押したときに、別々の2文字の入力として認識するのに必要な、最短時間を設定します。キー入力が拒否された場合の音声フィードバックを有効にすることもできます。

### トグルキー

[*Enable Toggle Keys*] を有効にすると、キーキャップモディファイアキーが押されたときに音声フィードバックが提供されます。

### マウスキー

キーボードをマウスとして使用するには、[*Mouse Keys*] タブに移動して [マウスキーを有効にする] を有効にします。テンキーの矢印キーでマウスポインタを制御します。スライダを使用して、マウスポインタの最大速度、最大速度に達するまでの加速時間、キーを押してからカーソルが動くまでの待ち時間を設定します。

しばらく使用しなかった場合に、キーボードのアクセス補助機能を自動的に無効にすることもできます。この場合、[基本] タブをクリックして [次の時間使われない場合に無効化] を有効にして、スライダで適切な時間(秒単位)を設定します。システムは、キーボードアクセス補助機能が有効または無効にされたときの音声フィードバックも追加で提供しています。

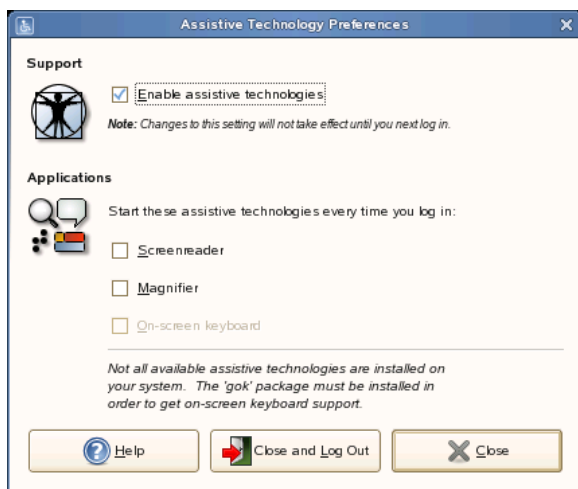
## 2.4.2 補助テクノロジーサポートの設定

特別なニーズのあるユーザ向けに、さまざまな支援技術が用意されています。

- 画面リーダ
- 画面拡大鏡
- オンスクリーンキーボード

支援技術オプションを設定するには、[コンピュータ] > [コントロールセンター] > [パーソナル] > [支援技術の設定] の順にクリックします。支援技術を有効にするには、[支援技術を有効にする] を選択してから、ログインするたびに有効にする技術を選択します。

図 2.20 補助テクノロジー環境設定ダイアログ



オンスクリーンキーボードサポートを受けるには、gokパッケージのインストールが必要です。画面リーディングと拡大機能を利用するには、gnopernicusパッケージとgnome-magパッケージのインストールが必要です。

これらのパッケージがシステムにインストールされていない場合は、次の手順でインストールします(システムインストール時にデフォルトでインストールされます)。

- 1 コマンドラインからYaSTパッケージマネージャを起動するか、またはYaSTを開いて [ソフトウェア] > [Software Management] を選択します。
- 2 [フィルタ] で [検索] を選択します。
- 3 [検索] フィールドで、インストールするパッケージ名を入力してEnterを押します。パッケージが右側のフレームに表示されます。
- 4 インストールするパッケージを選択します。1度選択すると他のパッケージを検索できるようになり、まとめてインストールするよう選択できます。
- 5 [同意する] をクリックして、パッケージのインストールを開始します。

## 2.4.3 パスワードを変更する

セキュリティ上の理由から、ログインパスワードは時々変更することをお勧めします。パスワードを変更する:

- 1 [コンピュータ] > [コントロールセンター] > [パーソナル] > [パスワード変更] の順にクリックします。
- 2 古い(現在の)パスワードを入力します。
- 3 新しいパスワードを入力します。
- 4 もう一度入力して、新しいパスワードを確認したら、[OK] をクリックします。

## 2.4.4 キーリングの管理

GNOMEキーリングマネージャは、お使いのコンピュータのキーリングに保管されている秘密を表示するためのインタフェースを提供しています。秘密には、次のような項目が含まれています。

- パスワード

- ワイヤレス資格情報
- 証明書
- 他のコンピュータにログインするための資格情報

秘密情報は作成元のアプリケーションが自動的に管理するため、多くのユーザはGNOMEキーリングマネージャを使用する必要はありません。GNOMEキーリングを使用するGNOMEアプリケーションでここに保存されているパスワードまたは資格情報へのアクセスが必要な場合は、キーリングがロックされているかどうかチェックされます。ロックされている場合、キーリングをロック解除するためのマスタパスワードを要求されます。

キーリングマネージャを(アプリケーションを介さずに)開くには、**Alt + F2**を押してgnome-keyring-managerと入力します。

秘密情報を削除する

- 1 キーリングマネージャの左にあるキーリングのリストから、[デフォルト]をクリックします。
- 2 キーリングマネージャの右上にあるリストから、削除する秘密情報をクリックします。
- 3 [キーリング]、[Delete Keyring] (キーリングの削除)の順にクリックします。

秘密情報がリストから削除されます。

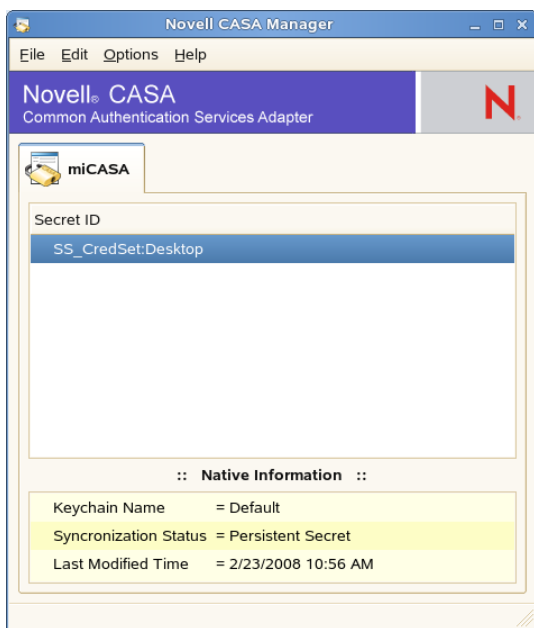
## 2.4.5 Novell CASAでのSingle Sign-onの使用

Single Sign-onはアクセス制御の手法で、ユーザが1度認証されたら、複数のソフトウェアシステムのリソースにアクセスできるようにするものです。CASA (Common Authentication Service Adapter)では、Microsoft\* Windows\*およびMacintosh\* OS 10など複数のプラットフォーム上で認証資格情報を管理できます。これらのあらゆるプラットフォームにインストールされたプログラムおよびサービスのパスワードにアクセスして保存できます。CASAではGNOMEキーリング、KDEのKWallet、Firefox Password Managerとのインタフェースも備えられ、必要な場合はこれらをすべて1つのインタフェースから管理できます。

CASAを使用してパスワードを管理する前に、CASAをYaSTで有効にする必要があります。このため、YaSTを起動して、[セキュリティ] > [CASA] をクリックします。[CASAの設定] ダイアログで [Enable CASA] をクリックし、確認メッセージの後に [完了] をクリックしてYaSTを閉じます。

## 手順 2.5 Novell CASAによるパスワードの管理

- 1 [コンピュータ] > [コントロールセンター] > [パーソナル] > [Novell CASA Manager] をクリックします。
- 2 CASAサービスがまだ利用できない場合、適切なYaSTモジュールを起動してCASAを有効にするよう求めるメッセージボックスが表示されます。
- 3 CASAを初めて起動すると、資格情報を暗号化して安全にするためのマスタパスワードを要求されます。マスタパスワードを2度入力して、[OK] をクリックします。[Novell CASA Manager] が開きます。





---

**重要項目:** **CASA**の永続ストレージはログインパスワードにリンクされています。

ログインパスワードが記録され、*SS\_Credset:Desktop* エントリが *[miCASA]* タブに表示されていることを確認します。エントリが表示されていない場合、デスクトップからログアウトして、もう一度ログインしてパスワードを **CASA** に記録します。ログインパスワードが **CASA** に通知されていないと、**Single Sign-on** を使用できません。

---

- 4 **CASA**を設定するには、*[オプション]* > *[Preferences]* を選択します。
- 5 *[設定]* ダイアログで、**CASA**でサポートされているストアを選択し、*[OK]* をクリックします。選択したストアごとにタブが追加されるので、*Novell CASA Manager* から保存されたパスワードにアクセスして管理できるようになります。
- 6 ストアの1つからパスワードを削除するには、エントリを選択して右クリックして、*[削除]* を選択します。
- 7 **CASA** マスタパスワードを変更する必要がある場合は、*[オプション]* > *[Change Master Password]* を選択します。

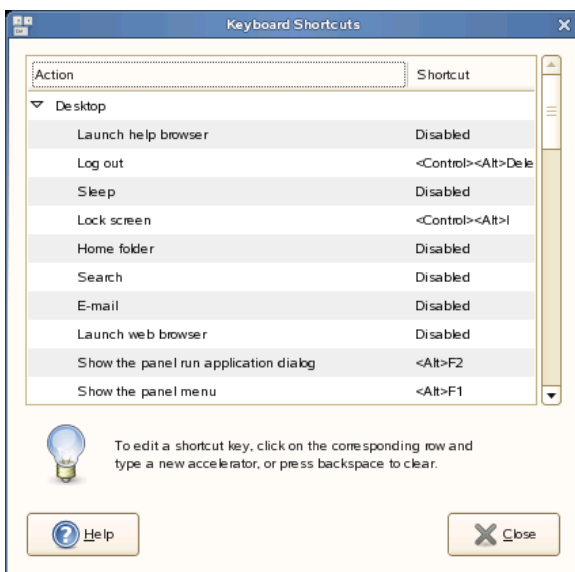
既存のパスワードを編集したり、パスワードをインポートまたはエクスポートしたり、パスワードを **Novell CASA** とリンクさせることもできます。詳細は *[Help]* > *[Contents]* をクリックして、**CASA** オンラインヘルプにアクセスしてください。**CASA** のマニュアル一式は、<http://developer.novell.com/wiki/index.php/Special:Downloads/casa> で入手できます。

## 2.4.6 キーボードショートカットの カスタマイズ

キーボードのショートカット、つまりキーの組み合わせは、アクションを実行する通常の方法に代わるものです。さまざまなアクションに対して、キーボードのショートカットをカスタマイズできます。

キーボードのショートカットツールを開くには、*[コンピュータ]* > *[コントロールセンター]* > *[パーソナル]* > *[ショートカット]* の順に選択します。

## 図 2.21 キーボードのショートカットダイアログ



アクションのショートカットを変更するには、アクションを選択し、関連付けたいキーを押します。アクションに対するショートカットを無効にするには、アクションのショートカットをクリックして、<キーを押します。

## 2.5 システム

次のセクションでは、言語設定、電源管理、優先アプリケーション、セッションおよびセッション共有の初期設定、Beagle検索オプション、オーディオ初期設定など、GNOMEデスクトップのシステム面の設定方法の例を紹介します。

### 2.5.1 ストリーミングオーディオとビデオの設定

GNOMEコントロールセンターでは、ストリーミングマルチメディアで使用するオーディオおよびビデオプラグインを設定できます。このアプリケーションを表示するには、[コンピュータ] > [コントロールセンター] > [システム] > [GStreamer プロパティ] の順にクリックします。

たいていの場合は、デフォルト値を使用してください。ただし、別のプラグインを選択したい場合は、メニューから目的のプラグインを選択します。

[オーディオ] タブには、オーディオ入力/出力用のプラグインが表示されます。[ビデオ] タブには、ビデオプラグインが表示されます。

作業が完了したら、[閉じる] をクリックします。システムは、選択したプラグインを使用するように、即座に設定されます。

## 2.5.2 言語設定の実行

SUSE Linux Enterprise Desktopは何ヶ国語でも使用する設定が可能です。言語設定はダイアログやメニューの言語を決定し、キーボードや時計のレイアウトも決定します。

次の言語設定を実行できます。

- プライマリ言語
- キーボードの言語設定のプライマリ言語への依存
- タイムゾーンのプライマリ言語への依存
- セカンダリ言語

言語設定は次の手順で実行します。

- 1 [コンピュータ] > [コントロールセンター] > [システム] > [システム] [言語] の順にクリックします。
- 2 rootパスワードを入力します。  
  
rootのパスワードがわからない場合は、システム管理者に問い合わせてください。rootのパスワードを入力しないと継続できません。
- 3 プライマリ言語を指定し、キーボードのレイアウトやタイムゾーンをプライマリ言語に合わせるか、コンピュータでサポートが必要なセカンダリ言語があるかを指定します。
- 4 [承諾] をクリックします。

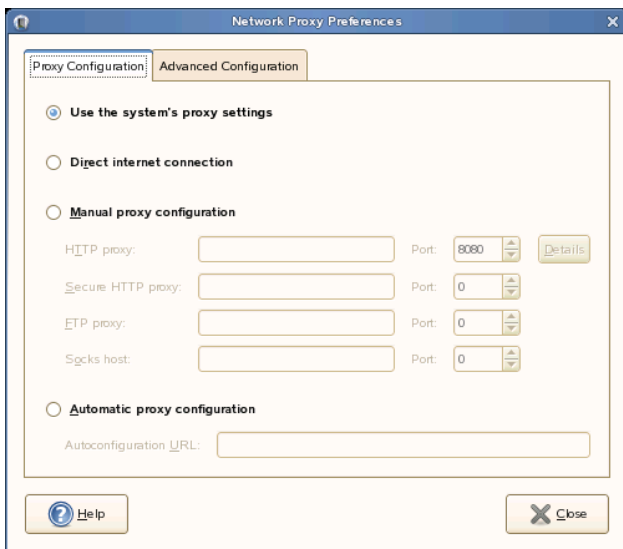
言語設定が複数の設定ファイルに書き込まれます。このプロセスには数分かかることがあります。新しい設定は、設定ファイルが書き込まれるとすぐに有効になります。

## 2.5.3 ネットワークプロキシの設定

ネットワークプロキシ設定ツールでは、システムのインターネット接続方法を設定できます。デスクトップがプロキシサーバに接続するように設定し、サーバの詳細を指定できます。プロキシサーバは、別のサーバへのリクエストを傍受し、可能な場合はそのリクエストを実行します。プロキシサーバのドメインネームサービス(DNS)名、またはインターネットプロトコル(IP)アドレスを指定できます。DNS名はネットワーク上のコンピュータに対する一意のアルファベットの識別子です。IPアドレスはネットワーク上のコンピュータに対する一意の数字の識別子です。

[コンピュータ] > [コントロールセンター] > [システム] > [Network Proxies] をクリックします。

図 2.22 ネットワークプロキシ設定ダイアログ



それぞれのオプションの詳細については、[Help] をクリックしてください。

## 2.5.4 電源管理の設定

電源管理モジュールを使って、システムの節電オプションを管理することができます。特にラップトップの電池を節約するのに役立ちます。コンピュータを電源に接続して使用する場合には、節電に役立つ複数のオプションがあります。

スリープモードは、一定時間使用されていないコンピュータをシャットダウンします。電池を使用している場合でもAC電源を使用している場合も、コンピュータがどのくらいの時間使用されないままであればスリープ状態になるかを指定できます。コンピュータをシャットダウンせずにディスプレイをスリープ状態にして、表示に必要な電力を節約することもできます。

スリープモードは、コンピュータが電池で作動している場合は特に重要です。画面とコンピュータの両方が電池で作動している場合は、どちらか一方か両方をシャットダウンするとかなりの電池が節約できます。短時間でディスプレイをスリープモードにする方法は、よく使われています。さらにコンピュータが使われない状態にある場合もスリープモードになります。

電源管理モジュールでは、設定できるスリープモードまたはアクションがいくつかあります。

### 何もしない

コンピュータはシャットダウンせず、自動的に節電モードにも入りません。ラップトップの場合、ラップトップはカバーを閉じて通常は実行を続けます。

### 画面の消去(ブランク画面)

画面に花にも表示されず、電力消費を抑えることができます。

### Suspend

サスペンドモードは、ディスプレイやハードディスクなどの電気消費量の多いコンポーネントを、RAMの内容を保存せずにオフにします。保存されていないデータは失われます。

### 休止

コンピュータはRAMの内容をハードディスクに保存して、シャットダウンします。再びコンピュータの電源を入れると、保存されたデータがRAMに戻り、コンピュータはシャットオフする前の状態に復元します。休止

状態にするには、コンピュータにインストールされているRAMと同じ量の空きスペースがハードディスクに必要です。

電源管理モジュールを開くには、[コンピュータ] > [コントロールセンター] > [システム] > [Power Management] をクリックします。

## 手順 2.6 コンピュータのスリープ設定の指定

- 1 使用している電源と同じタイプのタブをクリックします。コンピュータでAC電源を使用している場合は、[AC動作] をクリックします。お使いのコンピュータがバッテリーを使用している場合は、[バッテリー動作] をクリックします。コンピュータがAC電源とバッテリーの両方で動作している場合は、両方のタブの設定を行うことができます。

選択した設定は、使用している電源ソースにかかわらず有効になります。

- 2 ディスプレイとコンピュータをスリープモードにするまでの、何も操作が行われなかった時間を調整するには、スライダを使用します。

ディスプレイがスリープモードでも、コンピュータは動作し続けます。コンピュータがスリープモードになっている場合、ディスプレイとハードディスクへの電力供給は中断され、RAMの内容を保持するために必要な電力だけが消費されます。

- 3 ラップトップコンピュータの場合、ラップトップのカバーを閉じた時の動作を設定します。
- 4 ラップトップのバッテリーの管理方法を設定した場合、バッテリー容量が低下した場合の対処方法を設定します。

メニューからオプションを選択します。十分な空きスペースがディスクにある場合は、休止状態の選択を推奨します。

- 5 パフォーマンスよりも電源の節約を優先する場合は、該当するオプションを選択します。

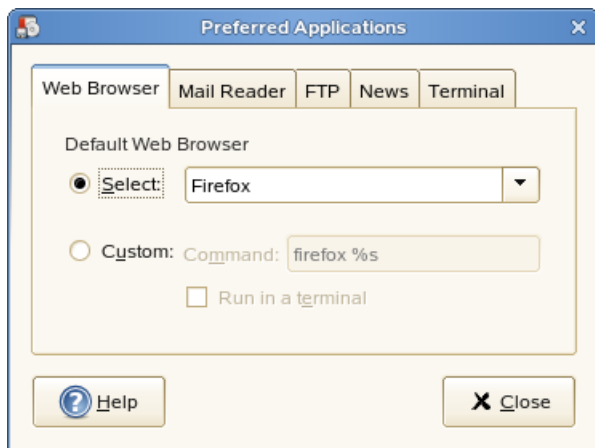
このチェックボックスを選択した場合、ディスプレイなどの電力を消費する機能のパフォーマンスは、電力の消費を抑えるために低下します。

- 6 [一般] タブで、電源ボタンを押したときのアクション、コンピュータを使用していないときのスリープのタイプなど、さらにオプションを設定できます。ここで使用できるオプションは、使用しているコンピュータのタイプ(ラップトップまたはその他のコンピュータ)によって異なります。
- 7 通知領域に電源アイコンをいつどのように表示するかも定義できます。
- 8 すべてのオプションが希望どおりに設定されたら、[閉じる] をクリックします。選択したオプションは、すぐに有効になります。

## 2.5.5 優先アプリケーションモジュールの設定

優先アプリケーションモジュールでは、インターネットのブラウザ、メールの送信、FTPによるデータ転送など、さまざまな一般的なタスクに対するデフォルトのアプリケーションを変更できます。

図 2.23 優先アプリケーション



- 1 [コンピュータ] > [コントロールセンター] > [システム] > [優先アプリケーション] をクリックします。
- 2 設定するアプリケーションのタイプのタブをクリックします。

- 3 [選択] メニューから利用可能なアプリケーションを選択するか、アプリケーションの起動に使用するコマンドを入力します。
- 4 [閉じる] をクリックします。

変更はすぐに有効になります。

## 2.5.6 セッション共有環境設定

[Remote Desktop Preference(リモートデスクトップ設定)] ダイアログボックスでは、複数のユーザとGNOMEデスクトップセッションを共有し、セッション共有環境設定を実行できます。

---

**重要項目:** デスクトップセッション共有によるシステムセキュリティへの影響

デスクトップセッションを共有すると、セキュリティリスクが生じることがあります。可能な制約オプションを使用してください。オプションを調整してセキュリティレベルを低下させる必要がある場合は、できるだけ速やかに高いセキュリティレベルに切り替えてください。

---

- 1 [コンピュータ] > [コントロールセンタ] > [システム] > [リモートデスクトップ] の順にクリックします。





- 2 デスクトップセッションを他のユーザと共有するには、*[Allow other users to view your desktop]* を有効にします。リモートユーザからのすべてのキーボード、ポインタ、クリップボードイベントは無視されます。
- 3 他のユーザにリモートでセッションにアクセスさせて制御させるには、*[Allow other users to control your desktop]* を有効にします。下にある選択したテキストをクリックすると、リモートユーザにシステムアドレスが電子メールで送信されます。
- 4 可能な場合はセキュリティオプションを使用します。*[Ask you for confirmation]* が有効な場合、リモートユーザはセッションに接続する前に確認が必要になります。セキュリティレベルを高めるには、*[Require the user to enter this password]* (認証を使用する場合)を有効にします。

## 2.5.7 Beagle設定での検索の設定

BeagleはGNOMEデスクトップで使用される検索エンジンです。デフォルトで、Beagleは自動的に起動し、ホームディレクトリに索引を付けます。この設定を変更したり、検索後に表示される結果の数を指定したり、Beagleプライバシー設定を変更するには、*[コンピュータ] > [コントロールセンター] > [システム] > [Search & Indexing]* をクリックします。

### 図 2.24 検索の初期設定



詳細については、9.4項「検索の環境設定」(213 ページ)および9.6項「ファイルとディレクトリにインデックスをつけない」(216 ページ)を参照してください。

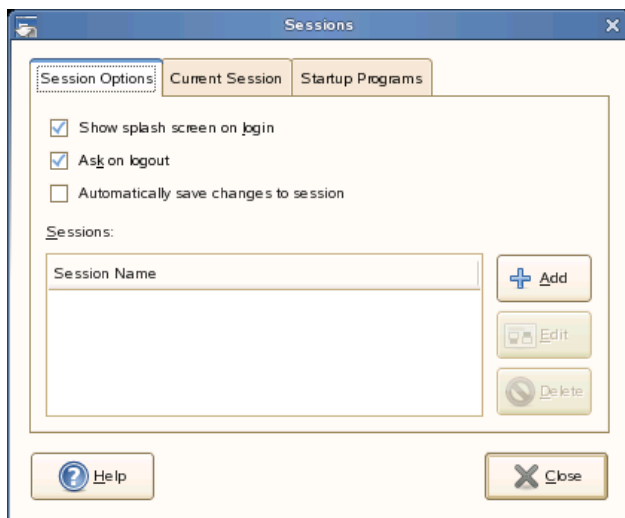
## 2.5.8 セッションの管理

このモジュールでは、セッションの管理が可能です。セッションは、デスクトップ環境にログインした時間と、ログアウトした時間の間に生じます。セッションの環境設定を行い、セッション開始時に起動するアプリケーションを指定できます。セッションにアプリケーションの状態を保存させ、別のセッションを開始したときに、その状態を復元するように設定できます。

この環境設定ツールには、複数のセッションを管理させることもできます。たとえば、旅行中に最も頻繁に使用するアプリケーションを起動するモバイルセッション、顧客にデモンストレーションやスライドショーを見せる場合に使用するアプリケーションを起動するデモセッション、オフィスでの仕事の中にさまざまなアプリケーションセットを使用するワークセッションなどがある場合です。

[コンピュータ] > [コントロールセンター] > [システム] > [セッション] の順にクリックします。

### ☒ 2.25 セッションダイアログ—セッションオプションページ



## 手順 2.7 環境設定の実行

- 1 [セッションオプション] タブを使用して、複数のセッションを管理し、現在のセッションに対する環境設定を実行します。

たとえば、複数のセッションを管理するには、[Add] をクリックしてセッション名を入力し、新しいセッションを作成します。GDMにログインすると、複数のセッションから使用するものを選択できます。

- 2 [Current Session] タブで、現在のセッションのオプションを変更できます。それぞれのオプションの詳細については、[Help] をクリックしてください。

- 3 [Startup Programs] タブで、プログラムを追加してセッションの開始時に自動的に起動できます。[Add] をクリックして、このアプリケーションを実行するコマンドを指定します。2つ以上のスタートアップアプリケーションを指定するには、[順番] ボックスで、それぞれのアプリケーションのスタートアップの順番を指定します。ログインすると、コマンドが自動的に実行されます。

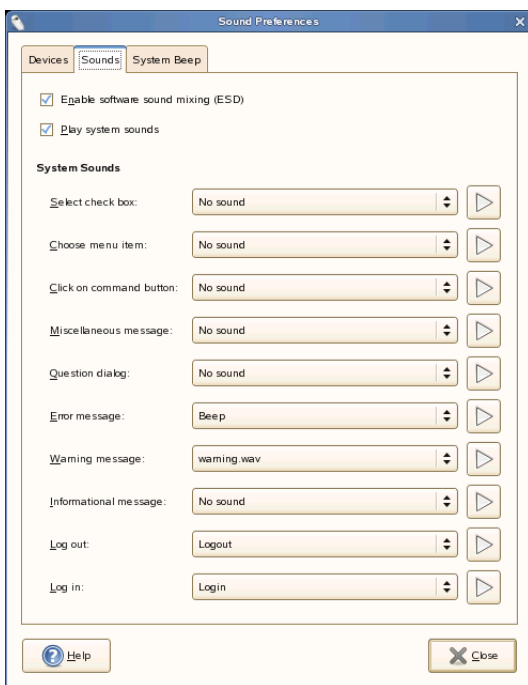
スタートアップアプリケーションの削除、またはスタートアップアプリケーションの一時的な無効化も実行できます。

## 2.5.9 サウンド環境設定の実行

サウンド環境設定ツールでは、サウンドサーバをいつ起動するかを制御できます。特定のイベントが発生したときに、再生するサウンドも指定できます。

サウンド環境設定ツールを起動するには、[コンピュータ] > [コントロールセンター] > [システム] > [サウンド] の順にクリックします。

## 図 2.26 サウンド環境設定ダイアログ



[サウンド] タブを使用して、サウンドサーバをいつ起動するかを指定します。サウンドイベント機能も有効にできます。

セッション開始時にサウンドサーバを起動させるには、*[Enable software sound mixing (ESD)]* をクリックします。サウンドサーバがアクティブになると、デスクトップはサウンドを再生できます。

デスクトップで特定のイベントが発生したときにサウンドを再生するには、*[Play system sounds]* をクリックします。

最後に、指定したイベントのそれぞれで再生するサウンドを選択します。

キーボード入力エラー時にビーブ音を再生するアプリケーションもあります。システムビーブ音の環境設定の実行には、*[System Beep]* タブを使用します。

## 2.5.10 YaSTを使った管理設定;

YaSTは、コントロールパネルからだけでなく、アプリケーションメニューから利用することもできます。YaSTの使用方法については、『*Deployment Guide*』の「*System Configuration with YaST*」を参照してください。



## パート II. オフィスとコラボレーション





# OpenOffice.org オフィススイート

OpenOffice.orgはパワフルなオープンソースのオフィススイートで、テキスト文書の作成、表計算ドキュメントの使用、図形やプレゼンテーションの作成など、あらゆる種類のオフィスタスクに対応するツールを備えています。OpenOffice.orgでは、異なるコンピューティングプラットフォーム間で、同じデータを共用できます。また、必要に応じて、Microsoft Officeなどの他の形式でファイルを開いて編集し、この形式に戻して保存することもできます。この章では、Novell@版のOpenOffice.org、およびこのスイートを使用するために必要な主要機能について説明します。

## 3.1 OpenOffice.orgについて

OpenOffice.orgは、互いに連携する複数のプログラムモジュールで構成されています。モジュールの一覧は、表 3.1 にあります。各モジュールの詳細については、3.8項「[OpenOffice.orgに関するヘルプと情報の検索](#)」(148 ページ)で説明するオンラインヘルプを参照してください。

表 3.1 OpenOffice.org アプリケーションモジュール

モジュール	目的
Writer	ワードプロセッサアプリケーションモジュール
Calc	表計算アプリケーションモジュール
Impress	プレゼンテーションアプリケーションモジュール

モジュール	目的
Base	データベースアプリケーションモジュール
Draw	ベクタ図形の描画用アプリケーションモジュール
Math	数式生成用アプリケーションモジュール

アプリケーションの外観は、使用しているデスクトップやウィンドウマネージャによって異なります。外観に関係なく、基本的なレイアウトと機能は同じです。

このセクションでは、OpenOffice.orgのすべてのアプリケーションモジュールに適用される情報を記載しています。モジュール固有の情報は、以下のサブセクションで説明しています。

### 3.1.1 Novell版のOpenOffice.orgの利点

SUSE Linux Enterprise Desktopには、Novell版のOpenOffice.orgが用意されています。Novell版には、標準版に含まれていないさまざまな拡張機能が追加されています。

#### Calcの拡張機能

Novell版のOpenOffice.org Calcには、標準版にはない以下の機能が追加されています。

- 一部の関数に対するExcelとの互換性の改善(例:ADDRESS/OFFSE)。
- 標準版にはないキーバインドの修正や、「結合して中央揃え」に関する問題などの、操作性の改善。
- R1C1形式のアドレスのサポート。
- OpenOffice.orgのデータパイロットとMicrosoft\*ピボットテーブル\*の相互運用性。
- データパイロット作成後の編集機能。

- ピボットテーブルからのデータの操作に役立つGETPIVOTDATA関数の追加。
- Excel VBAマクロのサブセットの包含。このサブセットはネイティブのマクロのように、OpenOffice.orgにロードして実行できます。さまざまな会計/管理ツールをOpenOffice.orgに移行できるため、StarBasicを使っていちいち作成し直す手間を省けます。
- 単純な数値分析を行うための線形ソルバ。

## Writerの拡張機能

Novell版のOpenOffice.org Writerには、標準版にはない以下の機能が追加されています。

- ドキュメント構造をツリービューで表示するナビゲータにより、ドキュメントのナビゲーションを改善。
- 変更履歴の相互運用性の改善。
- HTMLエクスポート精度の向上。
- フォント印刷の改善。
- 「フォームフィールドの処理」の拡張。

「フォームフィールド」はMicrosoft Officeの概念で、ユーザがテキストフィールド、チェックボックス、ドロップダウンリストをドキュメントに追加し、簡単に記入できるフォームを作成できるようにするものです。

拡張フィールドのサポートを無効にして限定的なフォームフィールドを使用するには、次の設定項目を設定します。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<oor:component-data
  xmlns:oor="http://openoffice.org/2001/registry"
  xmlns:xs="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
  oor:name="Common"
  oor:package="org.openoffice.Office">
  <node oor:name="Filter">
    <node oor:name="Microsoft">
      <node oor:name="Import">
        <prop oor:name="ImportWWFieldsAsEnhancedFields" oor:type="xs:boolean">
```

```
<value>>false</value>
</prop>
</node>
</node>
</node>
</oor:component-data>
```

## フォントの改善

Novell版のOpenOffice.orgでは、さまざまなフォントの改善が行われています。次に例を示します。

- フォント表示の見栄えをよくするために、エイリアス(ビットマップ)フォントを禁止。
- AGFAからライセンスを受けた一連のフォントの導入、これらのフォントはMicrosoftの一部のデフォルトフォントと互換性があり、ドキュメントのエクスポート/インポート時に対応するMicrosoftフォントと透過的にマッピングされます。
- OpenSymbolフォントの改善。グリフのない場合に表示されるシンボルよりも、見やすい黒丸を提供します。

## OpenClipart

Novell版OpenOffice.org(Linux用)には、OpenClipart<http://openclipart.org>プロジェクトが提供する膨大な無料のクリップアートが用意されています。クリップアートを利用するには、[ツール] > [ギャラリー] の順にクリックします。

## マルチメディア

Novell版には、Linuxのgstreamerを使ったネイティブプラットフォームマルチメディアサポートが含まれています。

## パフォーマンスの改善

Novell版のOpenOffice.org (Linux用)には、さまざまな改良が加えられ、標準版と比べてより高速に起動します。メモリの搭載量が少ないシステムでも、問題ありません。

## GroupWiseの統合

Novell版のOpenOffice.orgには、GroupWiseの基本機能が統合されており、GroupWiseドキュメント管理システムにドキュメントを保存したり、システムからロードすることができます。

### 3.1.2 スタンダード版のOpenOffice.orgの使用

Novell版の代わりに標準版のOpenOffice.orgを利用することもできます。最新版のOpenOffice.orgをインストールした場合でも、Novell版のファイルをそのまま利用できます。ただし、標準版にはNovell版に用意されている拡張機能は含まれていません。

### 3.1.3 他のOfficeアプリケーションとの互換性

OpenOffice.orgでは、Microsoft Officeも含めさまざまな形式の文書、スプレッドシート、プレゼンテーション、およびデータベースを使用できます。これらのファイルは元のファイルと同様にシームレスに開いたり、元の形式で保存したりできます。Microsoftの形式には専有権があり、仕様は他のアプリケーションで利用できません。そのため、書式の問題が発生することがあります。ドキュメントの問題が発生した場合は、元のアプリケーションで開き、テキストドキュメントの場合はRTF、スプレッドシートの場合はCSVなどのオープン形式で再び保存してみます。

---

#### ティップ

他のオフィススイートからOpenOffice.orgへ移行する場合に役立つ情報については、『OpenOffice.org Migration Guide』(<http://documentation>)

## OpenOffice.org形式への文書の変換

OpenOffice.orgは、さまざまな形式のドキュメントを開いたり、編集したり、保存したりできます。他のアプリケーションからのファイルを利用するために、ファイル形式をOpenOffice.org形式に変換する必要はありません。ただし、必要であれば、ファイルを変換しても構いません。ドキュメントを変換する場合は、次の手順に従ってください。

- 1 [ファイル] > [ウィザード] > [ドキュメント変換] の順に選択します。
- 2 変換前のファイル形式を選択します。

StarOfficeとMicrosoft Officeの複数の形式が用意されています。

- 3 [Next]をクリックします。
- 4 変換するドキュメントとテンプレートがある場所、および変換されるファイルの保管場所を指定します。

---

### 重要項目

Windowsパーティションにある文書は、通常、/windowsのサブディレクトリにあります。

---

- 5 設定内容を確認し、[次へ] を選択します。
- 6 実行するアクションの概要を確認したら、[変換] をクリックして変換を開始します。

変換にかかる時間は、ファイル数やファイル形式の複雑さによって異なります。たいていの場合、変換にはさほど時間はかかりません。

## 他のオフィススイートのユーザとのファイル共有

OpenOffice.orgは、多くのオペレーティングシステムで使用できます。このため、OpenOffice.orgはユーザのグループが頻繁にファイルを共有する必要がある各自のコンピュータのシステムが異なる場合、有効なツールになります。

他のアプリケーションと文書を共有する場合は、いくつかの方法があります。

受信者がファイルを編集できるようにする必要がある場合

そのユーザが必要とするファイル形式でドキュメントを保存します。たとえば、Microsoft Wordファイルとして保存する場合は、[ファイル] > [名前を付けて保存] の順にクリックして、適切なバージョンのMicrosoft Wordファイル形式を選択します。

受信者がドキュメントを編集する必要がない場合

[ファイル] > [PDFとしてエクスポート] の順に選択して、ドキュメントをPDFファイルとして保存します。PDFファイルは、Adobe Acrobat Readerなどのビューアを使用して任意のプラットフォームで参照できます。

ドキュメントを共有して編集する場合

標準の文書形式のうち、いずれかを使用します。デフォルトの形式はOASISの標準XML形式に準拠しています。この形式では、多くのアプリケーション間で互換性が確保されます。TXTとRTF形式は書式設定に制限がありますが、テキスト文書には良い選択肢です。カンマ区切り値(CSV)はスプレッドシートに便利です。OpenOffice.orgでは、受信側が希望する形式、特にMicrosoft形式で提供できる場合があります。

ドキュメントをPDF形式でメール送信する場合

[ファイル] > [送信] > [PDFとしての電子メール] の順にクリックします。デフォルトの電子メールプログラムが起動し、PDF形式のファイルが添付されます。

Microsoft Wordユーザにドキュメントをメール送信する場合

[ファイル] > [送信] > [Microsoft Word として電子メール] の順にクリックします。デフォルトの電子メールプログラムが起動し、ファイルが添付されます。

ドキュメントを電子メール本文として送信

[ファイル] > [送信] > [E-mailとしてのドキュメント] の順にクリックします。デフォルトの電子メールプログラムが起動し、電子メール本文にドキュメントの内容が表示されます。

## 3.1.4 OpenOffice.orgの起動

アプリケーションを起動するには、次のいずれかの手順に従ってください。

- [コンピュータ] > [OpenOffice.org Writer] の順にクリックします。

Writerが起動します。別のモジュールを起動するには、Writerから [ファイル] > [新規] の順にクリックし、適切なモジュールを選択します。

- [コンピュータ] > [他のアプリケーション] > [Office] の順にクリックし、起動するOpenOffice.orgモジュールの名前をクリックします。
- ターミナルウィンドウで、oofficeを入力します。OpenOffice.orgウィンドウが表示されます。[ファイル]、[新規作成] の順にクリックし、起動するモジュールを選択します。

OpenOffice.orgアプリケーションが開かれている場合、[ファイル] > [新規作成] > [Name of Application] の順にクリックして、他のアプリケーションを起動できます。

## 3.1.5 OpenOffice.orgのロード時間の改善

システム起動時にアプリケーションを事前ロードしてOpenOffice.orgのロード時間を高速化には、次の手順に従います。

- 1 [ツール] > [オプション] > [メモリ] の順にクリックします。
- 2 [Enable systray quickstarter] (システムトレイクイックスタートを有効にする) をクリックします。

次のシステム起動時に、OpenOffice.orgが事前ロードされます。この場合、システム起動時にアプリケーションがロードされるため、OpenOffice.orgアプリケーションモジュールを素早く起動することができます。



## 3.1.6 OpenOffice.orgのカスタマイズ

自分の作業スタイルやニーズに応じて、OpenOffice.orgをカスタマイズすることができます。たとえば、ツールバー、メニュー、およびキーボードショートカットをカスタマイズして、最も頻繁に使用する機能に簡単にアクセスできるようになります。また、特定のイベントに対してマクロを割り当てることにより、イベント発生時に特定の操作を実行することができます。たとえば、常に特定のスプレッドシートを使って作業する場合、そのスプレッドシートを開くマクロを作成して、[Start Application] イベントに指定することができます。

ここでは、ご利用の環境をカスタマイズするための一般的な方法について説明します。変更はすぐに反映されるため、目的どおりに変更されたか確認でき、目的に合わない場合は戻って修正できます。詳細な手順は、OpenOffice.orgのヘルプファイルを参照してください。

### ツールバーのカスタマイズ

OpenOffice.orgツールバーを変更するには、[カスタマイズ] ダイアログを使用します。

- 1 ツールバーの端にある矢印アイコンをクリックします。
- 2 [ツールバーをカスタマイズ] をクリックします。
- 3 カスタマイズするツールバーを選択します。

クリックしたツールバーはすでに選択されています。カスタマイズするツールバーを変更するには、[Toolbar] メニューから目的のツールバーを選択します。

- 4 コマンドをツールバーに表示する場合は、コマンドの隣にあるチェックボックスを選択します。ツールバーに表示しないコマンドは、チェックボックスの選択を解除してください。
- 5 ツールバーの変更内容をOpenOffice.orgモジュールに保存するか、または現在のドキュメントに保存するか、いずれかを選択します。

- (OpenOffice.orgモジュール名)

そのモジュールで、常にカスタマイズしたツールバーを使用する場合に選択します。

- (文書名)

その文書を開いた場合に、カスタマイズしたツールバーを使用します。

**6** 必要に応じて他のツールバーもカスタマイズします。

**7** **[OK]** をクリックします。

特定のツールバーに表示するボタンを簡単に選択できます。

**1** 変更するツールバーの端にある矢印アイコンをクリックします。

**2** **[ボタンの表示/非表示]** をクリックして、ボタンのリストを表示します。

**3** 表示されたボタンのリストから、表示するボタン(チェックする)や非表示にするボタン(チェックを解除する)を選択します。

## メニューのカスタマイズ

メニューへの項目の追加、メニューからの項目の削除、項目の位置変更、および新規メニューの作成ができます。

**1** **[ツール] > [カスタマイズ] > [メニュー]** の順にクリックします。

**2** 変更するメニューを選択します。新しくメニューを作成する場合は、**[新規]** をクリックします。

**[カスタマイズ]** ダイアログ中のオプションの詳細を参照するには、**[ヘルプ]** をクリックします。

**3** 必要に応じてメニュー項目を追加、削除、または変更します。

**4** **[OK]** をクリックします。

## キーボードショートカットのカスタマイズ

現在割り当てられているキーボードショートカットを変更して、頻繁に使う機能に新たなショートカットを割り当てることができます。

- 1 [ツール] > [カスタマイズ] > [キーボード] の順にクリックします。
- 2 機能を割り当てるキーを選択するか、機能を選択してキーまたはキーの組み合わせを割り当てます。  
  
[カスタマイズ] ダイアログ中のオプションの詳細を参照するには、[ヘルプ] をクリックします。
- 3 必要に応じてキーボードショートカットを追加、削除、または変更します。
- 4 [OK] をクリックします。

## イベントのカスタマイズ

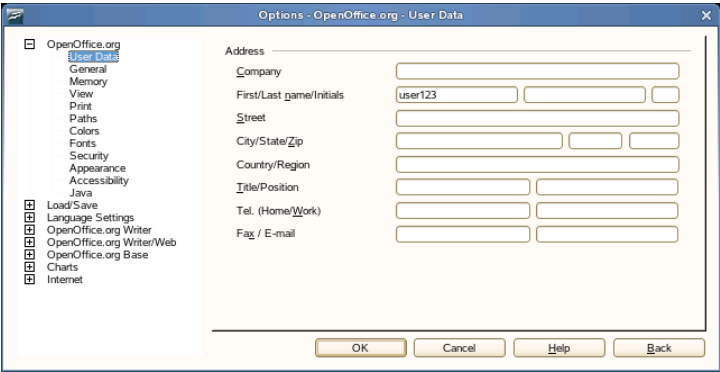
OpenOffice.orgでは、アプリケーションの起動やドキュメントの保存など、特定のイベントに対してマクロを割り当てることができます。イベントが発生すると、割り当てられたマクロが自動的に実行されます。

- 1 [ツール] > [カスタマイズ] > [イベント] の順にクリックします。
- 2 変更するイベントを選択します。  
  
[カスタマイズ] ダイアログボックス中のオプションの詳細を参照するには、[ヘルプ] をクリックします。
- 3 選択したイベントにマクロを割り当てるか、または割り当てを削除します。
- 4 [OK] をクリックします。

# グローバル設定の変更

OpenOffice.orgのグローバル設定を変更するには、メニューバーで [ツール] > [オプション] の順にクリックします。次の図に示すようなウィンドウが表示されます。ここでは、設定項目がツリー構造で分類されています。

図 3.1 [オプション] ウィンドウ



次の表に、各カテゴリとその簡単な説明を示します。

## 注意

表示される設定カテゴリは、作業しているモジュールによって異なります。たとえば、**Writer**で作業を行っている場合は、リストに**OpenOffice.org Writer** カテゴリが表示されます。ただし、**OpenOffice.org Calc** カテゴリは表示されません。**OpenOffice.org Base** カテゴリは、**Calc**と**Writer**のどちらにも表示されます。テーブルの [アプリケーション] 列は、各設定カテゴリを利用できるアプリケーションを表しています。

表 3.2 グローバル設定のカテゴリ

設定カテゴリ	説明	アプリケーション
<i>OpenOffice.org</i>	ユーザデータ(住所や電子メールアドレスなど)、重要なパス、およびプリンタや外部ブ	すべて

設定カテゴリ	説明	アプリケーション
	ログラム関連の設定など、さまざまな基本的な設定オプションがあります。	
読み込みと保存	さまざまな種類のファイルの表示、保存に関連する設定オプションがあります。一般的な設定のほかに、外部形式の処理方法を定義するのに使用するオプションも用意されています。	すべて
言語設定	ロケールやスペルチェック設定など、言語およびドキュメント入力に関するさまざまな設定があります。ここで、ドキュメントの標準言語を日本語などのアジア言語に設定することもできます。	すべて
OpenOffice.org Writer	フォントやレイアウトなど、Writerの使用に関する設定オプションがあります。	Writer
OpenOffice.org Writer/Web	OpenOffice.orgのHTMLオーサリング機能に関する設定オプションがあります。	Writer
OpenOffice.org Calc	リストやグリッドなどの、Calc関連の設定オプションがあります。	Calc
OpenOffice.org Impress	すべてのプレゼンテーションに適用する設定を変更します。たとえば、エレメントを配置する場合に使用するグリッド間隔の単位を指定できます。	Impress
OpenOffice.org Draw	図形描画の倍率、グリッドのプロパティ、印刷など、ベクタ描画モジュールに関連する設定オプションがあります。	Draw
OpenOffice.org Math	Formulaに特殊な印刷オプションを設定するための単一ダイアログを提供します。	Math

設定カテゴリ	説明	アプリケーション
<i>OpenOffice.org Base</i>	接続と登録データベースの設定、編集を行うダイアログを提供します。	Base
<i>Charts</i>	新規作成したグラフに使用するデフォルトの色を設定するオプションがあります。	すべて
インターネット	プロキシや検索エンジンに関する設定オプションがあります。	すべて

## 重要項目

テーブルに記載されているすべての設定は、指定したアプリケーションにグローバルに適用されます。これらの設定内容は、新しくドキュメントを作成する場合のデフォルト値として使用されます。

## 3.1.7 テンプレートの検索

テンプレートを利用して、さまざまな種類のドキュメントの書式設定作業を簡略化できます。OpenOffice.orgには、あらかじめいくつかのテンプレートが用意されています。また、インターネットから他のテンプレートを検索して入手することもできます。さらに、自分で独自のテンプレートを作成することもできます。ここでは、テンプレートの作成方法については取り上げません。OpenOffice.orgのヘルプや、インターネット上の他の資料を参考にしてください。

インターネットには、テンプレートだけでなく、他の追加機能やアドインも公開されています。テンプレートや他の機能を入手できる代表的な場所を次の表に示します。Webサイトは頻繁に閉じられたりコンテンツが変更されたりするため、以下の表の情報は最新ではない可能性があります。

表 3.3 OpenOffice.orgテンプレートやアドインの入手場所

ディレクトリ	内容
OpenOffice.org ドキュメントWebサイト( <a href="http://documentation.openoffice.org/Samples/_Templates/User/template_2_x/index.html">http://documentation.openoffice.org/Samples/_Templates/User/template_2_x/index.html</a> )	Calcスプレッドシート用テンプレート、CDケース、シード PACKET、ファックス表紙など
Worldlabel.com ( <a href="http://www.worldlabel.com/Pages/openoffice-template.htm">http://www.worldlabel.com/Pages/openoffice-template.htm</a> )	さまざまなラベル用テンプレート

テンプレートの詳細については、[3.2.4項「テンプレートを使ったドキュメントの書式設定」](#) (133 ページ)および[3.3.2項「Calcにテンプレートを使用する」](#) (139 ページ)を参照してください。

## 3.2 Writerによるドキュメント作成

OpenOffice.org Writerは、ページおよび文字列の書式設定機能も含め、豊富な機能を持つワードプロセッサです。Writerのインタフェースは、他の一般的なワードプロセッサと似ています。また、通常、高価なDTPアプリケーションにしかないような機能も用意されています。

ここでは、Writerの主な機能について取り上げます。Writerの機能の詳細や使用方法については、OpenOffice.orgのヘルプや、[3.8項「OpenOffice.orgに関するヘルプと情報の検索」](#) (148 ページ)に記載されているソースを参照してください。

---

### 注意

ここで説明している情報は、他のOpenOffice.orgモジュールにも適用されます。たとえば、Writerでスタイルを使用する場合と同様に、他のモジュールでもスタイルを使用することができます。

---

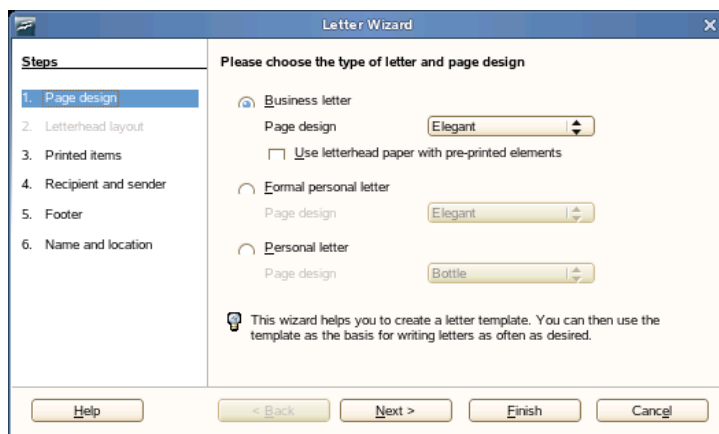
## 3.2.1 新しい文書の作成

新しい文書を作成するには、次の2種類の方法があります。

最初から文書を作成する場合は、[ファイル] > [新規作成] > [文書ドキュメント] の順に選択します。

作成する文書に標準形式や定義済みの形式を使用する場合は、ウィザードを使用します。ウィザードは小さなユーティリティで、基本的な決定を行うと、テンプレートからレディメードの文書が作成されます。たとえば、ビジネスレターを作成する場合は、[ファイル] > [ウィザード] > [レター] の順に選択します。ウィザードのダイアログを使用すれば、標準書式を使用する基本文書を簡単に作成できます。ウィザードのダイアログのサンプルは、「[図 3.2](#)」にあります。

**図 3.2** OpenOffice.org ウィザード



必要に応じて文書ウィンドウにテキストを入力します。[Formatting (書式設定)] ツールバーまたは [Format (書式)] メニューを使用して文書の外観を調整します。[ファイル] メニューまたはツールバーの該当するボタンを使用して、文書を印刷または保存します。[挿入] メニューのオプションを使用すれば、文書にテーブル、画像、図などの項目を追加できます。



## 3.2.2 他のワードプロセッサと文書を共有

Writerを使って、他のさまざまなワードプロセッサで作成されたドキュメントを編集できます。たとえば、Microsoft Word文書をインポートして編集し、再びWord文書として保存することができます。大部分のWord文書は、OpenOffice.orgに問題なくインポートできます。また、書式やフォントなど、ドキュメント中の情報も同じように保持されます。ただし、複雑な表、Wordマクロ、または特殊なフォントや書式などを含むドキュメントの場合は、インポートした後にドキュメントを修正しなければならないこともあります。OpenOffice.orgでは、ドキュメントを他の一般的なワードプロセッサのファイル形式で保存することができます。また、OpenOffice.orgで作成したドキュメントをWord形式のファイルとして保存し、それをMicrosoft Wordで開くこともできます。

そのため、頻繁にWordユーザとドキュメントを共有するような環境でも、ほとんど問題なく文書ファイルをやり取りすることができます。ファイルを開いて編集し、Wordファイルとして保存してください。

## 3.2.3 スタイルによる書式設定

OpenOffice.orgでは、ドキュメント中のさまざまな要素や書式の一貫性を保つためにスタイルを利用することができます。利用できるスタイルの種類を以下に示します。

表 3.4 スタイルの種類について

スタイルの種類	機能
段落	ドキュメント中のさまざまな種類の段落に、標準の書式を適用します。たとえば、段落スタイルを適用して、見出しにフォント、フォントサイズ、見出しの上下の間隔、見出しの位置、および他の書式仕様が設定されるようにします。
文字	文字列に対して標準の書式を適用します。たとえば、強調する文字列を斜体で表示する場合は、文字列を斜体にするスタイルを作成し、それを目的の文字列に適用します。

スタイルの種類	機能
枠	枠に対して標準の書式を適用します。たとえば、ドキュメントでサイドバーを使用している場合、画像、境界、位置、および他の書式を定義した枠を作成し、適用することにより、すべてのサイドバーが一貫性のある概観を持つように設定できます。
ページ	特定のページに対して標準の書式を適用します。たとえば、ドキュメントの先頭ページ以外の各ページにヘッダやフッタを表示する場合は、ヘッダとフッタを表示しない「最初のページ」スタイルを使用します。また、左ページと右ページで異なるスタイルを使用することで、見開きページの内側の余白を大きくし、外側にページ番号を記載することもできます。
リスト	特定のリストに標準の書式を適用します。たとえば、四角いチェックボックスを先頭に記載したチェックリストや、先頭に中点を記載したリストスタイルを定義しておけば、それを適用して簡単にリストを作成することができます。

## [スタイルと書式] ウィンドウを開く

[スタイルと書式] ウィンドウ(以前のバージョンの *[Stylist]* )では、文字列、段落、ページ、枠、およびリストに対して、さまざまな書式のスタイルを適用することができます。このウィンドウを表示するには、**[書式] > [スタイルと書式]** の順にクリックします。OpenOffice.orgには、あらかじめ定義されたさまざまなスタイルが用意されています。これらのスタイルをそのまま利用したり、スタイルを変更したり、新しいスタイルを作成したりできます。

### ティップ

デフォルトでは、[スタイルと書式] ウィンドウは個別のウィンドウに表示され、画面上の任意の場所に移動することができます。スタイルを頻繁に使用する場合など、常にこのウィンドウを一定の場所に配置したい場合は、このウィンドウをWriterウィンドウにマージできます。[スタイルと書式] ウィンドウをマージするには、Ctrlキーを押しながら、ウィンドウの灰

色の領域をダブルクリックします。この方法は、ナビゲータも含め、OpenOffice.org中の他の一部のウィンドウでも利用できます。

---

## スタイルの適用

スタイルを適用するには、スタイルを適用する要素を選択してから、[スタイルと書式] ウィンドウ中の適切なスタイルをダブルクリックします。たとえば、ある段落にスタイルを適用する場合は、その段落中の任意の場所にカーソルを移動してから、目的のスタイルをダブルクリックします。

## スタイルを使う場合と書式設定ボタン/メニューオプションを使う場合の比較

[書式] メニューのオプションやボタンを使うかわりにスタイルを利用すれば、ページ、段落、文字列、およびリストの一貫性を保ちながら、後で簡単に書式を変更することができます。たとえば、[太字] ボタンをクリックして文字列を強調した場合、後で太字から斜体に変更しようと思ったら、太字の箇所を1つ1つ探して手動で変更しなければなりません。文字スタイルを使えば、そのスタイルの書式定義を太字から斜体に変更するだけで、その書式を適用したすべての文字列が、太字から斜体に変わります。

メニューオプションやボタンによる書式設定は、適用されているスタイルの設定に優先します。たとえば、ある文字列に対して [太字] ボタンを使って書式を設定し、他の文字列にはスタイルを適用して太字を設定した場合、スタイルを変更してもボタンを使って書式が設定された文字列は変わりません。また、ボタンを使って太字にした文字列に、後からスタイルを適用しても、ボタンを使った太字の設定が優先されます。スタイルの設定を使うには、手動で太字の設定を解除してから、スタイルを適用する必要があります。

同様に、[書式] > [段落] の順に選択して段落に書式を設定すると、段落間の書式設定に不整合が発生する可能性があります。特に、書式設定が違う他のドキュメント間で段落をコピー、貼り付ける場合などに、この問題が発生する可能性が高くなります。

## スタイルの変更

スタイルを使えば、スタイルの内容を変更するだけで、ドキュメント全体に書式設定を反映させることができます。ドキュメント中の各部の書式を個別に変更していく必要はありません。

- 1 [スタイルと書式] ウィンドウで、変更するスタイルを右クリックします。
- 2 [変更] をクリックします。
- 3 選択したスタイルの設定を変更します。

設定可能な項目の詳細は、[OpenOffice.org](http://OpenOffice.org) オンラインヘルプを参照してください。

- 4 [OK] をクリックします。

## スタイルの作成

[OpenOffice.org](http://OpenOffice.org)には、さまざまな用途に適したスタイルがあらかじめ用意されています。また、ユーザのニーズに合わせて、新しいスタイルを作成することもできます。新しいスタイルを作成するには、次の手順に従います。

- 1 [スタイルと書式] ウィンドウの、空の領域を右クリックします。

この操作は、作成するスタイルの種類に合ったスタイルのリストが表示されている状態で行ってください。たとえば、文字スタイルを作成する場合は、ウィンドウに文字スタイルのリストを表示してください。

- 2 [New] をクリックします。
- 3 [OK] をクリックします。
- 4 作成したスタイルに名前を付け、そのスタイルで適用したい設定を選択します。

各タブで設定できるオプションの詳細を表示するには、該当するタブをクリックしてから、[ヘルプ] をクリックします。

## 3.2.4 テンプレートを使ったドキュメントの書式設定

一般的に、ワードプロセッサを利用するユーザは、さまざまな種類の文書を作成します。たとえば、レター、メモ、およびレポートを作成する場合。これらのドキュメントはそれぞれ外観も違えば、使う書式やスタイルも異なります。このような場合、それぞれの用途に応じたテンプレートを作成しておけばドキュメントの種類に応じた適切な書式設定/スタイルを手軽に利用することができます。

テンプレートを作成する場合、あらかじめ検討しておかなければならないことがいくつかあります。たとえば、テンプレートで使うスタイルを作成するために、ドキュメントの外観をどのようにするかを決める必要があります。テンプレートは後でいつでも変更できますが、あらかじめこのような事柄を検討しておけば、後の時間や手間を節約できます。

---

### 注意

また、Word文書と同様に、Microsoft WordテンプレートをOpenOffice.orgのテンプレートに変換することもできます。詳細については、[OpenOffice.org形式への文書の変換項 \(118 ページ\)](#)を参照してください。

---

テンプレートに関する詳細な説明は、このセクションでは触れません。詳細については、ヘルプを参照してください。また、OpenOffice.orgのドキュメントWebサイト([http://documentation.openoffice.org/HOW\\_TO/index.html](http://documentation.openoffice.org/HOW_TO/index.html))にも役に立つ情報や資料が用意されています。

## テンプレートの作成

テンプレートは、スタイルと他の必要な要素だけが用意されているドキュメントです。たとえば、レター用テンプレートには、自分の住所や氏名などを記載するレターヘッドなど、レターで使用するスタイルを定義します。テンプレートを使用してドキュメントを作成、または開く場合、そのドキュメントには、定義されているスタイルが自動的に適用されます。

テンプレートを作成するには、次の手順に従います。

- 1 [ファイル] > [新規作成]、> [文書ドキュメント] の順にクリックします。
- 2 任意の文書で使用したいスタイルと内容を作成し、このテンプレートを 사용합니다。
- 3 [ファイル] > [テンプレート] > [保存] の順にクリックします。
- 4 テンプレートの名前を入力します。
- 5 [範囲] ボックスから、このテンプレートを保存するカテゴリをクリックします。

カテゴリは、テンプレートを保存するフォルダです。

- 6 [OK] をクリックします。

## 3.2.5 大きな文書に関する作業

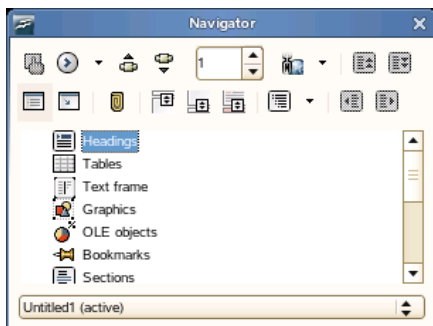
Writerを使って大きな文書を作成、編集したり、他の作業を行うことができます。大きな文書は、単一のファイルのこともあれば、複数のファイルから1つの文書が成り立っていることもあります。

### 大きな文書内の移動

ナビゲータには、文書の内容についての情報が表示されます。また、このツールを使って、ドキュメント内の別の部分に素早く移動することもできます。たとえば、ナビゲータを使って文書に含まれているイメージのリストを表示することができます。

ナビゲータを表示するには、[編集] > [ナビゲータ] の順にクリックします。Navigatorに表示される要素は、Writerにロードされている文書によって異なります。

### 図 3.3 Writerのナビゲータツール



ナビゲータ中の項目をクリックすると、文書内の該当する項目に移動します。

## マスタドキュメントを使った複数ファイルからの単一ドキュメントの作成

本などの、大きな文書を作成、編集する場合、その内容をすべて1つのファイルに保存する代わりに、複数のファイルを管理するマスタドキュメントを作成し、作業を簡素化することができます。マスタドキュメントを利用すれば、大きな文書に素早く書式を設定したり、個々のサブドキュメントに移動して編集することができます。

Writerのマスタドキュメントは、複数のWriterファイルを保管するコンテナとしての役割を果たします。たとえば、章単位にファイルを作成し、それをまとめてマスタドキュメントに保管、管理することができます。マスタドキュメントは、単一の文書に対して複数のユーザが共同作業を行うような場合にも役立ちます。このような場合、各ユーザの担当範囲に応じて文書を分割し、それをマスタドキュメントで管理すれば、複数の担当者が同時に文書に対して作業を行うことができます。他のユーザの妨げになることはありません。

---

### 注意

Microsoft WordからOpenOffice.orgに移行したユーザは、同じような機能であるWordのグループ文書では文書が壊れることがあるという評判を聞いて、マスタドキュメントの使用を躊躇されるかもしれません。OpenOffice.org Writerには、このような問題は存在していません。マスタドキュメントを使って安全に文書を管理できます。

---

マスタードキュメントを作成するには、次の手順に従います。

- 1 [新規作成] > [マスタードキュメント] の順にクリックします。

または

既存の文書を開いて、[ファイル] > [送信] > [マスタードキュメントの作成] の順にクリックします。

- 2 サブ文書を挿入します。

- 3 [ファイル]、[保存] の順にクリックします。

OpenOffice.orgヘルプファイルには、マスタ文書での作業に関する詳細な情報が含まれています。「マスタドキュメントとサブドキュメントを使用する」を参照してください。

---

#### ティップ

サブドキュメントにあるスタイルは、すべてマスタドキュメントにインポートされます。マスタドキュメントで一貫した書式設定を利用するには、各サブドキュメントで同じテンプレートを使ってください。必ず同じテンプレートを使わなければならない訳ではありませんが、サブドキュメント間で書式設定が違っている場合、不整合になるのを防ぐために書式を再設定する必要があることもあります。たとえば、2つのサブドキュメント間で、同じ名前でも異なる書式が設定されたスタイルが使われている場合、それらをマスタドキュメントにインポートすると、最初にインポートされた文書のスタイルが使われます。

---

## 3.2.6 HTMLエディタとしてWriterを使用する

完全装備のワードプロセッサとしての機能のほかに、WriterにはHTMLエディタとしての機能があります。WriterにはHTMLタグが含まれています。このタグはWriter文書に他のスタイルを適用するときと同じように適用されます。オンラインに表示される状態でドキュメントを表示したり、HTMLコードを直接編集することができます。



## HTML文書の作成

- 1 [ファイル] > [新規作成] > [HTMLドキュメント] の順にクリックします。
- 2 [スタイルと書式] ウィンドウの下にある矢印をクリックします。
- 3 [HTML Styles] を選択します。
- 4 スタイルを使ってテキストにタグをつけ、HTML文書を作成します。
- 5 [ファイル] > [名前を付けて保存] の順にクリックします。
- 6 ファイルを保存したい場所を選択して、ファイルの名前を入力し、[フィルタ] リストから [HTML文書(.html)] を選択します。
- 7 [OK] をクリックします。

HTMLコードを直接編集したい場合、または、HTMLファイルをWriter文書として編集したとき作成したHTMLコードを表示したい場合、[表示] > [HTML Source] の順にクリックします。これで、[HTML Source] モードでは、[スタイルと書式] リストは使用できなくなります。

---

### 注意

まだHTMLドキュメントを保存していない状態で、初めてHTMLソースモードに切り替えると、ファイルの保存を求めるダイアログが表示されます。

---

## 3.3 Calcを使用してスプレッドシートを使用する

Calcは、OpenOffice.orgのスプレッドシートアプリケーションです。スプレッドシートを作成するには、[ファイル] > [新規作成] > [表計算] の順に選択するか、または [ファイル] > [開く] の順に選択してファイルを開きます。Calcでは、Microsoft Excel形式のファイルを読み込んだり、Microsoft Excel形式でファイルを保存したりできるため、Excelユーザとスプレッドシートを簡単にやり取りすることができます。

---

## 注意

また、Calcでは、Excelドキュメントの多数のVBAマクロを処理することができます。ただし、すべてのVBAマクロをサポートしている訳ではありません。マクロを多用するExcelスプレッドシートを開くとき、一部のマクロが機能しないことがあります。

---

スプレッドシートのセルには、固定データまたは式を入力します。式を使用すれば、他のセルからのデータを操作して、式を挿入したセルの値を生成できます。セルの値からグラフを作成することもできます。

### 3.3.1 Calcでの書式設定とスタイルの使用

Calcには、スプレッドシートやレポートの外観を変更するセルやページ用スタイルがいくつか用意されています。通常はこれらのスタイルでも十分ですが、必要に応じて独自のスタイルを作成することもできます。

#### スタイルの作成

- 1 [書式] > [スタイルと書式] の順にクリックします。
- 2 [スタイルと書式] ウィンドウで、[Cell Styles] または、[Page Styles] アイコンをクリックします。
- 3 [スタイルと書式] ウィンドウを右クリックし、[新規] をクリックします。
- 4 スタイルの名前を入力し、さまざまなタブを使用して希望どおり書式設定オプションをセットします。
- 5 [OK] をクリックします。

#### スタイルの変更

- 1 [書式] > [スタイルと書式] の順にクリックします。
- 2 [スタイルと書式] ウィンドウで、[Cell Styles] または、[Page Styles] アイコンをクリックします。

- 3 変更したいスタイルの名前を右クリックし、[変更] をクリックします。
- 4 選択した書式設定オプションを変更します。
- 5 [OK] をクリックします。

## 3.3.2 Calcにテンプレートを使用する

さまざまな種類のスプレッドシートに異なるスタイルを使用する場合、テンプレートを使用して各スプレッドシートの種類のスタイルを保存することができます。スプレッドシートを作成する際には、その種類に応じたテンプレートを開いて、[スタイルと書式] ウィンドウから適切なスタイルを適用します。

テンプレートに関する詳細な説明は、このセクションでは触れません。ただし、詳しい説明はヘルプシステムに記載され、詳細な使い方はOpenOffice.orgのドキュメントページ([http://documentation.openoffice.org/HOW\\_TO/index.html](http://documentation.openoffice.org/HOW_TO/index.html))に説明されています。

### テンプレートの作成

Calcテンプレートとは、そのテンプレートで作成したすべてのスプレッドシートに表示したいスタイルと内容(ヘッダやその他のセルスタイルなど)を含むスプレッドシートです。テンプレートを使用して文書を作成、または開くとき、テンプレートのスタイルが自動的にそのスプレッドシートに適用されます。

テンプレートを作成するには、次の手順に従います。

- 1 [ファイル] > [新規作成] > [スプレッドシート] の順にクリックします。
- 2 任意のスプレッドシートで使用したいスタイルと内容を作成し、このテンプレートを使用します。
- 3 [ファイル] > [テンプレート] > [保存] の順にクリックします。
- 4 テンプレートの名前を入力します。

- 5 [範囲] ボックスから、このテンプレートを保存するカテゴリをクリックします。

カテゴリは、テンプレートを保存するフォルダです。

- 6 [OK] をクリックします。

## 3.4 Impressでプレゼンテーションを使用する

OpenOffice.org Impressを使用して、スライドショーやOHPシートなどのプレゼンテーションを作成、画面に表示したり印刷したりできます。Impressは他のプレゼンテーションソフトウェアと操作や機能が似ているため、他のプレゼンテーションソフトウェアを使用していたユーザでも、簡単にImpressに移行することができます。

Impressは、Microsoft PowerPointプレゼンテーションを開いたり、PowerPoint形式で保存したりできます。PowerPoint形式でファイルを保存できるため、PowerPointユーザとプレゼンテーションを簡単にやり取りすることができます。

### 3.4.1 プレゼンテーションの作成

- 1 [ファイル] > [新規作成] > [プレゼンテーション] の順にクリックします。
- 2 プレゼンテーションの作成に使用するオプションを選択します。

プレゼンテーションを作成するには、次の2種類の方法があります。

- 白紙のプレゼンテーションを作成する

Impressに空のスライドを表示します。このオプションを使用して、事前に書式設定されたスライドなしで、最初からプレゼンテーションを新規作成します。

- テンプレートからプレゼンテーションを作成する

選択したテンプレートでImpressを開きます。このオプションは、あらかじめ用意されているOpenOffice.orgテンプレートや、独自に作成したテンプレート(社内用テンプレートなど)を使ってプレゼンテーションを作成する場合に選択します。Impressでは、他のOpenOffice.orgモジュールと同じように、スタイルやテンプレートを利用することができます。テンプレートの詳細は、[3.2.4頁「テンプレートを使ったドキュメントの書式設定」](#) (133 ページ)を参照してください。

## 3.4.2 マスタページの使用

マスタページを利用して、各スライドの外観、使用するフォント、および他のグラフィック要素を定義し、一貫性のあるプレゼンテーションを作成することができます。Impressには、2種類のマスタページが用意されています。

- スライドマスタ

すべてのスライドに表示される要素を含みます。たとえば、スライドマスタを使って、各スライドの同じ場所に企業ロゴを表示することができます。また、スライドマスタには、見出しの文字書式スタイルや各スライドのアウトライン、およびヘッダ/フッタに表示する情報も定義されます。

- メモマスタ

プレゼンテーション内のメモの書式と外観を決定します。

## スライドマスタの作成

Impressには、あらかじめ定義されたマスタページがいくつか用意されています。また、独自のスライドマスタを作成することもできます。

**1** Impressを起動して、新規の白紙のプレゼンテーションを作成します。

**2** [表示] > [マスタ] > [スライドマスタ] の順にクリックします。

[Master View] で現在のスライドマスタを開きます。

**3** 左のパネルを右クリックして、[New Master] をクリックします。

- 4 希望する外観になるまでスライドマスタを編集します。
- 5 [マスタ表示を閉じる] をクリックするか、または [表示] > [標準] の順にクリックすると、標準表示に戻ります。

---

### ティップ

プレゼンテーションで使用するスライドマスターをすべて作成した後は、これらをImpressテンプレートに保存することができます。以降、保存したスライドマスターを使ってプレゼンテーションを作成する場合には、このテンプレートを開きます。

---

## スライドマスタの適用

スライドマスタは選択したスライド、またはプレゼンテーションにあるすべてのスライドに適用できます。

- 1 プレゼンテーションを開いて、[表示] > [マスタ] > [スライドマスタ] の順にクリックします。
- 2 (オプション)スライドマスタをすべてのスライドではなく複数のスライドに適用する場合、そのスライドマスタを使用したいスライドを選択します。

複数のスライドを選択するには、使用するスライドをクリックしながらCtrlをスライドペインで押します。

- 3 タスクペインでは、適用したいマスタページを右クリックします。

タスクペインが表示されていない場合、[表示] > [Task Pane] の順にクリックします。

- 4 次のオプションから1つクリックしてスライドマスタを適用します。

- すべてのスライドに適用

選択したスライドマスタをプレゼンテーションにあるすべてのスライドに適用します。

- 選択したスライドに適用

選択したスライドマスタを、現在のスライド、またはスライドマスタの適用前に選択する任意のスライドに適用します。たとえば、プレゼンテーション中の最初のスライドに別のスライドマスタを適用する場合は、そのスライドを選択した後でマスタ表示に切り替え、そのスライドにスライドマスタを適用します。

## 3.5 Base - データベースの使用

OpenOffice.orgには、データベースモジュールのBaseが含まれています。Baseを使用して、簡単なアドレス帳や料理レシピ集から、複雑なドキュメント管理システムまで、さまざまな種類の情報を格納するデータベースを設計できます。

テーブル、フォーム、クエリ、およびレポートは、手動で作成するか、または便利なウィザードを使用して作成できます。たとえば、テーブルウィザードには、ビジネスおよび個人用途のための一連の共通フィールドがあります。Baseで作成されたデータベースは、フォームレターを作成する場合などのデータソースとして使用できます。

Baseを使用した詳細なデータベース設計については、このマニュアルでは触れません。詳細は、[3.8項「OpenOffice.orgに関するヘルプと情報の検索」](#) (148 ページ)にある各種資料を参照してください。

### 3.5.1 事前定義されたオプションを使ったデータベースの作成

Baseには、データベースを作成するために役立つ、事前定義されたデータベースフィールドが用意されています。ここでは、この事前定義されているフィールドを使ってアドレス帳を作成する手順について説明していきますが、これらの手順を応用すれば、他のデータベースも手軽に作成できます。

データベースの作成プロセスは、いくつかのサブプロセスに分けられます。

#### データベースの作成

最初にデータベースを作成します。

- 1 [ファイル] > [新規作成] > [データベース] の順にクリックします。
- 2 [データベースの新規作成] > [Next] を選択します。
- 3 [Yes, register the database for me] をクリックして自分のデータベース情報を他のOpenOffice.orgモジュールに対して有効にし、ダイアログボックスの下部にあるチェックボックスを両方オンにして、[完了] をクリックします。
- 4 データベースを保存したいディレクトリを参照してデータベースの名前を入力し、[OK] をクリックします。

## データベーステーブルのセットアップ

次に、データベーステーブルで使用したいフィールドを定義します。

- 1 テーブルウィザードで、[Personal] をクリックします。

[Sample tables] リストが個人用の定義済みテーブルに変わります。  
[Business] をクリックした場合、リストには定義済みビジネステーブルが含まれます。

- 2 [Sample tables] リストで、[Addresses] をクリックします。

定義済みのアドレス帳に使用可能なフィールドが、[Available fields] メニューに表示されます。

- 3 [Available fields] メニューで、自分のアドレス帳に使用したいフィールドをクリックします。

1つずつ項目を選択して追加することも、複数の項目を選択して追加することもできます。複数の項目を選択する場合は、キーを押しながら項目を選択します。

- 4 選択した項目を→[選択されたフィールド] メニューに移動するには、を1回クリックします。

使用可能なフィールドをすべて [Selected fields] メニューに移動するには、右矢印をダブルクリックします。



- 5 選択したフィールドの表示順序を変更する場合は、↑キーと↓キーを使います。

テーブルやフォームには、フィールドがここに記載されている順序で表示されます。

- 6 *[Next]*をクリックします。

- 7 各フィールドが正しく定義されていることを確認します。

フィールド名、種類、エントリが必要かどうか、フィールドの最大長(入力可能な最大文字数)を変更できます。この例では、設定はそのまま変更しないでください。

- 8 *[Next]*をクリックします。

- 9 *[プライマリキーの作成]* をクリックして、 *[プライマリキーを自動的に追加]* をクリックして、 *[自動設定値]* をクリックして、次に *[次へ]* をクリックします。

- 10 テーブル名のデフォルト値をそのまま使用します。 *[このテーブルに基づいてフォームを作成]* を選択して、 *[完了]* をクリックします。

## フォームの作成

次に、アドレス帳にデータを入力するときに使用するフォームを作成します。

- 1 フォームウィザードで、右矢印アイコンをダブルクリックして使用可能なフィールドをすべて *[Fields in the form]* リストに移動し、 *[次へ]* を2回クリックします。
- 2 フォームをどのように調節したいか選択し、 *[次へ]* をクリックします。
- 3 すべてのデータを表示するフォームを使用するオプションを選択し、チェックボックスをすべて空欄にして、 *[次へ]* をクリックします。
- 4 スタイルとフィールドの枠線を適用し、 *[次へ]* をクリックします。

この例では、デフォルトの選択肢を使用します。

- 5 フォームに名前を付け、*[Modify the form]* オプションを選択し、*[完了]* をクリックします。

## フォームの変更

フォームを定義したら、設定に合うようフォームの外観を変更します。

- 1 変更手順が終了したら、開いているフォームを閉じます。
- 2 データベースのメインウィンドウで、変更したいフォームを右クリックし(オプションは1つだけです)、*[編集]* をクリックします。
- 3 フォーム中のフィールドをドラッグして、フォームを別の場所に移動できます。

たとえば、*[First Name]* フィールドを、*[Last Name]* フィールドの右に表示されるよう移動します。それから、設定に合うよう他のフィールドの場所を調節します。

- 4 フォームの修正が完了したら、保存して、フォームを閉じます。

## 次に行う作業?

データベースのテーブルとフォームを作成したら、データを入力できます。また、クエリやレポートを作成してデータをソートしたり表示したりすることもできます。

Baseの詳細については、OpenOffice.orgオンラインヘルプと、[3.8項「OpenOffice.orgに関するヘルプと情報の検索」](#) (148 ページ)に記載されている資料を参照してください。

## 3.6 Draw - グラフィックの作成

OpenOffice.org Drawを使って、グラフィックや図を作成できます。作成した図は一般的な形式で保存できます。保存したファイルは、他のアプリケーションにインポートしたり、他のOpenOffice.orgモジュールで利用できます。描画のFlashバージョンも作成できます。

OpenOffice.orgマニュアルではDrawの使用方法について詳細に説明しています。詳細については、[3.8項「OpenOffice.orgに関するヘルプと情報の検索」](#) (148 ページ)を参照してください。

ドキュメントでDrawグラフィックを使用するには、次の手順に従います。

- 1 Drawを開き、グラフィックを作成します。
- 2 そのグラフィックを保存します。
- 3 グラフィックを文書にコピーして貼り付けるか、文書から直接グラフィックを挿入します。

Drawには、他のOpenOffice.orgモジュール内で利用できるという特長があります。他のOpenOffice.orgモジュールからDrawを起動してグラフィックを作成した後、ドキュメントに自動的にインポートできます。

- 1 OpenOffice.orgモジュール(例:Writer)から、`[挿入] > [オブジェクト] > [OLEオブジェクト] > [OpenOffice.org 2.xの図形描画] > [OK]`の順にクリックします。

これにより、Drawが起動します。

- 2 描画を作成します。
- 3 ドキュメント内で、Drawの枠外の領域をクリックします。

描画が自動的に文書に挿入されます。

## 3.7 Mathを使用して式を作成する

一般的に、ドキュメントに複雑な数式を表記することは、複雑さを伴います。OpenOffice.org Math数式エディタでは、演算子、関数、および書式設定機能を使って、このような数式を作成できます。作成した数式をオブジェクトとして保存し、他のドキュメントにインポートできます。Mathで作成した数式や関数は、他のグラフィックオブジェクトと同様に、他のOpenOffice.orgドキュメントに挿入できます。

---

## 注意

**Math**は計算機ではありません。**Math**が作成する関数は、グラフィックオブジェクトです。**Calc**にインポートできますが、これらの関数は評価されません。

---

## 3.8 OpenOffice.orgに関するヘルプと情報の検索

OpenOffice.orgには詳細なオンラインヘルプが含まれています。また、OpenOffice.orgは多数のユーザおよび開発者によってサポートされています。そのため、OpenOffice.orgに関する説明、参考資料および情報は、比較的簡単に手に入れることができます。このような情報や資料を入手できる代表的な場所を、次の表に示します(Webサイトは、頻繁に内容が変更されたり、閉鎖されることがあるため、本書をお読みになっている時点では情報が古くなっている可能性もあります)。

OpenOffice.org オンラインヘルプメニュー

OpenOffice.orgのタスク実行に関する詳細なヘルプ

OpenOffice.orgの公式サポートページ (<http://support.openoffice.org/index.html>)

マニュアル、チュートリアル、ユーザ/開発者フォーラム、メーリングリスト、FAQ、および他の資料

OpenOffice.org Migration Guide (<http://documentation.openoffice.org/manuals/oooauthors2/0600MG-MigrationGuide.pdf>)

Microsoft Officeを含む他のオフィススイートからOpenOffice.orgへの移行に関する情報

Taming OpenOffice.org (<http://www.taming-openoffice-org.com/>)

書籍、ニュース、ヒント、テクニック

OpenOffice.org Macros (<http://www.pitonyak.org/oo.php>)

マクロの作成と使用方法に関する詳細情報

## Evolution:電子メールと カレンダリング

Evolutionはユーザの個人情報を保存、整理、および取得する作業を簡素化し、より効率的に他のユーザと共同作業や、やり取りができます。これは高度に進化したグループウェアプログラムであり、インターネット接続のデスクトップ部分です。

Evolutionは電子メールやアドレスやその他の連絡先情報、および1つ以上のカレンダーを処理してくれるため、グループでの作業に役立ちます。1台のコンピュータ、または直接接続またはネットワークで接続された複数のコンピュータ上で、1人の個人または大きなグループに対してそれを行うことができます。

Evolutionを使用することで、最も一般的な日々の作業を迅速に行うことができます。たとえば、1回または2回のクリックだけで、電子メールで送られてきたアポイントや連絡先の情報を入力したり、連絡先へ電子メールやアポイントを送ったりできます。大量の電子メールを受け取るユーザの場合、通常の電子メールフォルダのように検索結果を保存できる検索フォルダのような拡張機能が便利です。

この章ではEvolutionについて紹介し、初めて使用するユーザに役立つ情報を提供します。詳細な情報については、Evolutionのドキュメントを参照してください。

## 4.1 Evolutionの初めての起動

Evolutionクライアントを起動するには、`[コンピュータ] > [Evolution]` の順にクリックするか、またはターミナルウィンドウから`evolution`と入力します。

### 4.1.1 セットアップアシスタントの使用

初めてEvolutionを起動すると、`.evolution`というディレクトリがホームディレクトリ内に作成され、ここにローカルデータのすべてが保存されます。その後、電子メールアカウントのセットアップや他のアプリケーションからのデータのインポートに役立つセットアップアシスタントが開きます。

セットアップアシスタントを使用すると数分ですみ、Evolutionの起動に必要な情報が得られます。

後でこのアカウントを変更する場合、または新しいアカウントを作成する場合は、`[編集] > [初期設定]` の順にクリックした後、`[Mail Accounts]` をクリックします。変更するアカウントを選択し、`[編集]` をクリックします。あるいは、`[追加]` をクリックして新しいアカウントを追加します。

## 個人情報 の定義

アシスタントの最初のステップは個人情報ウィンドウです。

ここでは、基本の個人情報をいくつか入力します。後で `[編集] > [初期設定]` の順にクリックした後に `[Mail Accounts]` をクリックすれば、複数の個人情報を定義できます。

初回起動アシスタントが起動すると、ようこそページが表示されます。 `[進む]` をクリックして個人情報ウィンドウに進みます。

- 1 フルネームと電子メールアドレスを、該当するフィールドに入力します。
- 2 新しいアカウントをデフォルトとして使用するには、 `[Make this my default account]` を選択します。

- 3 別のアドレスに送信された自分の電子メールに返信を希望する場合は、  
[Reply-To] フィールドに返信先アドレスを設定します。
- 4 オプションで、[組織] フィールドに電子メールを送信するときに勤務  
先の会社、または代表する組織を設定できます。
- 5 [進む] をクリックします。

## メールの受信

[Receiving E-mail] オプションでは、電子メールを受信する場所を決定  
できます。

メールを受信するサーバの種類を指定する必要があります。どのサーバタイ  
プを選択したらよいか不明な場合は、システム管理者またはISPにお問い合わせ  
ください。

- [サーバのタイプ] リストの中でサーバのタイプを選択します。

次は利用できるサーバタイプの一覧です。

### Novell GroupWise

Novell GroupWise®に接続する場合は、このオプションを選択しま  
す。Novell GroupWiseは電子メール、カレンダー、および連絡先情報  
をサーバ上に保持します。

### Microsoft Exchange

Connector for Microsoft® Exchange (パッケージevolution-exchange)  
をインストールしてある場合にのみ利用できます。これはMicrosoft  
Exchange 2000または2003サーバへの接続を可能にし、サーバ上に電  
子メール、カレンダー、および連絡先情報を保存します。

### IMAP

電子メールをユーザのサーバ上に保持するため、複数のシステムから電  
子メールにアクセスできます。

### POP

電子メールを固定記憶域のユーザのハードディスクにダウンロード  
し、電子メールサーバ上のスペースを解放します。

## USENETニュース

ニュースサーバに接続し、使用可能なニュースダイジェストの一覧をダウンロードします。

## ローカル配信

電子メールをスプूल(メールの配信待機場所)から移動し、ユーザのホームディレクトリに保存する場合にこのオプションを選択します。使用するメールスプूलへのパスを入力する必要があります。システムのスプूलファイルに電子メールを残しておく場合は、代わりに標準Unix Mboxスプूलオプションを選択します。

## MH形式メールディレクトリ

mhまたは別のMHスタイルのプログラムを使用して電子メールをダウンロードする場合は、このオプションを使用します。使用するメールディレクトリへのパスを入力する必要があります。

## Maildir形式メールディレクトリ

Qmailまたは別のmaildirスタイルのプログラムを使用して電子メールをダウンロードする場合は、このオプションを使用します。使用するメールディレクトリへのパスを入力する必要があります。

## 標準Unix Mboxスプूलまたはディレクトリ

ローカルシステムのメールスプूल内の電子メールを読み取ったりそこに保存したりする場合は、このオプションを選択します。使用するメールスプूलへのパスを入力する必要があります。

## なし

このアカウントを使用して電子メールをチェックすることがない場合は、これを選択します。これを選択した場合、設定オプションはありません。

## リモート設定オプション

Novell GroupWise、IMAP、POP、またはUSENETニュースをサーバとして選択した場合、以下の追加の情報を指定する必要があります。

- 1 [サーバ] フィールドに電子メールサーバのホスト名を入力します。ホスト名が不明な場合は、管理者にお問い合わせください。
- 2 [Username(ユーザ名)] フィールドにアカウントのユーザ名を入力します。



- 3 ダイアログの [セキュリティ] で、安全な接続(TLSまたはSSL)を使用するかどうかを選択します。

サーバが安全な接続をサポートしている場合は、このセキュリティオプションを有効にします。サーバが安全な接続をサポートしているか不明な場合は、システム管理者にお問い合わせください。

- 4 [Authentication] リストで認証タイプを選択するか、または [Check for Supported Types] をクリックしてサポートするタイプをEvolutionで確認します。サポートしている認証メカニズムを通知しないサーバも一部あるため、このボタンをクリックしても、使用可能なメカニズムが実際に機能するかどうかは保証されません。

必要な認証タイプが不明な場合は、システム管理者にお問い合わせください。

- 5 Evolutionにパスワードを記憶させるには、 [Remember Password] を選択します。
- 6 [進む] をクリックします。

Microsoft Exchangeを選択した場合、以下の情報を指定する必要があります。

- 1 [Username] フィールドにユーザ名を、 [OWA URL] フィールドにOutlook Web Access (OWA) URLを入力します。OWAと同じようにOWA URLおよびユーザ名を入力しなければなりません。メールボックスパスがユーザ名と異なる場合、OWAパスにはメールボックスパスも含まれている必要があります。http://サーバ名/exchange/ メールボックスパスという形になります。
- 2 [進む] をクリックします。

終了したら、**メール受信オプション項** (154 ページ)に進みます。

## ローカル設定オプション

ローカル配信、MH形式メールディレクトリ、Maildir形式メールディレクトリ、または標準UnixMboxスプールまたはディレクトリを選択した場合、パスフィールドでローカルファイルへのパスを指定する必要があります。に進んでください。**メール受信オプション項** (154 ページ)

## メール受信オプション

メール配信メカニズムを選択した後、その動作に対して設定をいくつか行うことができます。

### Novell GroupWiseの受信オプション

受信サーバタイプとしてNovell GroupWiseを選択した場合は、次のオプションを指定する必要があります。

- 1 Evolutionに新規メールを自動確認させるかどうかを選択します。このオプションを選択した場合、Evolutionに新規メッセージを確認させる頻度を指定する必要があります。
- 2 すべてのフォルダの新規メッセージを確認するかどうかを選択します。
- 3 サーバのInbox内の新規メッセージにフィルタを適用するかどうかを選択します。
- 4 新規メッセージの中身がSPAMであるか確認するかどうかを選択します。
- 5 Inboxフォルダ内のSPAMメッセージのみを確認するかどうかを選択します。
- 6 ローカルでリモートメールを自動同期させるかどうかを選択します。
- 7 *[Post Office Agent SOAP Port]* フィールドにポストオフィスエージェントSOAPポートを入力します。お使いのポストオフィスエージェントSOAPポートが不明な場合は、システム管理者にお問い合わせください。
- 8 *[進む]* をクリックします。

終了したら、**メールの送信項** (159 ページ)に進みます。

### Microsoft Exchangeの受信オプション

受信サーバタイプとしてMicrosoft Exchangeを選択した場合は、次のオプションを指定する必要があります。

- 1 Evolutionに新規メールを自動確認させるかどうかを選択します。このオプションを選択した場合、Evolutionに新規メッセージを確認させる頻度を指定する必要があります。
- 2 *[Global Catalog Server Name]* フィールドでグローバルカタログサーバ名を指定します。グローバルカタログサーバにはユーザのユーザ情報が格納されています。グローバルカタログサーバ名が不明な場合は、システム管理者にお問い合わせください。
- 3 グローバルアドレスリスト(GAL)の数を制限するかどうかを選択します。  
  
GALにはすべての電子メールアドレスのリストが格納されています。このオプションを選択した場合は、最大応答数を指定する必要があります。
- 4 パスワード期限切れ警告期間が必要かどうかを選択します。  
  
このオプションを選択した場合、Evolutionにパスワード期限切れメッセージを送信させる頻度を指定する必要があります。
- 5 ローカルでリモートメールを自動同期させるかどうかを選択します。
- 6 サーバのInbox内の新規メッセージにフィルタを適用するかどうかを選択します。
- 7 新規メッセージの中身がSPAMであるか確認するかどうかを選択します。
- 8 Inboxフォルダ内のSPAMメッセージのみを確認するかどうかを選択します。
- 9 *[進む]* をクリックします。

終了したら、**メールの送信項** (159 ページ)に進みます。

## IMAP受信オプション

受信サーバタイプとしてIMAPを選択した場合は、次のオプションを指定する必要があります。

1 Evolutionは自動的に新規メールをチェックできます。このオプションを選択した場合、Evolutionに新規メッセージを確認させる頻度を指定する必要があります。

2 カスタムコマンドを使用してEvolutionに接続するかどうかを選択します。

このオプションを選択した場合、Evolutionで使用するカスタムコマンドを指定します。

3 加入フォルダのみを表示するかどうかを選択します。

加入フォルダとは、フォルダに加入するという方法で、メールの受信元として選択したフォルダのことです。

4 Evolutionでサーバ指定のフォルダネームスペースを上書きするには、該当するオプションを選択します。

このオプションを選択することによって、サーバが指定したフォルダの名前を変更できます。このオプションを選択した場合は、使用するネームスペースを指定する必要があります。

5 Inbox内の新規メッセージにフィルタを適用するかどうかを選択します。

6 新規メッセージの中身がSPAMであるか確認するかどうかを指定します。

7 Inboxフォルダ内のSPAMメッセージを確認するかどうかを選択します。

8 ローカルでリモートメールを自動同期させるかどうかを選択します。

9 [進む] をクリックします。

終了したら、**メールの送信項** (159 ページ)に進みます。

## POPの受信オプション

受信サーバタイプとしてPOPを選択した場合は、次のオプションを指定する必要があります。

- 1 Evolutionに新規メールを自動確認させるかどうかを選択します。このオプションを選択した場合、Evolutionに新規メッセージを確認させる頻度を指定する必要があります。
- 2 メッセージをサーバ上に残すかどうかを選択します。
- 3 すべてのPOP3拡張機能のサポート(POP3のサポート)を無効にするかどうかを指定します。
- 4 [進む] をクリックします。

終了したら、**メールの送信項** (159 ページ)に進みます。

## USENETニュースの受信オプション

受信サーバタイプとしてUSENETニュースを選択した場合は、次のオプションを指定する必要があります。

- 1 Evolutionに新規メールを自動確認させるかどうかを選択します。このオプションを選択した場合、Evolutionに新規メッセージを確認させる頻度を指定する必要があります。
- 2 短い表記でフォルダを表示する場合に選択します。

たとえば、`comp.os.linux`は`c.o.linux`と表示されます。

- 3 加入ダイアログボックスの中に相対フォルダ名を表示する場合に選択します。

加入ページ内に相対フォルダ名を表示すると選択した場合、フォルダの名前のみが表示されます。たとえば、フォルダ`evolution.mail`は`evolution`と表示されます。

- 4 [進む] をクリックします。

終了したら、**メールの送信項** (159 ページ)に進みます。

## ローカル配信の受信オプション

受信サーバタイプとしてローカル配信を選択した場合は、次のオプションを指定する必要があります。

- 1 Evolutionに新規メールを自動確認させるかどうかを選択します。このオプションを選択した場合、Evolutionに新規メッセージを確認させる頻度を指定する必要があります。
- 2 [進む] をクリックします。

終了したら、**メールの送信項** (159 ページ)に進みます。

## MH形式メールディレクトリの受信オプション

受信サーバタイプとしてMH形式メールディレクトリを選択した場合は、次のオプションを指定する必要があります。

- 1 Evolutionに新規メールを自動確認させるかどうかを選択します。このオプションを選択した場合、Evolutionに新規メッセージを確認させる頻度を指定する必要があります。
- 2 .foldersサマリファイルを使用する場合に選択します。
- 3 [進む] をクリックします。

終了したら、**メールの送信項** (159 ページ)に進みます。

## Maildir形式メールディレクトリの受信オプション

受信サーバタイプとしてMaildir形式メールディレクトリを選択した場合は、次のオプションを指定する必要があります。

- 1 Evolutionに新規メールを自動確認させるかどうかを選択します。このオプションを選択した場合、Evolutionに新規メッセージを確認させる頻度を指定する必要があります。
- 2 Inbox内の新規メッセージにフィルタを適用するかどうかを選択します。
- 3 [進む] をクリックします。

終了したら、**メールの送信項** (159 ページ)に進みます。

## 標準Unix Mboxスプールまたはディレクトリの受信オプション

受信サーバタイプとして標準Unix Mboxスプールまたはディレクトリを選択した場合は、次のオプションを指定する必要があります。

- 1 Evolutionに新規メールを自動確認させる場合に選択します。このオプションを選択した場合、Evolutionに新規メッセージを確認させる頻度を指定する必要があります。
- 2 Inbox内の新規メッセージにフィルタを適用するかどうかを選択します。
- 3 Elm、Pine、およびMutt形式でステータスヘッダを保存するかどうかを選択します。
- 4 [進む] をクリックします。

終了したら、[メールの送信項](#) (159 ページ) および [メールの送信項](#) (159 ページ) に進みます。

## メールの送信

メールの受信方法についての情報を入力し終わったところで、次はメールの送信方法を指定する必要があります。

- [サーバのタイプ] リストからサーバのタイプを選択します。

使用可能なサーバタイプは次のとおりです。

### Sendmail

Sendmailプログラムを使用して、ユーザのシステムからメールを送信します。Sendmailは柔軟性は高いのですが、設定は簡単ではありません。このオプションは、Sendmailサービスの設定方法を知っている場合にのみ選択してください。

### SMTP

アウトバウンドメールサーバを使用してメールを送信します。これは最も一般的なメール送信の選択肢です。SMTPを選択した場合、追加の設定オプションがあります。

## SMTP設定

- 1 **[サーバ]** フィールドにSMTPサーバのアドレスを入力します。お使いのSMTPサーバのアドレスが不明な場合は、システム管理者にお問い合わせください。
- 2 ダイアログの **[セキュリティ]** で、安全な接続(TSLまたはSSL)を使用するかどうかを選択します。
- 3 SMTPサーバで認証が必要な場合は、 **[Server requires authentication]** を選択します。認証が必要なサーバであると選択した場合、次の情報を入力する必要もあります。

**3a** **[Authentication]** リストの中で認証タイプを選択します。

または

**[Check for Supported Types]** をクリックして、サポートされているタイプを**Evolution**に確認させます。サポートしている認証メカニズムを通知しないサーバも一部あるため、このボタンをクリックしても、使用可能なメカニズムが実際に機能するかどうかは保証されません。

**3b** **[Username]** フィールドに、ユーザ名を入力します。

**3c** **Evolution**にパスワードを記憶させる場合に選択します。

- 4 **[進む]** をクリックします。

に進んでください。 **アカウント管理項** (160 ページ)

## アカウント管理

電子メールの設定プロセスが終了したところで、次はアカウントに名前を与える必要があります。任意の名前を指定できます。 **[Name]** フィールドにアカウント名を入力した後、 **[進む]** をクリックします。

に進んでください。 **タイムゾーン項** (161 ページ)



## タイムゾーン

このステップでは、ユーザのタイムゾーンを地図上でクリックして選択するか、タイムゾンドロップダウンリストから選択します。

終了したら、**[進む]** をクリックし、**[Apply]** をクリックします。作成された新しいアカウントでEvolutionが起動します。

別の電子メールクライアントから電子メールをインポートする場合は、**メールのインポート(オプション)項** (161 ページ)に進みます。NICI 2.6.4が不要な場合は、**4.2項 「Evolutionの使用:概要」** (162 ページ)に進みます。

## メールのインポート(オプション)

Evolutionが別のアプリケーションから電子メールまたはアドレスファイルを検出した場合、インポートするよう求められます。

Microsoft Outlook\*およびバージョン 4以降のOutlook Expressは、Evolutionが読み取ったりインポートしたりできない独自規格の形式を使用しています。情報をインポートするには、Windows\*のエクスポートツールを使用します。

Netscape\*から電子メールをインポートする前に、**[ファイル] > [Compact All Folders]** の順に選択します。選択しなかった場合、Evolutionはごみ箱フォルダ内のメッセージをインポートして復帰させます。

---

### 注意

Evolutionは電子メールおよびカレンダー情報に標準のファイルタイプを使用するため、~/ .evolutionディレクトリからそれらのファイルをコピーできます。使用するファイル形式は、電子メールの場合はmbox、カレンダー情報の場合はiCalです。

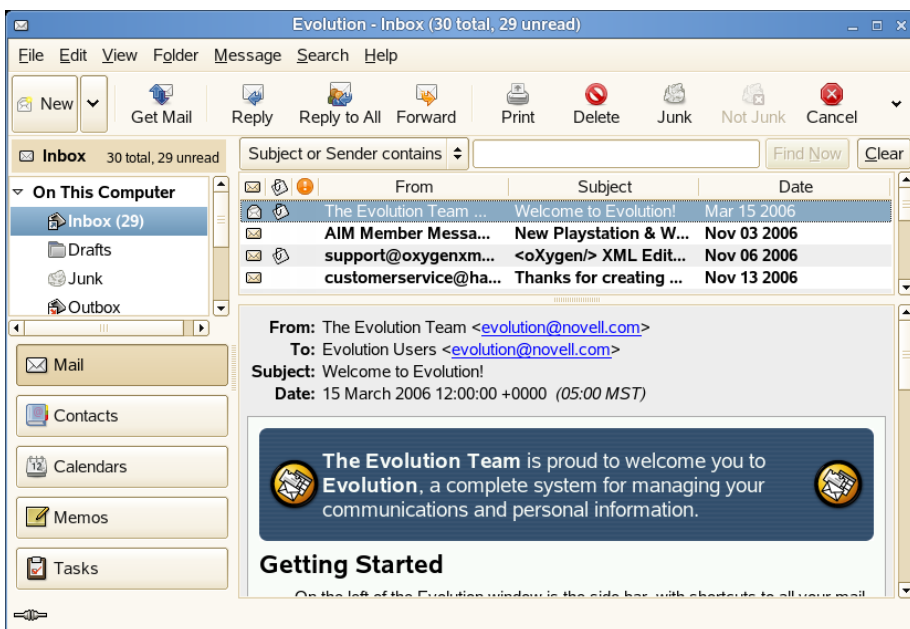
連絡先ファイルはデータベースに保存されますが、標準のvCard\*として保存できます。連絡先データをエクスポートするには、連絡先ツールを開き、エクスポートする連絡先を選択します(Ctrl+Aキーを押すと、すべての連絡先が選択されます)。**[ファイル] > [Save as VCard]** の順にクリックします。

---

## 4.2 Evolutionの使用:概要

これで初回起動設定が完了したので、Evolutionの使用を始める準備が整いました。次はEvolutionメインウィンドウの中にあるものの簡単な説明です。

### 4.1 Evolution ウィンドウ



#### メニューバー

メニューバーからは、ほぼすべてのEvolution機能にアクセスできます。

#### フォルダリスト

フォルダリストは、各アカウントで使用可能なフォルダを一覧表示したものです。フォルダの内容を見るにはフォルダ名をクリックします。内容が電子メールリストの中に表示されます。

#### ツールバー

ツールバーからは、各コンポーネントの中で頻繁に使用する機能にすばやく簡単にアクセスできます。

### 検索ツール

検索ツールは電子メール、連絡先、カレンダー、およびタスクを検索し、ユーザが探しているものを簡単に見つけ出すことができます。

### メッセージリスト

メッセージリストには、受信した電子メールの一覧が表示されます。プレビューペインの中に電子メールを表示するには、電子メールリスト内の電子メールをクリックします。

### ショートカットボタン

ショートカットバーにより、フォルダおよびEvolutionツールを切り替えることができます。ショートカットバーの下には、ツールを切り替えられるボタンがあり、ショートカットバーの上には、現在のツールで使用可能なすべてのフォルダの一覧が表示されます。Evolution Connector for Microsoft Exchangeをインストール済みである場合は、他のツールのボタンに加えてExchangeボタンがあります。

### ステータスバー

ステータスバーは、メッセージを定期的に表示するか、タスクの進行状況を知らせします。これはユーザが電子メールをチェックしているときや送信しているときに最も頻繁に表示されます。進行状況のキューは前の図で示したとおりです。ウィンドウの左下には、オンライン/オフラインインジケータもあります。

### プレビューペイン

プレビューペインには、電子メールリストの中で選択された電子メールの内容が表示されます。

## 4.2.1 メニューバー

メニューバーの中には、特定のデータ表示に対して可能なアクションすべてが表示されます。Inboxを見ている場合、ほとんどのメニュー項目は電子メールに関するものです。Evolutionの他のコンポーネントに関係するものもあれば、特にファイルメニュー内のものなど、アプリケーション全体に関係するものもあります。

## ファイル

作成、ディスクへの保存、印刷、プログラムの終了など、ファイルまたはアプリケーション操作に関するものは、通常はこのメニューの中に入ります。

## 編集

テキストを編集したりあちこち移動したりするのに役立つ便利なツールがあります。編集メニューの中で設定オプションにアクセスできます。

## 表示

**Evolution**の表示方法を決定できます。**Evolution**全体としての外観を制御する機能もあれば、特定の種類の情報の表示方法を制御する機能もあります。

## フォルダ

フォルダに対して実行できるアクションがあります。コピー、名前の変更、削除といった項目があります。

## メッセージ

メッセージに適用できるアクションがあります。メッセージの返信など、アクションの対象が1つだけの場合、通常はメッセージメニューの中にあります。

## 検索

メッセージまたはメッセージ内のフレーズを検索できます。前に行なった検索内容も見ることができます。検索メニューのほかに、メッセージの検索に使用できるテキスト入力ボックスがツールバーの中にあります。検索機能から検索フォルダを作成することもできます。

## ヘルプ

**Evolution**ヘルプファイルを開きます。

## 4.2.2 ショートカットバー

**Evolution**の最も重要なジョブは、ユーザがメール、カレンダー、タスク、連絡先情報にアクセスし、すぐに使えるようにすることです。その方法の1つはショートカットバーです。ショートカットバーは、メインウィンドウの左側にある列です。[Mail] や [Contacts] などのボタンがショートカットです。その上には、現在の**Evolution**ツールのフォルダリストがあります。

フォルダリストは、電子メール、カレンダー、連絡先リスト、およびタスクリストを、ファイルツリーのようなツリーの形に整理したものです。ほとんどの場合、ツリーのベースには1〜4つのフォルダがあり、これはツールおよびシステム設定によります。各Evolutionツールには少なくとも1つ、ローカル情報用の*On This Computer*というフォルダがあります。たとえば、電子メールツールのフォルダリストには、ユーザがセットアップしたリモート電子メールストレージに加えて、ローカルフォルダおよび検索フォルダが表示されます。

大量のメールを受け取る場合、Inboxよりも多くのフォルダが必要になるでしょう。ユーザはカレンダー、タスク、または連絡先のフォルダを複数作成できます。

新規フォルダを作成する:

- 1 [フォルダ] > [新規] の順にクリックします。
- 2 [Folder Name] フィールドにフォルダの名前を入力します。
- 3 新しいフォルダの場所を選択します。
- 4 [OK] をクリックします。

## フォルダ管理

フォルダまたはサブフォルダを右クリックして、次のオプションを含むメニューを表示します。

### コピー

フォルダを別の場所にコピーします。この項目を選択すると、Evolutionはフォルダのコピー先とする場所を選択して表示します。

### 移動

フォルダを別の場所に移動します。

### メッセージに既読マークを付加

フォルダ内のすべてのメッセージに既読マークを付けます。

### New Folder

同じ場所に別のフォルダを作成します。

#### 削除

フォルダおよびその中身をすべて削除します。

#### リネーム

フォルダの名前を変更できます。

#### 無効

アカウントを無効にします。

#### プロパティ

フォルダ内のメッセージ総数と未読のメッセージ数についての情報を表示します。リモートフォルダをローカルシステムにコピーしてオフラインで操作できるようにするには、*[Inbox message body data]* を選択します。

フォルダおよびメッセージは、ドラッグおよびドロップすることで配置し直すこともできます。

電子メールフォルダに未読メッセージがある場合、フォルダラベルが太字で表示され、フォルダ内の未読メッセージ数も表示されます。

## 4.2.3 電子メール

Evolution電子メールは、次のようにいくつかの点で他の電子メールプログラムと似ています。

- HTMLまたはプレーンテキストとして電子メールの送受信ができ、複数の添付ファイルを送受信するのが簡単です。
- IMAP、POP3、および他の電子メールプログラムによって作成されたローカルmbx/mhスプールやファイルなど、複数の電子メールソースをサポートします。
- フォルダ、検索、およびフィルタなどを使用し、さまざまな方法で電子メールをソートし整理することができます。
- 暗号化によりユーザのプライバシーを守ります。

しかし、Evolutionには他の電子メールプログラムとの重要な違いがいくつかあります。第一に、非常に大量の電子メールを処理できるよう構築されています。SPAM電子メール、メッセージフィルタリングおよび検索機能は、ス

ピードと効率性を考えて作られています。他の電子メールクライアントにはない高度な整理機能である検索フォルダもあります。大量の電子メールを受け取った場合、または後で参照する必要があるために受信したすべてのメッセージを残しておく場合に便利な機能です。次はEvolution電子メールウィンドウの内容に関する簡単な説明です。

Evolution電子メールウィンドウには、メッセージリストとプレビューペインの2つの主要部分があります。メッセージリストには、ユーザが所有するすべての電子メールが表示されます。この中にはすべての既読メッセージと未読メッセージ、および削除のフラグを立てた電子メールがあります。プレビューペインには、リストから選択した電子メールの内容が表示されます。

プレビューペインが小さすぎる場合は、ペインのサイズを変更したり、ウィンドウ全体に拡大したり、メッセージリスト内のメッセージをダブルクリックして新しいウィンドウの中で開いたりすることができます。ペインのサイズを変更するには、2つのペインの間の仕切りをドラッグします。

フォルダと同様に、メッセージリスト内のメッセージを右クリックし、メッセージの移動または削除、メッセージに基づいたフィルタまたは検索フォルダの作成、SPAMメールのマーク付加など、可能なアクションのメニューを表示することができます。

電子メールに関係して実行するアクションのほとんどは、メニューバーの[アクション]メニューの中にあります。返信や転送など、最も頻繁に使用するものは、ツールバーのボタンとしても表示されます。そのほとんどはキーボードショートカットとして右クリックメニューの中にもあます。

## 4.2.4 カレンダー

カレンダーの使用を開始するには、ショートカットバーの[カレンダー]をクリックします。デフォルトで、カレンダーには当日のミーティング、アポイント、イベントなどのスケジュールが表示されています。右側のタスクリストにタスクが表示されます。ツールバーの該当するアイコンをクリックして、別のビュー(週、作業週、月)を選択できます。

メインウィンドウで特定の日付を表示するには、左側の小型の月カレンダーペインでその日付を選択します。クリックしてドラッグすると、複数の日または週を表示することもできます。

月カレンダーペインで前月または翌月を表示するには、ペインヘッダの矢印を左クリックします。別の月を表示するには、ヘッダをクリックしてメニューから年と月を選択します。

新しいアポイント、タスク、ミーティング、またはイベントを設定するには、メインカレンダーウィンドウを右クリックして、メニューから該当する項目を選択し、開いたダイアログに適切な情報を入力します。

## 4.2.5 連絡先ツール

Evolution連絡先ツールは、あらゆるアドレス帳または電話帳の機能を扱うことができます。ただし、EvolutionはPalm OS\*デバイスと同期し、ネットワーク上のLDAPディレクトリを使用できるため、実際の紙のアドレス帳や電話帳を変更するよりもEvolutionを更新する方が簡単です。

また、Evolution連絡先ツールでは、残りのアプリケーションと統合できます。たとえば、Evolutionメールの中で電子メールアドレスを右クリックして、すぐに連絡先エントリを作成することができます。

連絡先ツールを使用するには、ショートカットバーの *[Contacts]* をクリックします。デフォルトでは、すべての連絡先が、ミニカードの中にアルファベット順で表示されます。 *[表示]* メニューから他の表示を選択することができ、グレーの列仕切りをドラッグすることで列の幅を調整できます。

連絡先表示の中で最も大きな部分には、各連絡先の一覧が表示されます。電子メールフォルダを検索する場合と同様に、ツールバーの右側にある検索ツールを使用して、連絡先を検索することもできます。



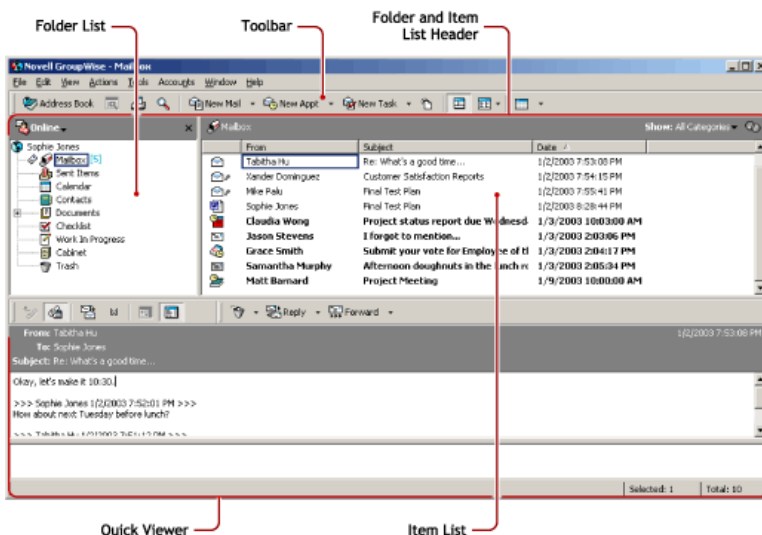
# GroupWise Linuxクライアント: 電子メールとカレンダーリング

GroupWise®は、堅牢で信頼性の高いメッセージング/コラボレーションシステムで、いつでもどこからでもユニバーサルメールボックスに接続することができます。ここでは、GroupWise Cross-Platformクライアントを簡単に使用開始できるように、GroupWiseクライアントの概要について説明します。

## 5.1 GroupWiseのメインウィンドウについて

GroupWiseにおける主な作業領域は、メインウィンドウです。GroupWiseのメインウィンドウからは、メッセージを読む、アポイントの入力、カレンダーの表示、連絡先の管理、GroupWise起動モード変更、フォルダやドキュメントを開くことなどが可能です。

## 図 5.1 Groupwiseのメインウィンドウ



GroupWiseでは、複数のメインウィンドウを表示できます。メインウィンドウを表示するには、[Window] をクリックして、次に [New Main Window] をクリックします。これは、別のユーザの代理人になっているときに便利です。自分のメインウィンドウ、および自分が代理になっているユーザに属するメインウィンドウを確認できます。1つのウィンドウで特定のファイルを開き、別のウィンドウでカレンダーを表示することもできます。コンピュータのメモリが許す限り、いくつでもメインウィンドウを開くことができます。

メインウィンドウの基本的なコンポーネントを以下に示します。

### 5.1.1 ツールバー

ツールバーを使用して、アドレス帳を開いたり、メールの送信や項目の検索などの一般的なGroupWiseの機能を簡単に利用できます。ツールバーについては、5.4頁「ツールバーの使用」(181 ページ)を参照してください。

## 5.1.2 フォルダおよび項目リストヘッダ

フォルダと項目リストヘッダにはドロップダウンリストがあり、ここから実行したいGroupWiseのモード(オンラインまたはキャッシュ)を選択したり、アーカイブ（バックアップ）メールボックスをメールボックスを選択して開いたり、プロキシメールボックスの選択などの操作を実行できます。

## 5.1.3 フォルダリスト

メインウィンドウの左側にあるフォルダリストを使用すると、GroupWise項目を整理することができます。項目を保管するために新しいフォルダを作成することもできます。フォルダ(共用フォルダを除く)の横には、角括弧の中に未読項目の数が表示されます。送信項目フォルダの隣には、キャッシングモードから送信保留中の項目数が角かっこ( [ ] )内に表示されます。

デフォルトフォルダの各内容については、次の項目を参照してください。

- ユーザフォルダ項 (172 ページ)
- [メールボックス] フォルダ項 (172 ページ)
- [送信項目] フォルダ項 (172 ページ)
- [カレンダー] フォルダ項 (173 ページ)
- [連絡先] フォルダ項 (173 ページ)
- [チェックリスト] フォルダ項 (173 ページ)
- [ドキュメント] フォルダ項 (174 ページ)
- [ごみ箱] フォルダ項 (175 ページ)
- 共用フォルダ項 (176 ページ)

## ユーザフォルダ

個人のユーザフォルダ(ユーザ名で示される)は、GroupWiseデータベース名を表します。メインウィンドウのすべてのフォルダは、ユーザフォルダのサブフォルダです。

### [メールボックス] フォルダ

メールボックスには、受諾または拒否したスケジュール設定項目(アポイント、タスク、メモ)以外の、受信したすべての項目が表示されます。受諾したスケジュール設定項目はカレンダーに移動されます。

### [送信項目] フォルダ


[送信項目] フォルダには、メールボックスとカレンダーから送信された項目がすべて表示されます。GroupWise 6.5以前のバージョンの [送信項目] フォルダはクエリフォルダで、現在の [送信項目] フォルダとは多少異なります。

以下は、以前の [送信項目クエリ] フォルダと現在の [送信項目] フォルダとの比較表です。

**表 5.1** 送信済み項目クエリフォルダと送信済み項目フォルダの比較

送信済み項目フォルダ(現行)	[送信項目クエリ] フォルダ(前)
送信項目は、メールボックスまたはカレンダー以外のフォルダに移動しないかぎり、すべてこのフォルダに置かれます。送信項目を別のフォルダに移動すると、その項目は [送信項目] フォルダに表示されなくなります。	現在このフォルダに項目はありません。このフォルダは検索結果フォルダで、このフォルダをクリックして検索結果(すべての送信済み項目)がフォルダに表示されると、検索が実行されたこととなります。このフォルダ内の項目を削除しても、元の項目は保管先のフォルダ内に残ります。そのため、このフォルダを再び開くと、その項目が再び表示されます。
このフォルダから送信項目を再送信、スケジュール変更、および撤回できます。	このフォルダから送信項目を再送信、スケジュール変更、および撤回できます。

## 【カレンダー】フォルダ

カレンダーフォルダには、さまざまなカレンダー表示オプションが表示されます。

## 【連絡先】フォルダ

【連絡先】フォルダには、デフォルトでアドレス帳内の【頻繁な連絡】アドレス帳が表示されます。【連絡先】フォルダで変更を行うと、【頻繁な連絡】アドレス帳でも同じ変更が行われます。

このフォルダから、連絡先、リソース、組織、およびグループを表示、作成、および変更できます。

代理人は、依頼人の【連絡先】フォルダを見ることができません。

## 【チェックリスト】フォルダ

【チェックリスト】フォルダは、タスクリストを作成するために使用します。このフォルダに、メールメッセージ、電話メッセージ、メモ、タスク、アポイントなどの項目を移動し、任意の順序で配置できます。各項目にはチェックボックスが設定され、項目を完了した時点でチェックマークを付けることができます。

チェックリストフォルダとタスクリストクエリフォルダ(古いバージョンの GroupWise で使用)の違いについて以下に示します。

表 5.2 チェックリストフォルダとタスクリストクエリフォルダの比較

【チェックリスト】フォルダ	【タスクリスト】フォルダ
このフォルダには、次の項目が含まれます。 <ul style="list-style-type: none"><li>このフォルダに移動した項目</li><li>このフォルダにポストした項目</li></ul>	現在このフォルダに項目はありません。このフォルダは【検索結果】フォルダです。つまり、このフォルダをクリックすると検索が行われ、検索結果（スケジュール設定されたすべての項目）がフォルダに表示されます。このフォルダ内の項目を削除しても、元の項目は保管先のフォルダ内に残ります。そのた

---

## [チェックリスト] フォルダ      [タスクリスト] フォルダ

---

- 別のフォルダで作成したチェックリストに含まれている項目

め、このフォルダを再び開くと、その項目が再び表示されます。

このフォルダには、あらゆるタイプの項目を配置できます。

このフォルダには、タスクのみ表示されます。タスクは、期日に関連付けられているスケジュール設定項目です。

項目に完了マークを付けるには、項目リスト内の項目の横のチェックボックスをクリックします。.

項目に完了済みのマークを付けるには、項目を開いて [完了] をクリックします。

期日は、タスクの送信者によって設定されます。タスクを自分で送信した場合は、期日を設定できます。

項目の優先度を設定するには、その項目を開き、[優先度] フィールドに優先度を入力します。

チェックリスト項目は、カレンダーのタスクリストに表示されません。

タスクは、カレンダーのタスクリストに表示され、カレンダーから完了マークを付けることができます。

期日を過ぎたタスクは、カレンダーで赤で表示されます。

---

## [ドキュメント] フォルダ

ドキュメント参照は、簡単に探せるように [ドキュメント] フォルダにまとめられます。

[ドキュメント] フォルダにはドキュメントしか含まれません。他の種類の項目がバージョン5.5以前のGroupWiseクライアントによりこのフォルダに移動されると、その項目は削除されます。

## [キャビネットフォルダ]

[キャビネット] には、すべてのパーソナルフォルダが含まれます。フォルダを整理し、ネストするには、[編集] > [フォルダ] の順にクリックします。フォルダのソート順を変更するには、[キャビネット] フォルダを右クリックして [プロパティ] をクリックし、適切なソート順を選択します。

## [ジャンクメール] フォルダ

[ジャンクメール処理] によって破棄されるアドレスとインターネットドメインから送られた電子メールはすべて [ジャンクメール] フォルダに置かれます。[ジャンクメール] オプションが有効でない場合、このフォルダはフォルダリストに作成されません。

[ジャンクメール] オプションが有効であるかぎり、このフォルダを削除することはできません。ただし、名前の変更や、フォルダリスト内の別の場所への移動は可能です。すべてのジャンクメールオプションが無効になっていると、フォルダは削除できます。また、システム管理者が [ジャンクメール処理] 機能を無効にした場合にも削除できます。

ジャンクメールフォルダから項目を削除するには、[ジャンクメールフォルダを空にする] をクリックして、[はい] をクリックします。

## [ごみ箱] フォルダ

削除されたメール、電話メッセージ、アポイント、タスク、ドキュメント、およびメモはすべて [ごみ箱] フォルダに保存されます。ごみ箱を空にしない限り、ごみ箱内の項目を表示したり、開いたり、メールボックスに戻したりできます(ごみ箱を空にすると、ごみ箱中の項目はシステムから削除されます)。

ごみ箱内のすべての項目を空にすることも、選択した項目だけを空にすることもできます。[環境] オプションの [クリーンアップ] タブで指定された日数が経過した場合、ごみ箱内の項目は自動的に削除されます。手動でごみ箱を空にすることもできます。システム管理者が、定期的に自動でごみ箱を空にするよう設定している場合があります。

## 共用フォルダ

共用フォルダは、他のユーザがアクセスできることを除いては、キャビネット内の他のフォルダと同じです。[キャビネット]内に共用フォルダを作成するか、または既存のパーソナルフォルダを共用することができます。そのフォルダを誰と共用するか、また各ユーザにどのような権利を与えるかを指定できます。そうすれば、それらのユーザは、その共用フォルダにメッセージを入れたり、既存の項目をそのフォルダへドラッグしたり、ディスカッション履歴を作成することができるようになります。キャビネット、ごみ箱、および作業中のフォルダなどのシステムフォルダは共有できません。

### 5.1.4 項目リスト

メインウィンドウの右側にある項目リストには、メール、電話メッセージ、アポイント、メモ、タスク、およびドキュメント参照が表示されます。カラムヘッダをクリックして、項目リストを並べ替えることができます。逆の順序で並べ替えるには、もう一度カラムヘッダをクリックします。各項目で使われているアイコンについては、[5.3.2項「メールボックスとカレンダーで項目の横に表示されるアイコン」](#) (178 ページ)を参照してください。

### 5.1.5 クイックビューア

QuickViewerはフォルダと項目リストの下に開きます。クイックビューアを使用すると、各項目およびその添付ファイルの内容を別のウィンドウで開かずに、簡単に見ることができます。

## 5.2 さまざまなGroupWiseモードを使用する

GroupWiseには、オンラインモードとキャッシングモードの、2種類のGroupWiseクライアント動作モードがあります。

どちらかのモードでGroupWiseを実行する場合と、システム管理者によって特定のモードのみを使用するよう求められる場合があります。



ほとんどのGroupWise機能はどちらのGroupWiseモードでも使用可能ですが、一部例外があります。キャッシングモードでは、他のユーザのお知らせを受信できません。

## 5.2.1 オンラインモード

オンラインモードを使用する場合、ネットワーク上のPost Officeに接続されます。メールボックスはネットワークメールボックス(オンラインメールボックスとも言います)に保存されたメッセージと情報を表示します。オンラインモードは、継続的にネットワークメールボックスに接続されます。オンラインモードでは、ポストオフィスエージェントが停止したり、ネットワーク接続が切断されたりした場合、メールボックスへの接続が一時的に切断されます。

ネットワークトラフィックがあまり多くない場合、または複数の異なるワークステーションを使用しており、各ワークステーションのローカルメールボックスにダウンロードしたくない場合は、このモードを使用してください。

## 5.2.2 キャッシングモード

キャッシュモードはメッセージや他の情報を含め、ネットワークメールボックスのコピーをローカルドライブに保存します。これにより、ネットワークまたはPost Office Agentが使用可能であるかどうかに関係なく、GroupWiseを使用することができます。常にネットワークに接続されているわけではないので、このモードはネットワークトラフィックを軽減し、最高のパフォーマンスを実現します。接続は、新しいメッセージの送受信のために自動的に実行されます。更新はすべてバックグラウンドで行われるので、作業が中断されることがありません。

キャッシュモードを使用するには、クライアントインストールはワークステーションインストールではなく、通常のインストールで実行されていなければなりません。

ローカルドライブにメールボックスを保存する十分なディスク領域がある場合は、このモードを使用することをお勧めします。

1台の共用コンピュータ上に複数のユーザがキャッシングメールボックスをセットアップすることができます。

# 5.3 メールボックスを理解する

自分の項目はすべて、送信しても受信しても、GroupWiseメールボックスに保存されます。表示ドロップダウンリストの設定をクリックすると、受信項目、送信項目、ポスト項目、またはドラフト項目だけをすぐに表示することができます。フィルタを使用してメールボックスに表示する項目をさらに制限することができます。

メッセージをキャビネット内のフォルダに移動してメッセージを整理し、必要に応じてフォルダを新規作成することができます。

## 5.3.1 メールボックスの太字項目


メールボックス内の未読項目はすべて太字になるので、どの項目とドキュメントを読んでいないか簡単に識別できます。未読の場合は項目の横に表示されるアイコンも表示されます。











送信済み項目もキューに置かれているがアップロードされていない、ステータス情報が配信中の項目について受信されていない、またはインターネットに転送されていない場合は、太字で表示されます。

## 5.3.2 メールボックスとカレンダーで項目の横に表示されるアイコン








メールボックスやカレンダー内の項目の横に表示されるアイコンは、その項目に関する情報を表しています。各アイコンの意味を次に説明します。

表 5.3 アイコンの説明

アイコン	説明
	キャッシングモードで送信した項目の隣に表示されるこのアイコンは、その項目がキューに格納されているが、キューがアップロードされていないことを示しています。項目がアップロードされた後、このアイコンは、宛先のポストオフィス

アイコン	説明
	<p>に配信中の項目またはインターネットに転送中の項目に関するステータス情報を受信していないことを示します。</p> <p>送信項目の隣にある  アイコンは、1つ以上の項目がキューに格納されているが、それがアップロードされていないことを示します。</p>
	<p>送信した項目の隣に表示されます。この項目が少なくとも1人のユーザにより開かれた場合、このアイコンは、すべての受信者が、1)メール、電話メッセージ、またはリマインダメモを開く、2)アポイントを受け付ける、または3)タスクを完了するまで、表示されます。</p>
	<p>送信した項目の隣に表示されます。この項目は、送信先のPost Officeに配信されませんでした。またはインターネットへの転送が失敗しました。</p>
	<p>送信した項目の隣に表示されます。アポイントまたはタスクの横にあるこのアイコンは、少なくとも1人のユーザがこの項目を拒否、削除したことを示します。このアイコンが、メール、電話メッセージまたはメモの横に表示された場合は、少なくとも1人のユーザがこの項目を開かずに削除したことを示します。</p>
	<p>項目に1つ以上の添付ファイルがあることを示します。</p>
	<p>項目に1つ以上のサウンド注釈が含まれているか、項目がボイスメールであることを示します。</p>
	<p>ドラフト項目であることを示します。</p>
	<p>送信した項目の横に表示されます。</p>
	<p>返信した項目の横に表示されます。</p>
	<p>転送した項目の横に表示されます。</p>

アイコン	説明
	委任した項目の横に表示されます。
	返信して転送した項目の隣に表示されます。
	返信および委任した項目の横に表示されます。
	転送および委任した項目の横に表示されます。
	返信、転送、および委任した項目の隣に表示されます。
	ポスト項目を示します。
	ドキュメントの特定のバージョンを示します。
	ドキュメントのオフィシャルバージョンを示します。
	優先度が低い、標準、または高い未開封のメール。
	優先度が低い、標準、または高い開封済みのメール。
	優先度が低い、標準、または高い未開封のアポイント。
	優先度が低い、標準、または高い開封済みのアポイント。
	優先度が低い、標準、または高い未開封のタスク。
	優先度が低い、標準、または高い開封済みのタスク。
	優先度が低い、標準、または高い未開封のメモ。
	優先度が低い、標準、または高い開封済みのメモ。
	優先度が低い、標準、または高い未開封の電話メッセージ。

アイコン	説明
	優先度が低い、標準、または高い開封済みの電話メッセージ。
	送信者はこの項目への返信を要求しています。この項目の優先度は、低い、標準、または高いです。
	〔予定の有無〕に表示されます。ユーザ名またはリソースの左に表示されたら、〔Individual Schedules〕タブにあるユーザ名またはリソースからスケジュールの時間をクリックすると、下のボックスにアポイントに関する詳細情報が表示されます。ただし、このアイコンが表示される前に、ユーザまたはリソースの所有者からAccess Listでアポイントの〔読み取り権〕を与えられていなければなりません。
	カレンダーに表示され、アラームが項目にセットされていることを示します。
	カレンダーに表示され、項目がグループアポイント、リマインダメモ、またはタスクであることを示します。
	カレンダーに表示され、項目がプライベートにマークされていることを示します。
	カレンダーに表示され、この項目を拒否したが削除はしていないことを示します。

## 5.4 ツールバーの使用

ツールバーを使用して、GroupWiseの多くの機能やオプションにアクセスできます。フォルダまたは項目の最上位にあるツールバーは、コンテキストに応じて変化します。現在の場所で最適のオプションが提供されるように変更されます。

## 5.5 ショートカットキーを使用する

GroupWiseの中の豊富なショートカットキーは、アクセス補助として、またはさまざまな操作を実行時に時間を節約するために、使用することができます。以下のテーブルは、これらのショートカットキーと、キーにより実行される処理、および対象となるコンテキストの一部を表示しています。

表 5.4 ショートカットキー

ショートカットキー	アクション	操作の対象
<F1>	オンラインヘルプを表示する	メインウィンドウ、カレンダー、項目、ダイアログボックス
<F2>	テキストを検索する	項目内
<F5>	画面をリフレッシュする	メインウィンドウ、カレンダー
<F7>	スペルチェックを開く	項目内
<F8>	選択した項目に個人秘マークを付ける	項目リスト
<F9>	フォントのダイアログボックスを開く	項目内
<Ctrl>+<A>	すべての項目(すべてのテキスト)を選択する	項目リスト、テキスト
<Ctrl>+<B>	テキストを太字にする	テキスト内
<Ctrl>+<C>	選択したテキストをコピーする	テキスト内
<Ctrl>+<F>	[検索] ダイアログボックスを開く	メインウィンドウ、カレンダー、項目、ダイアログボックス

ショートカットキー	アクション	操作の対象
+	今日の日付に移動する	カレンダー
<Ctrl>+<I>	テキストを斜体にする	テキスト内
+	メッセージにファイルを添付する	項目内
<Ctrl>+<M>	新しいメールメッセージを開く	メインウィンドウ、カレンダー、項目、ダイアログボックス
<Ctrl>+<O>	選択したメッセージを開く	項目リスト
<Ctrl>+<P>	[印刷] ダイアログボックスを開く	メインウィンドウ、項目
<Ctrl>+<Q>	クイックビューアをオンまたはオフにする	メインウィンドウ、カレンダー
<Ctrl>+<R>	選択した項目に未読マークを付ける	項目リスト
<Ctrl>+<S>	ドラフトを [進行中の仕事] フォルダに保存する	項目内
<Ctrl>+<U>	テキストに下線を付ける	テキスト内
<Ctrl>+<V>	選択したテキストを貼り付ける	テキスト内
<Ctrl>+<X>	選択したテキストを切り取る	テキスト内
<Ctrl>+<Z>	前回の動作を元に戻す	テキスト内
+上矢印 または	前または次の項目を開く	項目内

ショートカットキー	アクション	操作の対象
+下矢印		
<Ctrl>+<Shift>+左矢印	テキストを単語単位で選択する	テキスト内
または		
<Ctrl>+<Shift>+右矢印		
<Ctrl>+<Shift>+<A>	新規のアポイントを開く	メインウィンドウ、カレンダー、項目、ダイアログボックス
<Ctrl>+<Shift>+<T>	新規のタスクを開く	メインウィンドウ、カレンダー、項目、ダイアログボックス
<Ctrl>+<Shift>+<R>	新規のリマインダメモを開く	メインウィンドウ、カレンダー、項目、ダイアログボックス
<Ctrl>+<Shift>+<P>	新規の電話メッセージを開く	メインウィンドウ、カレンダー、項目、ダイアログボックス
<Alt>+<F4>	メインウィンドウおよびカレンダーでは、GroupWiseを終了する  項目では、項目を閉じる  ダイアログボックスでは、ダイアログボックスを閉じる	メインウィンドウ、カレンダー、項目、ダイアログボックス
<Alt>+[文字]	メニューバーをアクティブにする(メニュー名の、下線が付いた文字を使用)	メインウィンドウ、カレンダー、項目



ショートカットキー	アクション	操作の対象
<Alt>+<D>	項目を送信する	新規項目内
<Alt>+<S>	項目を送信する	新規項目内
<Alt>+<Enter>	選択した項目のプロパティを表示する	項目リスト
<Alt>+<Del>	項目を削除する	項目内
<Shift>+左矢印 または <Shift>+右矢印	テキストを文字単位で選択する	テキスト内
<Shift>+<End> または <Shift>+<Home>	行末または行頭までのテキストを選択する	テキスト内
Shift + [文字キー]	フォルダリストで、<Shift>キーを押しながらサブフォルダ名の最初の文字のキーを押すと、そのサブフォルダに移動する	フォルダリスト
<Tab>	フィールド、ボタン、および領域を順番に移動する	メインウィンドウ、カレンダー、ダイアログボックス、項目
<Shift>+<Tab>	フィールド、ボタン、領域を逆の順に進む	メインウィンドウ、カレンダー、ダイアログボックス、項目
<Ctrl>+<Tab>	テキスト内では、テキストをインデントする	テキスト内、ダイアログボックス

ショートカットキー	アクション	操作の対象
	タブ付きのダイアログボックスでは、次のタブを開く	
Alt+上矢印	項目のメッセージ本文を拡大。	項目内
Alt+下矢印	項目のメッセージ本文を縮小。	項目内

## 5.6 詳細情報

GroupWiseの詳細については、次の資料を参照してください。

### 5.6.1 Online Help

詳細なユーザマニュアルが『ヘルプ』に記載されています。メインウィンドウから [ヘルプ] > [ヘルプ項目] の順に選択して、[コンテンツ] タブ、[インデックス] タブ、または [検索] タブを使用して、目的のトピックを検索します。

### 5.6.2 GroupWise 7ドキュメントWebページ

最新バージョンのGroupWiseユーザガイド、およびGroupWise管理者用のマニュアルについては、NovellドキュメントWebサイト(<http://www.novell.com/documentation/gw7>)のGroupWise 7のセクションを参照してください。

このユーザガイドは、GroupWiseクライアントから [ヘルプ] > [ユーザガイド] の順に選択して参照することもできます。

### 5.6.3 GroupWise Cool Solutions Web Community

GroupWiseのCool Solutions Webコミュニティでは、ヒント、活用例、機能詳細、およびFAQに対する回答を参照できます。メインウィンドウで、[ヘル

プ] > [Cool Solutions Webコミュニティ] の順に選択するか、または<http://www.novell.com/coolsolutions/gwmag>を参照してください。



# Gaimを使用したインスタントメッセージング

Gaimを使用すると、単一のインスタントメッセージングクライアントからすべてのインスタントメッセージングアカウントを使用できます。Gaimは最も一般的なインスタントメッセージングプロトコルのすべてにサポートしているので、どのIMシステムが使用されているかに関係なく、一度にすべてのアカウントにログインして、1つのタブ付きインターフェースで各連絡先とチャットできます。

本章では、Gaimをセットアップし、連絡先と通信するために知っておくべきGaimオプションについて説明します。すべてのGaimの機能とオプションを説明しているわけではありません。詳細については、Gaimを起動し、[ヘルプ]、[オンラインヘルプ]の順にクリックするか、F1キーを押してください。

- 6.1項「サポートされるプロトコル」 (189 ページ)
- 6.2項「アカウントのセットアップ」 (190 ページ)
- 6.3項「Buddy Listの管理」 (191 ページ)
- 6.4項「チャット」 (192 ページ)

## 6.1 サポートされるプロトコル

Gaimは次のインスタントメッセージングプロトコルにサポートしています。

- AIM/ICQ

- Gadu-Gadu
- GroupWise
- IRC
- Jabber
- MSN
- Napster
- Yahoo
- Zephyr

## 6.2 アカウントのセットアップ

Gaimを使用するには、使用したいシステム上で既にアカウントを取得している必要があります。たとえば、AIMアカウントでGaimを使用するには、最初にAIMアカウントを取得していなければなりません。これらのアカウントを取得すると、そのアカウントをGaimの *[Add Account]* ダイアログボックスで設定します。

- 1 Gaimを起動するには、*[コンピュータ]*、*[その他のアプリケーション]*、*[通信]*、*[Gaim]* の順にクリックします。



- 2 *[アカウント]*、*[追加]* の順にクリックして、*[Add Account]* ダイアログボックスを開きます。

初めてGaimを実行するとき、または2回目以降にGaimを起動するとき、どのアカウントもセットアップしていない場合は、*[AddAccount]* ダイアログボックスが自動的に開きます。

**3** 希望するセットアッププロトコルを選択します。

各プロトコルの *[AddAccount]* ダイアログボックスは、各プロトコルで使用可能なセットアップオプションにより異なります。

**4** 選択したプロトコルのセットアップオプションを入力します。

通常のオプションには、アカウント名とパスワードが含まれます。プロトコルには、buddy icon、エイリアス、ログインオプション、その他など詳細なオプションにサポートしています。

**5** *[保存]* をクリックします。

**6** 各詳細プロトコルについて、手順の2～5を繰り返します。

アカウントが追加されたら、Gaimの *[ログイン]* ダイアログボックスにアカウント名とパスワードを入力して、アカウントにログインできます。

## 6.3 Buddy Listの管理

Buddy Listを使用して、「仲間」である連絡先を管理できます。Buddy Listから仲間の追加と削除を実行できます。さらに、簡単に検索できるよう仲間をグループ別に整理することができます。

### 6.3.1 Buddy Listに仲間を表示する

アカウントがセットアップされると、オンライン中のすべての仲間がBuddy Listに表示されます。オンラインでない仲間もBuddy Listに表示したい場合は、*[Buddies]* > *[Show Offline Buddies]* の順にクリックします。

## 6.3.2 仲間の追加

Buddy Listに仲間を追加するには、*[Buddies]*、*[Add Buddy]* の順にクリックして、その仲間に関する情報を入力します。

---

### 注意

一部のプロトコルでは、Gaimインターフェースに仲間を追加できません。自分のBuddy Listに追加したい場合、それらのプロトコルのクライアントを使用します。プロトコルのクライアントに仲間を追加したら、Gaim Buddy Listにその仲間が表示されます。

---

## 6.3.3 仲間の削除

仲間を削除するには、Buddy Listにある該当する仲間の名前を右クリックし、*[削除]* をクリックします。

## 6.4 チャット

チャットセッションを開くには、Buddy Listで仲間の名前をダブルクリックします。チャットセッションが開きます。メッセージを入力して、*[Enter]* を押すと、送信されます。

開かれる各チャットセッションは、チャット画面にタブとして表示されます。仲間のタブをクリックすると、その仲間とチャットできます。仲間のタブを閉じると、チャットセッションが終了します。



## EkigaでのVoice over IPの使用

現在のテレコミュニケーションは、単に電話をかけることだけを意味するわけではありません。テキストメッセージを交換し、時にはテレビ会議を行うことも含まれます。ローミングによって、1つの電話番号で世界中に接続ができます。Ekigaでは、これらの機能をLinuxデスクトップでを使用してブロードバンドのインターネットで通信できるようにします。

始める前に、以下の要件を満たしていることを確認してください。

- サウンドカードが適切に設定されている。
- ヘッドセットまたはマイクとスピーカーがコンピュータに接続されている。
- 通常の電話回線にダイヤルするには、SIPアカウントが必要です。  
SIP(*Signaling protocol for Internet Telephony*)は、音声およびテレビ会議またはコール転送のセッション確立に使用されるプロトコルです。プロバイダのリストについては、<http://www.voipproviderslist.com/>を参照してください。無料のトライアルは、<http://www.voipbuster.com>から入手できます。
- テレビ会議の場合、Webカメラがコンピュータに接続されている。

## 7.1 Ekigaの設定

最初に起動すると、Ekigaの設定アシスタントが開き、Ekigaのインスタンスの設定に必要なすべてのデータが要求されます。Ekigaを設定するには、以下の手順に従います。

- 1 フルネーム(名前と姓)を入力します。
- 2 ekiga.netアカウントデータを入力するか、または[ekiga.net](http://ekiga.net)に登録しないことを選択します。

別のアカウントを後で追加するには、`[Edit]` > `[Accounts]` を使用して設定します。

- 3 接続タイプを指定します。
- 4 Ekigaで通話できるようにするファイアウォールのタイプを指定します。
- 5 使用するオーディオマネージャを選択します。デフォルトの設定 `[ALSA]` を使用します。これによって最適な音質が保証されます。OSSなどのその他のサウンドシステムはSUSE Linux Enterpriseでは使用できません。
- 6 オーディオの入力デバイスと出力デバイスを選択して、設定をテストします。
- 7 ビデオマネージャの選択として、`[V4L]` を使用します。
- 8 ビデオの入力デバイスを選択して、設定をテストします。
- 9 設定の概要を確認して適用します。
- 10 設定を変更した後に登録が失敗した場合は、Ekigaを再起動します。

Ekigaでは複数のアカウントを管理できます。アカウントを追加して設定するには、以下の手順に従います。

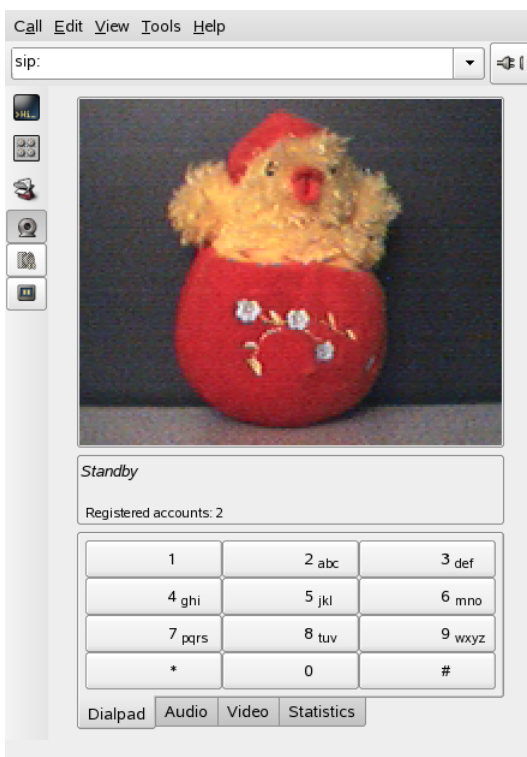
- 1 `[Edit]` > `[Accounts]` を開き、`[Add]` を選択します。

- 2 [Account Name] を選択します。
- 3 使用するアカウントのタイプに応じて、適切なプロトコルを選択します。通常は [SIP] を選択します。
- 4 登録先を [Registrar] に入力します。これは通常は、インターネットテレフォニーサービスプロバイダが指定するIPアドレスまたはホスト名です。プロバイダが指定したデータに従って、ユーザとパスワードを入力します。
- 5 [OK] をクリックして設定ダイアログを終了し、アカウントを有効にします。Ekigaメインウィンドウに表示されるアカウントの状態が [Registered] に変更されます。

## 7.2 Ekigaのユーザインタフェース

Ekigaのすべての機能は、メニューバーから使用できます。重要な機能は、左側のツールバーにあるショートカットや特別なキーの組み合わせによって使用できます。

## 図 7.1 Ekigaのユーザインタフェース



ユーザインタフェースにはさまざまなモードがあります。ビューを切り替えるには、`[View] > [View Mode]` および `[View] > [コントロールパネル]` を使用するか、またはGUIの左側からビューモードアイコンと下部のタブを選択します。`[Full View]` を図 7.1. 「Ekigaのユーザインタフェース」 (196 ページ) に示します。ツールバーのすべてのアイコンにはツールチップがあり、マウスポインタをアイコン上に置くと表示されます。

インタフェースの下部に、ダイヤルパッド、オーディオ、ビデオ、統計の機能を持つタブがあります。`[Audio]` 設定などの一部の設定は、通話中にのみ変更できます。

Ekigaの機能の多くは、キーボードショートカットで使用できます。表 7.1. 「Ekigaのキーボードショートカット」 (197 ページ) に重要なショートカットをまとめてあります。

表 7.1 Ekigaのキーボードショートカット

Ctrlシーケンス	説明
Ctrl + O	現在の番号でコールを開始します。
Ctrl + D	通話を切断します。
Ctrl + G	現在のコールを保留にします。
Ctrl + T	現在のコールを別の相手に転送します。
Ctrl + S	現在の画像をハードディスクに保存します。
Ctrl + W	Ekigaユーザインタフェースを閉じます。
Ctrl + Q	Ekigaを終了します。
Ctrl + E	アカウントマネージャを開始します。
Ctrl + P	[ <i>Ekiga Preferences</i> ] の概要を開きます。このダイアログで、Ekigaの設定を微調整できます。
Ctrl + +	Webカメラからの画像にズームインします。
Ctrl + -	Webカメラからの画像にズームアウトします。
Ctrl + =	Webカメラの標準サイズの画面に戻ります。
Ctrl + F	Webカメラの全画面表示を行います。
Ctrl + H	コール履歴を表示します。

## 7.3 電話をかける

いったんEkigaを正しく設定すれば、電話は簡単にかけることができます。

- 1 メニューまたはコマンドラインからEkigaを起動します。

2 [SIPアドレス] に、通話相手のSIPアドレスを入力します。アドレスは次のような形式になります。

- 近距離の直接通話の場合: sip:username@domainnameまたはusername@hostname
- sip:username@domainnameまたはuserid@sipserver

SIPプロバイダが実際の電話を受理する場合、sip:<電話番号>のように番号を入力するだけでかけられます。

3 [Call] をクリックするか、またはCtrl+Oを入力して、相手が電話に出るまで待ちます。

4 通話を終了するには、[Hang up] をクリックするか、またはCtrl+Dを入力します。

通話中にサウンドのパラメータを調整する必要がある場合には、[View] > [View Mode] > [Full View] をクリックします。さらに多くのオプションがある4つのタブが表示されます。2番目の [Audio] タブには、[Playback level] と [Recording level] のオプションがあります。必要に合わせてレベルをスライダで調整してください。

## 7.4 電話に出る

Ekigaでは2つの方法で電話に出られます。まず、ユーザは直接sip:user@hostで呼び出されます。または、SIPプロバイダ経由で通話します。多くのSIPプロバイダは、通常の電話回線からVoIPアカウントに通話を受けられるようにしています。Ekigaが実行されているモードに応じて、着信コールの通知方法は複数あります。

### 通常のアプリケーション

着信は、Ekigaがすでに実行している場合にのみ、受け付けて応答することができます。着信音は、ヘッドセットまたはスピーカから聞こえます。Ekigaを実行していないときには、電話を受けることはできません。

### パネルアプレット

通常、Ekigaのパネルアプレットは、サイレントで動作しており、目立ちません。。これにより、着信が入るとすぐに次のように変わります。Ekiga

のメインウィンドウが開き、ヘッドセットまたはスピーカから呼び出し音が聞こえます。

着信に気が付いたら、*[Accept]* をクリックして、電話に出て会話します。電話に出たくない場合には、*[Reject]* をクリックします。コールを別のSIPアドレスに転送することもできます。

## 7.5 アドレス帳を使用する

Ekigaには、SIPによる連絡先を管理する機能があります。アドレス帳を開くには、*[ツール]* > *[Address book]* の順にクリックします。空白のリストが表示されます。連絡先を追加するには、マウスで *[パーソナル]* を選択します。アドレスウィンドウを右クリックして、*[New Contact]* を選択します。または、*Ctrl > N*を押します。

有効な連絡先には、以下のエントリが必要です。

### 名前

連絡先の名前を入力します。フルネームも入力できますが、またはニックネームも使用できます。

### SIPアドレス

連絡先の有効なSIPアドレスを入力します。

### 電子メール

参照用に、連絡先の電子メールアドレスを入力します。

### 短縮ダイヤル

短縮ダイヤルでは、よく使用する番号に簡単にアクセスできます。このオプションの選択は任意です。

### カテゴリ

多数の連絡先がある場合は、必要に応じて独自のカテゴリを追加できます。

### ローカルのアドレス帳

デフォルトで、パーソナルという名前のローカルのアドレス帳を使用できます。もっと多くのアドレス帳が必要な場合、*[ファイル]* > *[New Address*

*Book]* で作成するか、またはキーボードショートカットCtrl + Bを使用します。

アドレス帳から連絡先に通話するには、この連絡先をダブルクリックします。即座に電話がかかります。

## 7.6 詳細情報

Ekigaの公式ホームページは、<http://www.ekiga.org/>です。このサイトでは、よくある質問への回答のほか、より詳細なマニュアルを利用できます。

LinuxでのH323電子会議プロトコルのサポートの詳細は、<http://www.voip-info.org/wiki/view/H.323>を参照してください。VoIPをサポートするプロジェクトを検索する際には、まずここを探してください。

プライベートな電話ネットワークを設定するには、PBXソフトウェアのAsteriskを検討できます<http://www.asterisk.org/>。詳細は、<http://www.voip-info.org/wiki-Asterisk>を参照してください。



# ネットワークリソースへの アクセス

# 8

デスクトップから、ファイルやディレクトリ、およびリモートホスト上の特定のサービスにアクセスしたり、自分のファイルやディレクトリをネットワーク中の他のユーザに利用させることができます。SUSE Linux Enterprise®には、ネットワーク共有リソースにアクセスしたり、リソースを作成するための、次のような手段が用意されています。

- **ネットワーク参照:** Nautilusをファイルマネージャとして利用することにより、共有リソースやサービスを参照できます。詳細については、[8.2項「ネットワーク共有へのアクセス」](#) (202 ページ)を参照してください。
- **混在環境でのフォルダの共有:** Nautilusを使って、ネットワーク上の他のユーザとファイルやフォルダを共有できます。任意のWindowsまたはLinuxワークステーションの他のユーザがデータを参照したり、書き込みしたりできるようにします。詳細については、[8.3項「フォルダの共有」](#) (203 ページ)を参照してください。
- **Windowsファイルの管理:** SUSE Linux Enterpriseは、既存のWindowsネットワークと統合するように設定できます。この場合、LinuxコンピュータはWindowsクライアントのように動作します。Windowsクライアントと同様に、すべてのアカウント情報をActive Directoryから取得します。詳細については、[8.4項「Windowsファイルの管理」](#) (205 ページ)を参照してください。
- **Windowsネットワークプリンタの設定とアクセス:** GNOMEコントロールセンターから、Windowsネットワークプリンタを設定できます。設定方法の詳細については、[8.5項「Windowsネットワークプリンタの設定とアクセス」](#) (206 ページ)を参照してください。

## 8.1 ファイル共有とネットワーク参照に関する一般的な注意

お使いのコンピュータやネットワークで、ファイル共有やネットワーク参照機能の利用可能範囲は、ネットワーク構造とコンピュータの設定によって異なります。ネットワーク構造またはコンピュータを設定する前に、ネットワーク構造でファイル共有やネットワーク参照機能がサポートされているかどうか、また、企業のセキュリティポリシーで許可されているかどうか、システム管理者に確認してください。

Windows共有用のSMB参照やリモートサービス用のSLP参照などのネットワーク参照は、コンピュータがネットワーク上のすべてのクライアントにメッセージをブロードキャストできるかどうか大きく依存しています。コンピュータは、ブロードキャストメッセージとクライアントからの応答によって、利用できるネットワーク共有やサービスを検出します。ブロードキャストを効果的に行うためには、お使いのコンピュータが、他のブロードキャスト対象コンピュータと同じサブネット上に存在する必要があります。ネットワーク参照が利用できない場合、または検出された共有やサービスが利用予定のものとは異なる場合、コンピュータが適切なサブネットに接続されているかどうか、システム管理者に確認してください。

ネットワーク参照を利用するには、ネットワークの詳細、または共有およびサービスの可用性を知らせるネットワークメッセージを送受信できるように、いくつかのネットワークポートを開いておく必要があります。標準のSUSE Linux Enterpriseでは、高いセキュリティレベルを維持するように設定されており、インターネットからコンピュータを保護するファイアウォールが動作しています。ファイアウォール設定を調整するには、システム管理者に特定のネットワーク用ポートを開けるように依頼するか、企業のセキュリティポリシーに応じてファイアウォール全体の動作を停止する必要があります。ファイアウォールが動作している状態でネットワーク参照を行う場合、セキュリティ設定によりネットワーク参照が禁止されているということを伝えるNautilusメッセージが表示されます。

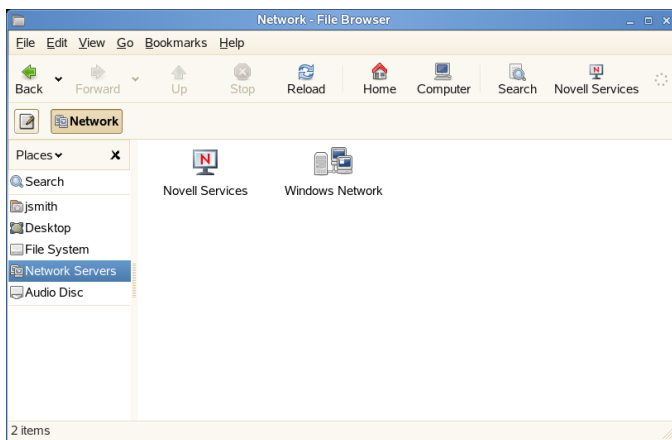
## 8.2 ネットワーク共有へのアクセス

ネットワーク上のワークステーションのフォルダを共有するように設定できます。通常、ファイルとフォルダにはリモートユーザがアクセスできること

を示す記号が付いています。これらは、「ネットワークシェア(共有)」と呼ばれます。お使いのシステムがネットワーク共有にアクセスできるように設定されている場合、ローカルコンピュータ上にあるファイルやフォルダと同じように、ファイルマネージャを使って共有ファイルやフォルダにアクセスしたり、参照したりできます。共有フォルダに対して読み取りアクセスしかないか、または書き込みアクセスもあるかどうかは、共有フォルダの所有者から与えられたアクセスパーミッションによって異なります。

ネットワークシェアにアクセスするには、**Nautilus**を起動して [ネットワークサーバ] をクリックします。**Nautilus**に、アクセスできるネットワークが表示されます。ネットワークをクリックして、次にサーバをクリックしてください。ユーザー名とパスワードを入力してサーバへの承認が求められる場合があります。

### 8.1 ネットワークファイルブラウザ



## 8.3 フォルダの共有

企業環境では、ドキュメントの共有および交換は必須の機能です。**Nautilus**では、ファイル共有機能を利用して、**Linux**ユーザと**Windows**ユーザ間でファイルやフォルダを共有できます。

## 8.3.1 コンピュータの共有を有効にする

フォルダを共有するには、コンピュータの共有を有効にする必要があります。  
共有を有効にする

- 1 [コンピュータ] > [他のアプリケーション] > [システム] > [YaST] の順にクリックします。
- 2 rootパスワードを入力します。
- 3 [Network Services] (ネットワークサービス)をクリックします。
- 4 [Windows Domain Membership] (Windowsドメインメンバーシップ)をクリックします。
- 5 [Allow Users to Share Their Directories] (ユーザにディレクトリの共有を許可する)をクリックして、次に [完了] をクリックします。

## 8.3.2 フォルダの共有を有効にする

フォルダのファイル共有を有効にする

- 1 Nautilusを起動します。
- 2 ウィンドウ背景またはフォルダを右クリックして、コンテキストメニューから [共有オプション] を選択します。



- 3 [このフォルダを共有] を選択します。
- 4 (オプション)他のユーザからのフォルダへの書き込みを許可する場合は、  
[他の人がこのフォルダに書き込みできるようにする] を選択します。
- 5 (条件付き)共有に必要なパーミッションがフォルダにない場合は、  
[Add the permissions automatically] (パーミッションを自動的に追加する)をクリックします。

フォルダが共有されていることを示すために、フォルダアイコンが変化します。

---

#### 重要項目: Sambaドメイン参照

Sambaドメイン参照は、システムのファイアウォールが正しく設定されている場合にのみ利用できます。ファイアウォール全体を無効にするか、または参照インタフェースを内部ファイアウォールゾーンに指定します。設定方法の詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

---

## 8.4 Windowsファイルの管理

SUSE Linux Enterprise コンピュータを Active Directory クライアントとして使用することにより、Windows サーバ上のデータを参照、表示、および操作できます。以下に代表的な例を示します。

#### Nautilusを使ったWindowsファイルの参照

Nautilusのネットワーク参照機能を使って、Windowsデータを参照することができます。

#### Nautilusを使ったWindowsデータの表示

Nautilusを利用して、Linuxディレクトリを参照する場合と同様に、Windowsフォルダの内容を参照できます。Windowsサーバー上にファイルやフォルダを作成することもできます。

#### GNOMEアプリケーションを使ったWindowsデータの操作

多くのGNOMEアプリケーションでは、Windowsサーバ上のファイルを開いて作業を行い、再びWindowsサーバに保存することができます。

## シングルサインオン

NautilusなどのGNOMEアプリケーションは、シングルサインオンをサポートしています。Webサーバ、プロキシサーバ、またはグループウェアサーバ(例:MS Exchange)などのWindowsリソースにアクセスする場合、再び認証を受ける必要はありません。ログイン時に一度ユーザ名とパスワードを入力するだけで、以降の認証はバックグラウンドで自動的に行われます。

Nautilusを使ってWindowsデータにアクセスするには、以下の手順に従ってください。

- 1 Nautilusを起動して、[ネットワークサーバ] をクリックします。
- 2 [Windowsネットワーク] をクリックします。
- 3 アクセスするコンピュータがあるワークグループのアイコンをクリックします。
- 4 コンピュータのアイコンをクリックして(必要に応じて認証を受けて)、次にそのコンピュータ上の目的の共有フォルダに移動します。

Nautilusを使ってWindowsユーザフォルダ中にフォルダを作成する場合は、Linuxフォルダを作成する場合と同じ手順で作業を行います。

## 8.5 Windowsネットワークプリンタの設定とアクセス

ネットワークに接続し、Windows Active Directoryサーバの認証を受けたら、プリンタなどの企業リソースにアクセスできます。GNOMEでは、LinuxクライアントからWindowsネットワークプリンタに印刷できるように設定できます。

LinuxクライアントからWindowsネットワークプリンタを利用できるように設定するには、以下の手順に従ってください。

- 1 メインメニューからGNOMEコントロールセンターを起動します。
- 2 [ハードウェア] > [プリンタ] の順に選択します。

**3** [新しいプリンタ] を選択します。

プリンタを追加するには、root権限が必要です。操作を続行するには、rootパスワードを入力する必要があります。

**4** [ネットワークプリンタ] を選択して、次にドロップダウンメニューから [Windows プリンタ(SMB)] を選択します。

**5** Windowsホスト、プリンタ、およびWindowsコンピュータにアクセスするために必要なユーザ名とパスワードを指定して、[フォワード] をクリックします。

**6** プリンタに一番適したドライバを選択して、[フォワード] をクリックします。

**7** [適用] をクリックします。

これでプリンタの使用準備が完了しました。

設定したWindowsネットワークプリンタに印刷するには、利用可能なプリンタリストから該当するプリンタを選択します。





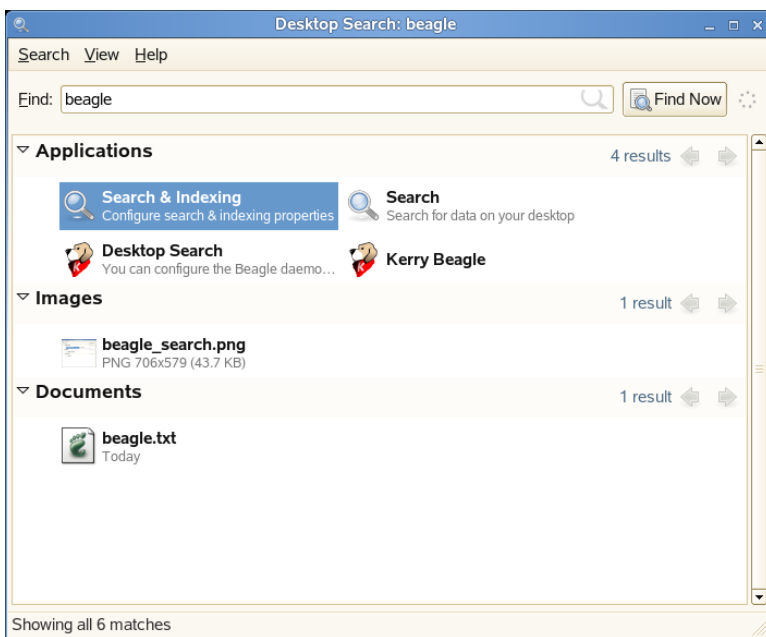
## Beagleを使った検索

Beagleは、個人情報空間(通常はホームディレクトリ)のインデックスを作成して、目的の情報を素早く探し出すことができる検索ツールです。Beagleを利用すれば、ドキュメント、電子メールと添付ファイル、Web履歴、IM/IRCチャット、アドレス帳の連絡先、カレンダーの予定、ノート、ソースコード、画像、音楽/ビデオファイル、アーカイブとその内容、およびアプリケーションなど、さまざまなものを検索することができます。

### 9.1 Beagleの使用

Beagleを使用するには、[コンピュータ]をクリックして[検索]フィールドに検索する文字列を入力し、Enterキーを押します。結果は[デスクトップ検索]ダイアログボックスに表示されます。

## 図 9.1 デスクトップ検索ダイアログボックス



結果のリストはファイルを開くのに使用したり、メールで転送したり、ファイルマネージャで表示できます。結果リストの項目を右クリックして、オプションを選択します。結果リストの項目に対して使用可能なオプションは、ファイルの種類によって異なります。リストのファイルを選択するとファイルのプレビュー、タイトル、パス、最終修正またはアクセス日などの情報が表示されます。

ファイル検索をアドレス帳やWebページに限定したり、特定のタイプのファイルだけを表示させるには、[検索] メニューを使用します。[表示] メニューでは名前、関連性、またはファイルの最終修正日にしたがって、結果リストの項目がソートできます。

また、[コンピュータ] > [その他のアプリケーション] > [システム] > [検索] の順にクリックして、デスクトップ検索を利用することもできます。

## 9.2 検索のヒント

- 検索する用語には、大文字と小文字の両方を使用できます。デフォルトでは、大文字と小文字は区別されません。

大文字、小文字を区別する場合は、正確に照合したい用語を二重引用符(“)で囲みます。たとえば、“APPLE”と入力して検索すると、「apple」は無視されます。

- オプションの用語を検索するには、「OR」を使用します(例、apples OR oranges)。

---

### 重要項目

「OR」は、オプションの検索用語を表示するために使用する場合は、大文字、小文字を区別します。

---

- 検索する用語を除外するには、負の記号(-)を除外したい用語の前に入力します。たとえば、「apples -oranges」と入力すると、「apples」を含むが「oranges」を含まない結果を検索します。
- 完全に一致するフレーズまたは単語を検索するには、引用符(“)でそのフレーズまたは単語を囲みます。
- 「a」、「the」、および「is」などの一般的な語は無視されます。
- 検索する用語の基本形が検索時に使用されます(たとえば、「driving」は「drive」、「drives」、および「driven」と一致します)。

## 9.3 Property Search(プロパティ検索)の実行

デフォルトでは、Beagle検索ツールは文書のテキストおよびそのメタデータにある用語を検索します。特定のプロパティにある単語を検索するには、`property: query`を使用します。たとえば、`author:john`と入力すると、著者のプロパティに「john」という単語がリストされたファイルを検索します。

表 9.1 サポートされているプロパティキーワード

キーワード	説明	プロパティ
album	音楽ファイル	アルバム名
artist	音楽ファイル	アーティスト名
著者	ドキュメント	ドキュメントの著者（ドキュメントの作成者と同じ）
作成者	ドキュメント	ドキュメントの作成者、 <code>dc:creator</code> にマップされる(例:PDFファイルの作成者)
電子メール	アドレス帳	電子メールアドレス
extension または ext	ファイル	ファイルの拡張子(例、 <code>extension:jpeg or ext:mp3</code> )。拡張子なしのファイルを検索する場合は、 <code>extension:</code> または <code>ext:</code> を使用します。
ジャンル	音楽ファイル	音楽のジャンル
imagecomment	画像ファイル	IPTCキャプションまたはExifコメントのある画像中のコメントや説明
imagemodel	JPEGイメージ	カメラの型式(例:EOS2D)
imagetag	画像ファイル	F-スポットおよびDigikam画像タグとIPTCキーワード
mailfrom	[電子メール]	送信者名
mailfromaddr	[電子メール]	送信者の電子メールアドレス
mailinglist	[電子メール]	メーリングリストのID(例:dashboard-hackers.gnome.org)

キーワード	説明	プロパティ
mailto	[電子メール]	受信者名
mailtoaddr	[電子メール]	受信者の電子メールアドレス
speakingto	チャット	話者
title	ドキュメント	ドキュメントのタイトル、dc:titleにマップされる(例:HTMLファイルのtitleタグ)

プロパティ検索は、[9.2項「検索のヒント」](#) (211 ページ)で説明されているルールに従って実行されます。除外クエリまたはORクエリとしてプロパティ検索を使用できます。また、フレーズは、「クエリ」として使用できます。たとえば、次の行は、「apple」という単語を含むすべてのPDFまたはHTML文書、著者名に「john」を含むすべてのPDFまたはHTML文書、および書名に「oranges」という単語を含まないすべてのPDFまたはHTML文書を検索します。

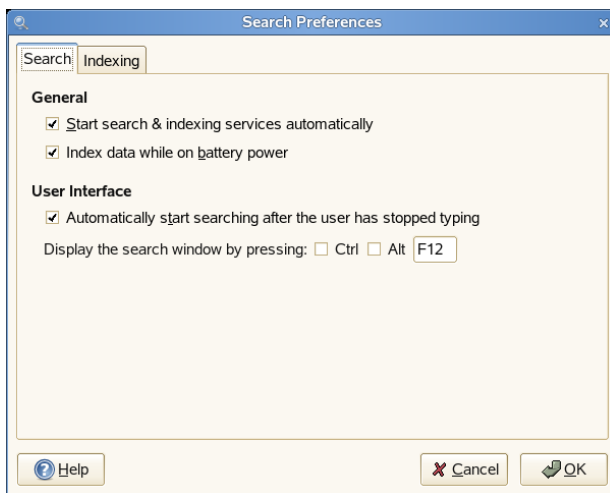
```
apple ext:pdf OR ext:html author:john -title:oranges
```

## 9.4 検索の環境設定

[デスクトップ検索の設定] ダイアログボックスを使用して、Beagle検索の初期設定を設定します。

- 1 [コンピュータ] > [その他のアプリケーション] > [システム] > [検索およびインデックス作成] の順にクリックします。

また、[デスクトップ検索] ダイアログボックスで [検索] > [初期設定] の順にクリックして開くこともできます。



## 2 次のオプションから選択します。

検索とインデキシングサービスを自動的に開始します:

セッションへのログイン時に検索デーモンを自動的に開始する場合に、このオプションを選択します(このオプションはデフォルトで選択されています)。Beagleの検索機能を使用する場合、このデーモンが動作していなければなりません。

バッテリー使用中もデータのインデックスを作成する:

コンピュータがバッテリー動作中に、データのインデックスを作成する場合、このオプションを選択します。このオプションは、ラップトップコンピュータでSUSE Linux Enterprise Desktopを利用している場合に、バッテリー動作中はインデックスの作成を中止したいような場合に役立ちます。

検索する語句の入力を止めたら自動的に検索を開始する:

デスクトップ検索ウィンドウの[検索]フィールドへの文字列の入力を止めたら、すぐに検索を開始する場合に、このオプションを選択します。このオプションは、メインメニューの[検索]フィールドには関係ありません。

検索ウィンドウを表示するホットキー:

Ctrl、Alt+ファンクションキーの組み合わせを指定して、[デスクトップ検索] ウィンドウを表示する入力キーを選択できます。F12 キーは、デフォルトの入力キーです。

- 3 [OK] をクリックします。

## 9.5 他のディレクトリのインデックス作成

Beagleのデフォルトでは、ホームディレクトリのインデックスしか作成されません。ホームディレクトリのインデックスを作成しない場合は、[デスクトップ検索の設定] ダイアログボックスの [インデックスの作成] タブの [ホームフォルダのインデックスを作成する] オプションの選択を解除してください。他のフォルダのインデックスも作成する場合は、以下の手順に従ってください。

- 1 [コンピュータ] > [その他のアプリケーション] > [システム] > [検索およびインデックス作成] の順にクリックします。

また、[デスクトップ検索] ダイアログボックスで [検索] > [初期設定] の順にクリックして開くこともできます。

- 2 [Indexing] タブをクリックします。



- 3 ダイアログボックスの [全般] セクションの [追加] をクリックします。
- 4 インデックスを作成するディレクトリを選択して、[開く] をクリックします。

追加するディレクトリに対する適切な権限があることを確認してください。
- 5 インデックスを作成するディレクトリのリストからディレクトリを削除するには、目的のディレクトリをリストから選択して [削除] をクリックします。
- 6 [OK] をクリックします。

## 9.6 ファイルとディレクトリに インデックスをつけない

[検索の初期設定] ダイアログボックスを使用して、インデックスを付けたくないリソースを指定することができます。これらのリソースには、ディレクトリ、パターン、メールフォルダ、オブジェクトの種類が含まれます。



- 1 [コンピュータ] > [その他のアプリケーション] > [システム] > [検索およびインデックス作成] の順にクリックします。
- 2 [Indexing] タブをクリックします。
- 3 [プライバシー] セクションの [追加] をクリックします。
- 4 インデックス付けから除外するリソースを選択し、そのリソースへのパスを指定します。
- 5 [OK] を2回クリックします。

## 9.7 詳細情報

詳細については、Beagleホームページ [<http://beagle-project.org/>]を参照してください。



# プリンタの管理

SUSE Linux Enterpriseでは、コンピュータがプリンタに直接接続されていても、ネットワークを介してリモートでリンクされていても、ドキュメントを簡単に印刷できます。本章では、SLEDでプリンタを設定し、印刷ジョブを管理する方法を説明します。

## 10.1 プリンタのインストール

プリンタをインストールする前に、rootパスワードを把握して、プリンタ情報を用意しておく必要があります。プリンタに接続する方法に応じて、プリンタURI、TCP/IP アドレスまたはホスト、およびプリンタ用のドライバも必要になる場合があります。多くの一般的な印刷ドライバがSLEDとともに出荷されています。使用するプリンタのドライバが見つからない場合は、プリンタのメーカーのWebサイトで確認してください。

### 10.1.1 ネットワークプリンタのインストール

- 1 [コンピュータ] > [コントロールセンタ] > [プリンタの追加] > [新しいプリンタ] の順にクリックします。
- 2 rootパスワードを入力します。
- 3 [Network Printer] をクリックして、このプリンタの接続の種類を選択します。

### CUPS Printer (IPP)

同一のネットワークを実行するCUPS上の別のLinuxに接続されているプリンタ、またはIPPを使用する別のオペレーティングシステムに設定されているプリンタです。

### Windows Printer (SMB)

SMBネットワーク上でプリンタを共有する別のシステムに付属しているプリンタです(たとえば、Microsoft Windowマシンに接続されているプリンタ)。

### UNIX Printer (LPD)

TCP/IP ネットワーク上でアクセスできる別のUNIXシステムに接続されているプリンタ(たとえば、ネットワーク上のLinuxシステムに接続されているプリンタ)です。

### HP JetDirect

コンピュータではなくネットワークに直接接続されているプリンタ

- 4 プリンタの情報を指定したら、**[進む]** をクリックします。
- 5 このプリンタのプリンタドライバを選択し、**[適用]** をクリックします。

ディスクからプリンタドライバをインストールするか、プリンタメーカーのWebサイトにアクセスして最新のドライバをダウンロードすることもできます。

- 6 **[プロパティ]** ダイアログボックスで適切なオプション(説明や場所など)を設定して、**[閉じる]** をクリックします。

インストールされたプリンタが、プリンタパネルに表示されます。これで、どのアプリケーションからもプリンタに印刷できます。

## 10.1.2 ローカルプリンタのインストール

- 1 コンピュータにプリンタのケーブルを接続し、プリンタの電源を入れます。

プリンタのダイアログボックスが開きます。表示されない場合は、[コンピュータ] > [コントロールセンタ] > [プリンタの追加] > [新しいプリンタ] の順にクリックします。

- 2 rootパスワードを入力します。
- 3 [ローカルプリンタ] をクリックします。
- 4 プリンタが自動検出されると、リストからプリンタを選択します。プリンタが自動検出されない場合、[Use Another Printer by Specifying a Port] をクリックして、正しいプリンタポートを選択します。
- 5 [進む] をクリックします。
- 6 このプリンタのプリンタドライバを選択し、[適用] をクリックします。

ディスクからプリンタドライバをインストールするか、プリンタメーカーのWebサイトにアクセスして最新のドライバをダウンロードすることもできます。

- 7 [プロパティ] ダイアログボックスで適切なオプション(説明や場所など)を設定して、[閉じる] をクリックします。

インストールされたプリンタが、[プリンタ] ダイアログボックスに表示されます。これで、どのアプリケーションからでもプリンタに印刷できます。

## 10.2 プリンタ設定の変更

- 1 [コンピュータ] > [コントロールセンタ] > [プリンタ] の順にクリックします。
- 2 変更したいプリンタを右クリックして、[プロパティ] をクリックします。
- 3 プロパティを変更して、[閉じる] をクリックします。

## 10.3 印刷ジョブのキャンセル

- 1 [コンピュータ] > [コントロールセンタ] > [プリンタ] の順にクリックします。
- 2 ジョブを送信したプリンタをダブルクリックします。
- 3 プリントジョブを右クリックして、[キャンセル] をクリックします。

印刷ジョブがリストに表示されない場合、その印刷ジョブはすでに印刷されている可能性があります。

## 10.4 プリンタの削除

- 1 [コンピュータ] > [コントロールセンタ] > [プリンタ] の順にクリックします。
- 2 [編集] > [Become Administrator] の順にクリックします。
- 3 rootパスワードを入力し、[続行] をクリックします。
- 4 削除したいプリンタを右クリックして、[削除] をクリックします。

## パート III. インターネット





# ネットワーク接続の管理

インターネットを参照したり、電子メールを送受信するには、YaSTを使ってインターネット接続を設定する必要があります。ご利用の環境に合わせて、YaSTでNetworkManagerを使用するかどうかを選択します。GNOMEでは、NetworkManagerまたはifupを使ってインターネット接続を確立することができます。

『SUSE Linux Enterprise Desktop *Deployment Guide*』の「Section 30.5: *Managing Network Connections with NetworkManager*」および「Section 25.1.2: *Integration in Changing Operating Environments*」には、NetworkManagerを使用するかどうかを判断するために役立つ情報が記載されています。

## 11.1 NetworkManagerの有効化と 無効化

- 1 YaSTで、[ネットワークデバイス] > [ネットワークカード] の順にクリックします。
- 2 NetworkManagerを有効にするには、[NetworkManagerでユーザを制御] を選択します。

NetworkManagerを無効にするには、[ifupを使用した従来の方法] を選択します。

- 3 [次へ] をクリックします。

- 4 DHCP経由の自動環境設定または静的IPアドレスによる手動設定で、ネットワークカードを設定します。YaSTでのネットワーク設定についての詳細は、『SUSE Linux Enterprise Desktop *Deployment Guide*』の「*Basic Networking*」の各セクションを参照してください。
- 5 [完了] をクリックして、[ネットワークカード環境設定の概要] ウィンドウを閉じます。

ダイヤルアップ接続を使用する場合は、[ネットワークデバイス] > [モデム] の順に選択してモデムを設定します。内部またはUSB ISDN モデムを設定するには、[ネットワークデバイス] > [ISDN] の順に選択します。内部またはUSB DSL モデムを設定するには、[ネットワークデバイス] > [DSL] の順に選択します。

---

#### 注意: WLANカードの設定

NetworkManager内で直接、サポートされているワイヤレスカードを設定します。

---

## 11.2 NetworkManagerとSCPM

システム設定プロファイル管理(SCPM)でもネットワーク設定が管理される場合、NetworkManagerはSCPMとともに使用できません。SCPMが有効になっている場合にSCPMとNetworkManagerと同時に使用するには、SCPMの設定でネットワークリソースを無効にする必要があります。すべてのSCPMプロファイルのネットワークリソースを無効化する

- 1 YaSTで、[システム] > [プロファイルマネージャ] の順にクリックします。
- 2 [Resource Groups] で [Configure] をクリックして、[Configuration of Resource Groups] を開きます。
- 3 [Resource Group] リストで、[ネットワーク] を選択し、[削除] をクリックします。
- 4 [OK] をクリックします。
- 5 もう一度[OK]をクリックします。

6 設定を完了するには、[閉じる] をクリックします。

## 11.3 GNOME NetworkManager アプレットの使用

NetworkManagerを使用する場合、GNOME NetworkManagerアプレットがデスクトップ環境で自動的に起動します。アプレットが動作していない場合は、nm-appletコマンドを使って起動することができます。このアプレットを実行している場合は、現在のネットワークステータスを示すアイコンがシステムトレイに表示されます。ネットワーク接続の状態に応じて、パネルアイコンは次のようになります。アイコンの意味が不明な場合は、マウスカーソルをアイコン上に置くと説明が表示されます。



有線接続が確立されました。



現在、インターネットに接続されていません。



ワイヤレス接続が確立されました。青いバーは、信号の強度を表しています。青いバーの数が増えると、信号強度が高くなったことを示します。



接続が確立または切断されました。

### 11.3.1 有線ネットワークへの接続

コンピュータがネットワークケーブルで既存のネットワークに接続している場合、NetworkManagerアプレットを使用してネットワーク接続を選択します。

- 1 アプレットアイコンで左クリックすると、使用可能なネットワークがメニューに表示されます。メニューでは、現在使用されている接続が選択されています。

- 2 別のネットワークに切り替えるには、リストから選択します。802.1Xで保護された有線ネットワークに接続するには、該当するメニュー項目を選択して、接続のタイプに必要なすべての情報を入力します。
- 3 有線と無線のすべてのネットワーク接続を切り替えるには、アプレットアイコンを右クリックして *[Enable Networking]* を選択解除します。

現在の接続に関する情報(使用されるインタフェース、IPアドレス、ハードウェアアドレスなど)を取得するには、アプレットアイコンを右クリックして、*[接続情報]* を選択します。このダイアログで、ネットワークデバイスを設定することもできます。そのためには、*[Configure Networking]* (ネットワークの環境設定)をクリックしてYaSTを表示して、新しい接続を定義します。

## 11.3.2 ワイヤレスネットワークへの接続

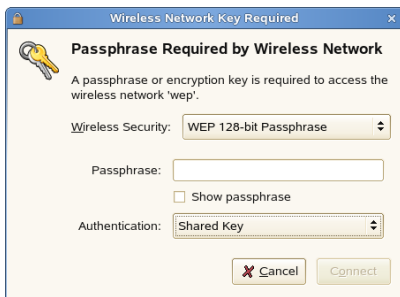
無線ネットワークの信号強度もメニューに表示されます。暗号化された無線ネットワークには、シールドアイコンが付きます。

### 手順 11.1 ワイヤレスネットワークへの接続

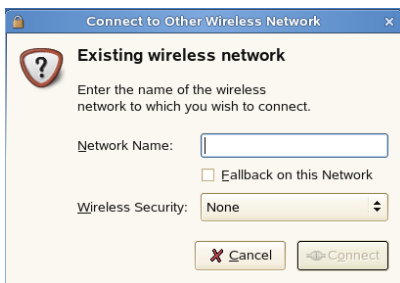
- 1 ワイヤレスネットワークに接続するには、アプレットアイコンを左クリックして、使用できるワイヤレスネットワークのリストからエントリを選択します。



ネットワークが暗号化されている場合は、ダイアログが開きます。



- 2 ネットワークが使用する 暗号化のタイプを選択し、適切なパスフレーズまたはキーを入力します。
- 3 ESSID (サービスセット識別子)をブロードキャストしないため自動的に検出されないネットワークに接続するには、NetworkManagerアイコンを左クリックし、**「他のワイヤレスネットワークへの接続」**を選択します。



- 4 表示されるダイアログで、ESSIDを入力し、必要に応じて暗号化パラメータを設定します。
- 5 ワイヤレスネットワーキングを無効にするには、アプレットアイコンで右クリックし、**「ワイヤレスの有効化」**のチェックを外します。これは飛行機内など、ワイヤレスネットワーキングが使用できない環境にいる場合に非常に便利です。

## 11.4 NetworkManagerとセキュリティ

NetworkManagerは、ワイヤレス接続を「信頼された」と「信頼なし」という2種類で区別します。「信頼された」接続とは、過去に明示的に選択したネットワークです。その他は「信頼なし」です。信頼された接続は、アクセスポイントのMACアドレスと名前で識別されます。MACアドレスを使用して、信頼された接続が同じ名前でも、異なるアクセスポイントを使用できないようにすることができます。

使用可能な有線接続がない場合、NetworkManagerは使用可能なワイヤレスネットワークをスキャンします。信頼されたネットワークが複数検出された場合、最近使用されたものが自動的に選択されます。いずれも信頼されたものでない場合は、ユーザが選択します。

暗号化設定が変更されたが、名前およびMACアドレスが同じままの場合は、NetworkManagerは接続を試みますが、最初にこの新しい暗号化設定を確認し、新しい鍵などのアップデートを提供します。

ワイヤレス設定のみがあるシステムでは、NetworkManagerは、ブート中、自動的に接続を開始しません。接続を確立するには、まずログインする必要があります。ログインなしでワイヤレス接続にアクセスできるようにする場合は、YaSTを使用して信頼できる接続を設定します。YaSTを使用して設定されたワイヤレス接続のみ、ブート中にNetworkManagerが使用するのに十分な信用があると見なされます。

ワイヤレス接続の使用後にオフラインモードへ切り替える場合は、NetworkManagerからESSIDが削除されます。これにより、このカードが実際に関連付けられていないことを保証できます。

### 11.4.1 ワイヤレスカードのアクセスポイントとしての設定

お使いのワイヤレスカードでアクセスポイントモードがサポートされている場合、NetworkManagerを使用して設定できます。

- 1 *[Create New Wireless Network]* をクリックします。



- 2 [Wireless Security] ダイアログで、ネットワーク名を追加し、暗号化を設定します。

---

**重要項目:** 保護されていないワイヤレスネットワークによるセキュリティリスク

[Wireless Security] を [なし] に設定した場合、誰でもネットワークに接続し、コネクティビティを再利用し、ネットワーク接続を傍受できるようになります。アクセスをアクセスポイントに制限して接続を安全なものにするには、暗号化を使用します。さまざまなWEPおよびWPAベースの暗号化から任意のものを選択できます。どれが最適化判断できない場合は、『*SUSE Linux Enterprise Desktop Deployment Guide*』の「Chapter 28: Wireless Communication」を参照してください。

---

## 11.4.2 NetworkManagerでのVPNの使用

NetworkManagerは、いくつかのVPNテクノロジーをサポートしています。VPNテクノロジーを使用するには、最初にVPNテクノロジーのNetworkManagerサポートをインストールします。次のいずれかを選択できます。

- NovellVPN
- OpenVPN

- vpnc (Cisco)

VPNサポートは、NetworkManager-novellvpn、NetworkManager-openvpnおよびNetworkManager-vpnsの各パッケージに含まれています。

## 手順 11.2 NetworkManagerでのVPN接続の設定

- 1 NetworkManagerアプレットをクリックして、**[VPN Connections]** > **[Configure VPN]** を選択します。
- 2 **[追加]** をクリックした後、**[進む]** をクリックして、VPN接続の作成ウィザードを開始します。

Create VPN Connection - 2 of 2

Please enter the information provided by your system administrator below. Do not enter your password here as you will be prompted when connecting.

**Connection Name**

Name used to identify the connection to the private network, e.g. "Campus VPN" or "Corporate Network"

**Required Information**

Gateway:

Connection Type: **X.509 Certificates**

**X.509** Shared key Password

CA file:

Certificate:

Key:

**Optional Information**

Please note that the file you import is not an OpenVPN configuration file. Ask your administrator for the file.

Import Saved Configuration...

Cancel Back Forward

- 3 作成するVPN接続の種類を選択して、**[進む]** を選択します。
- 4 **[Connection Name]** (接続名)フィールドに、この環境設定名を入力します。
- 5 このタイプの接続に必要なすべての情報を入力します。



たとえば、OpenVPN接続の場合は、「Gateway」と入力し、[Connection type] から認証方法を選択します。選択した接続に応じて、その他の必須オプションの設定を完了します。

または、[Import Saved Configuration] を押し、標準のファイルダイアログで保存済みの設定ファイルを選択して、保存された設定ファイルからの設定をロードします。

6 [進む] をクリックします。

VPNを構成した後は、[VPN接続] から選択できるようになります。VPN接続を切断するには、[VPNの切断] をクリックします。

## 11.4.3 GNOMEキーリングマネージャとNovell CASA

資格情報を暗号化ネットワークに接続するたびに入力しないようにするには、GNOMEキーリングマネージャを使用して資格情報を暗号化し、マスタパスワードを使用して安全にディスク上に保存できます。GNOMEキーリングを使用するGNOMEアプリケーションが、ディスク上に保存されたパスワードまたは資格情報にアクセスする必要がある場合は、キーリングがロックされているかどうかを確認されます。ロックされている場合、キーリングのロックを解除するためにマスタパスワードが要求されます。GNOMEキーリングマネージャについての詳細は、「[2.4.4項「キーリングの管理」](#) (94 ページ)」を参照してください。

もう1つのオプションとして、Novell CASAのSingle Sign-onを使用できます。Single Sign-onはアクセス制御の方法で、ユーザが1度認証すれば、複数のソフトウェアシステムのリソースにアクセスできるようにするものです。Novell CASAがシステムに設定されていると、GNOMEキーリングマネージャをロック解除するためにNetworkManagerからパスワードを要求されることはなくなります。代わりに、ユーザがデスクトップにログインするときにキーリングが自動的にロック解除されます。Novell CASAについての詳細は、「[2.4.5項「Novell CASAでのSingle Sign-onの使用」](#) (95 ページ)」を参照してください。




# Firefoxを使用したブラウジング

# 12

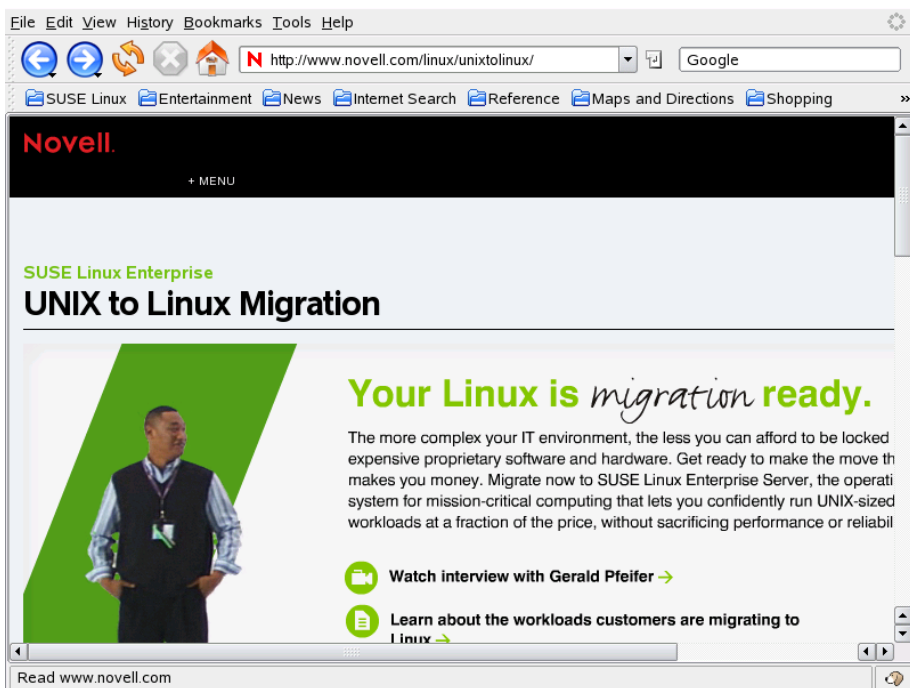
SUSE Linux Enterprise®には、Mozilla Firefox Webブラウザが付属しています。タブブラウズ、ポップアップウィンドウのブロック、ダウンロードとイメージ管理などの機能を備えたFirefoxは、最新のブラウズ機能とセキュリティ技術を使いやすいユーザインタフェースに統合しています。タブを使用して、1つの画面で複数のWebページを表示できます。迷惑な広告を抑制し、イメージを無効にして、高速でブラウズできます。複数の検索エンジンに簡単にアクセスできるので、必要な情報を探しやすくなっています。

Firefoxを起動するには、メインメニューから、またはコマンドfirefoxを入力します。以降では、このプログラムの主要な機能について説明します。

## 12.1 Webサイトのナビゲート

Firefoxのルックアンドフィールは他のブラウザととてもよく似ています。このツールを「 12.1. 「Firefoxのブラウザウィンドウ」 (236 ページ)」に示します。ナビゲーションツールバーには、[進む]と[戻る]、およびWebアドレスを指定するためのロケーションバーがあります。素早くアクセスするために、ブックマークを使用することもできます。Firefoxのさまざまな機能についての詳細は、[ヘルプ]メニューを使用してください。

## 図 12.1 Firefoxのブラウザウィンドウ



### 12.1.1 タブブラウズ

一度に複数のWebページを表示することが多い場合、タブブラウズによってページを切り替えるのが容易になります。Webサイトを同じウィンドウの別のタブにロードできます。

新しいタブを開くには、[ファイル] > [新しいタブ] を選択するか、Ctrl + Tを押します。これにより、Firefoxウィンドウに空のタブが表示されます。代わりに、リンクを右クリックし、[Open link in new tab (リンクを新しいタブで開く)] を選択することもできます。タブそのものを右クリックすると、その他のタブオプションにアクセスできます。新しいタブを作成したり、1つのタブまたは残りのすべてのタブで再読み込みしたり、またはそれらを閉じたりできます。タブを目的の位置にドラッグアンドドロップして、タブのシーケンスを変更することもできます。

## 12.1.2 サイドバーの使用

ブラウザウィンドウの左側を使用して、ブックマークやブラウズ履歴を表示できます。拡張機能によって、サイドバーを使用するための新しい方法が追加されることがあります。サイドバーを表示するには、**[表示] > [サイドバー]** の順に選択し、目的のコンテンツを選択します。

## 12.2 情報の検索

Firefoxで情報を検索するには、検索バーを使用して検索エンジンでインターネットを検索する方法と、ページ内検索バーで現在表示されているページを検索する方法の2つがあります。

### 12.2.1 Web上での情報の検索

Firefoxには検索バーがあり、Google、Yahoo、Amazonなどのさまざまな検索エンジンにアクセスできます。たとえば、現在のエンジンでSUSEに関する情報を検索したい場合は、検索バー内をクリックしてから「SUSE」と入力し、**Enter**キーを押します。検索結果がウィンドウに表示されます。検索エンジンを選択するには、検索バーの左にあるアイコンをクリックします。メニューが開き、利用可能な検索エンジンのリストが表示されます。

### 検索バーのカスタマイズ

バーの検索エンジンの順序変更、追加、削除を行うには、インターネットに接続して以下の手順に従います。

- 1 検索バーの左にあるアイコンをクリックします。
- 2 メニューから、**[検索バーの管理]** を選択します。
- 3 エントリを削除するには **[削除]**、順序を変更するには **[上へ/下へ]** をクリックします。

検索エンジンを追加するには、**[Get more search engines]** をクリックします。Firefoxによって、Webページに使用可能なプラグインが表示され

ます。Wikipedia、IMDB、Flickrなど、さまざまなエンジンを選択することができます。プラグインリンクをクリックして、**[追加]**を選択してインストールします。

## 12.2.2 現在のページ内での検索

Webページ内を検索するには、**[編集]** > **[このページを検索]** の順にクリックするか、または**Ctrl+F**キーを押します。検索バーが表示されます。通常、このバーはウィンドウの一番下に表示されます。入力フィールドに、検索条件を入力します。Firefoxは、このフレーズと一致する最初の項目を検出します。このフレーズと一致するその他の項目を検索するには、**F3**キーを押すか、検索バーの**[次を検索]** ボタンをクリックします。一致するすべての項目を強調表示するには、**[すべて強調表示]** ボタンをクリックします。**[大文字/小文字を区別する]** オプションを選択すると、検索で大文字と小文字が区別されます。

## 12.3 ブックマークの管理

ブックマークにより、お気に入りのWebサイトへのリンクを保存しておくことができます。現在のWebサイトをブックマークのリストへ追加するには、**[ブックマーク]** > **[このページをブックマーク]** の順にクリックします。ブラウザのタブに複数のWebサイトが表示されている場合は、現在選択されているタブだけが、ブックマークのリストへ追加されます。

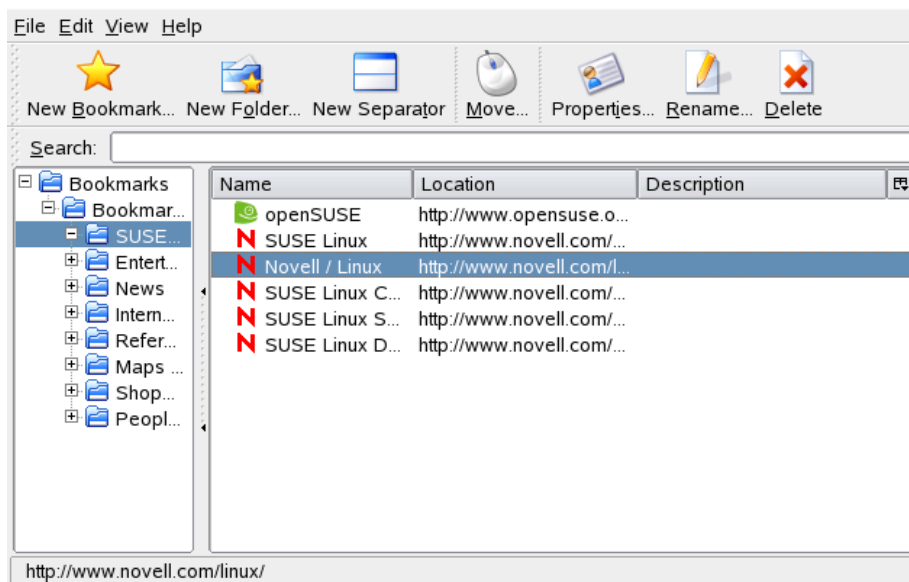
ブックマークを追加するときは、ブックマークの名前を新たに指定したり、Firefoxでの保存先フォルダを指定できます。Webサイトを複数のタブにブックマークとして追加するには、**[Bookmark All Tabs]** を選択します。Firefoxにより、各タブに表示される各サイトのブックマークを含む新しいフォルダが作成されます。ブックマークのリストからWebサイトを削除するには、**[ブックマーク]** をクリックし、リスト内で対象のブックマークを右クリックしてから**[削除]** をクリックします。

### 12.3.1 ブックマークの管理の使用

ブックマークの管理を使用すると、各ブックマークのプロパティ(名前とURL)を管理したり、ブックマークをフォルダやセクション内に分類したりできま

す。この機能は、「[図 12.2. 「Firefox」におけるブックマークの管理の使用](#)」(239 ページ)」に示しています。

**図 12.2** Firefoxにおけるブックマークの管理の使用



ブックマークの管理を開くには、[ブックマーク] > [ブックマークの管理]の順にクリックします。ウィンドウが開き、ブックマークが表示されます。

[New Folder (新しいフォルダ)] を使用すると、新しいフォルダを作成して、その名前と説明を指定できます。新しいブックマークを作成するには、[New Bookmark (新しいブックマーク)] をクリックします。これにより、ブックマークの名前、場所(URL)、キーワード、および説明を指定することができます。キーワードはブックマークへのショートカットで、URL全体の代わりとしてナビゲーションバーに入力できます。新しく作成したブックマークをサイドバー内に表示する場合は、[Load this bookmark in the sidebar (このブックマークをサイドバーに読み込む)] にチェックマークをつけます。

## 12.3.2 他のブラウザからのブックマークのインポート

今までに別のブラウザを使用していた場合、以前のブックマークをFirefoxでも使用したいはずです。Firefoxでは、システムにインストールされたNetscapeやOperaなどの別のブラウザからブックマークをインポートできます。また、別のコンピュータのブラウザからエクスポートされたファイルからブックマークをインポートすることもできます。

設定内容をインポートするには、[ファイル] > [インポート] の順にクリックします。設定内容をインポートする対象ブラウザを選択します。[次へ] をクリックすると、設定がインポートされます。インポート済みのブックマークは、新しく作成された「From (から)」のついた名前のフォルダ内にあります。

## 12.3.3 ライブブックマーク

ライブブックマークは、最新のニュースを確認できるように、ブックマークメニュー内に見出しを表示する機能です。これにより、お気に入りのサイトの情報をすぐに見ることができるので、時間を節約できます。

多くのサイトとブログは、この形式をサポートしています。このことは、Webサイトを表示した際に、場所ツールバーの右側にオレンジ色のアイコンで示されます。アイコンをクリックして、開いたページで [Subscribe now] を選択します。ダイアログボックスが表示されて、ライブブックマークの名前と場所を選択できます。[追加] をクリックして確認します。このページでは、BloglinesまたはMy Yahooなど、別のアプリケーションを購読するよう選択することも可能です。ライブブックマークを手動で追加するには、フィードのURLが必要です。次の手順に従います。

### 手順 12.1 手動によるライブブックマークの追加

- 1 [ブックマーク] > [ブックマークの管理] でブックマークマネージャを表示します。
- 2 [ファイル] > [新しいライブブックマーク] を選択します。



- 3 ライブブックマーク名を挿入し、`[FeedLocation]` (フィード場所)にURLを入力します(例:<http://www.novell.com/newsfeeds/rss/cool solutions.xml>)。Firefoxはライブブックマークを更新します。
- 4 ブックマークマネージャを閉じます。

## 12.3.4 ブックマークツールバー

ブックマークツールバーがナビゲーションバーの下に表示され、ブックマークにすぐにアクセスできます。ブックマークを直接追加、整理、編集することもできます。デフォルトでブックマークツールバーには、事前定義されたブックマークがいくつかのフォルダに分類されて登録されています(図 12.1. 「Firefoxのブラウザウィンドウ」 (236 ページ)を参照)。

ブックマークツールバーを管理するには、12.3.1項「ブックマークの管理の使用」(238 ページ)で説明したブックマークマネージャを使用できます。コンテンツはブックマークツールバーフォルダにあります。ツールバーを直接管理することもできます。フォルダ、ブックマーク、セパレータを追加するには、ツールバーの空白部分を右クリックして、ポップアップメニューから該当するエントリを選択します。現在のページをバーに追加するには、ドラッグアンドドロップを使用します。ナビゲーションバーのWebページのアイコンを左クリックして、マウスボタンを押したままブックマークツールバーの該当する場所にドラッグします。既存のブックマークフォルダ上にマウスカーソルを置くと、自動的にフォルダが開き、このフォルダにブックマークを配置できます。

特定のフォルダまたはブックマークを管理するには、右クリックします。ポップアップメニューが開き、削除したりプロパティを変更できます。エントリを移動またはコピーするには、`[Cut]` または `[コピー]` を選択して目的の場所に貼り付けます。

## 12.4 ダウンロードマネージャの使用

ダウンロードマネージャは、現在または以前のダウンロードの管理を容易にします。ダウンロードマネージャはファイルをダウンロードするたびに自動的に開きます。ダウンロードマネージャを手動で開くには、`[ツール] > [ダウンロード]` の順にクリックします。ファイルのダウンロード中、進行状況

バーにダウンロードのステータスが表示されます。必要に応じて、ダウンロードを中止し、後で再開することができます。ダウンロードしたファイルを開くには、**[開く]** をクリックします。**[削除]** を使用すると、リストからファイルを削除できます。ファイルについての情報が必要な場合は、ファイル名を右クリックし、**[プロパティ]** を選択します。

---

## 注意

ダウンロードマネージャからファイルを削除してもリストエントリが削除されるだけで、ファイルはハードディスクから削除されません。

---

デフォルトで、すべてのファイルはデスクトップにダウンロードされます。この動作を変更するには、**[編集]** > **[設定]** の **[Main]** タブから、ダウンロードマネージャの設定ウィンドウを開きます。**[Download]** エリアで、別のデフォルトの場所を選択するか、または **[Always ask me where to save files]** を選択します。

## 12.5 パスワード管理

ユーザ名とパスワードをWebサイトに入力するたびに、Firefoxではこのデータを保存するかどうか確認します。**[Remember]** をクリックすると、パスワードがハードディスクに暗号化された形式で保存されます。次回このサイトにアクセスすると、Firefoxは自動的にログインデータを入力します。

パスワードを確認または管理するには、**[編集]** > **[設定]** > **[セキュリティ]** > **[Show Passwords...]** をクリックしてパスワードマネージャを開きます。パスワードマネージャが開き、サイトのリストとそのユーザ名が表示されます。デフォルトで、パスワードは表示されません。パスワードを表示するには、**[Show Passwords]** をクリックします。リストから1つのエントリまたはエントリすべてを削除するには、**[Remove]** または **[Remove All]** をそれぞれ使用します。

GNOMEキーリングまたはKDE Walletを使用してその他のパスワードを保存している場合、SUSE Linux EnterpriseではCASA (Common Authentication Service Adapter)経由でFirefoxパスワードマネージャを使用してこれらを両方とも管理できます。CASAの使用法および設定方法については、『**GNOME ユーザガイド**』または『**KDE ユーザガイド**』を参照してください。

## 12.6 Firefoxのカスタマイズ

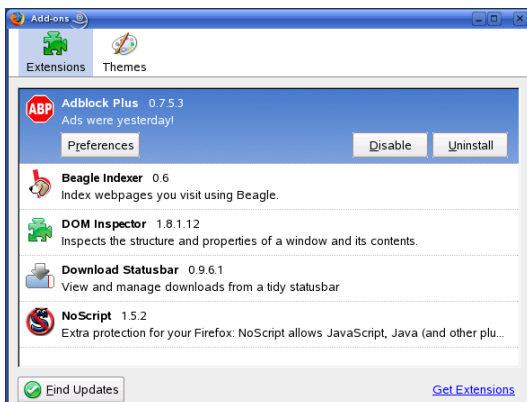
Firefoxは縦横にカスタマイズできます。拡張機能をインストール、テーマを変更、およびオンライン検索用のキーワードを追加することができます。

### 12.6.1 Extensions

拡張機能によって、Firefoxをニーズに合わせてパーソナライズできます。拡張機能を利用して、Firefoxのルックアンドフィールを変更し、既存の機能(ダウンロードマネージャやタブブラウズなど)を拡張したり、Webログエディタ、Bit Torrentサポート、音楽プレーヤーなどの機能を追加したりできます。Web開発者を支援する拡張機能や、アクティブコンテンツを動的にブロックしてセキュリティを強化する拡張機能もあります。Firefoxには1000を超える拡張機能があります。アドオンマネージャでは新しい拡張機能をインストールできるだけでなく、無効化、有効化、削除も可能です。インストールされた拡張機能のアップデートも検出します。

拡張機能を追加するには、[ツール] > [Add-ons] でアドオンマネージャを起動します。[Extensions] タブをクリックしてから、右下隅の [Get Extensions] をクリックしてFirefox拡張機能Webページを開き、カテゴリ別に拡張機能を参照します。<http://addons.mozilla.org/>に直接アクセスすることもできます。拡張機能をインストールするには、拡張機能を説明するページの [Install Now] リンクをクリックします。拡張機能を有効にするには、Firefoxを再起動する必要があります。

## 図 12.3 Firefox拡張機能のインストール

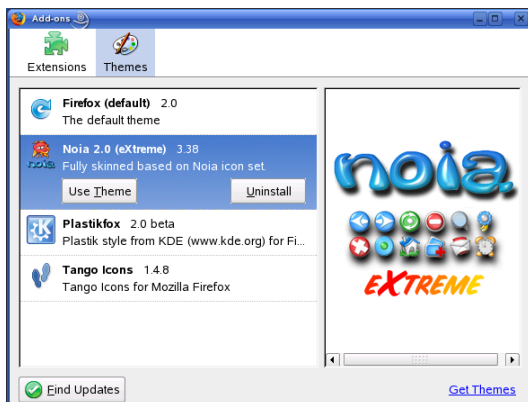


拡張機能を無効にするには、または一時的に無効にした拡張機能を有効にするには、アドオンマネージャで拡張機能をクリックして、[無効化] または [有効化] を選択します。拡張機能を完全に削除するには、[削除] を使用します。Firefoxでは、変更を反映させるには常に再起動が必要です。

## 12.6.2 テーマの変更

Firefoxの標準的なルックアンドフィールが気に入らない場合は、新しいテーマをインストールします。テーマを変更しても、ブラウザの外観が変わるだけで機能そのものに影響はありません。テーマのインストールの方法は、拡張機能のインストールに非常によく似ています。「12.6.1項 「Extensions」 (243 ページ)」の手順に従ってアドオンマネージャを起動し、[テーマ] タブをクリックします。右下隅の [Get Themes] をクリックして、テーマのWebページを開きます。の説明に従って、作業を行ってください。12.6.1項 「Extensions」 (243 ページ)

## ☒ 12.4 Firefoxテーマのインストール



[ツール] > [Add-ons] > [テーマ] [Use Theme] をクリックして、インストールしたテーマをいつでも切り替えられます。ただし、変更を反映させるにはFirefoxを再起動する必要があります。テーマを使用する予定がない場合は、同じダイアログで [アンインストール] を使用するとテーマを削除できます。

## 12.6.3 オンライン検索へのスマートキーワードの追加

インターネットでの検索は、ブラウザで実行できる主要なタスクの1つです。Firefoxでは、独自のスマートキーワードを定義することができます。スマートキーワードは、特定のWebサイトの検索のURLショートカットとして使用する省略形です。たとえば、Wikipedia内を検索することが多い場合、この検索にスマートキーワードを割り当て、このタスクを簡単にします。

- 1 を参照してください。 <http://en.wikipedia.org>
- 2 FirefoxでWebページが表示されたら、Wikipedia Webページ内の検索フィールドを右クリックして、開いたメニューから [Add a Keyword for this Search] を選択します。

- 3 [ブックマークに追加] ダイアログが表示されます。[Name] に、このスマートキーワードの名前を入力します。たとえば、*Wikipedia(en)* などです。
- 4 この検索のキーワードを入力します。たとえば、*ws* などです。
- 5 [Create in] で、このスマートキーワードを保存するブックマーク内の場所を選択します。
- 6 [追加] を使用して操作を完了します。

これで新しいキーワードが作成されました。Wikipediaを検索するときは、ナビゲーションバーに *ws SEARCHTERM* と入力します。

## 12.6.4 機能の無効化

特別な場合、たとえばSUSE Linux Enterpriseをインターネットターミナルとして使用する場合、ページの保存や印刷、ページソースの表示またはキャッシュの無効化など、特定の機能を無効にする(ロックダウン)ことが望ましいといえます。これはGConfシステムを使用して実現できます。詳細は、『*GNOME ユーザガイド*』の「*GNOME Configuration for Administrators*」を参照してください。

## 12.7 Firefoxからの印刷

Webページを実際に印刷する前に、印刷プレビュー機能を使用して印刷されたページの外観を制御できます。これには、[ファイル] > [印刷プレビュー] を選択します。[ファイル] > [Page Setup] で印刷出力をカスタマイズします。ページの向きと倍率を [Format & Options] で指定します。また、印刷をバックグラウンドで実行するかどうかを選択します。[Margins & Header/Footer] で、ページの余白を調整し、ページのヘッダとフッタをカスタマイズします。

Webページを印刷するには、[ファイル] > [Print] を選択するか、または **Ctrl + P** を押します。プリンタを選択して、プロパティを変更します。印刷範囲と印刷部数のほか、フレーム付きのWebページの印刷方法を指定できます。

## 12.8 MHTMLアーカイブを開く

Microsoft\* WordおよびInternet ExplorerやOperaでは、Webページを1つのMHTMLファイルとして保存でき、これはWebアーカイブと呼ばれます。このようなアーカイブでは、Webページの表示に必要なすべてのリソースが1つのアーカイブファイルにまとめられ、オフラインで表示できます。デフォルトでは、MHTMLアーカイブはFirefoxでサポートされていません。パッケージ `mhtml-firefox` はすべてのユーザ向けにFirefox拡張機能MHTML Archive Readerをインストールし、MHTMLアーカイブ(末尾は `.mht` または `.mhtml`) をデスクトップシエルのFirefoxにバインドします。

## 12.9 詳細情報

公式ホームページからFirefoxに関する情報は、<http://www.mozilla.com/firefox/>;で取得できます。特定のオプションや機能についての詳細は、Firefoxに統合されているヘルプ(F1で表示)を参照してください。





# Lifereaを使ったニュースフィードの購読

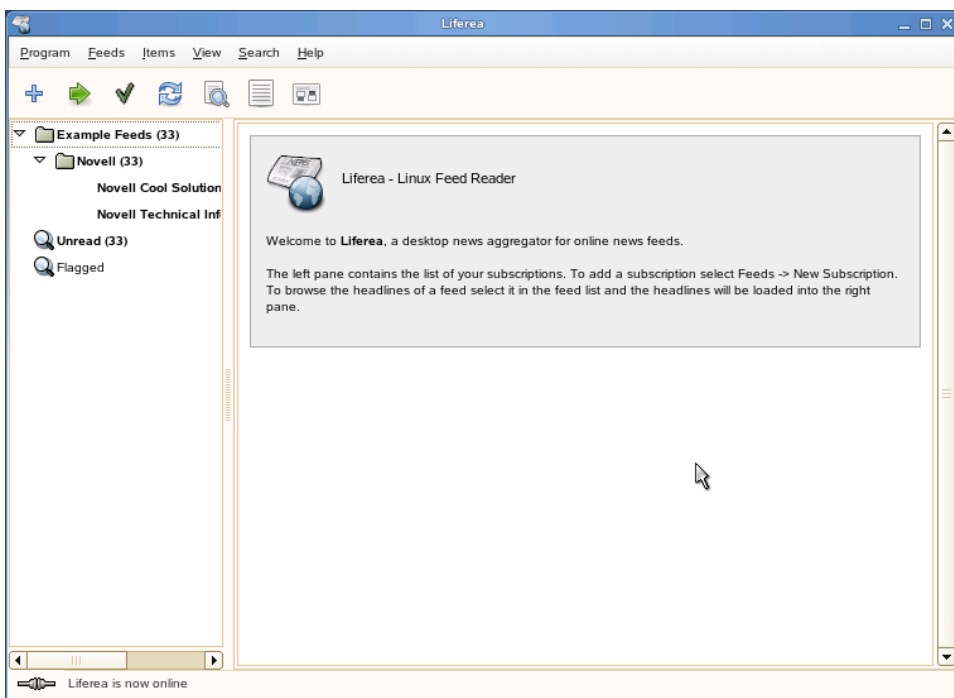
# 13

Lifereaは、オンラインニュースフィードを受信、購読するためのニュースアグリゲータです。このソフトウェアは、インターネットニュースフィードやブログを参照するための、使いやすいインタフェースを提供しています。

## 13.1 Lifereaの起動

Lifereaを起動するには、[コンピュータ] > [他のアプリケーション] > [通信] > [Liferea] の順にクリックします。

図 13.1 Liferea メイン画面



デフォルトでは、Liferea インタフェースはフィードリストと項目リストの2つのセクションに分かれています。左側のフィードリストには、購読内容が一覧されています。各項目をクリックすると、そのヘッドラインが右にある項目リストに表示されます。ヘッドラインをクリックすると、項目リストの下にある表示ペインに、フィードの内容が表示されます。

各ペインの境界をドラッグして、ペインのサイズを調節することができます。

## 13.2 ニュースフィードの購読

Liferea は、Novell® Cool Solutions™ と Novell Technical Information のニュースフィードを受信するように、あらかじめ設定されています。これらのサンプルニュースフィードを表示する

**1** 「**13.1項「Lifereaの起動」** (249 ページ)」の説明に従って、Lifereaを起動します。

**2** フィードリストで、表示する項目をクリックします。

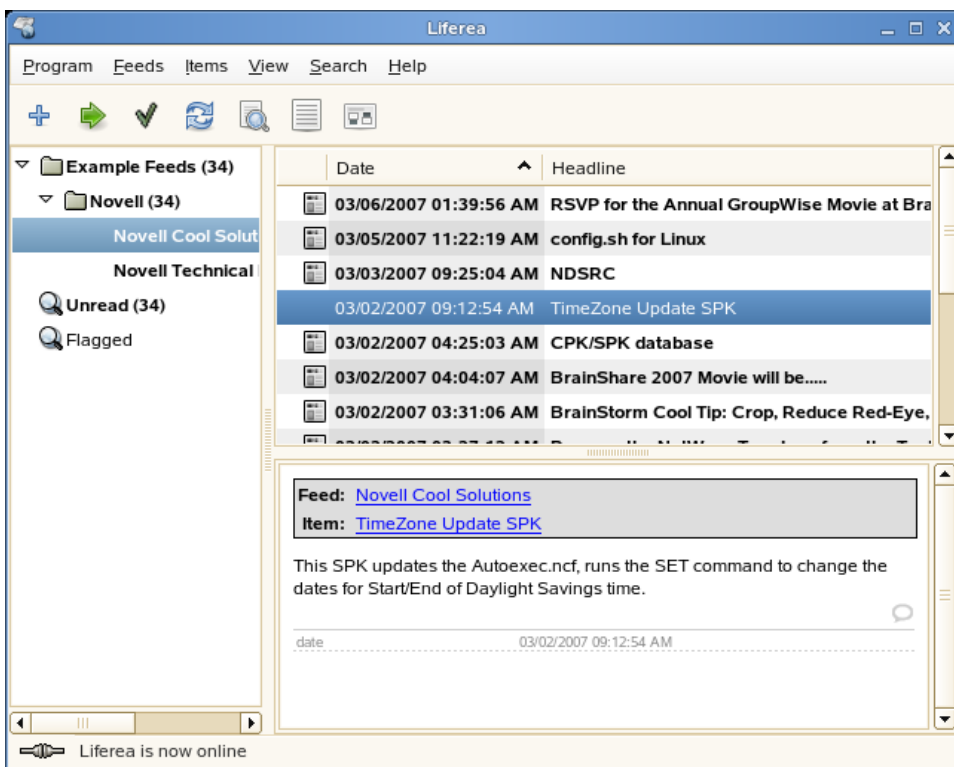
たとえば、*[Example Feeds]* (サンプルフィード) > *[Novell]* > *[Novell Cool Solutions]* の順にクリックします。

**3** 項目リストのヘッドラインをクリックします。

未読のヘッドラインは太字で表示されます。ヘッドラインをクリックすると、その内容が表示ペインに表示されます。

他のニュースアグリゲータとは違い、Lifereaではオフラインでニュースを表示することもできます。Lifereaにヘッドラインを取り込んだ後なら、各項目をオフラインで表示できます。ただし、最新のヘッドラインを取り込む場合は、オンラインでなければなりません。

図 13.2 Lifereaを使ったニュースフィードの参照



## 13.3 新規購読の作成

インターネット上のさまざまなニュースフィードを購読することができます。ニュース、情報サービス、ブログ、ディスカッションフォーラムなど、多様なニュースフィードを利用できます。このセクションでは、購読の追加方法について説明していきます。ここでは、CNN\*トップストーリーのニュースフィードの購読方法を例に説明していきますが、他のニュースフィードの大半は、同様の方法で購読することができます。

- 1 「13.1項 「Lifereaの起動」 (249 ページ)」の説明に従って、Lifereaを起動します。
- 2 目的のフィールドのURLを取得します。

たとえば、CNNニュースフィードのURLを取得するには、次のような作業を行います。

- 2a ブラウザを開いて、<http://www.cnn.com>に移動します。
- 2b CNNページの下部に移動して、`[RSS]` をクリックします。
- 2c 表示されるリストから、トップストーリー(Top Stories)に関するURLを探してコピーします。

この例では、URLは[http://rss.cnn.com/rss/cnn\\_topstories.rss](http://rss.cnn.com/rss/cnn_topstories.rss)になります。

- 3 Lifereaで、`[Feeds]` (フィード) > `[New Subscription]` (新規購読)の順にクリックします。
- 4 `[Source]` フィールドに、URLを貼り付けます。
- 5 `[OK]` をクリックします。
- 6 フィード名を入力して、フィードの更新を確認する間隔を指定します。次に、`[OK]` をクリックします。

フィードリストにニュースフィードが追加されます。フィードのヘッドラインがダウンロードされて、項目リストに追加されます。

## 13.4 購読情報の更新

購読しているフィードのヘッドラインは、作成時に指定した間隔で更新されます。また、次の更新が行われる前に、手動でヘッドラインを更新することもできます。

次のオプションから選択できます。

すべての購読フィードを一度に更新する  
`[Feeds]` > `[Update All]` をクリックします。

フォルダ内のすべての購読フィードを更新する、または特定の購読フィードを更新する

[Feeds] > [Update Selected] をクリックします。

## 13.5 詳細情報

Lifereaの詳細は、[Help] をクリックするか、またはLifereaのホームページ <http://liferea.sourceforge.net/>を参照してください。

## パート IV. マルチメディア





# GIMPによるグラフィックスの 操作

# 14

GIMP (*The GNU Image Manipulation Program*)は、ラスタグラフィックスの作成と編集を行うためのプログラムです。ほとんどの面で、その機能はAdobe Photoshopや他の市販プログラムに匹敵するレベルにあります。写真のサイズ変更とレタッチ、Webページ用のグラフィックスの作成、カスタムCDのカバーの作成、その他さまざまなグラフィックスプロジェクトにGIMPを活用することができます。また、アマチュアとプロフェッショナル両方のニーズを満たすことができます。

Linuxの他の多くのプログラムと同様、GIMPは、作業時間と作成したコードをプロジェクトに提供している、世界中にいるボランティア開発者の共同作業により開発されています。このプログラムは今も継続的に開発が進められているため、使用中のに付属しているバージョンが、ここで説明されているバージョンとはわずかに異なっている可能性もあります。個別のウィンドウや、ウィンドウ内のセクションのレイアウトは、特に違いが生じやすい箇所です。

GIMPは、非常に複雑なプログラムです。この章で説明するのは、限られた範囲の機能、ツール、およびメニュー項目です。このプログラムの詳細情報については、「[14.7項「詳細情報」](#) (275 ページ)」を参照してください。

## 14.1 グラフィックファイルの形式

グラフィックには主に、ラスタとベクタという2つのタイプがあります。GIMPはラスタグラフィックで使用するように作成されています。ラスタは写真やスキャンしたイメージの通常の形式です。ラスタグラフィックスは、色の付

いた小さなピクセルという小さな点で構成されていて、それらの集合体が画像全体を形成しています。この理由で、ファイルはすぐに、非常に大きくなる傾向があります。また、画質を低下させることなくピクセル画像のサイズを大きくすることはできません。**GIMP**ではラスタグラフィックの一般的な形式をサポートしています。

ラスタグラフィックと異なり、ベクタグラフィックは個々の点すべてに関する情報を格納しているわけではありません。代わりに、点、直線、曲線、ポリゴンなどの図形プリミティブを使用します。ベクタ画像は、非常に簡単に拡大縮小できます。ベクタグラフィックには、**Inkspace**などの特殊アプリケーションが多数あります。**GIMP**では、ベクタグラフィックのサポートは非常に限定されています。たとえば、**GIMP**はベクタグラフィックを**SVG**形式で開いてラスタ化したり、ベクタパスを操作したりします。

## 14.2 GIMPの起動

**GIMP**はメインメニューから起動します。代わりに、コマンドラインで、「`gimp &&`」と入力することもできます。

### 14.2.1 初期設定

**GIMP**の最初の起動時には、準備となる設定を行うための設定ウィザードが表示されます。ほとんどの用途では、デフォルト設定をそのまま使用することができます。設定項目に精通していてセットアップを変更する場合以外は、各ダイアログで何も変更しないで **[次へ]** をクリックします。

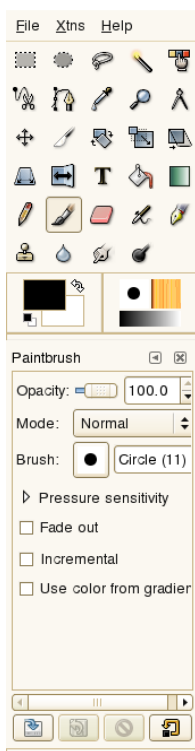
### 14.2.2 デフォルトのウィンドウ

デフォルトでは、3つのウィンドウが表示されます。画面内でこれらを整列させることや、必要がなくなった時点でツールボックス以外を閉じることできます。ツールボックスを閉じると、このアプリケーションも閉じます。デフォルトの設定では、**GIMP**は終了時にウィンドウの位置を保存します。終了時に表示されていたダイアログは、次回にこのプログラムを起動すると、再び表示されます。

## ツールボックス

「**図 14.1. 「メインウィンドウ」 (259 ページ)**」に示すGIMPのメインウィンドウには、このアプリケーションのメインコントロールがあります。このウィンドウを閉じると、このアプリケーションは終了します。最上部にあるメニューバーを使用すると、ファイル機能、拡張機能、およびヘルプを使用できます。その下には、さまざまなツールに対応したアイコンがあります。これらのアイコンの上にマウスポインタを移動すると、そのアイコンに関する情報が表示されます。

**図 14.1** メインウィンドウ



現在の前景色と背景色が、重なっている2つの長方形で表示されます。デフォルトの色は、前景色が黒、背景色が白です。長方形をクリックすると、その色を変更するダイアログが表示されます。2つの長方形の右上にある曲がった

矢印記号をクリックすると、前景色と背景色が入れ替わります。左下にある黒と白の記号をクリックすると、色をデフォルトに戻すことができます。

前景色と背景色の右には、現在のブラシ、パターン、およびグラデーションが表示されます。表示されているいずれかをクリックすると、その選択ダイアログが表示されます。ウィンドウの下の部分では、現在のツールに対し、さまざまな設定を行えるようになっています。

ツールボックスの下には、現在選択しているツールのオプションが表示されます。オプションが表示されない場合は、ツールボックス内のアイコンをダブルクリックしてください。

## レイヤー、チャンネル、パス、アンドゥ

最初のセクションでは、ドロップダウンボックスを使用して、タブが参照する画像を選択します。[自動] をクリックして、アクティブな画像が自動的に選択されるかどうかを制御することができます。デフォルトでは、[自動] は有効になっています。

[レイヤー] は、現在の画像内にあるさまざまなレイヤーを表示します。また、レイヤーを操作することもできます。情報は、[14.5.6項「レイヤ」](#) (272 ページ) から入手できます。[チャンネル] は、画像のカラーチャンネルを表示しますが、ここで操作することもできます。

パスは、画像の一部を選択するためのベクタベースの方法です。パスを使用して描画することもできます。[パス] は、画像に関連して使用できるパスを表示し、パス機能にアクセスする手段を提供します。[アンドゥ] は、現在の画像に対して加えられた変更からなる、限られた数の履歴を表示します。使用方法是、[14.5.5項「操作の取り消し」](#) (272 ページ) で説明されています。

## 14.3 はじめに

GIMPを初めて使用する場合、少々使いにくく感じるかもしれませんが、一度基本操作を覚えてしまえば、操作は簡単であることがわかります。不可欠な基本機能は、画像を作成し、開き、保存することです。

## 14.3.1 新しい画像の作成

新しい画像を作成するには、[ファイル] > [新規] の順に選択するか、Ctrl+Nを押します。新しい画像に関する設定を行うためのダイアログが表示されます。必要に応じて、[Template] という名前の事前定義された設定を選択します。カスタムテンプレートを作成するには、[ファイル] > [ダイアログ] > [テンプレート] の順に選択し、表示されたウィンドウにあるコントロールを使用します。

[画像のサイズ] セクションで、作成する画像のサイズをピクセルまたは他の単位で設定します。それ以外の単位を使用するには、使用可能な単位からなるリストを使用して、希望の単位をクリックします。ピクセルと他の単位との比率は、[解像度] で設定されており、[拡張オプション] セクションを開くと設定値を確認できます。72ピクセル/インチという解像度は、共通画面表示に対応しています。Webページの画像として使用する場合は、これで十分です。画像を印刷する場合は、これより高い解像度を使用してください。ほとんどのプリンタでは、300ピクセル/インチの解像度を使用すると、許容可能な画質になります。

[色空間] で、画像をカラー([RGB])と[グレースケール]のどちらにするかを選択します。画像タイプの詳細は、14.5.7項「画像モード」(273 ページ)を参照してください。[Fill With] で、イメージを塗りつぶす色を選択します。ツールボックスで設定した[Foreground Color]と[Background Color]で、透明イメージに対して[White]または[Transparency]を選択します。[透明]は、灰色のチェッカーパターン(格子模様)で表現されます。[コメント]には、新しい画像に関する説明を入力します。

設定値がニーズを満たした時点で、[OK] をクリックします。デフォルト設定に戻すには、[リセット] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、新規画像の作成を取り消します。

## 14.3.2 既存の画像を開く

既存の画像を開くには、[ファイル] > [開く] の順に選択するか、Ctrl+Oキーを押します。ダイアログが開いたら、希望のファイルを選択します。または、Ctrl+Lを押し、目的の画像のパスを直接入力します。次に、[開く] をクリックして選択した画像を開くか、[キャンセル] をクリックして画像を開くのを取り消します。

## 14.3.3 画像のスキャン

既存の画像を開いたり、画像を新規作成する代わりに、画像をスキャンすることができます。GIMPから直接スキャンするには、パッケージxsaneがインストールされていることを確認します。スキャンを行うダイアログボックスを開くには、`[File] > [Acquire] > [XSane:Device dialog]` の順にクリックします。

スキャンするオブジェクトがスキャン領域全体よりも小さい場合は、プレビューを作成します。プレビューを作成するには、`[プレビュー]` ダイアログボックスの `[Acquire preview]` をクリックします。領域の一部のみをスキャンする場合は、目的の矩形の部分をマウスで選択します。

`[xsane]` ダイアログでは、白黒(灰色の階調なし)、グレースケール、またはカラーイメージをスキャンするかどうか、また必要なスキャン解像度を選択します。解像度が高くなると、スキャンしたイメージの品質がよくなります。ただし、ファイルが大きくなると解像度が高くなるため、スキャンプロセスが長時間かかります。最終的な画像のサイズ(ピクセル単位およびバイト単位の両方)が、ダイアログボックスの下部に表示されます。

`[xsane]` ダイアログボックスのスライダを使用して、目的のガンマ、明度、およびコントラストの値を設定します。これらのスライダは、白黒モードでは利用できません。変更内容は即座にプレビューに表示されます。すべての設定が完了したら、`[スキャン]` をクリックして画像をスキャンします。

## 14.3.4 画像ウィンドウ

新しい画像、開かれた画像、またはスキャンされた画像は、別のウィンドウ内に表示されます。それらのウィンドウの最上部にあるメニューバーを使用して、すべての画像機能を利用することができます。メニューバーの代わりに、画像を右クリックするか、ルーラの左隅にある小さな矢印をクリックする方法でメニューを使用することもできます。

`[ファイル]` メニューには、`[保存]` や `[Print (印刷)]` など、標準的なファイルオプションがあります。`[閉じる]` は、現在の画像を閉じます。`[終了]` は、このアプリケーション全体を終了させます。

`[表示]` メニュー内の項目を使用して、画像と画像ウィンドウの表示方法を制御します。`[新規ビュー]` は、現在の画像を表示する 2 番目の表示ウィン

ドウを開きます。1つのビューに加えた変更は、その画像を表示している他のすべてのビューに反映されます。追加のビューは、あるビューで画像を拡大表示して操作しながら、他のビューで画像全体を表示する場合に役立ちます。現在のウィンドウの拡大レベルを調整するには、[ズーム]を使用します。[ウィンドウに合わせる]が選択されている場合、現在の画像表示サイズに合わせて、画像ウィンドウのサイズが適切に変更されます。

## 14.4 画像の保存

最も重要な画像機能の処理手順は、[ファイル] > [保存] です。保存の回数が少なすぎるより、多すぎる方が適切です。新しいファイル名で画像を保存するには、[ファイル] > [別名で保存] の順に選択します。何段階か異なる名前を使用して画像を保存すること、または他のディレクトリ内にバックアップを作成することは良い考えです。その結果、以前の状態に簡単に返ることができます。

初めて保存する場合や、[別名で保存]を使用する場合、ファイルの名前と種類を指定するためのダイアログが表示されます。最上部にある[名前]フィールドに、ファイルの名前を入力します。[Save in folder (フォルダに保存)]の場合は、共通で使用するディレクトリの一覧から、ファイルを保存するディレクトリを選択します。異なるディレクトリを使用、またはディレクトリを新規作成する場合は、[Browse for other folder(他のフォルダを参照)]を開きます。[Select File Type (ファイル形式の決定)]は、[拡張子で判別]のままにしておくことをお勧めします。この設定の場合、GIMPはファイル名に追加された拡張子に基づいてファイルの形式を決定します。使用頻度の高いファイル形式は、次のとおりです。

### XCF

これは、GIMPのネイティブの形式です。画像だけでなく、すべてのレイヤー情報とパス情報を保存します。他の形式の画像を必要とする場合であっても、将来の変更を簡略化するために、XCF形式でコピーを保存しておくことは、通常は良い考えです。レイヤに関する詳細は、[14.5.6項「レイヤ」](#) (272 ページ)を参照してください。

### PAT

これは、GIMPのパターンに関して使用される形式です。画像をこの形式で保存すると、その画像をGIMP内の塗りつぶしパターンとして使用できるようになります。

## JPEG

JPGまたはJPEGは、写真や、Webページ用で透過性のないグラフィックスを処理するための一般的な形式です。その圧縮方法はファイルサイズを縮小しますが、圧縮を行う際に一部の情報が失われます。圧縮レベルを調整する際に、プレビューオプションを使用するのは良い考えです。85～75%のレベルを選択すると、多くの場合、許容可能な画像品質(画質)で、妥当な圧縮を達成することができます。同時に、XCFなどロスレス(情報損失なし)の形式で、バックアップを保存しておくこともお勧めします。画像を編集する場合は、完成した画像だけをJPGとして保存します。JPGをロードして保存する作業を繰り返すと、画像品質がすぐに低下する可能性があります。

## GIF

GIFは透過性をサポートするグラフィックスとして、以前は非常に人気がありましたが、現在はライセンスの問題が原因となり、使用頻度が低下しています。GIFは、動画(アニメーション画像)を処理する場合にも使用されています。この形式では、インデックス画像の保存だけを実行できます。インデックス付き画像の詳細は、[14.5.7項「画像モード」](#) (273 ページ)を参照してください。数色のみを使用すると、多くの場合、ファイルサイズは非常に小さくなる可能性があります。

## PNG

PNGには、透過性のサポート、ロスレス(情報損失なし)圧縮のサポート、フリー(ライセンス料不要)入手と配布が可能、およびブラウザでのサポートが拡大中という特徴があるので、透過性を使用するWebグラフィックスとしてGIFを凌駕する勢いです。さらに、追加された利点として、PNGは部分的な透過性をサポートしています。これは、GIFがサポートしていない特徴です。この結果、色付きの領域から透過領域へのスムーズな遷移(アンチエイリアシング)が可能になります。

選択した形式で画像を保存するには、**[保存]** をクリックします。保存を中止するには、**[キャンセル]** をクリックします。画像が、選択した形式では保存できない機能を利用している場合、その状況を解決する選択肢を示すダイアログが表示されます。**[エクスポート]** が表示される場合、通常はそれを選択することによって、望ましい結果が得られます。次に、使用可能な形式をオプションとして表示するウィンドウが表示されます。妥当なデフォルト値が用意されています。



## 14.5 画像の編集

GIMPには、画像を変更するためのさまざまなツールが用意されています。ここでは、自宅でご利用のユーザの方に魅力的な機能を取り上げています。

### 14.5.1 画像サイズの変更

画像をスキャンしたり、デジカメから写真をロードした場合、それをWebページに表示したり、印刷をするために、サイズを変更しなければならないことがあります。これらの画像は、縮小したり、不要な部分をカットすることで、簡単にサイズを小さくすることができます。画像サイズを大きくする方は、より大変です。画像はラスタで構成されているため、画像を大きくすると画像品質が低下してしまいます。画像を編集する前に、元の画像のコピーを保持しておくことをお勧めします。

#### イメージのクロッピング

画像のクロッピングは、用紙の端を切り取る作業と似ています。ツールボックスからクロップツールを選択するか、または `[Tools]` > `[Transform Tools]` > `[Crop & Resize]` の順にクリックします。開始点をクリックしてからドラッグして、画像を保持する領域を選択します。

小さなウィンドウに、開始点と選択した領域のサイズに関する情報が表示されます。これらの値を変更するには、クロップボックスの角をクリックしてドラッグするか、ウィンドウ中の値を変更します。 `[From Selection]` は、現在の選択項目に合わせるようにクロップを調整します(選択項目については、[14.5.2項「画像の一部の選択」](#) (266 ページ)を参照)。 `[Auto Shrink]` は、画像中の色の変更に基づいて、クロップを小さくします。

クロップをキャンセルするには、 `[Cancel]` を押します。 `[Crop]` を押すと、画像がクロップされます。 `[Resize]` の結果は、で説明している `[Change Canvas Size]` [キャンバスサイズの変更項](#) (266 ページ)と同じになります。

#### 画像の拡大/縮小

画像全体のサイズを変更するには、 `[Image]` > `[Scale Image]` の順にクリックします。 `[Width]` または `[Height]` に、新しいサイズを入力してください。

拡大/縮小時に画像の比率を変更するには(画像の変形)、フィールドの右側にあるチェーンアイコンをクリックして、リンクを切断してください。これらのフィールドがリンクされている場合、片方のフィールドの値を変更すると、それに合わせてもう一方のフィールドの値も変化します。 *[X resolution]* および *[Y resolution]* で、解像度を調整します。

*Interpolation*は、拡大/縮小方法を制御する、熟練者向けのオプションです。サイズの調整が完了したら、 *[Scale]* を押すと画像が拡大/縮小されます。

*[Reset]* を押すと、元の値に戻ります。 *[Cancel]* を押すと、処理を中止します。

## キャンバスサイズの変更

キャンバスサイズの変更は、画像の周囲にマットを敷くのと似ています。マットが画像より小さい場合でも、画像は残っていますが、その一部しか表示されません。マットを大きくすると、元の画像の全体が見えて、その周囲には余分なスペースが残ります。キャンバスサイズを変更するには、 *[Image]* > *[Canvas Size]* の順にクリックします。

表示されるダイアログに、新しい値を入力します。デフォルトでは、現在の画像の幅と高さの比率を維持するように設定されています。この設定を変更するには、チェーンアイコンをクリックします。

サイズを調整したら、そのサイズに合わせて既存の画像をどの位置に配置するかを指定します。オフセット値を指定するか、または下部にあるフレーム内のボックスをドラッグしてください。変更を完了したら、 *[Resize]* をクリックすると、キャンバスサイズが変更されます。元の値に戻すには *[Reset]* を、サイズ変更をキャンセルする場合は *[Cancel]* をクリックします。

## 14.5.2 画像の一部の選択

画像の一部にのみ画像処理を行う必要がある場合もあります。この場合、作業対象となる画像の部分を選択する必要があります。作業対象領域を選択するには、ツールボックスの選択ツールやクイックマスクを使用するか、または複数のオプションを組み合わせで使用します。選択範囲は、 *[Select]* 下の項目を使って変更することもできます。選択範囲は *marching ants* と呼ばれる点線で表示されます。

## 選択ツールの使用

メインの選択ツールの使用方法はとても簡単です。パス(paths)ツールを使えば選択する以外にもさまざまな処理を行えますが、操作が複雑なためここでは説明しません。他の選択ツールのツールオプションで、*[Mode]* 行にあるアイコンを使って、選択範囲を置換するか、追加するか、削除するか、またはインターセクトするかどうかを指定します。

### Rect Select

このツールは、長方形または正方形の領域を選択する場合に使用します。選択範囲の形状やサイズを変更するには、ツールオプションの *[Free Select]* *[Fixed Size]* *[Fixed Aspect Ratio]* を使用します。 *[Free Select]* モードで四角い範囲を選択するには、**Shift**キーを押しながら領域を選択します。

### Ellipse Select

円形または楕円形の範囲を選択する場合に使用します。長方形の範囲を選択する場合と同じオプションを利用できます。円形の領域を選択する場合は、**Shift**キーを押しながら範囲を選択します。

### Free Select (Lasso)

このツールでは、フリーハンドで選択範囲を指定します。範囲を選択するには、マウスの左ボタンを押したまま画像内の選択する領域をドラッグしてください。マウスの左ボタンを離すと、開始点と終了点の間が直線で結ばれます。その内部の範囲が選択されています。

### Fuzzy Select (Magic Wand)

このツールは、色の類似性に基づいて連続した領域を選択します。*[Threshold]* のツールオプションダイアログには、色の違いの最大値を設定することができます。

### By Color Select

画像内で選択したピクセルと同じ色または類似色を持つすべてのピクセルが選択されます。*[Threshold]* のツールオプションダイアログには、色の違いの最大値を設定することができます。

### Intelligent Scissors

画像中の一連の点をクリックします。点をクリックしていくと、画像内の色の違いに基づいてそれぞれの点がつながられます。開始点をクリックす

ると、その領域が閉じられます。その内部をクリックすると、そこが選択範囲になります。

## クイックマスクの使用

クイックマスクは、ペイントツールを使って画像の一部を選択する方法です。Intelligent Scissorsやフリーハンド選択ツールを使っておおまかな領域を選択してから、それをクイックマスクで調整すると、目的の領域を手軽に選択することができます。クイックマスクを使用するには、左下にあるダッシュが記載された小さなアイコンをクリックします。

クイックマスクでは、選択範囲が赤のオーバーレイで表示されます。赤味のない領域は選択されていません。マスクを利用する前に、通常通りに表示されていた領域が選択されます。選択範囲を変更するには、ペイントツールを使用します。白でペイントすると、ペイントしたピクセルが選択されます。黒でペイントすると、そのピクセルの選択が解除されます。灰色の部分は部分選択です(色は灰色の陰影として扱われる)。部分選択により、選択領域と選択しない領域間をスムーズに遷移させることができます。

クイックマスクの表示に別の色を使用する場合は、クイックマスクボタンを右クリックして *[Configure Color and Opacity]* を選択します。表示されるダイアログから、目的の色を選択してください。

ペイントツールを使って選択範囲を調整したら、画像ウィンドウの左下にあるアイコン(現在は赤いボックスを表示)をクリックして、クイックマスクビューから元のビューに戻ります。選択範囲が点線で表示されます。

### 14.5.3 色の適用と削除

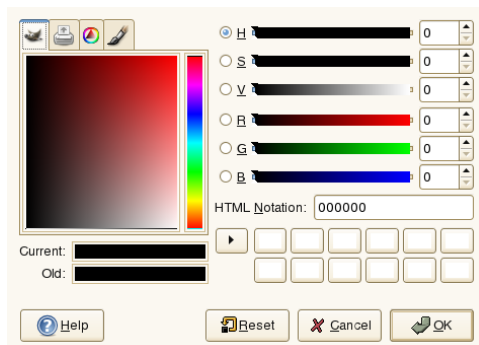
画像の編集時には、しばしば色の適用や削除が行われます。画像の一部を選択して、色を適用したり削除する範囲を制限できます。ツールを選択してカーソルを画像上に移動すると、カーソルが選択したツールに対応した形状に変わります。大部分のツールでは、現在のツールのアイコンに矢印が付いた形状になります。ペイントツールの場合は、現在のブラシのアウトラインが表示されます。そのため、画像内のどこをペイントするのか、そしてどれだけの範囲がペイントされるのかを明確に把握することができます。

## 色の選択

ペイントツールは、前景色を使用します。色を選択するには、まず前景色の表示ボックスをクリックします。4つのタブのあるダイアログが開きます。これらのタブは、異なる色選択方法を提供しています。ここでは、[図 14.2](#)。

「**[Basic Color Selector] ダイアログ**」(269 ページ)に表示されている最初のタブのみを取り上げます。[Current] に新しい色が表示されます。前の色は [Old] に表示されます。

**図 14.2** [Basic Color Selector] ダイアログ



色を選択するもっとも簡単な方法は、左側にある色が表示されているボックスを使用することです。垂直バーで、目的の色に近い色を選択します。左側の大きな領域に、色合いが違う複数の色が表示されます。目的の色をクリックします。[Current] にその色が表示されます。目的の色が表示されなかった場合は、もう一度操作を行ってください。

[Current] の右側にある矢印ボタンを使って、その色を保存することができます。矢印をクリックすると、現在の色が履歴にコピーされます。履歴にコピーされた色は、それをクリックして選択することができます。色の16進数色コードを [HTML Notation] に入力して、直接色を選択することもできます。

色セレクトのデフォルトでは、色を色相により選択します。普通のユーザにとっては、この方法が一番簡単です。彩度、値、赤、緑、または青で色を選択するには、右側にある該当するラジオボタンを選択してください。スライダーと数値フィールドを使って、現在選択している色を変更することもできます。いろいろと試して、自分に一番合った方法を見つけてください。

[*Current*] に目的の色が表示されたら、 [*OK*] をクリックしてください。ダイアログを開いた時点での値に戻すには、 [*Reset*] をクリックします。色の変更を中止するには、 [*Cancel*] をクリックします。

画像内の色を選択するには、カラーピッカーツールを使用します。このツールのアイコンは、目薬の形をしています。ツールのオプションを使って、前景色および背景色を選択するかどうかを設定します。次に、目的の色がある画像内の一点をクリックします。選択した色が正しい場合は、 [*Close*] をクリックしてダイアログを閉じます。

## ペイントと消去

ペイント、諸拳するには、ツールボックスのツールを使用します。各ツールをきめ細かく調整するための、さまざまなオプションが用意されています。**Pressure sensitivity**(圧力感度)オプションは、圧力を感知するグラフィックタブレットを使用する場合にのみ適用されます。

鉛筆、ブラシ、エアブラシ、および消しゴムは、実際の物と同じような動きをします。インクツールは、筆のような動きをします。クリックしてドラッグすると、そこがペイントされます。バケツは、画像内の領域に色を付ける場合に使用します。画像の色境界に基づいて、色が付けられます。色の変化に対する感度を変更するには、しきい値を調整します。

## テキストの追加

テキストツールを使用すれば、画像に文字列を簡単に追加できます。このツールオプションを使って、目的のフォント、サイズ、色、インデント、文字揃え、および行間などを選択してください。次に、画像内にテキストを挿入する場所をクリックします。テキストを入力するための、小さなダイアログが表示されます。1行または複数行のテキストを入力したら、 [*Close*] を選択します。

専用のレイヤにテキストが配置されます。テキストの追加後に画像に関する作業を行う場合は、[14.5.6項「レイヤ」](#) (272 ページ)を参照してください。テキストレイヤがアクティブな状態では、テキストを変更することができます。画像内のテキストをクリックすると、入力ダイアログが再表示されます。ここから、設定を変更してください。

## 画像の修正—クローンツール

画像を修正する場合は、クローンツールが役立ちます。このツールは、画像内の他の部分の情報を使って画像をペイントすることができます。必要に応じて、パターンから情報を取得することもできます。

修正を行う場合は、ソフトエッジの小さなブラシを使用することをお勧めします。そうすれば、修正内容を元の画像と調和させることができます。

画像内のソースとなる場所を選択するには、**Ctrl**キーを押しながら、目的の場所をクリックしてください。次に、普段と同じようにペイントを行います。ペイント中にカーソルを移動すると、十字で示されているソース点も移動します。**[Alignment]** に **[Non Aligned]** を設定すると(デフォルト設定)、マウスの左ボタンを離すとソースがリセットされます。

### 14.5.4 色レベルの調整

理想的な印刷/表示結果を得るために、画像を調節しなければならないようなこともあります。多くのプログラムは不慣れなユーザの方向けに設計され、メイドとコントラストレベルが変更されます。**GIMP**でも同じですが、色レベルを調節すればより良い結果が得られます。

色レベルを調節するには、**[Layer]** > **[Colors]** > **[Levels]** の順にクリックします。画像内のレベルを調節するためのダイアログが表示されます。通常は、**[Auto]** をクリックすると、適切な結果を得ることができます。すべてのチャンネルを手動で調整するには、**[All Channels]** のスポイトツールを使用して、黒、灰色、および白にする画像内の領域をピックします。

チャンネルを個別に変更する場合は、**[Channel]** で目的のチャンネルを選択してください。次に、**[Input Levels]** にあるスライダーを使って、黒、白、および中間のマーカーをドラッグします。代わりにスポイトツールを使って、チャンネルの白、黒、および灰色ポイントとして使用する画像内の場所を選択することもできます。

**[Preview]** を選択した場合、変更内容を反映した場合の画像のプレビューが表示されます。適切な結果が得られたら、**[OK]** をクリックすると、変更内容が適用されます。**[Reset]** をクリックすると、元の設定にリセットされます。**[Cancel]** をクリックすると、色レベルの調整がキャンセルされます。

## 14.5.5 操作の取り消し

GIMPで行う操作の大半は、それを取り消してやり直すことができます。変更履歴を表示するには、デフォルトのレイアウトに用意されているUndoダイアログを使用するか、ツールボックスのメニューから *[File]* > *[Dialogs]* > *[Undo History]* の順にクリックします。

このダイアログには、元の画像と、取り消すことができる一連の変更内容が表示されます。ボタンを使って変更内容を取り消したり、やり直してください。このようにして、元の画像に戻して作業を再度行うことができます。変更内容を取り消した後に別の変更を行った場合、取り消した変更をやり直すことはできません。

*[Edit]* メニューを使って変更内容を取り消したり、やり直すこともできます。また、**Ctrl+Z**キーや**Ctrl+Y**キーを使って取り消したり、やり直すこともできます。

## 14.5.6 レイヤ

GIMPでは、レイヤが重要な役割を果たします。画像の各部を個別のレイヤで修正することにより、それぞれの部分を、残りの画像に影響を与えずに変更、移動、または削除することができます。レイヤの仕組みを理解するには、透明なシートを何枚も重ねて作られた画像を想像してください。画像の各部は、それぞれ個別のシートに描かれています。積み重ねる順番を変更して、任意のシートを一番上にもっと来ることができます。個別のレイヤ、または一群のレイヤの位置を移動したり、画像のセクションを別の場所に移動することができます。また、新しいシートを追加したり、既存のシートを取り除くこともできます。

画像のレイヤを表示するには、*[Layers]* を使用します。テキストツールを使用した場合、テキスト専用のレイヤが自動的に作成されます。アクティブなレイヤが選択されています。このダイアログの一番下にあるボタンを使って、さまざまな作業を行うことができます。また、ダイアログのレイヤを右クリックして表示されるメニューにも、さまざまな機能が用意されています。画像名の前にある2つのアイコンを使って、画像表示を切り替えたり(表示している場合は眼の形をしたアイコンが表示される)、レイヤをリンクすることができます。リンクされているレイヤにはチェーンのアイコンが表示されます。リンクされたレイヤは、グループとして移動できます。



透過性(アルファチャンネル)のあるレイヤだけが、他のレイヤの上に積み重ねることができます。これをレイヤに追加するには、右クリックしてそれをメニューから選択します。

## 14.5.7 画像モード

GIMPには、RGB、Grayscale(グレースケール)、およびIndexed(インデックス)の3種類の画像モードがあります。RGBは標準のカラーモードで、大部分の画像を編集するのに最適なモードです。Grayscaleは、白黒画像で用いられます。Indexedは、画像内の色を制限します。このモードは、おもにGIFイメージで使用されます。インデックス画像を作成する必要がある場合、通常はRGBで画像を編集してから、インデックス画像に変換して保存します。インデックス画像が必要な形式で画像を保存する場合、保存時にインデックス画像に変換されます。

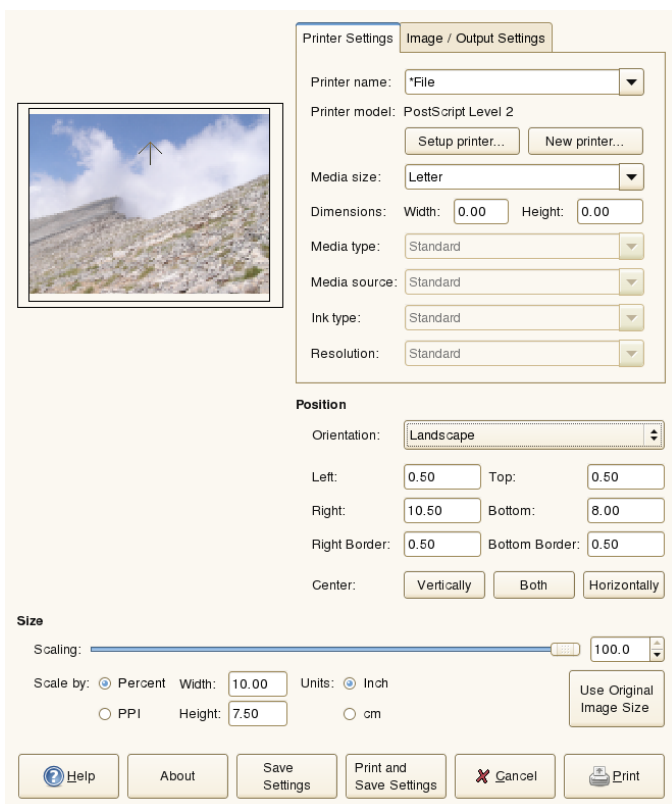
## 14.5.8 特殊効果

GIMPには、さまざまなフィルタやスクリプトが用意されています。これらのフィルタやスクリプトを使って、画像にさまざまな特殊効果を適用することができます。特殊効果を適用するには、*[Filters]* および *[Script-fu]* を使用します。どのような特殊効果があるかは、実際に試してみてください。ツールボックスの *[Xtns]* には、ボタンやロゴを作成するためのさまざまな項目が含まれています。

## 14.6 画像の印刷

画像を印刷するには、画像メニューから *[ファイル]* > *[印刷]* の順に選択します。使用中のプリンタを環境内で既に設定した場合、リスト内にそのプリンタが表示されるはずです。特定の状況では、*[プリンタの設定]* を使用して適切なドライバを選択する必要があることがあります。*[用紙サイズ]* を使用して適切な用紙サイズを選択し、*[用紙の種類]* を使用して種類を選択します。他の設定項目は、*[画像/出力設定]* タブ内で指定できます。

### 図 14.3 [印刷] ダイアログ



このウィンドウの下側部分で、画像のサイズを調整します。[*Use Original Image Size*(元の画像サイズを使用する)] をクリックすると、これらの設定値を画像自体から取得できます。画像側で適切な印刷サイズと解像度を既に設定済みの場合は、これを使用することをお勧めします。ページ内での画像の位置を調整するには、[位置] 内のフィールドを使用するか、[プレビュー] 内で画像をドラッグします。

設定値の入力後、[印刷] をクリックします。将来の使用に備えてこれらの設定値を保存するには、代わりに [印刷と設定保存] を使用します。[キャンセル] は、印刷を取り消します。

## 14.7 詳細情報

以下のリソースはGIMPユーザの役に立ちます(一部は旧版に適用されます)。

- [ヘルプ] を使用すると、統合されているヘルプシステムにアクセスできます。このマニュアルは、HTMLおよびPDF形式であり、<http://docs.gimp.org>で入手できます。
- <http://gimp.org/tutorials/>には、GIMPの基本的なチュートリアルや、高度な画像操作テクニックが紹介されています。
- GIMP User Groupは、<http://gug.sunsite.dk>で、情報を掲載したWebサイトを運営しています。
- <http://www.gimp.org>は、GIMPのオフィシャルWeb ページです。
- Carey Bunks氏による『*Grokking the GIMP*』は、古いバージョンのGIMPに基づく優れた書籍です。このプログラムのいくつかの要素は変更されましたが、この書籍は、画像操作に関する優れた案内を掲載しています。この書籍のオンラインバージョンは、<http://gug.sunsite.dk/docs/Grokking-the-GIMP-v1.0/>で入手できます。



# デジタル画像コレクションの 管理

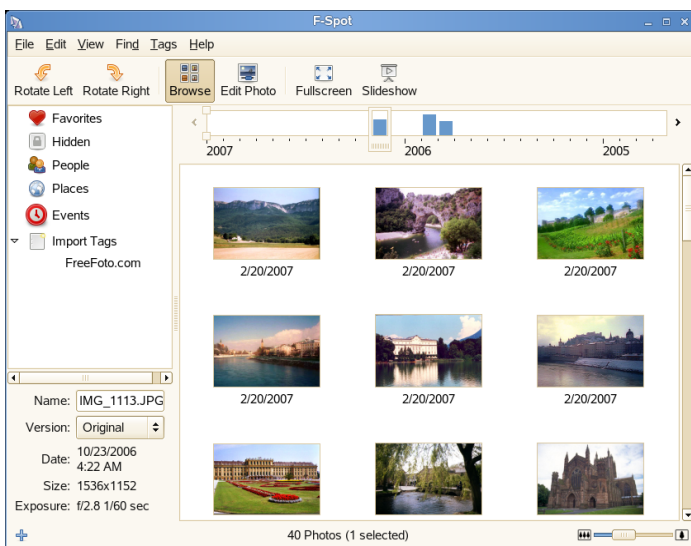
# 15

F-スポットはGNOMEデスクトップ用に設計されたデジタル画像のコレクションの管理ツールです。これを使用すると、さまざまなタグを画像に割り当てて写真を分類することができ、便利な画像編集オプションが多数用意されています。たとえば、赤目を修正したり、クロッピングを行ったり、色の明度を調整することができます。F-スポットは、JPEG、GIF、TIFF、およびRAWなど、16種類のファイル形式をサポートしています。

ハードディスク、デジカメ、またはiPodから画像をインポートすることができます。また、F-スポットを使ってPhoto CDを作成したり、Webサイトギャラリーを作成したり、画像をFlickr、23、Picasa Web、またはSmugMugなどのアカウントにエクスポートすることもできます。

F-スポットにアクセスするには、[コンピュータ] > [F-スポットフォトブラウザ] の順にクリックします。初めてF-スポットを実行した場合、コレクションにインポートする画像があるファイルフォルダを指定することができます。すでにハードドライブに画像コレクションを保存している場合は、それぞれのディレクトリへのパスを入力し、オプションとしてサブフォルダを含めます。F-スポットはこれらの画像をデータベースにインポートします。

## 図 15.1 F-スポットメインウィンドウ



F-スポットのメインウィンドウは、3つの主要領域に分割されます。選択した画像のカテゴリ、タグ、および詳細情報は、左のサイドバーと、タグまたはカテゴリが選択されているすべての画像のサムネイルに表示されます。または、どれも選択されていない場合は、コレクション全体がウィンドウの右に表示されます。

デフォルトでは、写真は新しい日付から古い日付へと表示されるため、常に最新の写真がトップにきます。写真の表示順を変更するには、**[表示] > [Reverse Order(逆順)]** の順にクリックします。

ウィンドウの最上位のメニューバーから、メインメニューにアクセスできます。メニューバーの下にあるツールバーには、以下のオプションが用意されています。

表 15.1 F-スポットツールバー

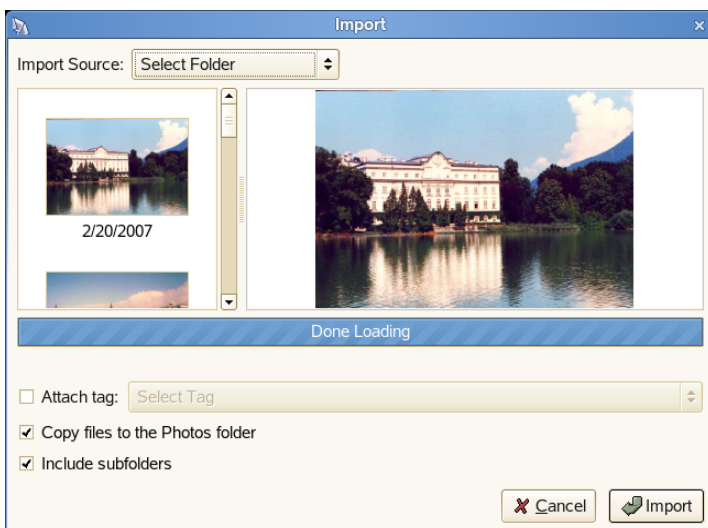
アイコン	説明
回転(左または右)	このショートカットを使用して、画像の向きを変更します。

アイコン	説明
参照	ブラウザモードでは、全体のコレクションまたはコレクションのタグ付きサブセットの表示と検索を実行できます。また、作成日で画像を検索するためにタイムラインを使用することもできます。
写真の編集	このモードでは、画像を1つ選択し、基本的な画像処理を実行できます。詳細は、「 <a href="#">15.7項「基本的な写真の編集」</a> (290 ページ)」に説明しています。
フルスクリーン	全画面表示モードに切り替えます。
スライドショー	スライドショーを開始します。

## 15.1 写真のインポート

ハードディスクやデジカメから、写真をインポートすることができます(詳細は[15.2項「カメラからの写真ダウンロード」](#) (281 ページ)を参照)。F-スポットは、ハードディスクからインポートした写真のコピーを自動的に作成します。画像のコピーを作成しない場合は、[インポート] ダイアログボックスの [写真フォルダにファイルをコピー] の選択を解除するか、または写真をF-スポットにShiftキーを押しながらドラッグしてください。

## 図 15.2 画像のF-スポットへのインポート



デフォルトでは、写真はホームディレクトリ中の /Photos ディレクトリにコピーされます。F-スポットが使用するディレクトリを変更するには、**[編集]** > **[初期設定]** の順にクリックします。

インポートするすべての写真が特定のイベントのものだったり、共通の特徴があるような場合は、後ほど簡単に見つけられるように写真のタグを作成することができます。そのためには、インポート時に **[タグの添付]** を選択し、ドロップダウンメニューから適切なタグを選択してください。

写真をインポートする

- 1 **[ファイル]** > **[インポート]** の順にクリックします。
- 2 インポート元を選択し、**[開く]** をクリックします。
- 3 写真のロードが完了したら、**[インポート]** をクリックします。

写真がカタログに追加されます。

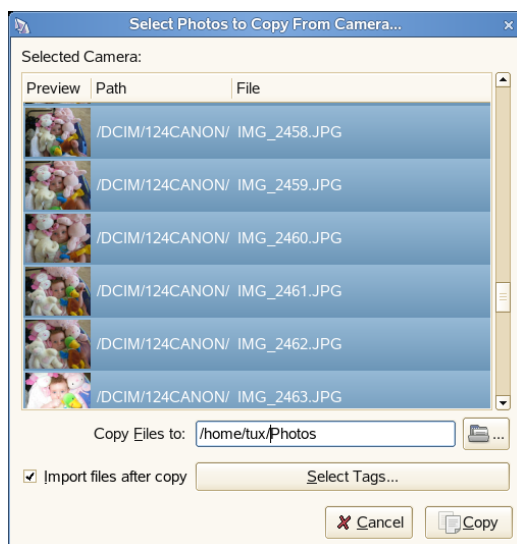


## 15.2 カメラからの写真ダウンロード

デジカメをコンピュータのUSBポートに接続して、そこから新しい画像をインポートすることができます。カメラの種類が自動的に検出されます。デジカメから写真をインポートする場合、写真のコピーが作成されます。

- 1 [ファイル] > [インポート] の順にクリックします。
- 2 インポート元としてカメラを選択します。

F-スポットはカメラからダウンロードできるすべての画像を表示するプレビューウィンドウを起動します。これらのファイルは、*[Copy Files to]* で指定されたターゲットディレクトリにコピーされます。*[コピー後にファイルをインポート]* を選択すると、カメラからコピーされたすべての画像は自動的にF-スポットのデータベースにインポートされます。*[Select Tags]* の選択で適切なタグを選択すると、タグ付けがインポートで実行されます。カメラのすべての画像をデータベースにインポートしない場合、プレビューウィンドウで不要な画像の選択を解除してください。



- 3 [コピー] をクリックします。

4 作業が完了したら、 **[OK]** をクリックします。

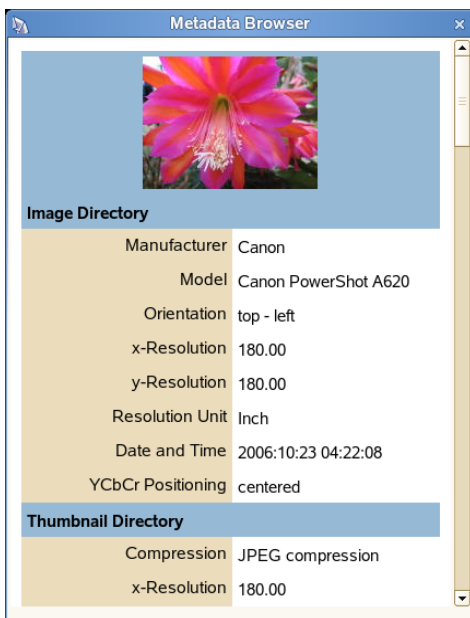
写真がカタログに追加されます。

## 15.3 写真情報の取得

画像を選択すると、その画像に関する基本的統計情報がウィンドウの左下に表示されます。この情報には、ファイル名、バージョン(コピーまたは元の写真)、作成日、サイズ、およびこの画像の作成に使用された露出が含まれています。

ファイルに関連するEXIFデータも含めた写真の詳細情報を表示するには、 **[表示]** > **[メタデータブラウザ]** をクリックします。

図 15.3 F-スポットメタデータブラウザ



## 15.4 タグの管理

このタグを使用して写真を分類し、管理可能なコレクションのサブセットを作成します。F-スポットにはデフォルトのタグが用意されています。これを変更したり、新しいタグを追加できます。たとえば、友人や家族の写真のコレクションを整理、編成するには、以下の作業を行います。

- 1 F-スポットの [参照] モードを選択します。
- 2 F-スポットウィンドウの左側のフレームから、[人物] カテゴリを選択し、次に [新しいタグの作成] を選択します。
  - 2a Friendsという新しいタグを作成します。
  - 2b Familyという新しいタグを作成します。

新しいタグが、[人物] カテゴリの下にサブカテゴリとして表示されます。

- 3 ここで、画像、または選択した画像のグループにタグを添付します。

画像を右クリックして、[タグの添付] を選択し、この画像に適切なタグを選択します。画像のグループにタグを添付するには、最初の画像をクリックしてShiftキーを押し、Shiftキーを押したまま別の画像を選択します。タグメニューを右クリックして、一致するカテゴリを選択します。

次の方法で写真にタグを付けることもできます。

- 写真をタグにドラッグアンドドロップする。
- タグを写真にドラッグアンドドロップする。
- [タグ] および [編集] メニューのオプションを使用する。
- 写真を選択してからtを押して、タグ入力バーを表示する。

タグに関連付けた最初の写真が、そのタグのアイコンとして使用されます。タグ名、親タグ、またはアイコンを変更するには、タグを右クリックして [タグの編集] を選択します。

タグの親を変更するには、タグを任意の場所にドラッグアンドドロップします。また、タグを選択してF2キーを押してタグの名前を編集することもできます。

写真にタグを付けたら、そのタグを使ってコレクションを参照することができます。前の例では、[人物] > [家族] をクリックすると、[家族] のタグが付けられた写真のコレクションだけが表示されます。タグを使用したコレクションの検索は、[検索] > [選択したタグの検索] の順にクリックしても実行できます。検索の結果は、サムネイル概要ウィンドウに評されます。

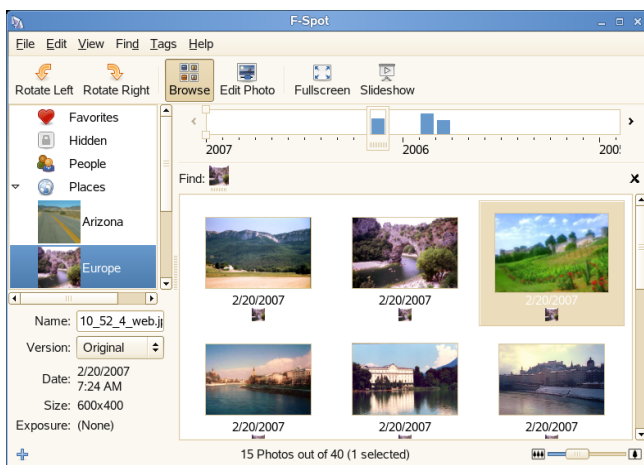
単一の画像または画像グループからのタグ削除は、タグの添付と同じように実行できます。タグ編集機能は、最上位のメニューバーの [タグ] メニューからもアクセスできます。

## 15.5 写真の検索

で説明したとおり、タグは特定の画像を検索する手段として使用することができます。**15.4項「タグの管理」** (283 ページ) また、ツールバーの下にある [タイムライン] を使用する方法もあります。タイムラインの小さなフレームをドラッグすれば、サムネイルに表示する画像を選択したタイムフレーム内に撮影された写真に限定することができます。F-スポットにはデフォルトのタイムラインが設定されていますが、スライダーをタイムラインの左右に移動して期間を変更することができます。

また、[検索] > [検索バーの表示] の順にクリックして検索を行うこともできます。表示された検索バーに、タグビューからタグをドラッグできます。

## 図 15.4 F-スポットの検索バーの表示



複数のタグが付けられた写真を検索するには、タグビューで最初のタグを選択し(またはタグを検索バーにドラッグし)、次に2番目のタグを最初のタグにドラッグアンドドロップします。また、タグビューで2番目のタグを右クリックして「選択したタグの検索方法」を選択するか、または「検索」>「選択したタグの検索方法」の順にクリックして、次に最初のタグ(またはタググループ)を選択することもできます。

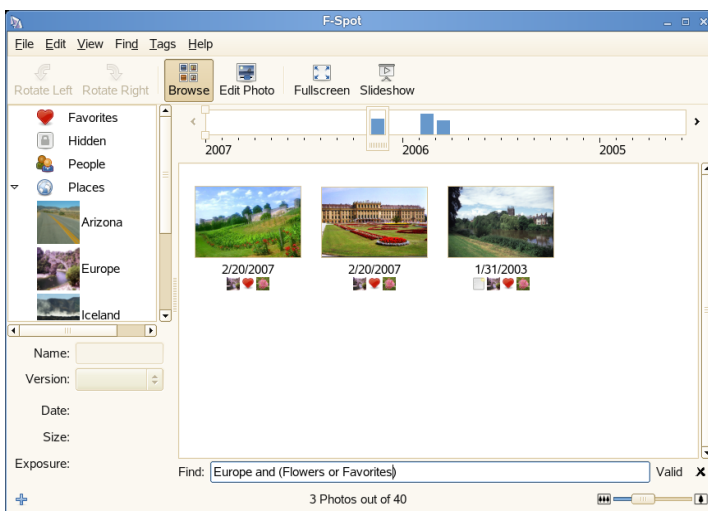
検索バーのタグをダブルクリックして、特定のタグを持たない写真を検索できます。ダブルクリックしたタグを持たない写真(または何もタグが付けられていない写真)が表示されます。また、検索バーのタグを右クリックして、「除外」を選択することができます。

検索からタグを削除するには、検索バーから削除するタグをドラッグするか、またはタグを右クリックして「削除」を選択します。

デフォルトでは、「非表示」のタグが付けられた写真は表示されません。このような写真を表示するには、検索で明示的に「非表示」のタグが付けられた写真を指定する必要があります。

文字列を入力して検索することもできます。開くには、スラッシュ(/)を押します。これは、検索バーと同時に使用することはできません。検索時には「タグA and (タグB) or (タグC and タグD)」のように入力することができます。入力中に、F-スポットが有効なクエリーと認識したら、そのクエリーに応じて検索内容が更新されます。*not*は使用できません。

## 図 15.5 入力検索



## 15.6 画像コレクションのエクスポート

F-スポットには、写真コレクションのさまざまなエクスポート機能が用意されています。

### 15.6.1 Webサイトギャラリーの作成

Gallery [<http://gallery.sourceforge.net>]として知られているPHPソフトウェアをお使いの場合は、写真を既存のアルバムに投稿することができます。ギャラリーのリモート(Remote)モジュールが有効になっていることを確認してください( [Site Admin] > [Plugins (Get More Plugins)] > [Remote] )。

他の写真ギャラリーアプリケーションとしては、PennAve [<http://pennave.sourceforge.net/>]があります。これをF-スポットと連携使用して、写真の整理、管理を行うことができます。

- 1 エクスポートする写真を選択します。

- 2 [ファイル] > [エクスポート] > [Webギャラリーにエクスポート]の順にクリックします。



- 3 画像をエクスポートするギャラリーを選択するか、[追加]をクリックして新しいギャラリーを追加します。

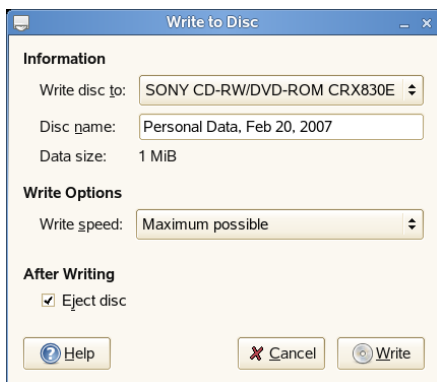
F-スポットは、指定されたWeb上のギャラリーとの接続を確立します。

- 4 画像をエクスポートするアルバムを選択し、画像の寸法を自動的に計測するかどうか決定し、タイトルとコメントをエクスポートします。
- 5 [OK] をクリックします。

## 15.6.2 写真のCDへのエクスポート

- 1 CDに書き込む写真を選択します。
- 2 [ファイル] > [エクスポート] > [CDにエクスポート] の順にクリックして、[OK] をクリックします。

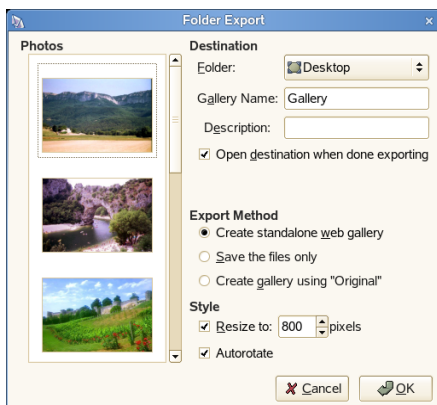
ファイルがコピーされ、[ディスク書き込み先] ダイアログボックスが表示されます。



- 3 画像ディスクの名前を入力し、書き込み速度を選択します。
- 4 **[Write]** をクリックして、CDの書き込み処理を開始します。

## 15.6.3 写真のフォルダへのエクスポート

- 1 エクスポートする写真を選択します。
- 2 **[ファイル] > [エクスポート] > [フォルダにエクスポート]** の順にクリックします。





- 3 次のエクスポート方法から選択します。

**スタンドアロンのWebギャラリーを作成:** 写真をWebサイトにエクスポートし、アップロード準備を行います。

**ファイルのみ保存:** ディレクトリ内に写真をファイルとして保存します。ギャラリーにはアップロードしません。

**「オリジナル」を使ってギャラリーを作成:** Jakub Steiner氏のOriginal Photo Gallery [<http://jimmac.musichall.cz/original.php>] ソフトウェアでできるように、写真をエクスポートします。

- 4 [OK] をクリックします。

## 15.6.4 Flickr、Picasa Web Album、SmugMug、または23アカウントへの投稿

Flickr [<http://www.flickr.com/>]、Picasa Web Album [[https://www.google.com/accounts/ServiceLogin?hl=en\\_US&continue=http%3A%2F%2Fpicasaweb.google.com%2F&passive=true&service=lh2](https://www.google.com/accounts/ServiceLogin?hl=en_US&continue=http%3A%2F%2Fpicasaweb.google.com%2F&passive=true&service=lh2)]、SmugMug [<http://www.smugmug.com/>]、または23 [<http://www.23hq.com/>]を使用している場合、F-スポットを使ってアカウントにファイルを投稿することができます。

- 1 エクスポートする写真を選択します。
- 2 [ファイル] > [エクスポート] > [Flickrにエクスポート] の順にクリックします。最後に選択する項目は、必要に応じて [Picasawebにエクスポート]、[SmugMugにエクスポート]、または [23hqにエクスポート] に変更してください。
- 3 [エクスポート] ダイアログボックスで、適切なオプションを設定します。

[エクスポート] ダイアログボックスに表示されるオプションは、エクスポート先アカウントの種類によって異なります。たとえば、Flickrおよび23の場合は、写真をアップロードするために認証が必要です。そのた

めには、[オーソライズ] をクリックしてWebブラウザを表示して、自分のアカウントにログインしてください。

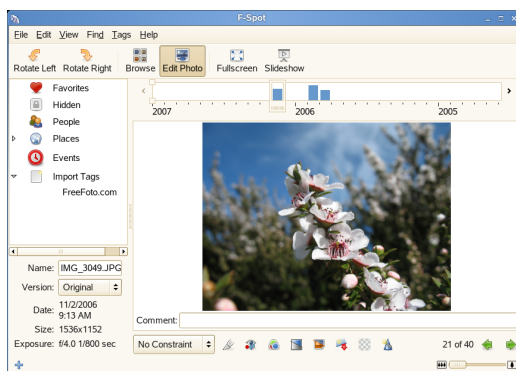
- 4 [OK] をクリックします。

## 15.7 基本的な写真の編集







F-スポットには、赤目補正、クロップ、およびメイドやコントラストの調整など、画像を編集するためのさまざまな基本機能が用意されています。


写真を編集する際には、新しいコピー(バージョン)が作成されます。元の写真は変更されません。最初に写真を修整した時に作成されたジーはジョンが、その後の編集でも使われます。写真のバージョンを複数作成する場合は(異なるクロッピングや色修正を行う場合など)、[ファイル] > [新しいバージョンの作成] の順にクリックします。オリジナルのバージョンを表示するには、[ファイル] > [バージョン] > [オリジナル] の順にクリックします。


- 1 編集する写真を選択します。
- 2 編集モードに移行するには、ツールバーの [写真の編集] アイコンをクリックするか、画像をダブルクリックするか、またはEnterキーを押します。



- 3 写真の下にあるツールバー、または [編集] メニューの項目を使って、次のような編集機能を選択できます。

機能	説明
 色の調整	<p>明度、コントラスト、および写真の色を調整するには、<b>[写真の色の調整]</b> をクリックします。必要に応じて設定を変更して、<b>[OK]</b> をクリックします。</p>
 自動カラー	<p>自動的に色レベルを調整し、バランスのとれた色彩の写真を作成します。自動ホワイトバランスで撮影された写真に最適です。この機能を利用するには、<b>[色を自動的に調節します]</b> アイコンをクリックします。</p>
コメント	<p>写真に説明やコメントを追加するには、写真の下にあるテキスト入力ボックスをクリックして、文字列を入力してください。</p>
 白黒に変換	<p>写真を白黒に変換します。</p>
 セピアトーンに変換	<p>写真をセピアトーンに変換します。</p>
 クロップ	<p>画像をクロッピングして、写真のバランスを改善することができます。写真をクロップするには、写真上の残しておきたい領域を選択します。写真を特定のプリントサイズに必要な寸法に合わせるために、<b>[制約]</b> ドロップダウンリストからさまざまな条件を選択することができます。詳細は、赤目補正機能の説明を参照してください。</p> <p>設定が完了したら、写真の下にある <b>[クロップ]</b> アイコンをクリックすると、クロップ処理が完了します。オリジナルの写真に対して作業を行っている場合、クロップにより新しいバージョンが作成されます。</p>
 赤目補正	<p>写真の赤目を補正するには、赤目のある領域を選択してください。赤目の部分を正しく選択するために、画像を拡大することもできま</p>

機能	説明
	<p>す。ある人物の両目を同時に補正したり、複数の人々の赤目を同時に補正することができます。うまく選択できなかった場合、または選択した領域に他の赤色(唇など)が含まれてしまう場合は、赤目を1つずつ補正してください。</p> <p>領域を選択するには、目的の領域の片方の角をクリックして、ドラッグしながら領域を選択し、適切な範囲を選択できたらボタンを離します。選択領域の端をドラッグしてサイズを変更したり、領域の中央をクリックして任意の場所にドラッグしながら領域を移動することができます。</p> <p>領域を選択した後に、写真の下にある <b>[赤目補正]</b> アイコンをクリックすると、赤目が補正されます。</p>
Sharpen	<p>この機能を利用するには、 <b>[編集]</b> &gt; <b>[シャープ]</b> の順にクリックします。必要に応じて <b>[量]</b>、 <b>[半径]</b>、および <b>[しきい値]</b> を調節し、 <b>[OK]</b> をクリックします。</p>
 ソフトフォーカス	<p>ある領域を強調したり、興味を惹かせるための方法として、写真のある領域をシャープにしながら、残りの領域をぼやかすことができます。ソフトフォーカス効果は、前面からの短距離撮影を行って、対象物の背景をぼかすことができるレンズをエミュレートしています。</p> <p>焦点を合わせる領域の中央を選択し、次に写真の下にある <b>[ソフトフォーカス]</b> アイコンをクリックしてください。ぼやかす程度を調整したら、 <b>[適用]</b> をクリックします。</p>

機能	説明
 傾き補正	傾き補正は、三脚を使わずに撮影した写真など、対象物が傾いて写ってしまった写真の傾きを修正するような場合に役立ちます。このツールは写真を指定された角度だけ回転し、その画像を適切な形になるよう自動的にクロッピングします。
<p>4 別の写真を編集する場合は、右下にある矢印キーを使って新しい写真に切り替えることができます。このオプションの選択は任意です。</p> <p>5 編集モードを終了するには、ツールバーの <b>[参照]</b> をクリックしてください。</p>	
<b>ティップ</b> <p>GIMPでは、プロフェッショナルな画像編集も行えます。詳細については、<a href="#">第14章 GIMPによるグラフィックスの操作</a> (257 ページ) を参照してください。</p>	

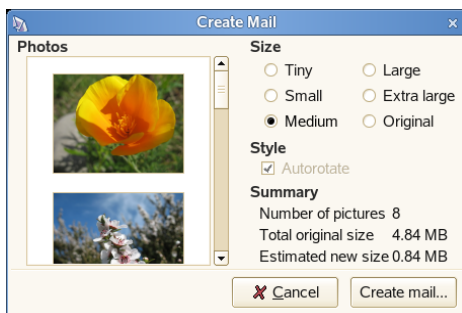
## 15.8 写真の共有

次のいずれかの方法を使って、F-スポットで写真を共有することができます。どちらの方法でも、選択した写真のみが共有されます。

### 15.8.1 写真を電子メールで送信する

F-スポットから直接写真を電子メールで送信することができます。写真は元のサイズで送信することも、サイズを変更することもできます。

- 1 電子メールする写真を選択します。
- 2 **[ファイル]** > **[メールの送信]** の順にクリックします。

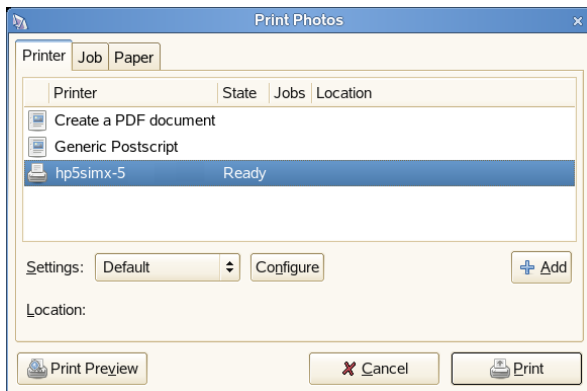


- 3 写真のサイズを選択します。
- 4 [メールの作成] をクリックします。

デフォルトの電子メールプログラムが起動し、新しい電子メールメッセージに写真が添付されます。

## 15.8.2 写真を印刷する

- 1 印刷する写真を選択します。
- 2 [ファイル] > [印刷] の順にクリックします。



- 3 使用プリンタや用紙の向きなど、適切な印刷オプションを選択したら、  
[印刷] をクリックします。





# Helix Bansheeでの音楽の再生と管理

# 16

Helix\* Banshee™は、GNOMEの音楽管理、再生用アプリケーションで、CDのインポート、音楽コレクションのiPod\*との同期化、iPod(または他のデジタルオーディオプレーヤー)からの直接の音楽再生、ライブラリからの音楽を使ったプレイリストの作成、ライブラリのサブセットからのオーディオCDやMP3 CDの作成、およびポッドキャストへの登録、ダウンロード、および試聴などの機能を提供しています。またHelix Bansheeは、Internet Radioプラグインを使って、ストリーミングオーディオにも対応しています。

Helix Bansheeを開くには、[コンピュータ] > [Helix Banshee Music Player]の順にクリックします。

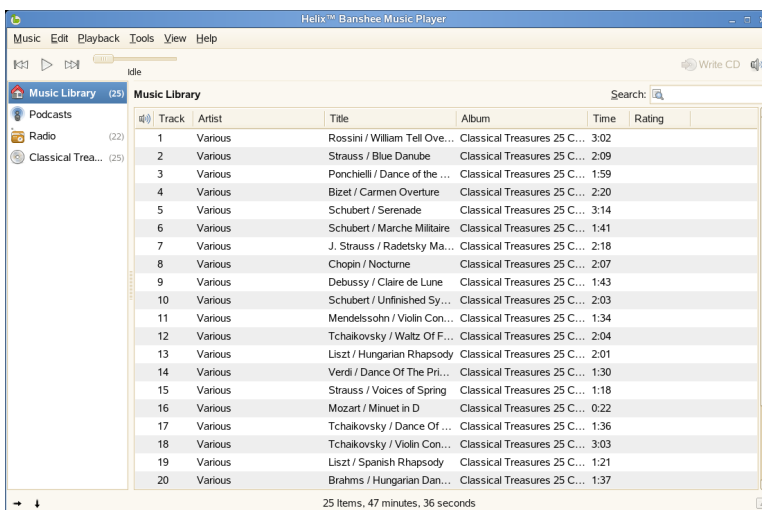
最初にHelix Bansheeを起動すると、使用許諾契約への同意を求めるメッセージが表示されます。同意すると、音楽をインポートするためのプロンプトが表示されます。ホームディレクトリ、ローカルフォルダ、またはローカルファイルなどのインポートソースを選択して、[Import Music Source] をクリックします。

## 図 16.1 音楽ライブラリをインポート



音楽のインポートに成功すると、ライブラリが表示されます。

## 図 16.2 Helix Bansheeのライブラリ



# 16.1 音楽の再生

音楽を再生するには、音楽を聴くために何が利用できるかをHelix Bansheeに知らせる必要があります。ライブラリ内にある音楽を再生することができます。つまり、ファイル、フォルダ、CDなどの外部ソースから音楽をインポー

トする必要があります。直接CDから音楽を再生することもできます。また、インターネットラジオ、ポッドキャスト、およびデジタルオーディオプレーヤーから音楽を再生することもできます (詳細は16.3項「デジタルオーディオプレーヤーでHelix Bansheeを使用する」 (308 ページ)を参照)。

## 16.1.1 音楽のインポート

Helix Bansheeはファイル、フォルダ、またはCDから音楽をインポートできます。

- 1 Helix Bansheeで、 *[Music]* > *[Import Music]* の順にクリックします。
- 2 インポートソースを選択します。
- 3 *[Import Music Source]* をクリックします。

Helix Bansheeは自動的にMusicBrainz [<http://musicbrainz.org>]にアクセスして、インポートした音楽のトラックに関する情報を取得することができます。また、カバーアートがある場合はそれも取得して、再生時に表示できます。この機能を有効にするには、 *[Edit]* > *[Plugins]* の順にクリックして、 *[Metadata Searcher]* を選択します。

## 16.1.2 音楽の再生

曲を再生するには、ライブラリから曲を選択して、左上の再生ボタンをクリックするだけです。その他のボタンを使用して、曲を一時停止したり、次または前の曲を再生できます。右側の拡声器ボタンを使用して、音量を調節します。 *[Playback]* (再生)メニューの項目を使って、音楽を繰り返したり、シャッフルすることもできます。

Helix BansheeはCDプレーヤーも統合されています。音楽CDを挿入すると、CDタイトルが左側のパネルに表示されます。タイトルを選択して再生ボタンをクリックすると、CD全体が再生されます。

## 通知エリアアイコン

Helix Bansheeを操作していない時は、ウィンドウを最小化して通知エリアに隠すことができます。この場合、トラックが変わった場合にのみ、現在の音楽を知らせるポップアップが表示されます。

このポップアップを表示しないようにするには、*[Edit] > [プラグイン] > [Notification Area Icon] > [設定]* の順にクリックして、*[曲が変わった時に通知を表示します]* の選択を解除します。

## ミニモード

ミニモード機能を利用してインタフェースを縮小し、デスクトップのスペースを広げることができます。ミニモードでは、ライブラリ、プレイリスト、および音楽デバイス間を切り替えることができます。ミニモードを利用するには、*[View] > [Mini mode]* の順にクリックします。

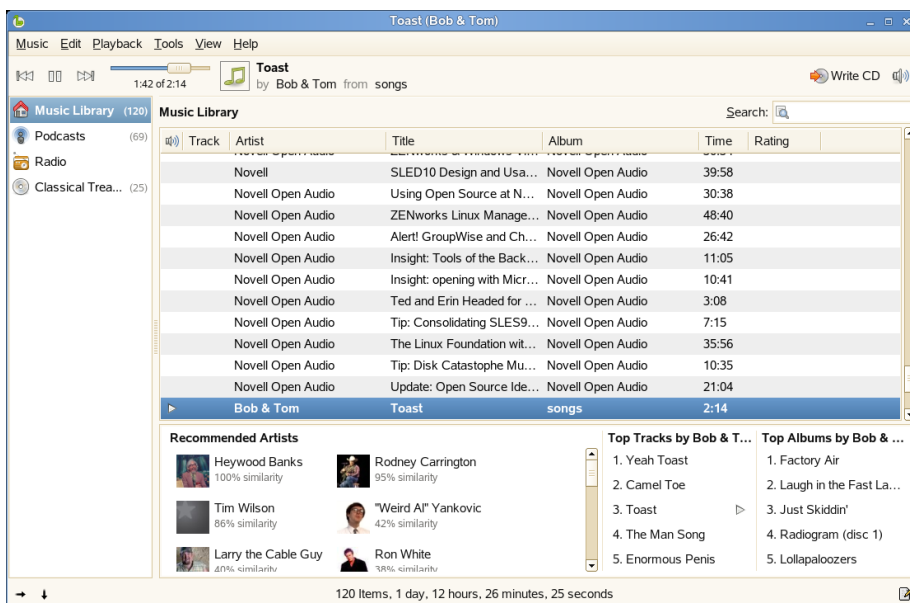
図 16.3 ミニモードのHelix Banshee



## お奨めの音楽

Helix Bansheeは、現在再生中の音楽に基づいてユーザの好みに合いそうな音楽を自動的に推奨します。音楽の雰囲気が似ているようなアーティストの音楽や人気のある音楽を探します。

## 図 16.4 Helix Bansheeのお奨めの音楽



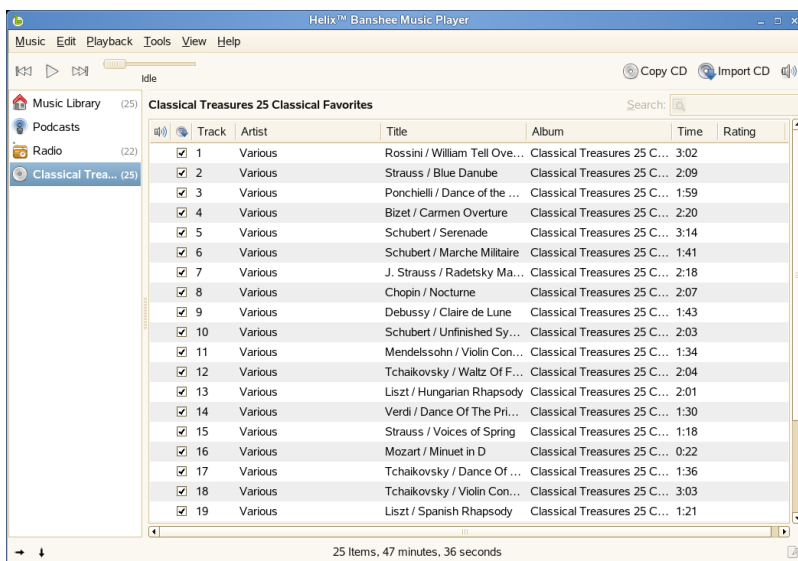
このお勧めを表示しない場合は、**[Edit] > [プラグイン]** の順にクリックして、**[Music Recommendations]** の選択を解除してください。

### 16.1.3 音楽のリッピング

CDから音楽をリッピングしてライブラリに追加する

- 1 CDまたはDVDドライブにCDを挿入します。

Helix Bansheeの左側のメニューに、CDがソースとして自動的に表示されます。



- 2 左側のソースリストからCDのタイトルを選択してから、右上の *[Import CD]* を選択します。

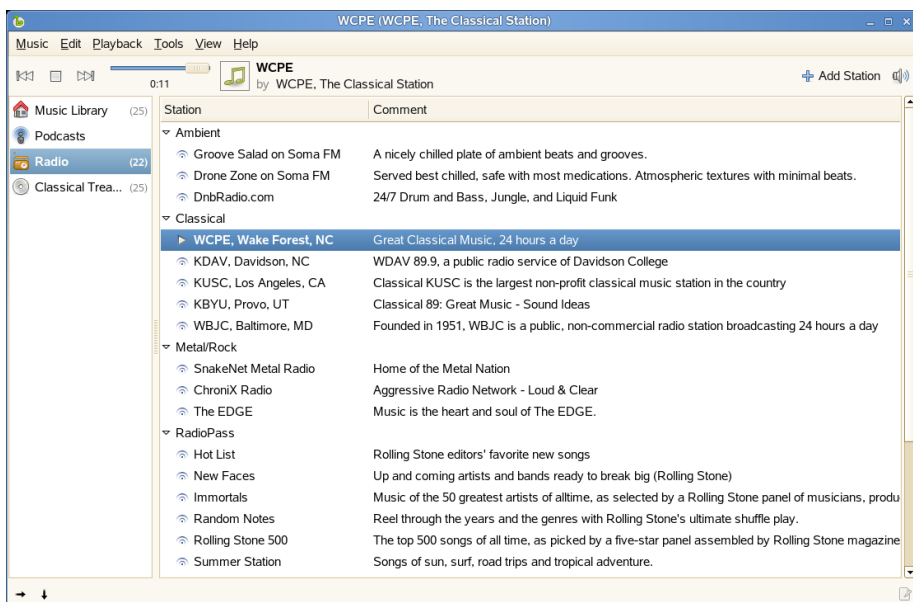
## 16.1.4 インターネットラジオの再生

Helix Bansheeを使って、インターネットラジオやストリーミングオーディオを再生することができます。Helix BansheeのRadio(ラジオ)ビューには、banshee-project.org [<http://banshee-project.org>]が運営する一般的なインターネットラジオステーションが記載されています。このリストには、自分でステーションを追加することもできます。

### インターネットラジオの再生

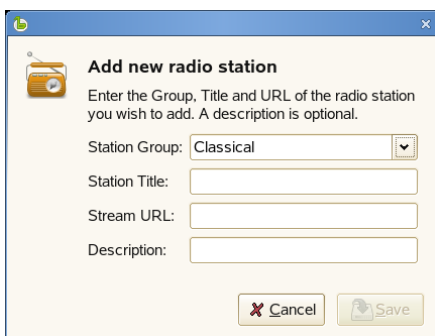
インターネットラジオを再生するには、左側のソースリストから *[Radio]* を選択して、再生するインターネットラジオステーションをダブルクリックします。

## 16.5 Helix Bansheeのインターネットラジオステーション



## 新しいインターネットラジオステーションの追加

- 1 ソースリストの [Radio] を右クリックして、[Add Station] をクリックします。



- 2 [Add new radio station] ダイアログボックスにストリームの詳細を入力したら、[保存] をクリックします。

リストに新しくステーションが追加されます。

## 16.1.5 ポッドキャストの再生

Helix Bansheeでは、ポッドキャストに登録して、ダウンロード、再生することができます。ポッドキャストは、オーディオのブログのようなもので、ユーザは登録してショーやショーのエピソードをダウンロードして、オフラインで再生することができます。

### ポッドキャストへの登録

- 1 *[Music]* > *[Subscribe to Podcast]* の順にクリックします。
- 2 登録するポッドキャストのURLを入力します。
- 3 より多くのオプションを指定するには、*[詳細設定]* をクリックして、このポッドキャストに新しいエピソードがある場合の処理を選択します。
- 4 *[Subscribe]* をクリックします。

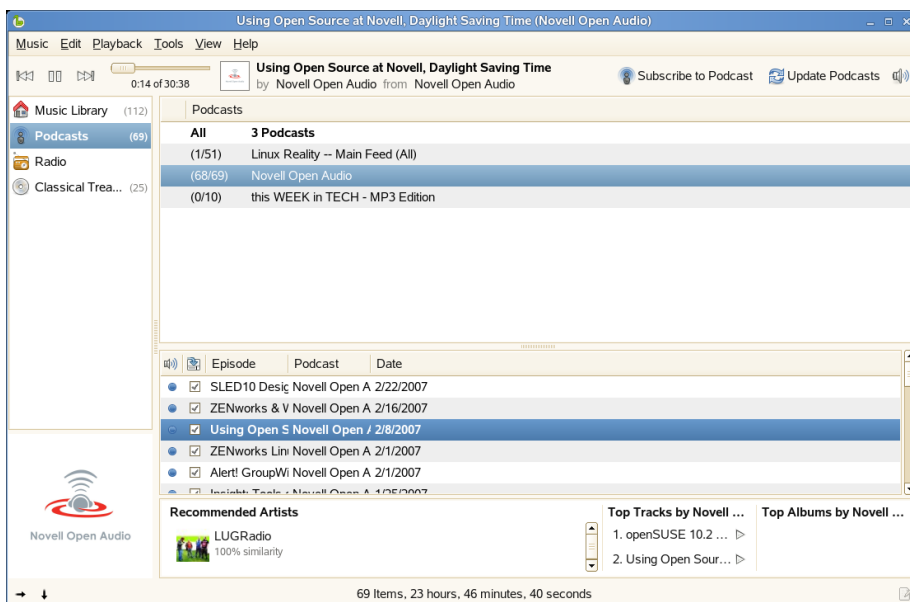
リストに新しくポッドキャストが追加されます。

### ポッドキャストの再生

ポッドキャストを再生するには、ソースリストから *[Podcast]* を選択して、再生するポッドキャストをダブルクリックします。



## ☒ 16.6 Helix Bansheeのポッドキャスト



[Tools] > [Podcast] の順にクリックして表示されるオプションを使って、ポッドキャストの更新、他のポッドキャストへの登録、または新しいポッドキャストの検索などの作業を行えます。

## 16.2 音楽ライブラリの管理

Helix Bansheeには、音楽を整理、管理するためのさまざまな機能が用意されています。似たような音楽と一緒にしたプレイリストを作成したり、音楽をソートしたり、評価することができます。再生統計(歌を最後に再生したときと再生回数)を含め、音楽コレクションに関するさまざまな情報を表示することもできます。

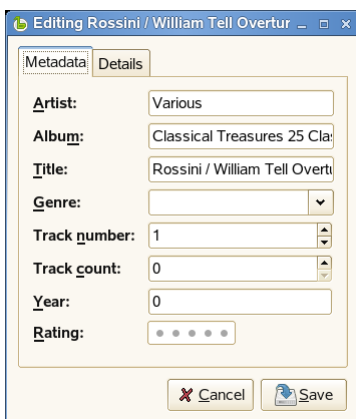
### 16.2.1 音楽の整理

新しいプレイリストを作成するには、[Music] > [新しい再生リスト] の順にクリックします(またはCtrl+Nキーを押します)。新しいプレイリストが左側のパネルの [MusicLibrary] の下に表示されます。名前を変更するには、プ

レイリストを右クリックして *[名前の変更]* を選択し、希望する名前を入力します。新しいプレイリストに登録するには、ウィンドウの右側から音楽を対応するプレイリストエントリにドラッグしてドロップするか、または *[Edit]* メニューのオプションを使用して音楽を削除し、プレイリストを名前変更または削除します。プレイリストをソートするには、タイトル列をクリックしてください。もう一度列をクリックすると、逆の順序でソートされます。また、*[Music Library]* を右クリックして、*[Sort Playlists]* を選択してプレイリストをソートすることもできます。

アーティスト名、アルバム、タイトルだけでなく、トラックナンバーやトラックカウントも編集できます。単に音楽を選択し、*[Edit]* > *[Edit Song Metadata]* の順にクリックします。また、音楽を評価することもできます。評価を付けることによって、一定の評価が付いた音楽だけを再生することができます。音楽を評価するには、*[Rating]* フィールドから、その音楽に付ける星の数を選択します。

**図 16.7** 音楽の編集ダイアログボックス



グループ内のすべてのフィールドを同じ値に設定する場合は、プレイリストで複数の曲を選択し、*[Edit]* > *[Edit Song Metadata]* の順にクリックします。必要な変更を行ったら、*[Apply common field values to all tracks]* をクリックします。*[Back]* および *[Forward]* ボタンを使って、選択した音楽を確認することができます。

ビットレート、サンプルレート、前回の音楽再生日時、音楽のインポート日時、音楽の長さ、および音楽の再生回数など、選択した音楽に関する詳細情報を表示するには、*[詳細]* タブをクリックします。

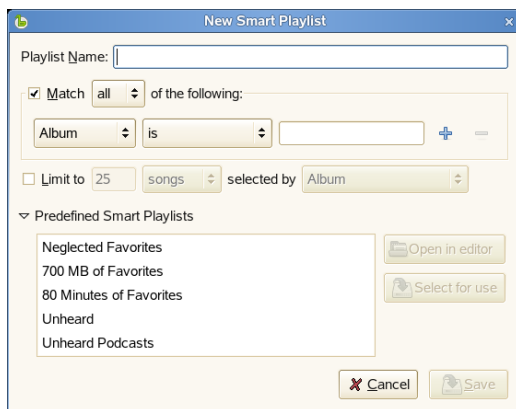
## 16.2.2 スマートプレイリストの作成

指定した基準に基づいて自動的に音楽を追加、削除するようなプレイリストを作成できます。たとえば、5つ星の評価を付けたけれども6ヶ月間聞いている音楽を入れるようなスマートプレイリストを作成することができます。また、2006年に公開された、クラシックのジャンルのすべての音楽を入れるスマートプレイリストを作成することもできます。

音楽ライブラリが変更されると、Helix Bansheeが自動的にすべてのスマートリストを更新します。新しい音楽をインポートした場合、それらの音楽がスマートプレイリストの登録条件に一致するかどうかチェックされます。また、単に音楽を再生したり、音楽のメタデータを更新した場合も、スマートプレイリストが更新されます。

### スマートプレイリストの作成

- 1 Helix Bansheeで、[Music] > [新しいスマート再生リスト] の順にクリックします。
- 2 スマートプレイリスト名を指定し、プレイリストに追加する音楽の条件を設定します。



基準を追加/削除するには、プラス/マイナス記号を使用します。すでに定義されているスマートプレイリストを使用する場合は、[Predefined Smart Playlists] をクリックしてから、目的のプレイリストを選択します。

- 3 [保存] をクリックします。音楽ライブラリにスマートプレイリストが追加されます。

## 検索からのスマートプレイリストの作成

検索基準に基づいてスマートプレイリストを作成することができます。たとえば、音楽ライブラリ中のすべての音楽に対して特定のアーティストを検索した場合、そのアーティストのすべての音楽を選択するスマートプレイリストを作成することができます。

- 1 Helix Bansheeで、[Music] > [New Smart Playlist from Search] の順にクリックします。
- 2 スマートプレイリストの名前を指定し、適切な検索基準を設定します。



基準を追加/削除するには、プラス/マイナス記号を使用します。

- 3 [保存] をクリックします。音楽ライブラリにスマートプレイリストが追加されます。

## 16.3 デジタルオーディオプレーヤーで Helix Bansheeを使用する

Helix Bansheeは、Apple iPod、Creative Nomadなどのさまざまなデジタルオーディオプレーヤー、およびほとんどすべての汎用USBマストレージプレー

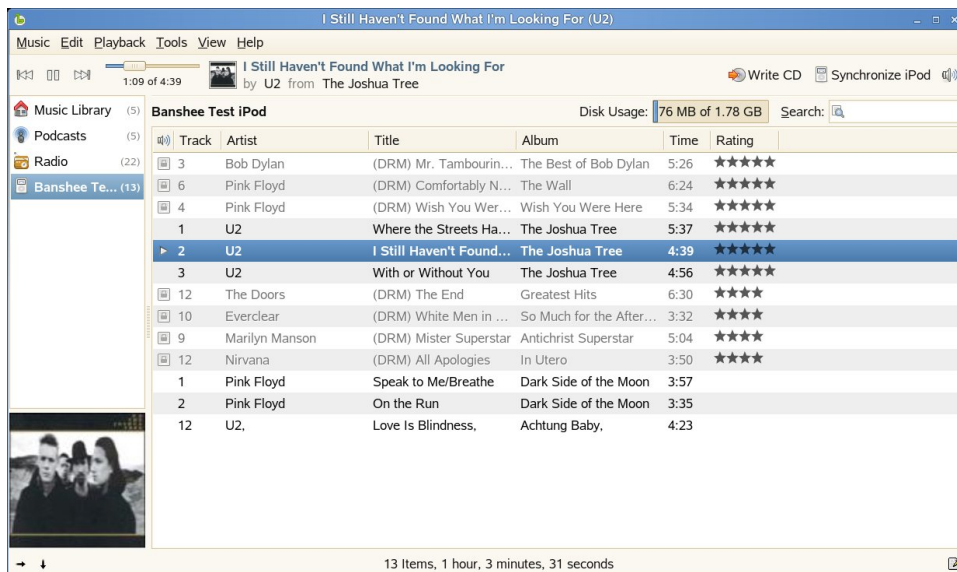
ヤーをサポートしています。これらのオーディオデバイスごとに個別のアプリケーションを使用する代わりに、**Helix Banshee**を利用すれば音楽の保管形式に関係なく、簡単にデバイスと音楽をやり取りすることができます。

## 16.3.1 デジタルオーディオプレーヤーからの音楽の再生

デジタルオーディオプレーヤーから音楽を再生するには、システムにプレーヤーを接続してください。システムがデバイスを認識すると、**Helix Banshee**の左側のパネルにアイコンが表示されます。

アイコンを選択すると、デバイスにある音楽が右のパネルに表示されます。再生する音楽をダブルクリックしてください。

 **16.8** iPod Miniからの**Helix Banshee** MP3再生



デバイスのプロパティを表示、変更するには、デバイスを右クリックして **[Source Properties]** を選択します。ここから、さまざまな情報を表示することができます。iPodがある場合は、所有者名を更新することができます。

## 16.3.2 デジタルオーディオプレーヤーへの音楽の追加

プレーヤーに音楽を追加するには、音楽ライブラリからデバイスに音楽をドラッグします。

Helix Bansheeでは、デバイスに合わせた形式で音楽を透過的に追加することができます。音楽ライブラリには、任意の形式(FLAC、OggVorbis、MP3、AAC、その他さまざまな形式)の音楽を保管できます。これらの音楽は、デジタルオーディオプレーヤーに送信する前に、透過的に変換されます。

音楽を削除するには、ソースリストからデバイスを選択して目的の音楽を右クリックし、*[Remove Song]* をクリックします。

## 16.3.3 デジタルオーディオプレーヤー上の音楽のHelix Bansheeへのコピー

Helix Bansheeでは、デジタルオーディオプレーヤーからの音楽を音楽ライブラリにインポートすることができます。デジタルオーディオプレーヤーからの音楽を音楽ライブラリにドラッグアンドドロップすれば、その音楽が自動的にコピーされます。また、ソースリストのプレーヤーを右クリックして *[Import]* を選択して、デジタルオーディオプレーヤーからすべての音楽をインポートすることもできます。

**図 16.9** デジタルオーディオプレーヤーからHelix Bansheeへの音楽のインポート



## 16.3.4 ライブラリの同期化

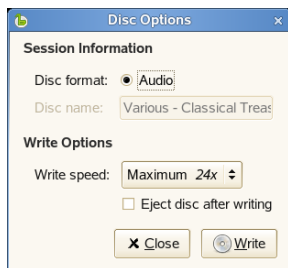
デジタルオーディオプレーヤーをHelix Bansheeと同期化するには、右上の *[Synchronize]* をクリックします。

Helix Bansheeは、評価やカバーアートもiPodと同期化します。

## 16.4 オーディオおよびMP3 CDの作成

- 1 CDまたはDVDドライブに空のCDを挿入します。
- 2 書き込む音楽を選択したら、Helix Bansheeの右上にある *[Write CD]* ボタンをクリックします。
- 3 適切なオプションを設定したら、 *[Write]* をクリックします。

たとえば、書き込みが完了したらCDを排出する場合は、 *[Eject disk after writing]* を選択します。



Helix Bansheeの左下には、書き込みの状態が表示されます。書き込みが完了すると、その旨を知らせるメッセージが表示されます。

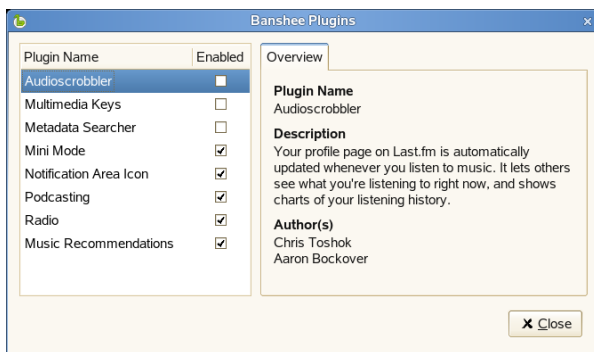
- 4 *[OK]* をクリックします。

## 16.5 音楽の共有

Helix Bansheeで再生している音楽で、オンラインのAudioscrobbler [<http://www.last.fm>]プロフィールを自動的に更新することができます。こうすることにより、他人に現在自分が聞いている音楽を公開したり、再生履歴の詳細を参照することができます。Banshee Group [<http://www.last.fm/group/Banshee>]などのグループに参加している場合は、他のユーザが聞いている音楽を参照することもできます。

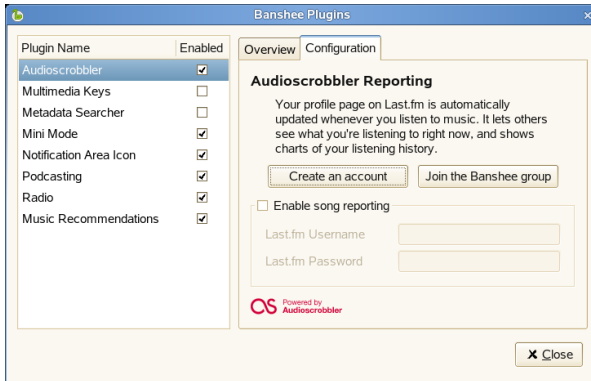
音楽を共有するには、Audioscrobblerプラグインを有効にして、音楽レポート機能を有効にする必要があります。

- 1 Helix Bansheeで、**[Edit]** > **[Plugins]** をクリックします。
- 2 左側の列から、**[Audioscrobbler]** の右にあるチェックボックスを選択します。



右側のペインの **[Overview]** タブの右に、**[Configuration]** タブが表示されます。後でAudioscrobblerを設定する場合は、**[Tools]** > **[Audioscrobbler]** > **[Configure]** の順にクリックします。



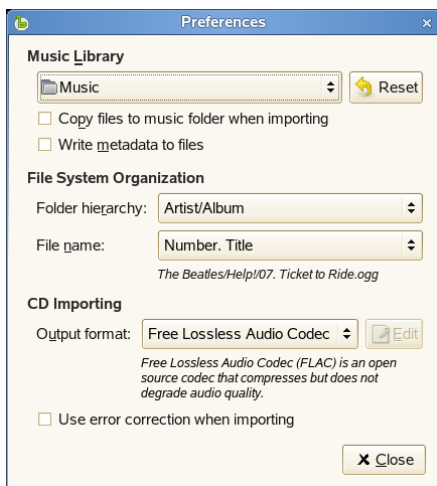


- 3 [Configuration] タブをクリックします。
- 4 すでにLast.fm [<http://www.last.fm>]に登録している場合は、[Enable song reporting] をクリックしてLast.fmのユーザ名とパスワードを指定します。

まだLast.fmに登録していない場合は、[Create an account] をクリックします。Last.fmのWebサイトが表示されます。ここから、Last.fmに登録することができます。[Enable song reporting] をクリックして、Last.fmのユーザ名とパスワードを指定します。
- 5 [Close] をクリックします。次に再生する音楽から、音楽のレポートが開始されます。
- 6 [Close] をクリックします。Audioscrobblerの設定後は、[Tools] > [Audioscrobbler] の順にクリックして表示されるオプションを使って、音楽レポート機能を有効/無効にしたり、Webページのユーザプロフィールを参照したり、所属するAudioscrobblerグループのWebページに移動することができます。

## 16.6 Helix Bansheeの初期設定の設定

- 1 [Edit] > [Preferences] の順にクリックします。



2 次のオプションから選択します。

#### Music Library

音楽フォルダの場所を指定できます。音楽をインポートする場合に使用する場所を設定します。インポートしたファイルのコピーを Helix BansheeのMusicフォルダに入れる場合は、*[Copy files to music folder when importing]* を選択します。

#### File System Organization

音楽ライブラリのフォルダ階層、およびファイル名の表示方法を指定できます。

#### CD Importing

CDリッピングのエンコード方法を指定します。適切な出力形式を選択して *[Edit]* をクリックすると、その形式の詳細オプションを設定することができます。

#### Use error correction when importing

エラー訂正ではディスク表面の擦り傷など、ディスクに関する問題の解決が試みられますが、インポートにかかる時間が大幅に長くなってしまいます。

3 変更内容を保存するには、*[Close]* をクリックします。

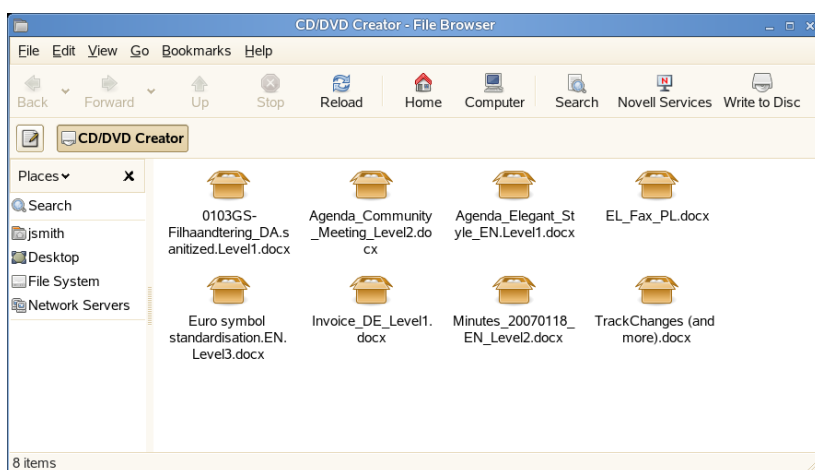
## CDとDVDの書き込み

GNOMEではNautilusファイルマネージャを使用してCDとDVDに書き込みます。CDとDVDに書き込むには、次の手順に従います。

- 1 [コンピュータ] > [その他のアプリケーション] > [Audio & Video] > [GNOME CD/DVD Creator] の順にクリックします。

空のディスクを挿入して、[Make Data CD] (データCDの作成)または[Make Audio CD] (オーディオCDの作成)をクリックすることもできます。

- 2 CDまたはDVDに保存するファイルを [CD/DVD Creator] ウィンドウにコピーします。



**3** [Write to Disc] をクリックします。

**4** [Write to Disc] ダイアログの情報を修正するか、デフォルトのまま、[書き込み] をクリックします。

ファイルがディスクに書き込まれます。書き込むデータ量や、ドライブの書き込み速度によっては、処理が完了するまで数分間かかることもあります。

オーディオCDおよびMP3CDに書き込むには、**16.4項「オーディオおよびMP3 CDの作成」** (311 ページ)に記載されているHelix Banshee音楽プレーヤーを使用できます。

# 必要な情報を検索する

お客様の日常的なSUSE Linux Enterprise®の利用をサポートし、Linuxシステムに関する理解を支援するために、Novell SUSEとオープンソースコミュニティは、さまざまな情報を提供しています。関連情報が、さまざまな形式で用意されています。たとえば、本製品に付属のドキュメントを参照したり、インターネット上のさまざまな情報を利用することができます。

## A.1 付属のドキュメント

製品に付属のオンラインドキュメントは、さまざまな場所に格納されています。GNOMEデスクトップにはHelp Centerがあり、そこからさまざまなオンラインドキュメントにアクセスすることができます。Help Centerでは、SUSE Linux Enterprise®固有の情報だけでなく、オープンソースコミュニティが提供するアプリケーションの詳細情報も利用することができます。

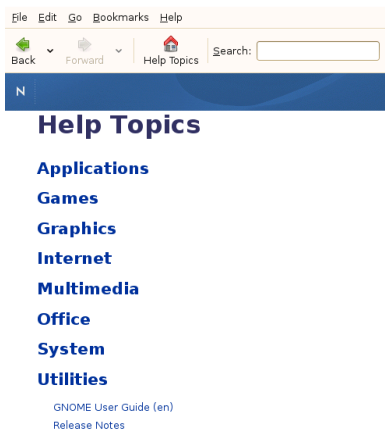
YaSTを使って新しくソフトウェアをインストールした場合、通常はそのソフトウェアのドキュメントも自動的にインストールされ、GNOMEデスクトップのHelp Centerに表示されます。ただし、GIMPなどの一部のアプリケーションは、YaSTとは別個にインストールされる独自のオンラインヘルプパッケージを利用しており、Help Centerには表示されない場合があります。

### A.1.1 GNOME Yelpの使用

GNOMEデスクトップでアプリケーションから直接Yelpを起動するには、**[Help]** ボタンをクリックするか、またはF1を押します。どちらのオブショ

ンでもHelp Centerのアプリケーションのマニュアルに直接アクセスできます。ただし、Yelpはメインメニューから、またはコマンドラインからyelpで起動することもでき、Help Centerのメインウィンドウでブラウズできます。

## ☒ A.1 Yelpのメインウィンドウ



メニューとツールバーのオプションで、Help Centerのナビゲーションとカスタマイズ、Yelpからのコンテンツの検索と印刷が可能です。目次を表示するには、*[Help Topics]* をクリックします。ヘルプトピックはカテゴリに分類され、リンクで示されています。リンクの1つをクリックすると、そのカテゴリのトピック一覧が開きます。項目を検索するには、検索文字列をウィンドウ上部の検索フィールドに入力します。

## A.2 他のリソースや詳細情報

製品で提供されているマニュアルやドキュメントは、インターネット上の<http://www.novell.com/documentation/sled10>にも用意されています。

他の情報をお探しの場合は、次のインターネットサイトも参照してください。

Novellテクニカルサポートナレッジベース  
<http://www.novell.com/support/>

製品サポートコミュニティのリソース

<http://forums.novell.com/novell-product-support-forums/>

GNOMEドキュメントWebサイト

<http://www.gnome.org/learn/>

また、一般的な検索エンジンも、目的の情報を探す場合に役立ちます。たとえば、CDの書き込み時の問題や、OpenOffice.orgファイルの変換に関する問題を調べたい場合は、「Linux CD-RWヘルプ」や「OpenOfficeファイルの変換の問題」のような用語を検索します。また、Google?にはLinux用の検索エンジン<http://www.google.com/linux>も用意されています。このエンジンを利用すれば、有益な情報を探し出すことができます。



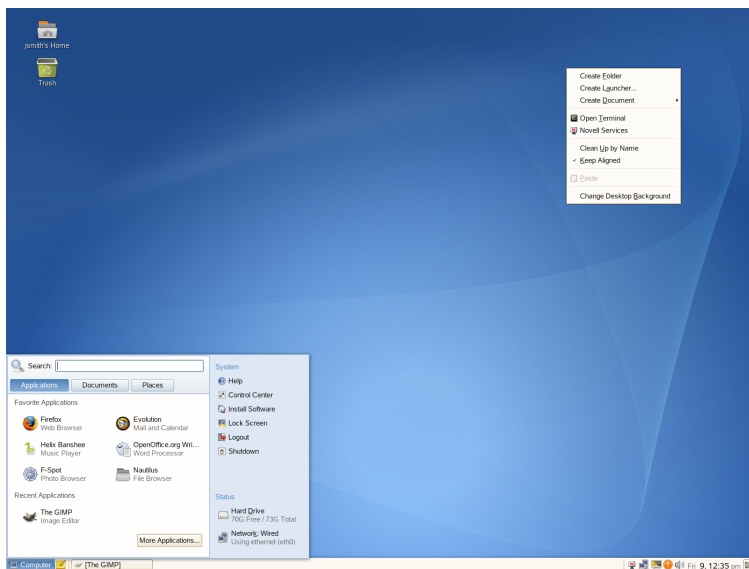


# B

## WindowsからLinuxへの移行

Microsoft WindowsからLinuxに移行された場合は、Windowsでおなじみの機能が、SUSE Linux Enterprise®ではどのようにになっているかご確認ください。ログインすると、WindowsやMacintoshデスクトップで見慣れたアイコンやレイアウトが表示されることにお気づきになるでしょう。

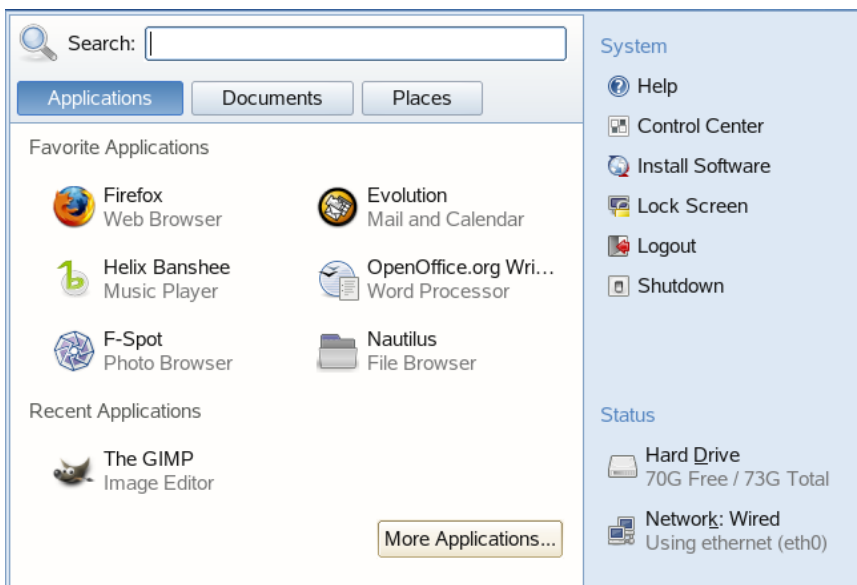
### **B.1** GNOME デスクトップ



## B.1 メインメニューからのアプリケーションの起動

Windowsの「スタート」メニューのように、お使いのシステムにインストールされているすべてのプログラムは、メインメニューから起動することができます。メニューを表示するには、パネルの左にある「コンピュータ」をクリックします。メインメニューには、通常使用するアプリケーション、および最近使ったアプリケーションが表示されます。「他のアプリケーション」をクリックすると、他のアプリケーションがカテゴリ別に表示されます。メインメニューの詳細は、[1.4項「メインメニューの使用」](#) (12 ページ)を参照してください。

### B.2 GNOMEのメインメニュー

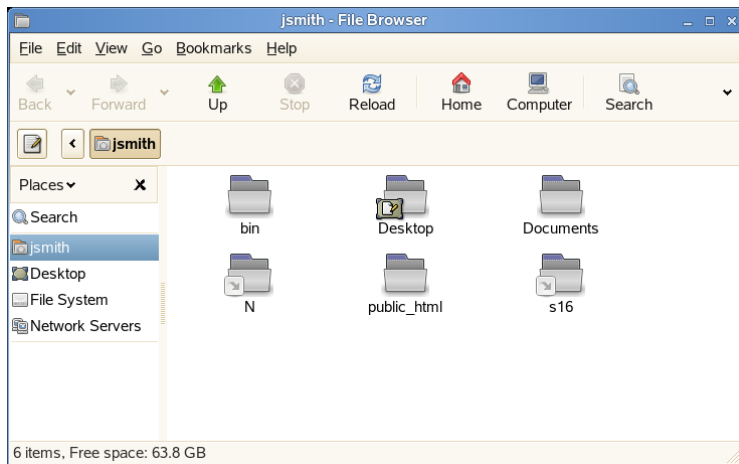


コマンドラインからプログラムを実行することもできます。この場合、**Alt + F2**キーを押して表示されるダイアログで、アプリケーションを起動するコマンドを入力します。一般的に、コマンド名はアプリケーション名を小文字表記したものになります。ただし、一部例外もあります。

## B.2 ファイルの管理

ファイルマネージャを起動するには、[コンピュータ] > [Nautilus File Browser] をクリックして、デスクトップ上のホームフォルダアイコンをクリックするか、またはAlt + F2を押してnautilusと入力します。

### ☒ B.3 ファイルマネージャ

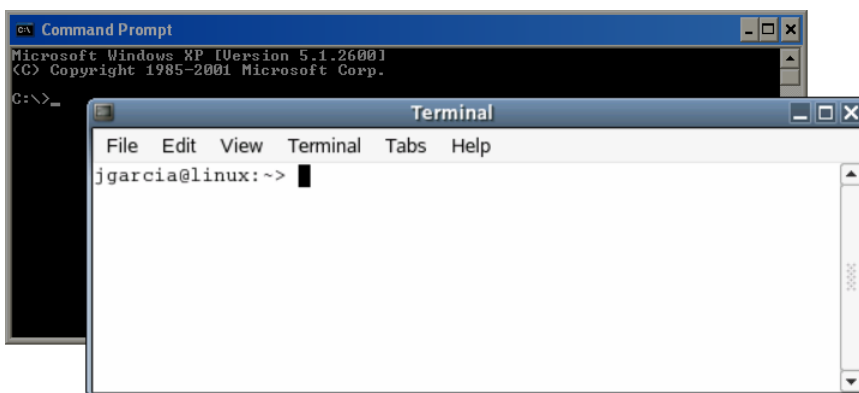


ファイルマネージャの詳細は、[1.5項「Nautilusを使ったフォルダとファイルの管理」](#) (17 ページ)を参照してください。

## B.3 コマンドラインの使用

Windowsのコマンドプロンプトに似たコマンドライン環境でコマンドを実行するには、[コンピュータ] > [他のアプリケーション] > [システム] > [GNOMEターミナル] の順にクリックします。または、Alt + F2を押してgnome-terminalと入力します。

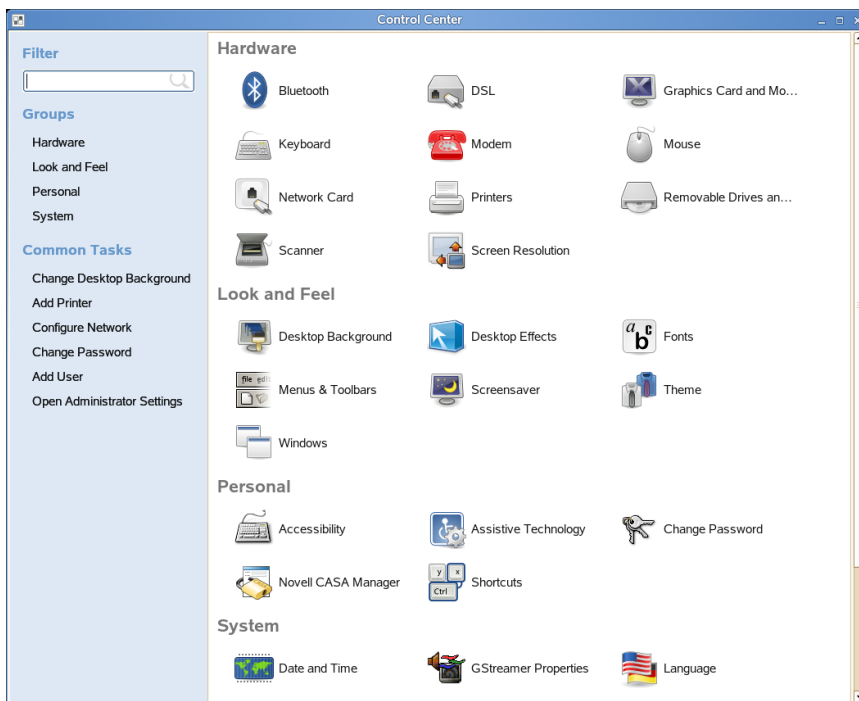
## ☒ B.4 Windows コマンドプロンプトとターミナル



## B.4 デスクトップのカスタマイズ

GNOMEデスクトップの外観と動作を変更するには、[コンピュータ] > [コントロールセンタ] の順にクリックします。変更できる設定には、デスクトップの背景、スクリーンセーバ、キーボードとマウスの設定、サウンド、およびファイルの関連付けなどがあります。

## ☒ B.5 GNOMEコントロールセンター



詳細については、[第2章 設定のカスタマイズ](#)(59 ページ)を参照してください。

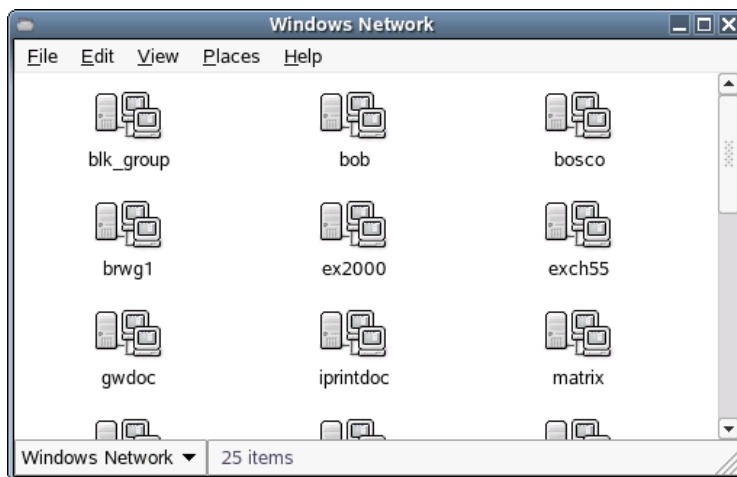
## B.5 アプリケーション間の切り替え

Windowsのタスクバーと同様に、GNOMEの下部のパネルから、開かれているウィンドウ間を素早く切り替えることができます。これらのデスクトップ間は、シングルクリックで切り替えることができます。

## B.6 ネットワークリソースへのアクセス

デスクトップから、ファイルやディレクトリ、およびリモートホスト上の特定のサービスにアクセスしたり、自分のファイルやディレクトリをネットワーク中の他のユーザに利用させることができます。SUSE Linux Enterpriseには、ネットワーク共有リソースにアクセスしたり、リソースを作成するための、さまざまな手段が用意されています。ご利用のネットワーク構造とお使いのコンピュータの設定に応じて、ネットワーク上の共有リソースやサービスをファイルマネージャを使用して簡単に参照できます。

図 B.6 GNOME ネットワーク参照



ネットワークリソースへのアクセスの詳細については、[1.6項「ネットワークリソースへのアクセス」](#) (30 ページ)を参照してください。

# Linuxソフトウェアの概要

Linuxには多くのアプリケーションが付属しているため、多くの場合、1つの問題に複数のソリューションがあります。ただし、目的に最も適したアプリケーションを見つけ出すのは容易ではありません。ここでは、一般的なWindowsソフトウェアと同等の強力なLinuxアプリケーションについて説明します。各セクションでは、それぞれ特定の分野のアプリケーションを取り上げ、Windowsアプリケーションとそれに対応するLinuxのアプリケーション、およびその概要について説明します。各項の\95\5cの後には、それぞれのLinuxアプリケーションの詳細や、他の情報へのリンクが記載されています。ソフトウェアの開発プロセスは常に進歩し、絶えず新しいアプリケーションが開発されているため、このリストが完結することはありません。

---

## ティップ: 不足アプリケーション

ここで説明されているすべてのアプリケーションがデフォルトでシステムにインストールされるとは限りません。一部のアプリケーションは、製品と同梱されていない可能性があります。使用するアプリケーションがない場合は、システム管理者にお問い合わせください。アプリケーションが製品によって提供されている場合は、YaSTを使用してそのアプリケーションをインストールできます。YaSTのソフトウェア管理ツールの検索機能を使って、パッケージを見つけてください。

---

## C.1 電話(オフィス)

ここでは、一般的で強力なLinuxのオフィスビジネス\83\5cフトウェア\83\5cリューションについて説明します。このようなソフトウェアとしては、オフィ

ススイート、データベース、財務会計ソフトウェア、およびプロジェクト管理ソフトウェアがあります。

**表 C.1** WindowsとLinuxのオフィスソフトウェア

タスク	Windowsアプリケーション	Linuxアプリケーション
オフィススイート	Microsoft Office、StarOffice*、OpenOffice.org	OpenOffice.org、StarOffice、KOffice
ワードプロセッサ	Microsoft Word、StarOffice/OpenOffice.org Writer、WordPerfect	OpenOffice.org/StarOffice Writer、KWord
表計算ソフト	Microsoft Excel、StarOffice/OpenOffice.org Calc	OpenOffice.org/StarOffice Calc、Gnumeric、KSpread
プレゼンテーション	Microsoft PowerPoint*、StarOffice/OpenOffice.org Impress	OpenOffice.org/StarOffice Impress、KPresenter
データプロット	Microsoft Excel、MicroCall Origin	OpenOffice.org Calc、Kst、Gnuplot、Grace (Xmgr)、LabPlot
ローカルデータベース	Microsoft Access、OpenOffice.org Base	OpenOffice.org Base、Rekall、kexi、Mergeant、PostgreSQL
財務会計	Microsoft Money、Quicken	GnuCash、KMyMoney
プロジェクト管理	Microsoft Project	Planner、Taskjuggler
マインドマップ	MindManager、Free Mind	VYM (View Your Mind)、Free Mind、KDissert

#### FreeMind

FreeMindを利用して、マインドマップを作成、編集することにより、自分の考えを視覚化することができます。簡単にノードおよびノードのスタイ



ルをコピーして、HTML、RTF、メールなどのソースからテキストをリ付けすることができます。インドックスは、HTMLとXMLなどのさまざまな形式にエクスポートできます。詳細については、[http://freemind.sourceforge.net/wiki/index.php/Main\\_Page](http://freemind.sourceforge.net/wiki/index.php/Main_Page)を参照してください。

### GnuCash

GnuCashは、個人および法人の財務を管理するためのソフトウェアツールです。GnuCashの詳細については、<http://www.gnucash.org>を参照してください。

### Gnumeric

Gnumericは、GNOMEデスクトップ環境用の計算リビューションです。Gnumericの詳細については、<http://www.gnumeric.org>を参照してください。

### Gnuplot

Gnuplotは、非常に強力で移植性の高い、コマンドラインで制御するデータプロット用ソフトウェアです。MacOSおよびWindowsプラットフォームでも利用可能です。Gnuplotが作成するプロットは、PostScript、PDF、SVG、およびその他の形式でエクスポートできるため、容易にプロットを処理できます。Gnuplotの詳細については、<http://www.gnuplot.info/index.html>を参照してください。

### Grace

Graceは、Linuxを含むほとんどすべてのUnixで利用できる、非常に完成された2Dプロット用ツールです。グラフィカルユーザインターフェースを使ってプロットを作成、編集します。Graceは、プロットごとにいくらかでも多くのグラフをサポートしています。エクスポート形式には、JPEG、PNG、SVG、PDF、PSおよびEPSが含まれます。詳細については、<http://plasma-gate.weizmann.ac.il/Grace/>を参照してください。

### Kdissert

Kdissertはアイデアとコンセプトを構築するためのアプリケーションで、ほとんど学生を対象としていますが、教師、意思決定責任者、エンジニア、ビジネスインなどにも有用です。まずアイデアをキャンバスに描いて、ツリーに関連付けます。インドックスから、PDFファイル、テキスト文書(OpenOffice.org Writeも適用)、HTMLファイルなどの、さまざまな出力を生成できます。詳細については、<http://freehackers.org/~tnagy/kdissert/>を参照してください。

## Kexi

詳細については、**KOffice** (330 ページ)を参照してください。

## KMyMoney

KMyMoneyは、KDEの個人用ファイナンスマネージャです。豊富な財務機能やツールを提供することにより、オープンソースのオペレーティングシステムのユーザーが個人的な財務を追跡することができます。KMyMoneyの詳細については、<http://kmymoney2.sourceforge.net>を参照してください。

## KOffice

KOfficeは、KDEデスクトップに統合されたオフィススイートです。ワードプロセッサ(KWord)、計算機ソフト(KSpread)、プレゼンテーション(KPresenter)、いくつかの画像処理アプリケーション(Kivio、Karbon14、Krita)、データベースフロントエンド(Kexi)や、他の多くのモジュールが付属しています。KOfficeの詳細については、<http://www.koffice.org/>を参照してください。

## KPresenter

詳細については、**KOffice** (330 ページ)を参照してください。

## Kst

Kstはリアルタイムのデータ表示と基本データ分析機能を使用したプロットのためのKDEアプリケーションです。Kstには、堅牢なライブストリーミングデータのプロットングなど、強力なビルトイン機能が多く含まれており、プラグインと拡張機能で拡張できます。Kstの詳細については、<http://kst.kde.org/>を参照してください。

## KWord

詳細については、**KOffice** (330 ページ)を参照してください。

## LabPlot

LabPlotは、2次元または3次元のデータプロットを作成し、管理するためのプログラムです。グラフは、データと関数の両方から生成することができます。1つのプロットが複数のグラフを含むことができます。また、様々なデータ分析方式も提供しています。LabPlotの詳細については、<http://labplot.sourceforge.net/>を参照してください。

## Mergeant

Mergeantは、GNOMEデスクトップ用のデータベースフロントエンドです。詳細については、<http://www.gnome-db.org>を参照してください。

## OpenOffice.org

OpenOffice.orgは、Microsoft Officeと同等の機能を持つオープンソースのアプリケーションです。OpenOffice.orgは、ワードプロセッサ(Write)、表計算ソフトとデータベースマネージャ(Base)、プレゼンテーションマネージャ(Impress)、描画プログラム(Draw)、および数学の方程式と式(Math)を生成する数式エディタを含む強力なオフィススイートです。アプリケーションインタフェースはMicrosoft Officeアプリケーションファミリに良く似ており、Microsoft Officeユーザに馴染みのあるすべての機能が付属します。OpenOffice.orgはMicrosoft Officeアプリケーションからデータをインポートできるため、オフィススイート間の移行もスムーズです。

OpenOffice.orgにはWindowsバージョンもあるため、WindowsユーザはWindowsを使用しながらオープンソースに切り替えることができます。OpenOffice.orgの詳細については、<http://www.openoffice.org/>を参照してください。また、本書のOpenOffice.orgに関する章でも、オフィススイートを簡単に紹介しています。

## Planner

Plannerは、Windows用のプロジェクト管理ツールと同等の機能を提供することを目的とするGNOMEデスクトップ用のプロジェクト管理ツールです。搭載されている機能としては、Ganttチャート機能、タスクとリソースのための各種のビューなどがあります。Plannerの詳細については、<http://www.imendio.com/projects/planner/>を参照してください。

## PostgreSQL

PostgreSQLは、トランザクション、外部キー、サブクエリ、トリガ、ユーザ定義の型および関数を含む標準SQLの拡張サブセットをサポートするオブジェクトリレーショナルデータベース管理システムです。PostgreSQLの詳細については、<http://www.postgresql.org/>を参照してください。

## Rekall

Rekallは、データベースを操作するツールです。サポートされているデータベースは、MySQL、PostgreSQL、XBaseとXBSQL、IBM DB2、およびODBCです。Rekallを使用すると、各種のレポートやフォームの作成、データベースクエリの設計、またはデータのインポート/エクスポートができます。Rekallの詳細については、<http://www.thekompany.com/products/rekall/>を参照してください。

### StarOffice

StarOfficeはOpenOffice.orgの独自規格のバージョンで、Sun Microsystemsが配布しています。WindowsやSolarisを含む、複数のプラットフォームで利用可能です。フリー版(OpenOffice.org)では利用できない、いくつかの高度な機能も含まれています。StarOfficeの詳細については、<http://www.sun.com/software/star/staroffice/>を参照してください。

### Taskjuggler

Taskjugglerは、軽量で強力なプロジェクト管理ソフトウェアです。Ganttチャート機能を使用するか、各種のレポート(XML、HTML、またはCSV形式)を生成してプロジェクトを制御します。アプリケーションのコマンドライン操作に慣れていないユーザは、Taskjugglerのグラフィカルフロントエンドを使用できます。Taskjugglerの詳細については、<http://www.taskjuggler.org>を参照してください。

### VYM (View Your Mind)

VYMは、マインドマップを作成および操作して思考をビジュアル化するソフトウェアです。ほとんどの操作は、1回のマウスクリックで実行できます。ブランチは、簡単に追加、削除、または並べ替えることができます。VYMは、マップの特定の部分(重要、最重要など)にフラグを付けることができます。マインドマップには、リンク、メモ、およびイメージも追加できます。VYMマップはXML形式を使用するため、HTML形式で簡単にエクスポートできます。VYMの詳細については、<http://www.insilmaril.de/vym>を参照してください。

## C.2 Network

次のセクションでは、ネットワーク用のさまざまなLinuxアプリケーションを紹介します。最も人気のあるLinuxのブラウザ、電子メール、チャットクライアントについて説明します。

表 C.2 WindowsとLinuxのネットワークソフトウェア

タスク	Windowsアプリケーション	Linuxアプリケーション
Webブラウザ	Internet Explorer、Firefox*、Opera	Konqueror、Firefox、Opera、Epiphany
電子メールクライアント/個人情報管理	Microsoft Outlook*、Lotus Notes、Mozilla Thunderbird*	Evolution、Kontact、Mozilla Thunderbird
インスタントメッセージ/IRCクライアント	MSN、AIM*、Yahoo!* Messenger、XChat、Gaim	Gaim、Kopete、Konversation、XChat
会議(オーディオとビデオ)	NetMeeting	Ekiga (以前のGnomeMeeting)
VoIP(Voice over IP)	X-Lite	Linphone、Skype
FTPクライアント	leechftp、wsftp	gftp、kbear

### Epiphany

Epiphanyは、GNOMEデスクトップ用の、軽量ながら強力なWebブラウザです。その機能と拡張子の多くは、Firefoxと似ています。Epiphanyの詳細については、<http://www.gnome.org/projects/epiphany/>を参照してください。

### Evolution

Evolutionは、メール、予定表、およびアドレス帳の機能を組み合わせたGNOMEデスクトップ用の個人情報管理ソフトウェアです。Evolutionは高度な電子メールフィルタと検索オプションおよびPalmデバイスへの同期機能を提供し、ExchangeまたはGroupWiseクライアントとして実行することもできるため、異種環境への統合性も良好です。Evolutionの詳細については、「<http://www.gnome.org/projects/evolution/>」を参照してください。

### Firefox

FirefoxはMozillaブラウザファミリの最新のメンバーで、Linux、MacOS、Windowsを含むさまざまなプラットフォームで動作します。Firefoxの主な

機\94\5cとしては、カスタ\83\7dイズ可\94\5cな内蔵検索機\94\5c、ポップアップブロッキング、RSSニュースフィード、パスワード管理、タブ付きブラウズ、および高度なセキュリティとプライバシーのオプションがあります。Firefoxでは、検索、ツールバー、スキン、\83\7bタンなどのほとんどすべての機\94\5cを柔軟にカスタ\83\7dイズできます。便利なアドオンや拡張機能がFirefoxのWebサイト(<https://addons.update.mozilla.org/?application=firefox>)からダウンロードできます。Firefoxの詳細については、<http://www.mozilla.org/products/firefox/>を参照してください。『*KDE*ユーザガイド』または『*GNOME*ユーザガイド』のFirefoxの章も参照してください。

### Gaim

Gaimは、AIMとICQ(Oscarプロトコル)、MSN Messenger、Yahoo!\*, IRC、Jabber、SILC、GroupWise Messenger®などの複数のプロトコルをサポートする高機能インスタントメッセンジャプログラムです。Gaimを使用すると、複数のIMネットワークのアカウントにログインして同時に異なるチャネルでチャットできます。GaimにはWindowsバージョンもあります。最近、GaimはPidginに名前が変更されました。Pidginの詳細については、<http://www.pidgin.im/>を参照してください。

### gftp

gftpは、GTKツールキットを使用するFTPクライアントです。同時ダウンロード、中断されたファイル転送の再開、ファイル転送キュー、ディレクトリ全体のダウンロード、FTPプロキシのサポート、リモートディレクトリのキャッシング、パッシブおよび非パッシブのファイル転送、ドラッグアンドドロップのサポートといった機能が含まれています。詳細については、<http://gftp.seul.org>を参照してください。

### kbear

kBearは、複数のホストへの同時接続、3つのビューモード、複数のプロトコル(ftp、sftpなど)のサポート、サイト\83\7dネージャプラグイン、ファイアウォールのサポート、ログ機\94\5c、およびその他の多くの機\94\5cがあるKDE FTPクライアントです。詳細については、<http://sourceforge.net/projects/kbear>を参照してください。

### Konqueror

Konquerorは、KDEの開発者たちに作成された、多目的のアプリケーションです。ファイルマネージャやドキュメントビューアとして動作しますが、非常に強力でカスタマイズ性の高いWebブラウザでもあります。KonquerorはCSS(2)、Javaアプレット、JavaScript、Netscapeプラグイン

(Flash、RealVideo)、DOM、SSLなどの最新のWeb標準をサポートします。また、統合された検索バーなどの軽量ヘルパー機能を提供し、タブ付きブラウズもサポートします。Internet Explorer、Mozilla、Operaなどのその他のWebブラウザからブックマークをインポートすることもできます。Konquerorの詳細については、<http://www.konqueror.org/>を参照してください。Konquerorについては、『*KDE ユーザガイド*』のWebブラウザの章も参照してください。

## Kontact

Kontactは、KDEの個人用情報管理スイートです。電子メール、カレンダー、アドレス帳、Palmとの同期機能が含まれています。Evolutionのように、ExchangeやGroupWiseのクライアントとして動作することができます。KontactはスタンドアロンのKDEアプリケーション(KMail、KAddressbook、KOrganizer、およびKPilot)を組み合わせ、必要なすべてのPIM機能を提供するエンティティを形成します。Kontactの詳細については、<http://www.kontact.org/>を参照してください。『*KDE ユーザガイド*』のKontactに関する章も参照してください。

## Konversation

Konversationは、KDE用の使いやすいIRCクライアントです。SSL接続のサポート、ストライクアウト、複数チャネルの参加、退出と復帰のメッセージ、無視リストの機能、Unicode、サーバへの自動接続、チャットウィンドウへのタイムスタンプの表示、設定可能な背景色といった機能が含まれています。Konversationの詳細については、<http://konversation.kde.org>を参照してください。

## Kopete

Kopeteは、IRC、ICQ、AIM、GroupWise Messenger、Yahoo、MSN、Gadu-Gadu、Lotus Sametime、SMSメッセージ、Jabberなどのプロトコルをサポートする直感的で使いやすいインスタントメッセンジャーツールです。Kopeteの詳細については、<http://kopete.kde.org/>を参照してください。『*KDE ユーザガイド*』のKopeteに関する章も参照してください。

## Linphone

Linphoneは、高機能で軽量なVoIP (Voice over IP)クライアントで、SIPプロトコルを使用して通話します。詳細については、<http://www.linphone.org/>を参照してください。Linphoneの章もお読みください。

## Mozilla Thunderbird

Thunderbirdは、Mozillaスイートの一部となる、電子メールクライアントアプリケーションです。Microsoft WindowsやMacOSでも利用可能で、それらのいずれかのオペレーティングシステムからLinuxへの移行を容易にします。Mozilla Thunderbirdの詳細については、<http://www.mozilla.org/products/thunderbird/>を参照してください。

## Opera

Operaは、必要に応じて電子メールクライアント、チャットモジュールなどの便利なアドオンを搭載できる強力なWebブラウザです。Operaは、ポップアップブロッキング、RSSニュースフィード、カスタマイズ可能な内蔵検索機能、パスワードマネージャ、およびタブ付きブラウザを提供します。主な機能には、それぞれのパネルを介して簡単にアクセスできます。このツールにはWindows用もあるため、Windowsユーザも容易にLinuxに移行できます。Operaの詳細については、<http://www.opera.com/>を参照してください。

## Skype

Skypeは付く数のプラットフォーム(Linux、Windows、Mac Os X)用のアプリケーションで、優れた音質とエンドツーエンドの暗号化を使用して、インターネット上での通話に使用できます。Skypeを使用するときは、ファイアウォールまたはルータの設定は不要です。詳細については、<http://www.skype.com/>を参照してください。

## XChat

XChatはWindowsとMacOS Xだけでなく、ほとんどのLinuxとUNIXプラットフォームで動作するIRCクライアントです。<http://www.xchat.org/>

# C.3 マルチメディア

次のセクションでは、Linux用の最も人気のあるマルチメディアアプリケーションを紹介します。ディープラーナー、サウンド編集ソリューション、およびビデオ編集ツールについて解説します。



**表 C.3** WindowsとLinuxのマルチメディアソフトウェア

タスク	Windowsアプリケーション	Linuxアプリケーション
オーディオCDプレーヤー	CD Player、Winamp、Windows Media Player	KsCD、Grip、Helix Banshee
CDバーナー	Nero、Roxio Easy CD Creator	K3b
CDリッパー	WMPlayer	kaudiocreator、Sound Juicer、Helix Banshee
オーディオプレーヤー	Winamp、Windows Media Player、iTunes	amaroK、XMMS、Rhythmbox、Helix Banshee
ビデオプレーヤー	Winamp、Windows Media Player	Kaffeine、MPlayer、Xine、XMMS、Totem、RealPlayer
オーディオエディタ	SoundForge、Cooledit、Audacity	Audacity
サウンドミキサー	sndvol32	alsamixer、Kmix
楽譜作成	Finale、SmartScore、Sibelius	LilyPond、MusE、Noteedit、Rosegarden
ビデオの製作と編集	Windows Movie Maker、Adobe Premiere、Media Studio Pro、MainActor	MainActor、Kino
テレビの再生	AVerTV、PowerVCR 3.0、CinePlayer DVR	xawtv (analog)、motv (analog)、xawtv4、tvtime、kdetv、zapping

#### amaroK

amaroKメディアプレーヤーはさまざまなオーディオ形式に対応し、インターネットラジオ局のストリーミングオーディオ放送を再生できます。

amaroKはバックエンドとして動作するサウンドサーバがサポートするファイルタイプを処理できます(現在はaRtsまたはGStreamer)。amaroKの詳細については、<http://amarok.kde.org/>を参照してください。『*KDE ユーザガイド*』のamaroKに関する章も参照してください。

### Audacity

Audacityは無料の強力なサウンド編集ツールで、Ogg VorbisまたはWAVファイルの録音、編集、および再生ができます。トラックのミキシングや効果の適用も実行でき、結果をWAVまたはOgg Vorbisにエクスポートできます。Audacityの詳細については、<http://audacity.sourceforge.net/>を参照してください。

### Helix Banshee

Helix Bansheeは、GNOMEデスクトップ用の音楽管理および再生アプリケーションです。Helix Bansheeを使用すると、CDのインポート、iPodへの音楽コレクションの同期、iPodからの音楽の直接再生、ライブラリからの曲の再生リストの作成、ライブラリのサブセットからのオーディオおよびMP3 CDの作成などを行うことができます。詳細は、『*GNOME ユーザガイド*』を参照してください。

### Grip

GripはGNOMEデスクトップにCDプレーヤーの機能を提供します。トラックとアルバムデータのCDDb検索をサポートします。詳細については、<http://www.nostatic.org/grip/>を参照してください。

### Kaffeine

Kaffeineは、Ogg Vorbis、WMV、MOV、AVIを含む幅広いオーディオおよびビデオ形式をサポートする多機94'5c'83'7dルチメディアアプリケーションです。さまざまなタイプのプレイリストをインポートして編集し、スクリーンショットを作成し、メディアストリームをローカルハードディスクに保存できます。Kaffeineの詳細については、<http://kaffeine.kde.org/>を参照してください。

### KAudiocreator

KAudiocreatorは、軽量のCDリッパーアプリケーションです。KAudiocreatorは選択内容に応じて再生リストファイルを生成することもできます。amaroK、XMMS、またはHelix Bansheeなどのプレーヤーは、これを使用して再生できます。KAudiocreatorの使用方法的詳細については『*KDE ユーザガイド*』、または<http://www.icefox.net/programs/?program=KAudiocreator>を参照してください。

## kdetr

KDEデスクトップ用のアナログテレビの再生と録画のためのアプリケーションです。kdetrの詳細については、<http://kde-apps.org/content/show.php?content=11602>を参照してください。

## KsCD

KsCDは、KDEデスクトップ用の、軽量で小型のCDプレーヤーアプリケーションです。ユーザインタフェースは通常のハードウェアCDプレーヤーに非常によく似ているので、使いやすくなっています。KsCDはCDDDBをサポートし、インターネットまたはローカルのファイルシステムからトラックやアルバムの情報を取得できます。詳細については、<http://docs.kde.org/en/3.3/kdemultimedia/kscd/>を参照してください。

## K3b

K3bは多機能メディア作成ツールで、ドラッグアンドドロップ操作によってデータ、オーディオ、ビデオCD、およびDVDプロジェクトを作成できます。Kbの詳細については、<http://www.k3b.org/3>を参照してください。K3bの章を参照することもできます。

## LilyPond

LilyPondは無料の楽譜エディタです。入力フォーマットはテキストベースのため、任意のテキストエディタを使用して楽譜を作成できます。ユーザはスペース、改行、ポリフォニーの衝突などの書式や表記の問題を処理する必要はありません。LilyPondでは、このような問題はすべて自動的に解決されます。コード名、タブラチュアなどの多くの特別な記法もサポートされます。出力は、PNG、TeX、PDF、PostScript、およびMIDIでエクスポートできます。LilyPondの詳細については、<http://lilypond.org/web/>を参照してください。

## MainActor

MainActorは、フル装備のビデオオーサリングソフトウェアです。MainActorにはWindowsバージョンがあるため、Windowsから簡単に移行できます。MainActorの詳細については、<http://www.mainactor.com/>を参照してください。

## MPlayer

MPlayerはいくつかのシステム上で実行できるムービープレイヤーです。MPlayerの詳細については、<http://www.mplayerhq.hu/homepage/design7/info.html>を参照してください。

## MusE

MusEのゴールは、Linux用の完全な\83\7dルチトラック仮想スタジオになることです。MusEの詳細については、<http://www.muse-sequencer.org/index.php>を参照してください。

## Noteedit

NoteeditはLinuxの強力な楽譜エディタです。Noteeditを使用すると、楽譜を作成し、MIDI、MusicXML、LilyPondなどの多くの形式で楽譜をインポートおよびエクスポートできます。Noteeditの詳細については、<http://developer.berlios.de/projects/noteedit/>を参照してください。

## Rhythmbox

Rhythmboxは、GNOMEデスクトップ用の強力な、多目的のメディアプレーヤです。プレイリストを使用してミュージックコレクションを整理し、ブラウズすることができます。インターネットラジオもサポートしています。Rhythmboxの詳細については、<http://www.gnome.org/projects/rhythmbox/>を参照してください。

## Rosegarden

Rosegardenは無料の作曲編曲環境で、オーディオ、MIDIシーケンサ、および楽譜エディタ機能を提供します。Rosegardenの詳細については、<http://rosegardenmusic.com/>を参照してください。

## Sound Juicer

Sound Juicerは、GNOMEデスクトップ用の軽量なCDリッパーアプリケーションです。Sound Juicerの詳細については、<http://www.burtonini.com/blog/computers/sound-juicer>を参照してください。

## Totem

Totemは、GNOMEデスクトップ用のムービープレーヤーアプリケーションです。Shoutcast、m3u、asx、SMIL、およびraの再生リストをサポートし、キー\83\7bードでのコントロールが可\94\5cです。幅広いオーディオおよびビデオ形式を再生します。Totemの詳細については、<http://www.gnome.org/projects/totem/>を参照してください。

## tvtime

tvtimeは、アナログテレビの再生のための軽量アプリケーションです。tvtimeの詳細と使用方法については、<http://tvtime.sourceforge.net/>を参照してください。

### xawtvとmotv

xawtvはアナログテレビをサポートするテレビの再生と録画のためのアプリケーションです。xawtvプロジェクトの詳細については、<http://linux.bytesex.org/xawtv/>を参照してください。

### xawtv4

xawtv4はxawtvアプリケーションの後継バージョンで、アナログとデジタルの両方のオーディオ/ビデオ放送をサポートします。詳細については、<http://linux.bytesex.org/xawtv/>を参照してください。

### Xine

Xineは、CD、DVD、およびVCDを再生するマルチメディアプレイヤーです。多くのマルチメディア形式を解釈します。詳細については、<http://xinehq.de/>を参照してください。

### XMMS

XMMSは一般的なマルチメディア再生アプリケーションで、音楽再生に焦点を合わせ、CDとOgg Vorbisファイルの再生をサポートします。XMMSはWinampに似ているため、Winampのユーザは快適に使用できます。XMMSの詳細については、<http://www.xmms.org/>を参照してください。

### zapping

GNOMEデスクトップ用のアナログテレビの再生と録画のためのアプリケーションです。Zappingの詳細については、<http://zapping.sourceforge.net/Zapping/index.html>を参照してください。

## C.4 グラフィックス

ここでは、グラフィックス処理のためのLinuxソフトウェアソリューションについて説明します。これらのソフトウェアには、フル装備のイメージ処理ツール、強力なレンダリングおよびアニメーションプログラムだけでなく、簡単な描画アプリケーションもあります。

**表 C.4** WindowsとLinuxのグラフィックスソフトウェア

タスク	Windowsアプリケーション	Linuxアプリケーション
簡単なイメージ編集	Microsoftペイント	KolourPaint

タスク	Windowsアプリケーション	Linuxアプリケーション
プロフェッショナル イメージ編集	Adobe Photoshop、Paint Shop Pro、Corel PhotoPaint、GIMP	GIMP、Krita
ベクタイメージの作 成	Adobe Illustrator、 CorelDraw、OpenOffice.org Draw、Freehand	OpenOffice.org Draw、 Inkscape、Dia
SVG編集	WebDraw、Freehand、Adobe Illustrator	Inkscape、Dia、Kivio
3Dイメージの作成	3D Studio MAX、Maya、 POV-Ray、Blender	POV-Ray、Blender、 KPovmodeler
デジタル写真の管理	カメラメーカーが提供するソ フトウェア	DigiKam、F-スポット
スキャン	Vuescan	Vuescan、GIMP
イメージビューア	ACDSee	gwenview、gThumb、 Eye of Gnome、f-spot

### Blender

Blenderは、Windows、MacOS、Linuxを含む多くのプラットフォームで  
使用できる強力なレンダリング/アニメーションツールです。Blenderの詳細  
については、<http://www.blender3d.com/>を参照してください。

### Dia

DiaはVisioに対するLinuxの同等製品を目的とするLinuxアプリケーション  
で、ネットワーク、UMLチャートなど、多くの特殊なダイアグラムをサ  
ポートします。エクスポートの形式には、SVG、PNG、EPSがあります。  
カスタムのダイアグラムタイプをサポートするには、新しい形状を特別な  
XML形式で指定します。Diaの詳細については、<http://www.gnome.org/projects/dia/>を参照してください。

### Digikam

Digikamは、KDEデスクトップ用の高機能デジタル写真管理ツールです。  
数回のクリックでデジタルイメージをインポートして整理できます。アル

バムを作成してタグを追加すると、複数のサブディレクトリにイメージをコピーせずにWebサイトにイメージをエクスポートできます。Digikamの詳細については、<http://www.digikam.org/>を参照してください。また、『KDEユーザガイド』のDigiKamに関する章も参照してください。

### Eye of Gnome (eog)

Eye of Gnomeは、GNOMEデスクトップ用の画像ビューアアプリケーションです。詳細については、<http://www.gnome.org/projects/eog/>を参照してください。

### F-Spot

f-spotは、GNOMEデスクトップ用の、柔軟なデジタル写真管理ツールです。アルバムの作成と管理、HTMLページなどの様々なエクスポートオプションのサポート、画像アーカイブのCDへの書き込みなどが行えます。また、f-spotをコ'\83\7dンドラインの画像ビューアとして使用することもできます。f-spotに関する詳細は、<http://www.gnome.org/projects/f-spot/>を参照してください。また、『GNOMEユーザガイド』の該当する章も参照してください。

### gThumb

gThumbはGNOMEデスクトップ用のイメージビューア、ブラウザ、オーガナイザで、gphoto2によるデジタルイメージのインポートをサポートし、基本的な変換および修正を実行でき、一定の分類規則に従ってイメージにタグを付けてアルバムを作成できます。gThumbの詳細については、<http://gthumb.sourceforge.net/>を参照してください。

### Gwenview

Gwenviewは、KDE用のシンプルな画像ビューアです。フォルダツリーウィンドウとファイルリストウィンドウがあり、ファイルの階層'\8d\5c造内を簡単に移動できます。詳細については、<http://gwenview.sourceforge.net/home/>を参照してください。

### Inkscape

Inkscapeは無料のSVGエディタです。Inkscapeは、Adobe Illustrator、Corel Draw、およびVisioと同様の機'\94\5cとユーザインタフェースを提供します。Inkscapeには、SVGからPNGへのエクスポート、レイヤー、変換、グラデーション、オブジェクトのグループ化の機能があります。Inkscapeの詳細については、<http://www.inkscape.org/>を参照してください。

## Kivio

Kivioは、KOfficeスイートに統合されている、フローチャート用アプリケーションですこれまでのVisioのユーザは、Kivioのルックアンドフィールに親しみを感じるでしょう。Kivioの詳細については、<http://www.koffice.org/kivio/>を参照してください。

## KolourPaint

KolourPaintは、KDEデスクトップ用の使いやすいペイントプログラムです。このプログラムを使用して、ダイアグラムのペイントや描画、スクリーンショット、写真、アイコンの編集などのタスクを実行できます。詳細については、<http://kolourpaint.sourceforge.net/>を参照してください。

## KPovmodeler

KPovmodelerは、KDEデスクトップと統合されている、POV-Rayのフロントエンドです。KPovmodelerを使えば、POV-Rayスクリプトについての詳しい知識がなくても、分かりやすいツリービューからPOV-Ray言語への変換が行えます。ネイティブなPOV-RayスクリプトをKPovmodelerにインポートすることもできます。詳細については、<http://www.kpovmodeler.org>を参照してください。

## Krita

Kritaは、Adobe PhotoshopとThe GIMPに対するKOfficeの解答です。ピクセルベースの画像作成および編集に使用することができます。通常Adobe PhotoshopやThe GIMPにあるような、多くの高度な画像編集機能を備えています。詳細については、<http://www.koffice.org/krita>を参照してください。

## OpenOffice.org Draw

詳細については、[OpenOffice.org](http://www.openoffice.org) (331 ページ)を参照してください。

## POV-Ray

POV-Ray(Persistence of Vision Ray)トレーサを使用すると、レイトレーシングというレンダリング技術を使用して3次元のフォトリアルスティックなイメージを作成できます。POV-RayにはWindowsバージョンがあるため、このアプリケーションのWindowsユーザは容易にLinuxバージョンに切り替えることができます。POV-Rayの詳細については、<http://www.povray.org/>を参照してください。



## The GIMP

GIMPは、Adobe Photoshopに対するオープンソースの代替製品です。GIMPはPhotoshopと同等の機能を提供するため、プロフェッショナルのイメージ処理に適しています。GIMPにはWindowsバージョンもあります。詳細については、<http://www.gimp.org/>を参照してください。GIMPの章を参照することもできます。

## VueScan

VueScanは、複数のプラットフォームに使用できるスキャンソフトウェアです。自分のベンダーのスキャナソフトウェアに平行してインストールできます。バッチスキャン、オートフォーカス、埃と瑕の抑制用の赤外線チャンネルなどの、スキャナの特長ハードウェア、さらに、スライドの暗い部分でのスキャナノイズを軽減するためのマルチスキャンにもサポートしています。カラー根がからの色補正が簡単、正確に実行できます。詳細は、<http://www.hamrick.com/index.html>を参照してください。

# C.5 システム管理とファイル管理

ここでは、システム管理とファイル管理のためのLinuxツールの概要について説明し、テキストエディタ、ソースコードエディタ、バックアップソリューション、およびアーカイブツールについて解説します。

表 C.5 WindowsとLinuxのシステム管理とファイル管理のソフトウェア

タスク	Windowsアプリケーション	Linuxアプリケーション
ファイルマネージャ	Windows Explorer	Konqueror、Nautilus
テキストエディタ	メモ帳、WordPad、(X)Emacs	kate、gedit、(X)Emacs、vim
PDFの作成	Adobe Distiller	Scribus
PDFビューア	Adobe Reader	Adobe Reader、Evince、KPDF、Xpdf
テキスト認識	Recognita、FineReader	GOOCR

タスク	Windowsアプリケーション	Linuxアプリケーション
コマンドライン圧縮プログラム	zip、rar、arj、lhaなど	zip、tar、gzip、bzip2など
GUIベースの圧縮プログラム	WinZip	Ark、File Roller
ハードディスクのパーティション管理	PowerQuest、Acronis、Partition Commander	YaST、GNU Parted
バックアップソフトウェア	ntbackup、Veritas	KDar、taper、dump

#### Adobe Reader

Adobe Reader for Linuxは、このアプリケーションのWindowsおよびMac版に完全に対応しています。Linux版のルックアンドフィールは、他のプラットフォームのものと同一です。Adobe Acrobatスイートの他のコンポーネントは、Linuxに移植されていません。詳細については、<http://www.adobe.com/products/acrobat/readermain.html>を参照してください。

#### Ark

Arkは、KDEデスクトップ用のGUIベースバックプログラムです。このアプリケーションは、zip、tar.gz、tar.bz2、lha、rarなどの一般的な形式をサポートしています。アーカイブ内の単一ファイルの表示、選択、圧縮、解凍を実行できます。ArkがKonquerorと統合化されたことにより、WinZipと同様に、ファイルのコンテキストメニューからアクション(アーカイブの解凍など)を実行することもできます。Arkの使用方法に関する簡単な説明は、『KDEユーザガイド』のKDEデスクトップに関する章を参照してください。

#### dump

dumpコマンドはファイルシステムのファイルを確認し、バックアップする必要があるファイルを特定し、指定されているディスク、テープ、またはその他の記憶媒体にファイルをコピーします。restoreコマンドはdumpとは逆の操作を実行し、ファイルシステム全体のバックアップを

復元します。詳細については、<http://dump.sourceforge.net/>を参照してください。

#### Evince

Evinceは、GNOMEデスクトップ用の、PDFおよびPostScript形式のドキュメントビューアです。詳細については、<http://www.gnome.org/projects/evince/>を参照してください。

#### File Roller

File Rollerは、GNOMEデスクトップ用のGUIベースバックプログラムです。このプログラムは、Arkと同等の機能を提供しています。詳細については、<http://fileroller.sourceforge.net/home.html>を参照してください。

#### GEdit

GEditはGNOMEデスクトップの公式エディタで、Kateと同様の機能を提供します。詳細については、<http://www.gnome.org/projects/gedit/>を参照してください。

#### GNU Parted

GNU Partedは、パーティションおよびそのファイルシステムの作成、破壊、サイズ変更、チェック、およびコピーのためのコマンドラインツールです。新しいオペレーティングシステムのためのスペースを作成する場合は、このツールを使用してディスクの使用量を調整し、ハードディスク間でデータをコピーします。詳細については、<http://www.gnu.org/software/parted/>を参照してください。

#### GOCR

GOCRは光学文字認識(OCR)ツールで、スキャンされたテキストイメージをテキストファイルに変換します。詳細については、<http://jocr.sourceforge.net/>を参照してください。

#### gzip, tar, bzip2

ディスクの使用量を減らすためのパッケージ作成プログラムは数多くありますが、一般に圧縮アルゴリズムが異なるだけです。LinuxはWindowsで使用されているパッケージ形式も処理することができます。bzip2はgzipより効率的ですが、圧縮アルゴリズムによっては時間がかかる場合があります。gzipおよびtarの詳細は、「シェル」の章を参照してください。

## kate

KateはKDEスイートのメンバで、ローカルまたはリモートで複数のファイルを同時に開くことができます。Kateには構文の強調表示、プロジェクトファイルの作成、および外部スクリプト実行の機能があるため、プログラマに最適のツールです。詳細については、<http://kate.kde.org/>を参照してください。

## KDar

KerrはKDEディスクアーカイブを表し、ハードウェア独立のバックアップソリューションです。KDarはtarとは異なりカタログを使用するため、アーカイブ全体を読み込まずに単独のファイルを抽出でき、増分バックアップを作成することもできます。KDarは、アーカイブを複数のスライスに分割して、スライスごとノデータCDやDVDの書き込みをトリガすることができます。KDarの詳細については、<http://kdar.sourceforge.net/>を参照してください。

## Konqueror

KonquerorはKDEデスクトップ用のデフォルトのファイルマネージャで、Webブラウザ、ドキュメント、画像ビューア、CDリッパーとして使用することもできます。Konquerorをファイルマネージャとして使用する方法については、『*KDEユーザガイド*』のKDEデスクトップに関する章を参照してください。このアプリケーションの詳細については、<http://www.konqueror.org/>を参照してください。

## KPDF

KPDFは、KDEデスクトップ用のPDFビューアアプリケーションです。PDFの検索機や、Adobe Readerと同様のフルスクリーンモードなどの機能ががあります。詳細については、<http://kpdf.kde.org/>を参照してください。

## Nautilus

Nautilusは、GNOMEデスクトップのデフォルトのファイルマネージャです。Nautilusを使えば、フォルダやドキュメントの作成、ファイルやフォルダの表示と管理、スクリプトの実行、CDへのデータ書き込み、URIロケーションの表示が行えます。Nautilusをファイルマネージャとして使用する方法は、『*GNOMEユーザガイド*』を参照してください。Nautilusの詳細は、<http://www.gnome.org/projects/nautilus/>を参照してください。

### taper

taperは使いやすいユーザインタフェースを提供するバックアップと復元のプログラムで、テープドライブを使用してファイルのバックアップと復元を実行できます。ファイルをアーカイブファイルにバックアップすることもできます。ディレクトリの再帰的な選択もサポートします。詳細については、<http://taper.sourceforge.net/>を参照してください。

### vim

vim (vi improved)は、viというテキストエディタに似たプログラムです。vimにはコマンドモードと挿入モードがあるため、場合によっては、慣れるまで時間がかかります。基本的な特徴は他のテキストエディタと同じですが、vimにはマクロの記録、ファイル形式の検出と変換、画面上の複数のバッファなどのユニークなオプションがあります。詳細については、<http://www.vim.org/>を参照してください。

### (X)Emacs

GNU EmacsとXEmacsはプロフェッショナル用エディタです。XEmacsは、GNU Emacsを基にしています。GNU Emacsのマニュアルには、「Emacsは拡張およびカスタマイズ可能で、セルフドキュメント機能を備えたリアルタイム表示エディタです」と記載されています。「」この2つのエディタの機能はほとんど同じですが、多少の違いはあります。経験豊富な開発者がEmacs Lisp言語を使用すると、機能を大いに拡張できます。ロシア語、ギリシア語、日本語、中国語、韓国語などの多くの言語がサポートされています。詳細については、<http://www.xemacs.org/>と<http://www.gnu.org/software/emacs/emacs.html>を参照してください。

### Xpdf

Xpdfは、LinuxおよびUnixプラットフォーム用の、軽量のPDFビューアスイートです。ビューアアプリケーションと、PostScriptやテキスト形式用のエクスポートプラグインが含まれています。詳細については、<http://www.foolabs.com/xpdf/>を参照してください。

## C.6 ソフトウェア開発

ここでは、プロフェッショナルのソフトウェア開発のためのLinux IDE、ツールキット、開発ツール、およびバージョン管理システムについて説明します。

表 C.6 WindowsとLinuxの開発ソフトウェア

タスク	Windowsアプリケーション	Linuxアプリケーション
統合開発環境	Borland C++, Delphi, VisualStudio, .NET	KDevelop, Eric, Eclipse, MonoDevelop, Anjuta
ツールキット	MFC, Qt, GTK+	Qt, GTK+
コンパイラ	VisualStudio	GCC
デバッグツール	Visual Studio	GDB, valgrind
GUIデザイン	Visual Basic, Visual C++	Glade, Qt Designer
バージョン管理システム	Cleartcase, Perforce, SourceSafe	CVS, Subversion

#### Anjuta

Anjutaは、GNOME/GTK+のアプリケーション開発用のIDEです。自動書式設定、コード補完、ハイライト機能のあるエディタが含まれています。GTK+のほかにも、Perl、Pascal、およびJavaによる開発をサポートしています。GDBベースのデバッガも含まれています。Anjutaの詳細については、<http://anjuta.sourceforge.net>を参照してください。

#### CVS

CVS (Concurrent Versions System)は、オープンソース用の最も重要なバージョンコントロールシステムです。これは、標準のLinuxディストリビューションに含まれているRevision Control System (RCS)のフロントエンドです。詳細については、<http://ximbiot.com/cvs/wiki/>を参照してください。

#### Eclipse

Eclipse Platformは、カスタムプラグインによって拡張可能な統合開発環境を構築できるように設計されています。ベースディストリビューションには、完全なJava開発環境も含まれます。詳細については、<http://www.eclipse.org>を参照してください。

## Eric

Ericは、PythonおよびPython-Qtによる開発用に最適化されたIDEです。Ericの詳細については、<http://www.die-offenbachs.de/eric/index.html>を参照してください。

## GCC

GCCは、様々なプログラミング言語用のフロントエンドを持つ、コンパイラコレクションです。機能の詳しいリストと、詳細なドキュメントは、<http://gcc.gnu.org>を参照してください。

## GDB

GDBは、様々なプログラミング言語で書かれたプログラム用のデバッグツールです。GDBの詳細については、<http://www.gnu.org/software/gdb/gdb.html>を参照してください。

## Glade

Gladeは、GTK+およびGNOME開発用のユーザインタフェースビルダです。GTK+のほかに、C、C++、C#、Perl、Python、Javaやその他の言語もサポートしています。Gladeの詳細については、<http://glade.gnome.org/>を参照してください。

## GTK+

GTK+はグラフィカルユーザインタフェースを作成するためのマルチプラットフォームツールキットで、すべてのGNOMEアプリケーション、GIMP、およびその他のアプリケーションで使用できます。GTK+はC/C++以外の言語もサポートするように設計されています。GTK+は最初はGIMPのために記述されたため、「GIMP Toolkit」という名前になっています。「」詳細については、<http://www.gtk.org>を参照してください。GTK+と言語の関係については、<http://gtk.org/features.html#LanguageBindings>にまとめられています。

## KDevelop

KDevelopでは、異なる言語(C/C++、Python、Perlなど)でプログラムを記述できます。KDevelopには、ドキュメントブラウザ、構文の強調表示機能を含むソースコードエディタ、コンパイラのGUI、およびその他の機能が含まれます。詳細については、<http://www.kdevelop.org>を参照してください。

## MonoDevelop

Mono Projectは、.NET開発プラットフォームのUnixバージョンをオープンソースで開発しているオープン開発イニシアチブです。このプロジェクトの目的は、Unix開発者がクロスプラットフォームの.NETアプリケーションを構築して展開できるようにすることです。MonoDevelopは、Monoの開発環境にIDEを補完します。MonoDevelopの詳細については、<http://www.monodevelop.com/>を参照してください。

## Qt

Qtは、グラフィカルユーザインタフェースでアプリケーション開発するためのプログラムライブラリです。これによって、プロフェッショナルなプログラムを迅速に開発できます。QtライブラリはLinuxで使用できるだけでなく、一連のUnix環境、Windows、およびMacintoshでも使用できます。したがって、このようなプラットフォームに簡単に移植できるプログラムを記述できます。詳細については、<http://trolltech.com>を参照してください。Qtによる開発と言語の関係については、<http://developer.kde.org/language-bindings/>にまとめられています。

## Qt Designer

Qt Designerは、QtおよびKDEでの開発用のユーザインタフェースおよびフォームビルダです。KDevelop IDEの一部として、またはスタンドアロンモードで動作します。Qt Designerは、Windowsでも動作し、Visual Studio開発スイートに統合することもできます。Qt Designerの詳細については、<http://trolltech.com/products/qt/designer.html>を参照してください。

## Subversion

SubversionはCVSと同様の機能を提供しますが、メタ情報の移動と名前の変更、およびファイルとディレクトリへのアタッチなどの機能が強化されています。Subversionのホームページは<http://subversion.tigris.org/>です。

## Valgrind

Valgrindは、x86アプリケーションのデバッグおよびプロファイリング用の、プログラムのスイートです。Valgrindの詳細については、<http://valgrind.org/info/>を参照してください。



## 指紋リーダーの使用

ThinkFingerドライバを使用して、SUSE Linux Enterprise®は一部のIBMおよびLenovo ThinkPadに搭載されているUPEK/SGS Thomson Microelectronicsの指紋リーダーをサポートします。同じ指紋リーダーはその他のラップトップにも採用され、スタンドアロンデバイスまたはUSBキーボードに組み込みで搭載されています。詳細については、[http://thinkfinger.svn.sourceforge.net/viewvc/\\*checkout\\*/thinkfinger/README.in](http://thinkfinger.svn.sourceforge.net/viewvc/*checkout*/thinkfinger/README.in)を参照してください。システムに指紋リーダーが搭載されている場合、ログインとパスワードによる標準の認証に加えて、生体認証を使用できます。指紋を登録した後、ユーザは指紋リーダーに指紋を読み取らせるか、またはパスワードを入力してシステムにログインします。

ハードウェアチェックでラップトップに内蔵された(またはシステムに接続された)指紋リーダーが検出された場合、パッケージlibthinkfinger、pam\_thinkfinger、yast2-fingerprint-readerが自動的にインストールされます。

現在、ユーザごとに1つの指紋のみ登録できます。ユーザの指紋データは/etc/pam\_thinkfinger/login.birに保存されます。指紋認証を管理するには、YaST(「**D.2項 「YaSTによる指紋の管理」** (354 ページ)」を参照)または追加オプションを使用できるtf-toolコマンドラインツール(「**D.3項 「tf-toolによる指紋の管理」** (357 ページ)」を参照)のいずれかを使用します。

## D.1 サポートされるアプリケーションとアクション

PAMモジュール`pam_thinkfinger`では、次のアプリケーションとアクションに対して指紋認証をサポートしています(すべての場合で指紋読み取りが要求されるわけではありません):

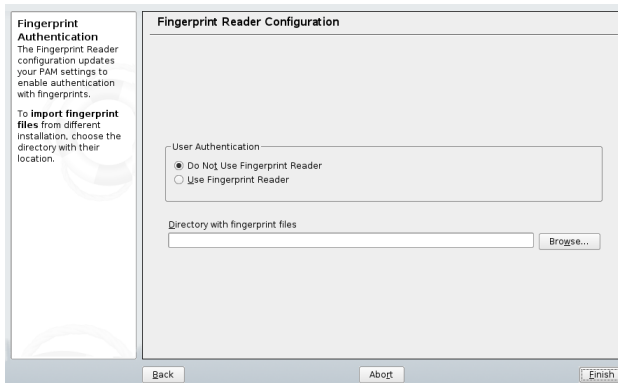
- GDM/KDMへのログインまたはログインシェル
- GNOME/KDEデスクトップでの画面のロック解除
- YaSTの開始と YaSTモジュール
- `root`パーミッション、`sudo`または`gnomesu`でのアプリケーションの起動
- `su`または`su-username`による別のユーザIDへの変更

## D.2 YaSTによる指紋の管理

### 手順 D.1 指紋認証の有効化

特定のユーザに対して生体認証を有効にするには、一般にまずYaSTで指紋サポートを有効にする必要があります。

- 1 YaSTを起動して、`[ハードウェア] > [Fingerprint Reader]`を選択します。

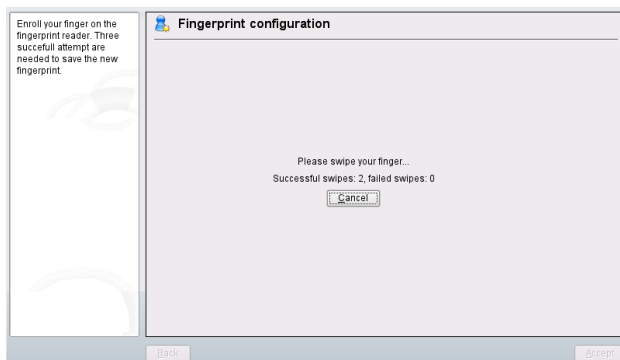


- 2 設定ダイアログで、*[Use Fingerprint Reader]* を有効にして、*[完了]* をクリックして変更内容を保存し、ダイアログを閉じます。

さまざまなユーザに対して指紋を登録できるようになりました。

## 手順 D.2 指紋の登録

- 1 YaSTで *[セキュリティとユーザ]* > *[User Management]* をクリックして、*[ユーザとグループの管理]* ダイアログを開きます。システム内のユーザまたはグループのリストが表示されます。
- 2 指紋を登録するユーザを選択し、*[編集]* をクリックします。
- 3 *[Plug-Ins]* タブで指紋エントリを選択してから、*[起動]* をクリックして *[Fingerprint Configuration]* ダイアログを開きます。
- 4 YaSTから、読み取り可能な指紋が3回得られるまで指紋を読み取らせるようプロンプトが表示されます。



- 5 指紋が正常に取得されたら、**[同意する]**をクリックして **[Fingerprint Configuration]** ダイアログとユーザのダイアログを閉じます。
- 6 指紋認証をYaSTまたはYaSTモジュールの起動にも使用するには、rootの指紋も登録する必要があります。

このためには、**[ユーザとグループの管理]** ダイアログでフィルタを **[システムユーザ]** に設定し、rootエントリを選択してrootの指紋を上記のようにして登録します。

- 7 目的のユーザの指紋を登録したら、**[完了]**をクリックして管理ダイアログを閉じ、変更を保存します。

ユーザの指紋が正常に登録されると、ユーザは「**D.1項「サポートされるアプリケーションとアクション」** (354 ページ)」に示すアクションとアプリケーションに対して指紋とパスワードのどちらで認証するか選択できるようになります。

現在、YaSTには指紋の検証または削除機能はありませんが、コマンドラインから指紋を検証または削除できます。詳細については、**指紋の検証または削除** (357 ページ)を参照してください。

YaSTでは、ファイルシステム内にすでに保存されている指紋ファイル(\*.bir)をインポートすることもできます。**[ハードウェア] > [Fingerprint Reader]**をクリックして、指紋ファイルのあるディレクトリを選択または入力します。**[完了]**をクリックしてインポートを開始します。指紋ファイルが、指紋ファイルのデフォルトディレクトリ/etc/pam\_thinkfinger/login.birにコピーされます。

## D.3 tf-toolによる指紋の管理

### 手順 D.3 指紋の登録

- 1 シェルを開いて、rootとしてログインします。
- 2 特定のユーザの指紋を登録するには、以下のように入力します。

```
tf-tool --add-user login
```

tf-toolから、読み取り可能な指紋が3回得られるまで指紋を読み取らせるようプロンプトが表示されます。

- 3 指紋認証をYaSTまたはGNOMEコントロールセンターのYaSTモジュールの起動にも使用するには、rootの指紋も登録する必要があります。

ユーザの指紋が正常に登録されると、ユーザは「**D.1項「サポートされるアプリケーションとアクション」** (354 ページ)」に示すアクションとアプリケーションに対して指紋とパスワードのどちらで認証するか選択できるようになります。

### 手順 D.4 指紋の検証または削除

- 1 シェルを開いて、rootとしてログインします。
- 2 特定のユーザの既存の指紋を検証するには、以下のコマンドを実行します。

```
tf-tool --verify-user login
```

- 3 ユーザの指紋をリーダに読み取らせます。tf-toolは指紋をこのユーザに対して保存されたプリントと比較し、指紋が一致するかどうかメッセージを表示します。
- 4 ユーザの指紋を削除するには、以下のコマンドでこのユーザの該当する指紋ファイルを削除します。

```
shred /etc/pam_thinkfinger/login.bir
```

tf-tool--acquireで、tf-toolをテスト実行できます。指紋は/tmp/test.birとして保存され、tf-tool--verifyで検証できます。

## D.4 詳細情報

- プロジェクトのホームページは<http://thinkfinger.sourceforge.net/>にあります。
- 技術的な詳細は、インストールしたシステムの `/usr/share/doc/packages/libthinkfinger/README` を参照してください。
- `pam_thinkfinger` および `tf-tool` についてはマニュアルにも記載されています。

# タブレットPCのサポート

SUSE Linux Enterprise®では、シリアルWacomデバイスを使用するタブレットPCをサポートします。インストールの大半はその他のシステムと同様ですが、パッケージのいくつかを手動で追加する必要があります。その後、入力デバイスを適切に設定します。

---

## 注意: 64ビットアーキテクチャでのタブレットPCの機能

現在、タブレットPCは32ビットアーキテクチャでのみサポートされています。タブレットPCの機能を64ビットアーキテクチャで使用するには、32ビットシステムをインストールする必要があります。

---

タブレットPCパッケージをインストールしてデジタイザを正しく設定すると、スタイラスと呼ばれるペンによる入力を、以下のアクションとアプリケーションに使用できます。

- KDMまたはGDMへのログイン
- KDEとGNOMEデスクトップの画面のロック解除
- カーソルの画面上の移動、アプリケーションの起動、終了、サイズ変更、ウィンドウの移動、ウィンドウのフォーカス移動、オブジェクトのドラッグ&ドロップなど、その他のポインティングデバイス(マウスやタッチパッドなど)によって起動されるアクション
- X Window Systemのアプリケーションのジェスチャ認識の使用
- GIMPによる描画

- JarnalまたはXournalなどのアプリケーションでのメモ作成またはスケッチ、またはDasherによる大量のテキストの編集

---

**注意:** インストールに必要なキーボードまたはマウス

SUSE Linux Enterpriseのインストール中は、ペンを入力デバイスとして使用できません。タブレットPCに組み込みのキーボードまたはタッチパッドが装備されていない場合、システムをインストールするために外部キーボードまたはマウスをタブレットPCに接続します。

---

## E.1 タブレットPCパッケージのインストール

YaSTはタブレットPCを自動的に検出しないので、システムのインストール中またはインストール後にパッケージを追加してインストールします。タブレットPCのインストールパターンには、次のパッケージがあります。

- jarnal: Javaベースのメモ作成用アプリケーション
- xournal: メモ作成およびスケッチ用アプリケーション
- xstroke: X Windows System向けジェスチャー認識プログラム
- xvkbd: X Window System向け仮想キーボード
- x11-input-wacom: Wacomタブレット向けX入力モジュール
- x11-input-wacom-tools: Wacomタブレット向け設定、診断、ライブラリ

パッケージはコマンドラインから手動でインストールすることも、YaSTのインストールパターンを選択することもできます。

- 1 YaSTパッケージマネージャをコマンドラインから起動するか、またはYaSTを開いて [ソフトウェア] > [Software Management] を選択します。



- 2 [フィルタ] で、 [パターン] を選択してパターンでグループ化された利用可能なパッケージを表示します。
- 3 [Additional Software] グループで、インストールするタブレットPCパターンをマークします。
- 4 [同意する] をクリックして、パッケージのインストールを開始します。

## E.2 Wacomデバイスの設定

タブレットPCパッケージをインストールしたら、タブレットデバイスを設定します。現在、SUSE Linux EnterpriseはSaX2によるWacomデバイスの設定をサポートしていません。このため、システム設定ファイルを編集する必要があります。システム管理者のみが、`/etc/X11/xorg.conf`ファイルを変更できます。

---

**警告: X環境設定ファイルに不適切な設定を行うとハードウェアが損傷する可能性があります**

`/etc/X11/xorg.conf`ファイルを編集する前に、元のファイルのバックアップを作成します。ファイルのその他のセクションを編集しないでください。ハードウェアが損傷する可能性があります。

---

Wacomデバイスの場合、`/etc/X11/xorg.conf`に「例 E.1. 「Wacomデバイスの設定」 (362 ページ)」に示すように数行追加します。

## 例 E.1 Wacom デバイスの設定

1. 以下のように、InputDevice セクションを追加します。

```
Section "InputDevice" ❶
    Driver      "wacom"
    Identifier   "Mouse[5]"
    Option      "Device" "/dev/ttyS0"
    Option      "ForceDevice" "ISDV4"
    Option      "InputFashion" "Tablet"
    Option      "Mode" "Absolute"
    Option      "SendCoreEvents" "on"
    Option      "Type" "cursor"
EndSection
```

```
Section "InputDevice" ❷
    Driver      "wacom"
    Identifier   "Mouse[7]"
    Option      "Device" "/dev/ttyS0"
    Option      "ForceDevice" "ISDV4"
    Option      "InputFashion" "Pen"
    Option      "Mode" "Absolute"
    Option      "Type" "stylus"
EndSection
```

```
Section "InputDevice" ❸
    Driver      "wacom"
    Identifier   "Mouse[9]"
    Option      "Device" "/dev/ttyS0"
    Option      "ForceDevice" "ISDV4"
    Option      "InputFashion" "Eraser"
    Option      "Mode" "Absolute"
    Option      "Type" "eraser"
EndSection
```

- ❶ /dev/ttyS0に接続したタブレットカーソル入力デバイスの設定。  
HP Compaq tc4200を使用する場合、この代わりに/dev/ttyS2を使用します。SaX2の今後のバージョンで問題が発生しないように、デバイスには"Mouse[5]" IDが割り当てられます。
- ❷ タブレットスタイラス入力デバイスの設定。
- ❸ タブレットイレイザ入力デバイスの設定。ペンのこの部分は、いくつかのアプリケーションで入力を消去するために使用されます。

## 2. 以下の行をServerLayoutセクションに追加します。

```
InputDevice "Mouse[5]" "SendCoreEvents"  
InputDevice "Mouse[7]" "SendCoreEvents"  
InputDevice "Mouse[9]" "SendCoreEvents"
```

このように変更すると、`/etc/X11/xorg.conf`は以下のようになります。

[...]

```
Section "InputDevice" ❶  
    Driver      "mouse"  
    Identifier   "Mouse[3]"  
    Option      "Buttons" "5"  
    Option      "Device"  "/dev/input/mice"  
    Option      "Name"    "ImPS/2 Generic Wheel Mouse"  
    Option      "Protocol" "explorerps/2"  
    Option      "Vendor"  "Sysp"  
    Option      "ZAxisMapping" "4 5"  
EndSection
```

```
Section "InputDevice" ❷  
    Driver      "wacom"  
    Identifier   "Mouse[5]"  
    Option      "Device"  "/dev/ttyS0"  
    Option      "ForceDevice" "ISDV4"  
    Option      "InputFashion" "Tablet"  
    Option      "Mode"     "Absolute"  
    Option      "SendCoreEvents" "on"  
    Option      "Type"     "cursor"  
EndSection
```

```
Section "InputDevice" ❸  
    Driver      "wacom"  
    Identifier   "Mouse[7]"  
    Option      "Device"  "/dev/ttyS0"  
    Option      "ForceDevice" "ISDV4"  
    Option      "InputFashion" "Pen"  
    Option      "Mode"     "Absolute"  
    Option      "Type"     "stylus"  
EndSection
```

```
Section "InputDevice" ❹  
    Driver      "wacom"  
    Identifier   "Mouse[9]"  
    Option      "Device"  "/dev/ttyS0"  
    Option      "ForceDevice" "ISDV4"  
    Option      "InputFashion" "Eraser"  
    Option      "Mode"     "Absolute"  
    Option      "Type"     "eraser"
```

```

EndSection

[...]

Section "ServerLayout"
    Identifier      "Layout[all]"
    InputDevice     "Keyboard[0]" "CoreKeyboard"
    InputDevice     "Mouse[1]" "CorePointer"
    InputDevice     "Mouse[3]" "SendCoreEvents"
    InputDevice     "Mouse[5]" "SendCoreEvents" ❸
    InputDevice     "Mouse[7]" "SendCoreEvents"
    InputDevice     "Mouse[9]" "SendCoreEvents"
    Option          "Clone" "off"
    Option          "Xinerama" "off"
    Screen          "Screen[0]"
EndSection

```

- ❶ デフォルトのマウス設定。
- ❷ 新しく追加された、タブレットカーソル入力デバイスの設定。
- ❸ 新しく追加された、タブレットスタイラス入力デバイスの設定。
- ❹ 新しく追加された、タブレットイレイザ入力デバイスの設定。
- ❺ タブレット入力デバイス  
の"Mouse[5]"、"Mouse[7]"、"Mouse[9]"がX Serverデバイスに  
追加されます。

この設定例は、大半のタブレットPCで機能します。詳細は、Linux Wacom Webサイト(<http://linuxwacom.sourceforge.net/index.php/howto/x11>)で手順を確認してください。

3. X Window Systemの設定が終了したら、ログアウトするか、またはユーザインタフェースを終了してinit3&& init 5を仮想コンソールで実行して、X Serverを再起動します。

## E.3 タブレットPCの一般的な機能の使用

Wacomデバイスを設定したら、ペンを入力デバイスとして使用できるようになります。

### E.3.1 仮想キーボードの使用

KDEまたはGNOMEデスクトップにログインするには、または画面のロックを解除するには、ユーザ名とパスワードを通常通りに入力するか、ログインフィールドの下に表示されるまたは仮想キーボードxvkbdで入力します。キーボードを設定するには、または統合ヘルプにアクセスするには、左下隅のxvkbdフィールドをクリックしてxvkbdメインメニューを開きます。

図 E.1 xvkbd仮想キーボード



ログイン後にxvkbdを使用するには、メインメニューから起動するか、またはシェルからxvkbdで起動します。

### E.3.2 ディスプレイの回転

タブレットPCモニタを回転する場合、ディスプレイとグラフィックタブレットの向きは自動的に調整されません。KDEデスクトップの場合、KRandRTrayを使用して、ディスプレイをその場で手動で回転またはサイズを変更します。KRandRTrayはX ServerのRANDR拡張機能向けのKDEアプレットです。

- 1 メインメニューまたはシェルから`krandrtray`で、**KRandRTray**を起動します。これで、**KRandRTray**アイコンがシステムトレイに追加されます。
- 2 ディスプレイを回転するには、アイコンをクリックしてコンテキストメニューから目的の向きを選択します。ディスプレイが新しい方向にすぐに回転します。また、グラフィックタブレットの向きも変更され、ペンの移動も正しく解釈されます。

GNOMEデスクトップの場合、現在同等の機能は対応策を実施しないと使用できません。詳細については、[E.4項「トラブルシューティング」](#) (369 ページ)を参照してください。

### E.3.3 ジェスチャ認識の使用

`xstroke`では、ペンまたはその他のポインティングデバイスでのジェスチャを、**X Window System**のアプリケーションへの入力として使用できます。`xstroke`アルファベットは、**Graffiti\***アプレットに類似のユニストロークアルファベットです。有効にすると、`xstroke`は入力を現在フォーカスされているウィンドウに送信します。

- 1 メインメニューから、またはシェルから`xstroke`を使用して、`xstroke`を起動します。これで、ペンシルアイコンがシステムトレイに追加されます。
- 2 ペンでテキスト入力を作成するアプリケーションを起動します(ターミナルウィンドウ、テキストエディタ、**OpenOffice.org Writer**など)。
- 3 ジェスチャー認識モードを有効にするには、ペンシルアイコンを1回クリックします。
- 4 ペンまたは別のポインティングデバイスで、グラフィックタブレット上で何らかのジェスチャを行います。`xstroke`はジェスチャをキャプチャし、テキストに転送してフォーカスのあるアプリケーションウィンドウに表示します。
- 5 フォーカスを別のウィンドウに移すには、目的のウィンドウをペンでクリックしてしばらくそのままにします(または、デスクトップのコントロールセンターで定義したキーボードショートカットを使用します)。

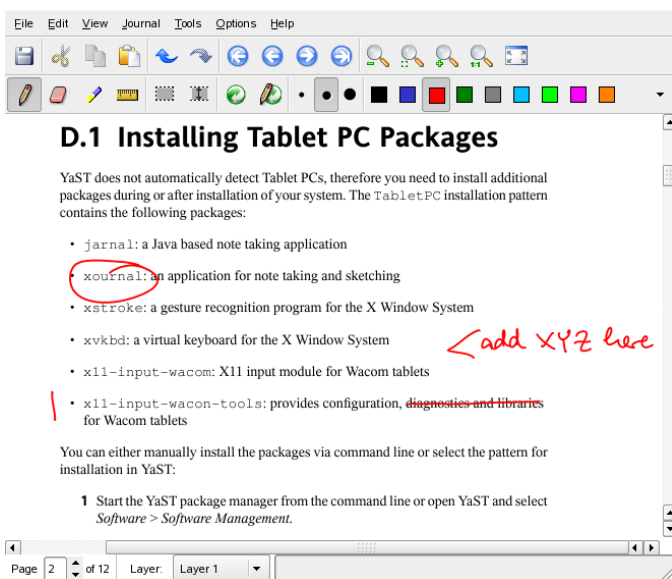
- 6 ジェスチャ認識モードを無効にするには、ペンシルアイコンをもう一度クリックします。

## E.3.4 ペンを使用したメモの作成とスケッチ

ペンで図を作成するには、GIMPのようなプロ向けグラフィックエディタを使用したり、XournalまたはJarnalなどのメモ作成アプリケーションを使用します。XournalとJarnalの両方を使って、ペンでメモや図を作成し、PDFファイルにコメントを付けられます。いくつかのプラットフォームで使用できるJavaベースのアプリケーションとして、Jarnalには基本的なコラボレーション機能もあります。詳細については、<http://www.dklevine.com/general/software/tcl000/jarnal-net.htm>を参照してください。コンテンツを保存するとき、Jarnalはデータをアーカイブ形式(\*.jaj)にデータを保存し、これにはSVG形式のファイルも含まれます。

JarnalまたはXournalをメインメニューから、またはシェルにjarnalまたはxournalと入力して起動します。XournalでPDFファイルにコメントを付けるには、[ファイル] > [Annotate PDF] を選択して、ファイルシステムからPDFファイルを開きます。ペンまたは別のポインティングデバイスを使用してPDFに注釈を付け、[ファイル] > [Print to PDF] で変更内容を保存します。

## ☒ E.2 XournalによるPDFへの注釈

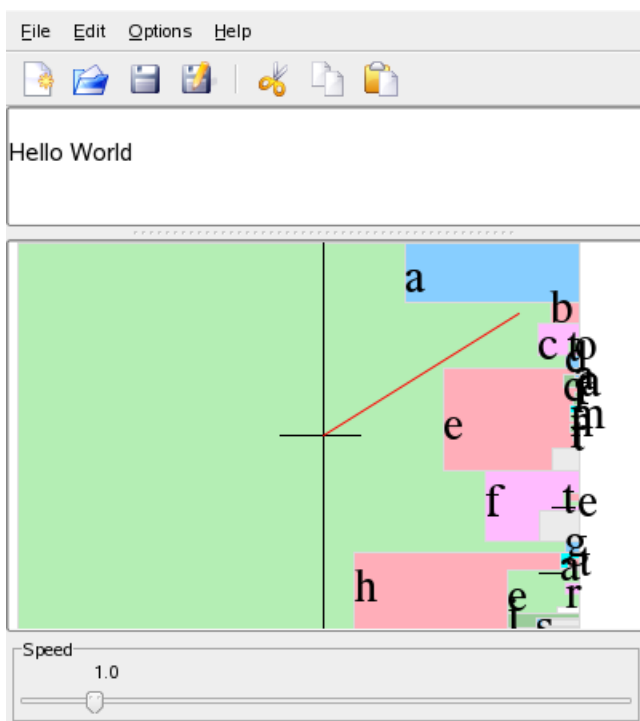


Dasherも便利なアプリケーションです。キーボード入力の実用的ではない、または利用できない場合に適しています。少し訓練することで、ペンだけで大量のテキストを高速に入力できるようになります(または、視線追跡手段などによるペン以外の入力デバイス)。

メインメニューから、またはシェルからdasherと入力してDasherを起動します。ペンをある方向に動かすと、アプリケーションが右側の文字にズームインします。中央の十字を過ぎた文字から、テキストが作成または予測され、ウィンドウ上部に出力されます。書き込みを停止または開始するには、ディスプレイをペンで1回クリックします。ウィンドウ下部でズーム速度を変更します。



### 図 E.3 Dasherによるテキストの編集



Dasherの概念は、多くの言語で動作します。詳細はDasherのWebサイトを参照してください。包括的なドキュメント、デモ、トレーニング用テキストがあります。<http://www.inference.phy.cam.ac.uk/dasher/>をご覧ください。

## E.4 トラブルシューティング

仮想キーボードがログイン画面に表示されない

時々、ログイン画面が仮想キーボードに表示されないことがあります。これを解決するには、**Ctrl + Alt + <**を押すか、またはタブレットPCの該当するキー(内蔵キーボードのないスレートモデルを使用している場合)を押して、**X Server**を再起動します。仮想キーボードがまだ表示されない場合は、外部キーボードをスレートモデルに接続し、ハードウェアキーボードを使用してログインします。

グラフィックタブレットの向きがGNOMEで変更されない

xrandrコマンドで、シェルからディスプレイの向きを変更できます。  
xrandr--helpと入力すると、使用できるオプションが表示されます。  
グラフィックタブレットの向きも同時に変更するには、コマンドを以下のように変更します。

- 通常の方向(0度回転):

```
xrandr -o 0 && xsetwacom set "Mouse[7]" Rotate 0
```

- 90度回転(時計回り、縦):

```
xrandr -o 3 && xsetwacom set "Mouse[7]" Rotate 1
```

- 180度回転(横):

```
xrandr -o 2 && xsetwacom set "Mouse[7]" Rotate 3
```

- 270度回転(反時計回り、縦):

```
xrandr -o 1 && xsetwacom set "Mouse[7]" Rotate 2
```

上記のコマンドは、/etc/X11/xorg.conf設定ファイルの内容によって異なります。例 E.1. 「**Wacom**デバイスの設定」(362 ページ)の設定例を使用した場合、コマンドは記載したとおりに機能します。xorg.confのタブレットスタイラス入力デバイスのIDを変更した場合は、"Mouse[7]"を新しいIDに置換します。

## E.5 詳細情報

ここで説明したアプリケーションの一部には統合オンラインヘルプがありませんが、使用方法および設定についての便利な情報が、インストールしたシステムの/usr/share/doc/package/packageNameまたはWeb上にあります。

- Xournalのマニュアルは、<http://xournal.sourceforge.net/manual.html>を参照してください。
- Jarnalのドキュメントは、<http://www.dklevine.com/general/software/tcl1000/jarnal.htm#documentation>にあります。

- xstrokeのマニュアルページは、<http://davesource.com/Projects/xstroke/xstroke.txt>にあります。
- Linux上でXを設定する方法は、Wacom Webサイト(<http://linuxwacom.sourceforge.net/index.php/howto/x11>)を参照してください。
- Dasherプロジェクトについては、Webサイト<http://www.inference.phy.cam.ac.uk/dasher/>に詳細な情報があります。

